

FSC ジャパン

日本国内森林管理規格

第 ~~2-01-12~~ 草案 (D~~2-01-012~~)

~~2016~~2017 年 ~~36910~~月

発行日：201~~7~~6年 ~~3910~~6月 ~~1137~~日

コンサルテーション期間：2017年3月1日（水）～2017年4月30日（日）

コンサルテーション期間：2016年6月7日～8月6日

連絡先：

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-4-4 武蔵ビル 5F

日本森林管理協議会（FSC ジャパン）

担当：指針・規格コーディネーター 三柴（富村）ちさと

電話：03-3707-3438

Fax: 03-6701-7647

Email: ctomimura@forsta.or.jp

ご意見等は、必ずお名前、所属団体・役職、連絡先(あれば E メール)をご記載の上、コンサルテーション期間内に上記連絡先に郵送、ファックス、または E メールにてお送りください。

ご質問等のお問合せは電話でも受け付けております。

参考文献

FSC-STD-01-001 V5-2 FSC Principles and Criteria for Forest Stewardship

FSC-STD-01-002 FSC Glossary of Terms

FSC-STD-01-003 SLIMF eligibility criteria

FSC-STD-30-005 FSC Standard for Group Entities in Forest Management Groups

FSC-STD-60-002 V1-0 Structure and Content of National Forest Stewardship Standards

FSC-STD-60-004 V1-0 International Generic Indicators

FSC-STD-60-006 V2-0 Process requirements for the development and maintenance of National Forest Stewardship Standards

FSC-GUI-60-002 SIR Guideline for Standard Developers

本文書は、FSC-STD-60-006 に定められる手順に従い、日本国内の状況を考慮しながら FSC 国際標準指標(IGI)（FSC-STD-60-004 V1-0）を基に作成されたものです。全てのプロセスを経、承認された後は、認証機関に関わらず、全ての日本国内の FSC 森林管理認証は本規格に準じて行われることになります。その際は、FSC のルールに従い、日本語よりも英語が優先されることになります。

以下の表には、左から IGI の日本語訳、各指標に対する対応（採用、適応、棄却、新しい指標の追加）、日本国内指標案、及び日本国内指標案の英語訳が示されています。採用とは、IGI の指標の文言をそのまま使用することであり、その場合、一番右の日本国内指標案の英語訳は元の IGI と同じも

のになります。指標を適応、棄却、追加した場合、日本国内指標案の英語訳は元の IGI の指標とは異なり、IGI の英語原文は本文書には記載されていません。元の指標の原文は、FSC ウェブサイトで公開されている IGI 文書でご覧いただけます。原則や基準*も記載してありますが、これは不可変な部分で、原文と日本語訳のみ示してあります。

なお、アスタリスク（*）のついている単語は、巻末の用語集で定義されているものです。用語集の単語の定義も、元の IGI での定義から日本国内用に変更されているものもあります。

本規格策定の背景としての日本の森林・林業の概要

日本の林業は世界的に見てもかなり特殊な側面が多く、本規格の策定にあたっては、日本特有の状況が反映されている。以下は、日本の森林・林業の特徴の概要である。

日本は世界有数の森林国であり、現在森林は国土の約 66%を占める。日本では限られた平地や傾斜の緩い丘陵地帯は居住や農業など他の用途に使われ、森林は専ら丘陵地、山岳地帯にある。「森」と「山」という言葉がしばしば同じ意味で使われるのもそのためである。森林の内約 4 割が針葉樹の人工林であり、その管理方法は主に植林による更新、数度の間伐、そして主伐である。日本における林業はほぼ針葉樹の人工林に限られており、広葉樹の商業的な利用は現在限られている。

日本の人工林の多くは終戦(1945 年)直後から 1960, 70 年代の高度経済成長期に造林されたものである。この時代、家庭用燃料が従来の木質燃料から石油系へ急速に変化するとともに薪炭林として使われていた広葉樹二次林には全国的にスギ、ヒノキ、カラマツなどの針葉樹が植林された。このため、人工林の林齢構成はかなり偏っており、現在、人工林の 70%以上は 31 年生～60 年生¹であり、若い林分、古い林分とともに少なくなっている。

日本の森林の所有形態は、31%が国有林、12%が公有林、58%が私有林となっている。生態学的に価値がある自然林は国有林や公有林に多く、私有林には人工林や広葉樹の二次林が多い。私有林には小規模林家が多く、75%の林家の保有山林は 5 ha に満たない一方、100 ha 以上を所有する林家はわずか 0.4%である²。小規模な森林所有者は地域の森林組合と協働して森林の管理に当たるのが一般的である。また、民間で 10,000 ha を超える森林を所有するのは 9 社のみであり、国際的議論における大規模森林所有とは規模感にかなりの隔りがある。

多くの人工林が成熟して収穫期を迎える中、日本の林業は長く低迷している。海外からの輸入木材に押され、1980 年のピーク時と比べ丸太価格はスギは 3 分の 1、ヒノキは 4 分の 1 ほどに落ち込んでいる。一方で労働者の賃金は大幅に上昇し、日本の険しい山岳地帯における林業ではコストを削るのも

¹ 森林・林業白書平成 28 年版.林野庁編。2016 年 6 月 10 日発行。

² 2010 年世界農林業センサス

限界があるため、既にほとんどの林業経営体が国からの補助金なしでは立ち行かなくなっているのが現状である。平成 28 年版森林・林業白書（林野庁編）によれば、100 ha 以上の山林を保有する林業経営体において林業経営は赤字となっている。大面積の森林を保有する企業では、ビジネスではなく、公益的な CSR 事業として森林管理を行っているところもある。日本では大規模組織が利潤追求のために環境・社会的負荷の大きな資源搾取型の森林管理をしている例は現在あまり見受けられず、規模に関わらず林業組織は厳しい経営状況にあるため、本規格では規模によって要求に差をつけることはあまりしていない。

日本の森林を脅かす問題として、林業の経済性の低さによる人工林の管理放棄が挙げられる。人工林において必要な間伐などが行われなくなると、林床に光が届かなくなり、下層植生が失われる。これにより土壌が露出し、侵食を受けやすくなってしまふ。日本はその災害の多さから、森林の災害防止・軽減機能は大変重要視されており、当局は森林の公益的機能を保つため、間伐などの森林施業に対し補助金を出している。こうした政府からの補助金で日本の林業が支えられているのが実情である。

また、生態系保護の観点で問題となっているのが草食獣、特にシカによる食害である。これまでシカは長く保護の対象だったが近年個体数が大幅に増加し、農林業のみならず生態系への影響も深刻化している。現在では当局も補助金を出し、シカやイノシシ等の狩猟を積極的に支援している。また、北海道では、野ネズミの食害が深刻であり、被害を食い止めるため、リン化亜鉛が広く使われている。

社会的な側面では、生活の現代化により、森林と密着した生活を送る人は少なくなっている。山間部の過疎化、高齢化が進み、森林の利用をめぐって利害関係者との間に争いが起きることは稀で、むしろ所有者不明の森林の増加や、森林の放棄が問題となっている。これまでの認証の現場でも、利害関係者の意見を聞こうとしても関心を示す利害関係者の少なさが課題として挙げられたところも多い。

原則 1:法令法律の順守 組織組織* は、すべての適用可能な 法令法律* 、規制、及び国が批准*している国際条約を順守しなければならない。(V4 原則 1)			Organization* shall* comply with all applicable laws*, regulations and nationally-ratified* international treaties, conventions and agreements. (P1 P&C V4)
1.1 組織組織* は、特定された活動について法的権限のある*当局により文書による許可を受け、明確で文書化された、疑義のない法的登記(登録)*がされている法的組織でなければならない。(新規)			1.1 The Organization* shall* be a legally defined entity with clear, documented and unchallenged legal registration*, with written authorization from the legally competent* authority for specific activities. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1.1.1 認証範囲に係る全ての活動は 法律に基づき 文書にて登記*されており、紛争の対象になっていない。	適応	1.1.1 認証範囲に係る全ての活動は 法律に基づき 文書にて登記*されており、紛争の対象になっていない。 注：認証対象となる「 組織組織* 」には、個人も含まれる。用語集参照。	1.1.1 Legal registration* to carry out all activities within the scope of the certificate is documented and unchallenged. Note: As defined in the terminology, "The Organization*" eligible for certification includes individuals.
1.1.2 登記*は法的に定められた手続きに従って法的権限のある*当局の下で行われている。	棄却	<棄却理由> 日本の場合登記は一貫して行われており、法務局が全て管理している。また、手続き等で不正が起こるリスクが低く、簡素化するために棄却した。	
1.2 組織組織* は、管理区画*の法的 地位位置付け* が明確であることを実証しなければならない。これには、保有権*と使用権*及び境界を含む。(V4 基準*2.1)			1.2 The Organization* shall* demonstrate that the legal ^平 status ^下 of the Management Unit*, including

			tenure* and use rights*, and its boundaries, are clearly defined. (C2.1 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1.2.1 認証範囲の資源を管理、使用するための法的*な保有権*が文書化されている。	適応	1.2.1 認証範囲の森林資源を管理、使用するための法的*な保有・利使用权*は法的権限のある*当局からの文書により、または慣習等に基づく何らかの根拠により与えられている。	1.2.1 Legal* tenure and use right* to manage and use resources within the scope of certificate scope is granted by a legal* document issued by a legally competent* authority or other evidence on customary basis.
1.2.2 法的*保有権*は定められた手続きにより法的権限のある*当局により与えられている。	棄却	<棄却理由> 1.1.2 と同様、日本の場合不動産登記は一貫して行われており、手続き等で不正が起こるリスクが低い。簡素化するために 1.2.1 と合体させた。	
1.2.3 認証範囲に含まれる管理区画*の境界は現地で識別できるか、文書化され、地図上に明確に示されている。	適応	1.2.2a 管理区画*の境界は正確な測量地図上で明確である。 1.2.2b 管理区画*の境界は現地で確認できる。 注：地籍調査が終わっていないところでは、地図上及び現地での境界について利害関係者すべてが合意していること。 組織組織*は、1.2.2a、1.2.2b 共に満たさなければならない。	1.2.2a The boundaries of the Management Units* are clearly documented on survey maps. 1.2.2b The boundaries of the Management Units* is identifiable on site. Note: Where the cadastral survey has not completed, all the stakeholders* shall be in agreement with the boundaries on maps and on site.

			The Organization* shall satisfy both 1.2.2a and 1.2.2b.
<p>1.3 <u>組織組織*</u>は、<u>組織組織*</u>と管理区画*の法的位置付け*に応じた法的*な権利を有しており、適用可能な国の法令や地域の法律*と規則、及び行政による要求事項に適合した活動を行わなければならない。法的*な権利には管理区画*内からの林産物の収穫及び/または生態系サービス*の供給が含まれる。<u>組織組織*</u>はこれらの権利や義務に伴う、法的に定められた料金を支払わなければならない。(V4 基準*1.1、1.2、1.3)</p>			<p>1.3 The Organization* shall* have legal* rights to operate in the Management Unit*, which fit the legal* status* of The Organization* and of the Management Unit*, and shall* comply with the associated legal* obligations in applicable national and local laws* and regulations and administrative requirements. The legal* rights shall* provide for harvest of products and/or supply of ecosystem services* from within the Management Unit*. The Organization* shall* pay the legally prescribed charges associated with such rights and obligations. (C1.1, 1.2, 1.3 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

1.3.1 管理区画*におけるすべての活動は以下に適合して行われている： 1) 適用可能な法令法律*、規則、行政上の要求事項 2) 法的*な権利及び慣習的な権利* 3) 義務的行動規範*。	適応	1.3.1 管理区画*におけるすべての活動は以下に適合して行われている。 <u>1a)</u> 適用可能な法令法律*、規則、行政上の要求事項 <u>2b)</u> 法的*な権利及び慣習的な権利* <u>3c)</u> 義務的行動規範* 注：管理者及び各分野の責任者が関連する法令等の必要項目を把握している。	1.3.1 All activities undertaken in the Management Unit* are carried out in compliance with: 1) Applicable laws* and regulations and administrative requirements, 2) Legal* and customary rights*; and 3) Obligatory codes of practice*. Note: Managers and responsible personnel understand requirements of relevant laws and regulations etc.
1.3.2 森林森林*管理に関連する法的に定められた税金や料金はすべて迅速に*支払われている。	適応	1.3.2 森林森林*管理に関連する法的に定められた税金や料金はすべて期限内に支払われている。	1.3.2 Payment is made of all applicable legally prescribed charges connected with forest* management before the <u>due datedeadline</u> .
1.3.3 管理計画*に含まれる活動は適用可能な法令法律*に適合するよう設計されている。	採用	1.3.3 管理計画*に含まれる活動は適用可能な法令法律*に適合するよう設計されている。	1.3.3 Activities covered by the management plan* are designed to comply with all applicable laws*.
1.4 組織組織*は、違法または許可のない資源利用や居住、また、その他の違法行為から管理区画*を体系的に守るための対策を立て、実施し、及び/または規制機関と連携しなければならない。(V4 基準*1.5)			1.4 The Organization* shall* develop and implement measures, and/or shall* engage with regulatory agencies, to systematically protect the Management Unit* from unauthorized or illegal resource use, settlement and other illegal activities. (C1.5 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

1.4.1 違法または許可のない伐採、狩猟、釣り、罨、採取、居住やその他の許可のない行為からの保護*措置が取られている。	採用	1.4.1 違法または許可のない伐採、狩猟、釣り、罨、採取、居住やその他の許可のない行為からの保護*措置が取られている。	1.4.1 Measures are implemented to provide protection* from unauthorized or illegal harvesting, hunting, fishing, trapping, collecting, settlement and other unauthorized activities.
1.4.2 違法行為からの保護*が規制機関の責任下にある場合は、これら規制機関と連携して不正行為や違法行為を発見、報告、規制、抑止する仕組みが実施されている。	採用	1.4.2 違法行為からの保護*が規制機関の責任下にある場合は、これら規制機関と連携して不正行為や違法行為を発見、報告、規制、抑止する仕組みが実施されている。	1.4.2 Where protection* is the legal* responsibility of regulatory bodies, a system is implemented to work with these regulatory bodies to identify, report, control and discourage unauthorized or illegal activities.
1.4.3 違法行為や不正行為が発見された場合は、対策がとられ対処される。	採用	1.4.3 違法行為や不正行為が発見された場合は、対策がとられ対処される。	1.4.3 If illegal or unauthorized activities are detected, measures are implemented to address them.

1.5 組織組織* は、管理区画*内から林産物が最初に販売される場所までの輸送と取引に関して、適用可能な国の 法令 や地域の 法律* 、国が批准*している国際条約、義務的行動規範*を順守しなければならない。(基準*1.3)			1.5 The Organization* shall* comply with the applicable national laws*, local laws, ratified* international conventions and obligatory codes of practice*, relating to the transportation and trade of forest products within and from the Management Unit*, and/or up to the point of first sale. (C1.3 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>1.5.1 林産物が最初に販売される場所までの輸送と取引に関して、適用可能な国の法令や地域の法律*、国が批准*している国際条約、義務的行動規範*を順守している証拠がある。</p>	<p>適応</p>	<p>1.5.1 伐採現場から販売までの林産物の輸送と取引について、法令法律に従い必要な書類が揃えられており、内容(樹種、径級、等級、樹齢など)に虚偽はない。林産物が最初に販売される場所までの輸送と取引に関して、適用可能な国の法令や地域法*、国が批准*している国際条約、義務的行動規範*を順守している証拠がある。</p> <p>注：日本では通常林産物の輸送と取引を取り締まる法令や、法的に必要とされる書類はない。しかし、特定外来生物については外来生物法により運搬や譲渡等が禁止されている。</p>	<p>1.5.1 Complying with the applicable legal* requirements relating to the transportation and trade of forest products from the harvest site up to the point of first sale, documents are available and the information provided (e.g. species, size, grade, age) is accurate. Compliance with applicable national laws*, local laws*, ratified* international conventions and obligatory codes of practice* relating to the transportation and trade of forest products up to the point of first sale is demonstrated.</p> <p>Note: There is no Japanese laws regulating the transportation and trade of regular forest products or legally required documents for it. However, Invasive Alien Species Act prohibits transport and transfer etc. of invasive alien species.</p>
<p>1.5.2 ワシントン条約規定への適合が示されている。これには対象種の伐採・採取、取引許可証の保有が含まれる。</p>	<p>採用</p>	<p>1.5.2 ワシントン条約規定への適合が示されている。これには対象種の伐採・採取、取引許可証の保有が含まれる。</p> <p>注：ワシントン条約の日本国内法である種の保存法では、同法で認められている場合を除き、希少</p>	<p>1.5.2 Compliance with CITES provisions is demonstrated, including through possession of certificates for harvest and trade in any CITES species.</p> <p>Note: The Act on Conservation of Endangered Species of Wild Fauna and Flora, Japanese national</p>

		野生動植物種の捕獲、採取、殺傷又は損傷は禁止されている。	<u>law for implementing CITES, prohibits capture, collection, killing and harming the endangered species of wild fauna and flora, unless permitted by the law.</u>
--	--	------------------------------	--

1.6 組織*は、裁判外で迅速に*解決することができる成文法*や慣習法*に関わる紛争*は、利害関係者*との協議*により特定、防止、解決しなければならない。(V4 基準*2.3)			1.6 The Organization* shall* identify, prevent and resolve disputes* over issues of statutory* or customary law*, which can be settled out of court in a timely manner*, through engagement* with affected stakeholders*. (C2.3 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1.6.1 影響を受ける利害関係者*との慣習に合った*方法での協議*により作成され、入手可能な*紛争*解決手続を備えている。	適応	1.6.1 <u>影響を受ける利害関係者*との慣習に合った*方法での協議*により作成され、入手可能な*紛争*解決手続(苦情処理手順)を備えている。</u> - 組織*は、慣習に合った*方法で紛争*を解決や苦情処理のするための入手可能な手順をもっている。大規模組織*の場合は、この手順は利害関係者*との協議*に基づき作成されている。	1.6.1 <u>A publically available* dispute* resolution process (complaint procedure) is in place; developed through culturally appropriate* enagement* with affected stakeholders*. A- publically available* and culturally appropriate*- process of dispute* resolution and complaint- procedureprocess is in place. For large scale- organizations*, this documented process has been developed through engagement* with affected- stakeholders*.</u>

1.6.2 適用可能な 法律法令 *または慣習法*に関する紛争*で、裁判をせずに解決することができるものは、迅速に*対応され、すでに解決済みか、紛争*解決手順により処理されている。	採用	1.6.2 適用可能な 法律法令 *または慣習法*に関する紛争*で、裁判をせずに解決することができるものは、迅速に*対応され、すでに解決済みか、紛争*解決手順により処理されている。	1.6.2 Disputes* related to issues of applicable laws* or customary law* that can be settled out of court are responded to in a timely manner*, and are either resolved or are in the dispute* resolution process.
1.6.3 適用可能な 法律法令 *または慣習法*に関する紛争*の最新の記録が保管されている。これには以下が含まれる 1) 紛争*解決のためにとられた一連の措置。 2) すべての紛争*解決手続の結果。 3) 未解決の紛争*と未解決の理由及び解決に向けた方法。	採用	1.6.3 適用可能な 法律法令 *または慣習法*に関する紛争*の最新の記録が保管されている。これには以下が含まれる 1) 紛争*解決のためにとられた一連の措置。 2) すべての紛争*解決手続の結果。 3) 未解決の紛争*と未解決の理由及び解決に向けた方法。	1.6.3 Up to date records of disputes* related to issues of applicable laws* or customary law*, are held including: 1) Steps taken to resolve disputes*; 2) Outcomes of all dispute* resolution processes; and 3) Unresolved disputes*, the reasons they are not resolved, and how they will be resolved.
1.6.4 以下の条件に該当する紛争*がある場合は、 当該地域において 施業が中止される： 1) 大規模な紛争規模* が大きい*。 2) 長期に及ぶ 紛争 *。 3) 非常に多くの利害が関係している 紛争 *。	採用	1.6.4 以下の条件に該当する紛争*がある場合は、 当該地域において 施業が中止される： 1) 大規模な紛争規模* が大きい*。 2) 長期に及ぶ 紛争 *。 3) 非常に多くの利害が関係している 紛争 *。	1.6.4 Operations cease in areas where disputes* exist: 1) Of substantial magnitude*; or 2) Of substantial duration*; or 3) Involving a significant number of interests.

1.7 組織*は、金銭やその他のあらゆる形態で贈収賄をしないという誓約を公開しなければならない。汚職防止法が存在する場合にはこれを順守しなければならない。汚職防止法が存在しない場合は、管理活動の規模*と強度*、また汚職のリスク*に応じ、汚職防止のための他の手段を講じなければならない。(新規)		1.7 The Organization* shall* publicize a commitment not to offer or receive bribes in money or any other form of corruption, and shall* comply with anti-corruption legislation where this exists. In the absence of anti-corruption legislation, The Organization* shall* implement other anti-corruption measures proportionate to the scale* and intensity* of management activities and the risk* of corruption. (new)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1.7.1 いかなる贈収賄行為にも関わらないことを謳った方針が実践されている。	採用	<p>1.7.1 いかなる贈収賄行為にも関わらないことを謳った方針が実践されている。</p> <p><u>ガイダンス注：「FSC の原則と基準を遵守する」あるいは「法令を遵守する」という方針だけではこの要求を満たすのに十分ではない。ただし、直接的に明言されていなくても、コンプライアンス方針書の中で汚職行為の禁止などを謳った特定の外部文書を参照しているというのでもよい、間接的にでもその方針が読み取ればよい。例えば、腐敗防止を含む国連グローバル・コンパクトの10原則に従うという方針もこれに沿うものだと考えられる。こうした方針</u></p>	<p>1.7.1 A policy is implemented that includes a commitment not to offer or receive bribes of any description.</p> <p><u>GuidanceNote: Commitment to comply with FSC principles and criteria or to comply with laws is not sufficient to satisfy this requirement. However, it is possible to refer to specific external document which includes anti-corruption policy—the commitment can be implied indirectly in compliance policy document without clearly stating it directly if it is not clearly written directly. For example, a policy to comply with the ten principles of United</u></p>

		は、組織管理者により明確に認識され、実践されていなければならない。	Nations Global Compact, which includes anti-corruption, is considered to be in line with requirement. Such policies shall be clearly understood and implemented by the management of the organization.
1.7.2 方針は関連する法令を満たすかそれ以上の水準である。	採用	1.7.2 方針は関連する法令を満たすかそれ以上の水準である。	1.7.2 The policy meets or exceeds related legislation.
1.7.3 方針は無償で入手可能*である。	採用	1.7.3 方針は無償で入手可能*である。	1.7.3 The policy is publicly available* at no cost.
1.7.4 贈収賄、強制的行為やその他の汚職行為は起こっていない。	適応	1.7.4 贈収賄、強制的行為やその他の汚職行為は起こっていない。 注：この指標*に不順守が見つかった場合、必ず本基準*に対する重大な不適合となる。	1.7.4 Bribery, coercion and other acts of corruption do not occur. Note: Any non-conformity found in this indicator* results in major non-conformity at the Criterion* level.
1.7.5 汚職が起こった際には是正措置が取られる。	適応	1.7.5 汚職が起こった際は、抜本的な改革がとられており、確実に再発を防止するための仕組みが構築されている。	1.7.5 If corruption does occur, a drastic reformation is made and a reliable system to prevent recurrence of corruption is established.
1.8 <u>組織組織</u> *は、管理区画*の中で FSC の原則*と基準*及び関連する指針や規格を長期*にわたり厳守することを示さなければならない。この公約は無償で入手可能*な文書に含まなければならない。(V4 基準*1.6)			1.8 The Organization* shall* demonstrate a long-term* commitment to adhere to the FSC Principles* and Criteria* in the Management Unit*, and to related FSC Policies and Standards. A statement of this commitment shall* be contained in a publicly available* document made freely available. (C1.6 P&C V4)

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1.8.1 実施権限のある個人により承認された文書化された方針には、FSC の原則*と基準*及び関連する指針や規格に準じた森林*管理を行うという長期*誓約が含まれている。	採用	1.8.1 実施権限のある個人組織経営層により承認された文書化された方針には、FSC の原則*と基準*及び関連する指針や規格に準じた森林*管理を行うという長期*誓約が含まれている。	1.8.1 A written policy, endorsed by an individual <u>the</u> <u>management</u> with authority to implement the policy, includes a long-term* commitment to forest* management practices consistent with FSC Principles* and Criteria* and related Policies and Standards.
1.8.2 方針は無償で入手可能*である。	採用	1.8.2 方針は無償で入手可能*である。	1.8.2 The policy is publicly available* at no cost.

原則 1 附則 A : 適用可能な法律法令*、規則、国際条約に関する最低限のリスト

1. 伐採*に関する法的*権利		
1.1 土地の保有権*と管理権	<ul style="list-style-type: none"> 民法第 92 条(任意規定と異なる慣習)、206 条(所有権の内容)、207 条(土地所有権の範囲)、263 条(共有入会権)、265～269 条(地上権)、及び 294 条(共有の性質を有しない入会権)(明治 29 年法律第 89 号) 不動産登記法(2004 平成 16 年法律第 123 号) 商業登記法(昭和 38 1963 年法律第 125 号) 森林組合法(昭和 53 1978 年法律第 36 号) 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号) 238 条(公有財産) 入会林野等に係る権利関係の近代化の助長に関する法律(昭和 41 1966 年法律第 126 号) 国有林野の管理経営に関する法律(昭和 26 年法律第 246 号) 国有林野の活用に関する法律(昭和 46 1971 年法律第 108 号) 分収林特別措置法(昭和 33 1958 年法律第 57 号) 土地収用法(昭和 26 年法律第 219 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Civil Code (Act No. 89 of 1896) Article 92, 206, 207, 263, 265-269, 294 Real Property Registration Act (Act No. 123 of 2004) Commercial Registration Act (Act No. 125 of 1963) Forestry Cooperative Act (Act No. 36 of 1978) Local Autonomy Act (Act No. 67 of 1947) Article 238 Act Concerning Revision of Rights for Common-Forest Use (Act No. 126 of 1966) Act Concerning Utilization of National Forest Land (Act No. 246 of 1951) Act on Utilization of National Forests (Act No. 108 of 1971) Act on Special Measures concerning Shared Forest (Act No. 57 of 1958) Compulsory Purchase of Land Act (Act No. 219 of 1951)
1.2 コンセSSION(伐採権所有地)ライセンス	該当なし。日本ではコンセSSIONライセンスの発行は行われていない。	Not applicable. No concession license is issued in Japan.
1.3 管理計画*と伐採計画	<ul style="list-style-type: none"> 森林法(昭和26年法律第249号) 第三節 森林・林業基本法(昭和 39 年法律第 161 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Forest Act (Act No. 249 of 1951) Forest and Forestry Basic Act (Act No. 161 of 1964)

	<ul style="list-style-type: none"> 国有林野の管理経営に関する法律(昭和 211946年法律第 246 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Act Concerning Utilization of National Forest Land (Act No. 246 of 1951)
1.4 伐採許可	<ul style="list-style-type: none"> 森林法（昭和 26 年法律第 249 号） 環境影響評価法（平成 9 年 6 月 13 日法律第 81 号） 木材の安定供給の確保に関する特別措置法（平成 8 年法律第 47 号） 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(平成 20 年法律第 32 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Forest Act (Act No. 249 of 1951) Environmental Impact Assessment Act (Act No. 81 of 1997) Act on Special Measures concerning Assurance of Stable Supply of Timber (Act No. 47 of 1996) Act on Special Measures concerning Advancement of Implementation of Forest Thinning, etc. (Act No. 32 of 2008)
2. 税金と手数料		
2.1 ロイヤリティ(ライセンス使用料)と伐採手数料の支払い	該当なし。日本では特に森林管理に関して特別に課せられる税金や手数料はない。	Not applicable. There is no tax or fee specifically levied on forest operation.
2.2 付加価値税とその他の売上税	<ul style="list-style-type: none"> 消費税法（昭和 63 年法律第 108 号） 	<ul style="list-style-type: none"> Consumption Tax Act (Act No. 108 of 1988)
2.3 所得税と法人税	該当なし。日本の 森林管理事業体組織 *には、一般に所得税法、法人税法、消費税法に則り税が課せられるが、林産物や 伐採 、 森林 *管理に関連した特別な税金はない。	Not applicable. Income Tax Act, Corporation Tax Act, and Consumption Tax Act are generally applicable to Japanese forestry organizations, but they do not have provisions specific to forest products and forest * management harvesting activities .
3. 木材伐採		
3.1 木材伐採規制	<ul style="list-style-type: none"> 森林法（昭和 26 年法律第 249 号） 森林法施行令(昭和 26 年政令第 276 号) 森林法施行規則(昭和 26 年農林省令第 54 号) 自然公園法（昭和 32 年法律第 161 号） 	<ul style="list-style-type: none"> Forest Act (Act No. 249 of 1951) Ordinance for Enforcement of Forest Act (Government Ordinance No. 276 of 1946) Forest Act Enforcement Rule (Ordinance of Ministry of

	<ul style="list-style-type: none"> 木材の安定供給の確保に関する特別措置法（平成 8 年法律第 47 号） 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（平成 20 年法律第 32 号） 	<p>Agriculture, Forestry and Fisheries No. 54 of 1946)</p> <ul style="list-style-type: none"> Natural Parks Act (Act No. 161 of 1957) Act on Special Measures concerning Assurance of Stable Supply of Timber (Act No. 47 of 1996) Act on Special Measures concerning Advancement of Implementation of Forest Thinning, etc. (Act No. 32 of 2008)
3.2 保護地区*と保護種	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園法（昭和 32 年法律第 161 号）第 20 条、21 条 自然環境保全法第 12 条、14 条（昭和 47 年法律第 85 号） 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成 14 年法律第 88 号）第 29 条 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）第 1 条・10 条 文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）第 109 条 景観法（平成 16 年法律第 110 号）第 28～35 条 世界遺産条約 ラムサール条約 二国間渡り鳥条約（日米、日露、日豪、日中） 	<ul style="list-style-type: none"> Natural Parks Act (Act No. 161 of 1957) Article 20, 21 Nature Conservation Act (Act No. 85 of 1972) Wildlife Protection and Proper Hunting Act (Act No. 88 of 2002) Article 29 Act on Conservation of Endangered Species and Wild Fauna and Flora (Act 75 of 1992) Article 1 and 10 Act on Protection of Cultural Properties (Act 214 of 1950) Article 109 Landscapes Act (Act 110 of 2004) Article 28-35 Convention Concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage (The World Heritage Convention) Convention on Wetlands of International Importance, especially as Waterfowl Habitat (Ramsar Convention) Convention for the Protection of Migratory Birds (Japan-US, Japan-Russian Federation, Japan-Australia, Japan-China)

3.3 環境に関する要求事項	<ul style="list-style-type: none"> 森林法第 10 条の 2、25 条、及び伐採時の配慮（昭和 26 年法律第 249 号） 森林法施行令別表第三林道の開設に要する費用の項第六号等に規定する林道網の枢要部分となるべき林道の開設または拡張の事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令（平成 20 年 3 月 31 日農林水産省令第 24 号） 生物多様性基本法（平成 202008 年法律第 58 号） 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成 16 年法律第 78 号） 環境影響評価法（平成 9 年法律第 81 号） 農薬取締法（昭和 231948 年法律第 82 号） 河川法（昭和 39 年法律 167 号） 森林の保健機能の増進に関する特別措置法（平成元 1989 年法律第 71 号） 森林病虫害等防除法（昭和 25 年法律 第 53 号） 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成 152003 年法律第 97 号） 林業種苗法（昭和 45 年法律第 89 号） 環境基本法（平成 5 年法律第 91 号） 林道規程（林道規程（昭和 48 年 4 月 1 日付け 48 林野道第 107 号林野庁長官通知） 生物多様性条約（カタヘルナ議定書、名古屋議定書を含む） 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 	<ul style="list-style-type: none"> Forest Act (Act No. 249 of 1951) Article 10-2, Article 25 Ordinance for Enforcement of Forest Act Annex 3 about EIA of forest road (Ordinance of Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries No. 24 of 2008) Basic Act on Biodiversity (Act No. 58 of 2008) Invasive Alien Species Act (Act No. 78 of 2004) Environmental Impact Assessment Act (Act No. 81 of 1997) Agricultural Chemicals Control Act (Act No. 82 of 1948) River Act (Act No. 167 of 1964) Act on Special Measures concerning Improvement of Public Health Function of Forests (Act No. 71 of 1989) Forest Pest Control Act (Act No. 53 of 1950) Act on the Conservation and Sustainable Use of Biological Diversity through Regulations on the Use of Living Modified Organisms (Act No. 97 of 2003) Forestry Seeds and Seedlings Act (Act No. 89 of 1970) Basic Environment Act (Act No. 91 of 1993) Forest Road Rules (Notification of Forestry Agency No. 107, April 1, 1973) Convention on Biological Diversity (including Cartagena Protocol and Nagoya Protocol)
----------------	--	--

3.4 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> • 労働基準法第 75 条（昭和 22 年 4 月 7 日法律第 49 号） • 労働者災害補償保険法第 1 条（昭和 22 年法律第 50 号） • 労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号) 第 1 条、10 条、14 条、24 条、59 条 • 労働安全衛生規則(昭和 47 年労働省令第 32 号) • 農薬取締法(昭和23年法律第82号) • 農薬取締法施行規則(昭和26年農林省令第21号) • 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和32年6月10日法律第167号） • 電離放射線障害防止規則（昭和47年9月30日労働省令第41号） • 東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則（除染電離則）(平成23年厚生労働省令第152号) • ILO 115号(電離放射線からの保護に関する条約) 	<ul style="list-style-type: none"> • Labor Standards Act (Act No. 49 of 1947) Article 75 • Workers' Accident Compensation Insurance Act (Act No. 50 of 1947) Article 1 • Industrial Safety and Health Act (Act No. 57 of 1972) Article 1, 10, 14, 24, 59 • Ordinance on Industrial Safety and Health (Ordinance of the Ministry of Labour No. 32 of September 30, 1972) • Agricultural Chemicals Control Act (Act 82 of 1948) • Ordinance for Enforcement of Agricultural Chemicals Control Act (Ordinance of the Ministry of Agriculture and Forestry No. 21 of 1951) • Act on Prevention of Radiation Disease Due to Radioisotopes, etc. (Act No. 167 of 1957) • Ordinance on Prevention of Ionizing Radiation Hazards (Ministry of Labour Ordinance No. 41 of 1972) • Ordinance on Prevention of Ionizing Radiation in relaing to works etc. to demontaminate the soil etc. contaminated by radioactive materials generated by the Great East Japan Earthquake (Ministry of Health, Labour and Welfare Ordinance No. 152 of 2011) • ILO C115 - Radiation Protection Convention, 1960 (No.115)
3.5 雇用に関する法律要件	<ul style="list-style-type: none"> • 労働基準法（昭和22+1947年法律第49号） • 労働組合法（昭和24年6月1日法律第174号） • 労働契約法(平成19年法律第128号) • 労働安全衛生法（昭和47年法律57号） 	<ul style="list-style-type: none"> • Labor Standards Act (Act No. 49 of 1947) • Labor Union Act (Act No. 174 of 1949) • Labor Contracts Act (Act No. 128 of 2007) • Industrial Safety and Health Act (Act No. 57 of 1972)

	<ul style="list-style-type: none"> ● 最低賃金法（昭和34年法律第137号） ● 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法) - （昭和45+1974年法律113号） ● 障害者基本法（昭和45年法律第84号） ● 障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35+1960年法律第123号） ● 健康保険法（大正11年法律第70号） ● 労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号） ● 雇用保険法（昭和49年法律第106号） ● 労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号） ● 厚生年金保険法（昭和29年法律105号） ● 下請代金支払遅延等防止法（昭和31年法律第120号） ● 個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律（平成13年法律第112号） ● 労働時間等の設定の改善に関する特別措置法（平成4年法律第90号） ● 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成3年法律第76号） ● 会社分割に伴う労働契約の承継等に関する法律(労働契約承継法)（平成12年法律第103号） ● 賃金の支払の確保等に関する法律（昭和51年法律第34号） ● 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律（昭和60年法律第88号） 	<ul style="list-style-type: none"> ● Minimum Wage Act (Act No. 137 of 1959) ● Act on Securing, Etc. of Equal Opportunity and Treatment between Men and Women in Employment (Act No. 113 of 1972) ● Act on Employment Promotion etc. of Persons with Disabilities (Act No. 123 of 1960) ● Health Insurance Act (Act No. 70 of 1922) ● Industrial Accident Compensation Insurance Act (Act No. 50 of 1947) ● Act on the Collection, etc. of Insurance Premiums of Labor Insurance (Act No. 84 of 1969) ● Employees' Pension Insurance Act (Act No. 115 of 1954) ● Act against Delay in Payment of Subcontract Proceeds, Etc. to Subcontractors (Act No. 120 of 1956) ● Act on Promoting the Resolution of Individual Labor-Related Disputes (Act No. 112 of 2001) ● Act on Special Measures for Improvement of Working Hours Arrangements (Act No. 90 of 1992) ● Act on Childcare Leave, Caregiver Leave, and Other Measures for the Welfare of Workers Caring for Children or Other Family Members (Act No. 76 of 1991) ● Act on the Succession to Labor Contracts upon Company Split (Act No. 103 of 2000) ● Act on Ensuring Wage Payment (Act No. 34 of 1976) ● Act for Securing the Proper Operation of Worker
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> • 短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律(パート労働法) (平成5年法律第76号) • 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (平成27年法律第64号) • ILO 29号 (強制労働に関する条約) • ILO 87号 (結社の自由及び団結権の保護に関する条約) • ILO 98号 (団結権及び団体交渉権についての原則の適用に関する条約) • ILO 100号 (同一価値の労働についての男女労働者に対する同一報酬に関する条約) • ILO 105号 (強制労働の廃止に関する条約) (日本未批准*) • ILO 111号 (雇用及び職業についての差別待遇に関する条約) (日本未批准*) • ILO 138号 (就業の最低年齢に関する条約) • ILO 182号 (最悪の形態の児童労働の禁止及び廃絶のための即時行動に関する条約) 	Dispatching Undertakings and Improved Working Conditions for Dispatched Workers (Act No. 88 of 1985) <ul style="list-style-type: none"> • Act on Improvement, etc. of Employment Management for Part-Time Workers (Act No. 76 of June 18, 1993) • Act of Promotion of Women's Participation and Advancement in Workplace (Act No.64 of 2015) • ILO C029 - Forced Labour Convention, 1930 (No. 29) • ILO C087 - Freedom of Association and Protection of the Right to Organise Convention, 1948 (No. 87) • ILO C098 - Right to Organise and Collective Bargaining Convention, 1949 (No. 98) • ILO C100 - Equal Remuneration Convention, 1951 (No. 100) • ILO C105 - Abolition of Forced Labour Convention, 1957 (No. 105) (Not ratified* by Japan) • ILO C111 - Discrimination (Employment and Occupation) Convention, 1958 (No. 111) (Not ratified* by Japan) • ILO C138 - Minimum Age Convention, 1973 (No. 138) • ILO C182 - Worst Forms of Child Labour Convention, 1999 (No. 182)
4. 第三者の権利		
4.1 慣習的な権利*	<ul style="list-style-type: none"> • 法の適用に関する通則法(平成18年法律第78号)第3条 	<ul style="list-style-type: none"> • Act on General Rules for Application of Laws (Act No. 78

	<ul style="list-style-type: none"> 入会林野等に係る権利関係の近代化の助長に関する法律（昭和41年法律第126号）第19条 民法(明治29年法律第89号)第92条(任意規定と異なる慣習)、263条(共有入会権)、294条(共有の性質を有しない入会権) 国有林野の管理経営に関する法律(昭和26年法律第246号)第18～24条(共用林野) 地方自治法（昭和22年4月17日法律第67号）第238条6(旧慣使用权) 	<ul style="list-style-type: none"> of 2006) Article 3 Act on Advancement of Modernization of Rights in Relation to Forests Subject to Rights of Common (Act No. 246 of 1951) Article 19 Civil Code (Act No. 89 of 1896) Article 92, 263, 294 Act Concerning Utilization of National Forest Land (Act No. 246 of 1951) Article 18-24 Local Autonomy Act (Act No. 67 of 1947) Article 238-6
4.2 自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*	<ul style="list-style-type: none"> 1989年の原住民及び種族民条約（ILO 第169号）（日本は未批准*） 先住民族の権利に関する国際連合宣言(2007) 生物多様性条約 COP10 名古屋議定書(2010) 	<ul style="list-style-type: none"> ILO C169 - Indigenous and Tribal Peoples Convention, 1989 (No. 169) (Not ratified* by Japan) United Nations Declarations on the Rights of Indigenous Peoples (2007) Convention on Biological Diversity COP10 Nagoya Protocol(2010)
4.3 先住民族*の権利	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第一章総則、第109条、134条 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(平成9年法律第52号) 二風谷ダム裁判判決（札幌地方裁判所 1997年3月） 国際人権規約（1966年）共通第一条、市民的及び政治的権利に関する国際規約（B規約）第26、27条 人種差別撤廃条約（1969年）先住民族に関する一般的勧告 23(1997年・CERD) 	<ul style="list-style-type: none"> International Covenants on Human Rights Act on Protection of Cultural Properties (Act 214 of 1950) Chapter 1 General Provisions, Article 109, 134 Act on the Promotion of Ainu Culture, and Dissemination and Enlightenment of Knowledge about Ainu Tradition, etc. (Act No. 52 of 1997) The Nibutani Dam Judgement (Sapporo District Court, March 1997)

	<ul style="list-style-type: none"> 1989 年の原住民及び種族民条約 (ILO 第 169 号) (日本未批准*) 先住民族の権利に関する国際連合宣言(2007) 	<ul style="list-style-type: none"> International Bill of Human Rights (1966) Article 1, International Covenant on Civil and Political Rights Article 26, 27 International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination (1969) General Recommendation No. 23: Indigenous Peoples (1997, CERD) Indigenous and Tribal Peoples Convention, 1989 (ILO No. 169) (Not ratified* by Japan) The United Nations Declaration on the Rights of Indigenous Peoples (2007)
5. 貿易と輸送 注： 本セクションは森林* 管理 施業だけではなく、木材の加工や取引活動も含む。		
5.1 樹種、伐採量、等級の分類	<ul style="list-style-type: none"> 商法第 526 条 (明治 32 年法律第 48 号) 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律 (昭和 25 年法律第 175 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Commercial Code (Act No. 48 of 1899) Article 526 Act on Standardization and Proper Labeling of Agricultural and Forest Products (Act No. 175 of 1950)
5.2 貿易と輸送	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送法(昭和 26 年法律第 183 号) 貨物自動車運送事業法 (平成元年法律 8 3 号) 貨物自動車運送事業輸送安全規則 (平成 2 年 7 月 30 日運輸省令第 22 号) 関税法 (昭和 29 年法律第 61 号) 海上運送法 (昭和 24 年法律第 187 号) 輸入木材検疫要綱 (昭和 26 年 11 月 22 日法律第 1843 号) 	<ul style="list-style-type: none"> Road Transportation Act (Act No. 183 of 1951) Customs Act (Act No. 61 of 1954) Motor Truck Transportation Business Act (Act No. 83 of 1989) Motor Truck Transportation Business Safety Regulation (Ministry of Transport Ordinance No. 22 of 1990) Consigned Freight Forwarding Business Act Outline for Quarantine of Imported Wood

	<ul style="list-style-type: none"> ワシントン条約 	<ul style="list-style-type: none"> Convention on International Trade of Endangered Flora and Fauna
5.3 オフショア貿易と移転価格操作	<ul style="list-style-type: none"> 関税法（昭和 29 年 4 月 2 日法律第 61 号） 外国為替及び外国貿易法（昭和 24 年 12 月 1 日法律第 228 号） 租税特別措置法(昭和 32 年法律第 26 号)66 条の 4、68 条の 88 	<ul style="list-style-type: none"> Customs Act (Act No. 61 of 1954) Foreign Exchange and Foreign Trade Act (Act No. 228 of 1949) Act on Special Measures Concerning Taxation (Act No. 26 of 1957)
5.4 関税規制	<ul style="list-style-type: none"> 関税法（昭和 29 年 4 月 2 日法律第 61 号） 	<ul style="list-style-type: none"> Customs Act (Act No. 61 of 1954)
5.5 ワシントン条約	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）（我が国は 1980 年 11 月 4 日に締結国） 外国為替及び外国貿易法（昭和 24 年 12 月 1 日法律第 228 号）第 55 条の 10 輸出貿易管理令（昭和 24 年 12 月 1 日政令第 378 号） 絶滅のおそれのある野生動植物等の輸出承認について（輸出注意事項 24 第 14(23.4.2) 	<ul style="list-style-type: none"> Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora Foreign Exchange and Foreign Trade Act (Act No. 228 of 1949) Export Trade Control Order (Cabinet Order No. 378 of 1949) Article 2
6. デューデリジェンス/デューケア(義務的注意)		
6.1 デューデリジェンスやデューケアの手續	<p>該当なし。国際的なガイドラインとしては、「ビジネスと人権に関する国連指導原則(2011)参照。</p> <p><u>合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 48 号）</u></p>	<p>Not applicable.—For international guideline on due diligence, see “Guiding Principles on Business and Human Rights (2011)”.</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>Act on Promotion of Distribution and Use of Legally Harvested Wood etc. (Act No. 48 of 2016)</u>
7. 生態系サービス*		

	<ul style="list-style-type: none"> • 森林法(昭和 26 年法律第 249 号) • 自然公園法(昭和 32 年法律第 161 号) • 砂防法 (明治 30 年法律第 29 号) • 地すべり等防止法(昭和 33 年法律第 30 号) • 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律 (昭和 44 年法律第 57 号) • 民法(明治29年法律第89号)第92条(任意規定と異なる慣習)、263条(共有入会権)、294条(共有の性質を有しない入会権) • 国有林野の管理経営に関する法律(昭和26年法律第246号)第18～24条(共用林野) • 地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 238 条 6 (旧慣使用权) • 入会林野等に係る権利関係の近代化の助長に関する法律 (1966 年法律 第 126 号) • 山村振興法(1965 年法律 第 64 号) • 森林の保健機能の増進に関する特別措置法(1989 年法律 第 71 号) • 自然再生推進法 (平成 14 年法律第 148 号) • 水循環基本法(平成 26 年法律第 16 号) • 特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法 (平成 6 年法律第 9 号) • 漁業法 (昭和 24 年法律第 267 号) • 気候変動枠組条約 	<ul style="list-style-type: none"> • Forest Act (Act No. 249 of 1951) • Natural Parks Act (Act No. 161 of 1957) • Erosion Control Act (Act No. 29 of 1897) • Landslide Prevention Act (Act No. 30 of 1958) • Act on Prevention of Disasters Caused by Steep Slope Failure (Act No. 57 of 1969) • Civil Code (Act No. 89 of 1896) Article 92, 263, 294 • Act Concerning Utilization of National Forest Land (Act No. 246 of 1951) Article 18-24 • Local Autonomy Act (Act No. 67 of 1947) Article 238-6 • Act Concerning Revision of Rights for Common-Forest Use (Act No. 126 of 1966) • Mountain Villages Development Act (Act No. 64 of 1965) • Act on Special Measures concerning Improvement of Public Health Function of Forests (Act No. 71 of 1989) • Act on the Promotion of Nature Restoration (Act No. 148 of 2002) • Basic Act on Water Cycle (Act No.16 of 2014) • Act on Special Measures concerning Water Quality Conservation at Water Resources Area in Order to Prevent the Specified Difficulties in Water Utilization (Act No. 9 of 1994) • Fishery Act (Act No. 267 of 1949)
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> United Nations Framework Convention on Climate Change
--	--	---

<p>原則 2: 労働者*の権利と労働環境 組織*は、労働者*の社会的、経済的福利を維持または向上しなければならない。(新規)</p> <p><u>注：労働者には、組織が直接雇用する者のみならず、認証範囲内の森林管理区画で施業を行う請負業者なども含まれる。</u></p>			<p>Principle 2: WORKERS’* RIGHTS AND EMPLOYMENT CONDITIONS The Organization* shall* maintain or enhance the social and economic wellbeing of workers*. (new)</p> <p><u>Note: Workers not only includes the people who are directly employed by the Organization, but also subcontractors who conduct forest management operation within the forest management unit under the scope of the certification.</u></p>
<p>2.1 組織*は、国際労働機関（ILO）中核的労働基準を構成する8つの条約に基づき、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言（1998年）」に定められる労働の原則と権利を尊重*しなければならない。(V4基準*4.3)</p>			<p>2.1 The Organization* shall* uphold* the principles and rights at work as defined in the ILO Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work (1998) based on the eight ILO Core Labour Conventions. (C4.3 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGIへの対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

2.1.1 雇用慣行や労働者*への雇用条件は、労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言(1998年)において定義されている8つのILO中核的労働条約に基づく原則及び権利に準じている、または尊重*している。	適応	2.1.1 雇用慣行や雇用条件は、ILOの中核的労働基準を満たしており、結社の自由及び団体交渉権が保障され、強制労働、児童労働、雇用及び職業における差別等が排除されている。	2.1.1 Employment practices and conditions conform to the eight ILO Core Labour Conventions. This includes upholding* freedom of association and collective bargaining rights and elimination of forced labor, child labor, discrimination in respect of employment and occupation.
2.1.2 労働者*は自らの選択により労働組織を設立または同組織に加入することができ、当該労働組織の規則にのみ制約を受ける。	採用	2.1.2 労働者*は自らの選択により労働組織を設立または同組織に加入することができ、当該労働組織の規則にのみ制約を受ける。	2.1.2 Workers* are able to establish or join labour Employment practices and conditions organizations of their own choosing subject only to the rules of the labour organization concerned.
2.1.3 公式及び非公式な労働組合*との団体交渉において合意された事項が実施されている。	採用適応	2.1.3 公式及び非公式な労働組合* <u>(非公式なものも含む)</u> との団体交渉が <u>あった場合、交渉において合意された事項が実施されている。</u>	2.1.3 Agreements are implemented resulting from collective bargaining with formal and informal workers organizations* <u>(including informal ones), if there has been such a bargaining.</u>
—	追加	2.1.4 ボランティア*や研修生（見習い）が職員同等の就労時間及び業務に従事している場合、本人の希望に応じて正式に雇用する機会を与えている。	2.1.4 When volunteers* and trainees work in the same manner as permanent employees in terms of time and work duty, they are given the opportunity for formal employment in accordance with their preference.
2.2 組織*は、雇用慣行、教育訓練の機会、契約の締結、協議*過程、事業活動において男女平等*を推進しなければならない。(新規)			2.2 The Organization* shall* promote gender equality* in employment practices, training opportunities, awarding of contracts, processes of engagement* and management activities. (new)

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
2.2.1 雇用、教育訓練機会、契約発注、業務提携、管理活動において男女平等を推進し、男女差別を防ぐ仕組みが機能している。	適応	<p>2.2.1 雇用、教育訓練機会、契約発注、業務提携、管理活動において男女平等*を推進し、男女差別を防ぐ仕組みが機能している。これには、以下のものを含むが、これに限らない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 雇用や昇進の機会は男女同じ条件で開かれており、女性はすべてのレベルの雇用に積極的に参画できるように奨励されている。 2) 女性が行うことが多い作業(苗畑、<u>育造林</u>、非木材林産物*の収穫、計量、梱包など)は、男性が行うことが多い作業と同様の水準で教育訓練及び安全衛生プログラムが適用されている。 3) 同じ仕事をしている男女には同一の賃金が支払われている。 4) 母親への産前産後休業や育児休業は労働基準法に則り与えられている。 5) 育児介護休業法に従い、父親は不利益を被ることなしに育児休業が利用可能である。 6) 妊娠中や子育て中の労働者*<u>にやさしい仕事の組みの整備に努めているが働き続けるための仕組みが設けられ、利用されている。</u>(例：フレックスタイムや在宅勤務の導入、体力的 	<p>2.2.1 Systems are implemented that promote gender equality* and prevent gender discrimination in employment practices, training opportunities, awarding of contracts, processes of engagement* and management activities, including but not limited to the following measures:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Opportunities for employment and promotion are open to both women and men under the same conditions, and women are encouraged to participate actively in all levels of employment. 2) Work typically done by women (nurseries, silviculture*, NTFP* harvesting, weighing, packing, etc.) is included in training and health & safety programs to the same extent as work typically carried out by men. 3) Women and men are paid the same wage when they do the same work. 4) Maternity leave and childcare leave is provided in accordance with the Labor Standards Act and Childcare and Caregiver Leave Act.

		<p>な負担の少ない代わりの仕事の割り当てなど)</p> <p>7) 会議、管理委員会、及び意思決定の場には男女が含まれるように組織され、男女共に積極的に参加するよう働きかけられ、平等な機会が与えられてよう働きかけられている。</p> <p>8) セクハラやマタニティ・ハラスメント、性別、配偶者の有無、子供の有無、性的指向に基づく差別に関して関係機関と協力し、プライバシーに配慮しながら公平に処理、解決する効果的な仕組みがある。</p> <p><u>ガイドライン：中小中規模の組織では、労働者に自治体の相談窓口を知らせていけばよい。</u></p>	<p>5) In accordance to Childcare and Caregiver Leave Act, paternity leave is available and can be used without any penalty.</p> <p>6) <u>Organization* strives to develop a Ssystem friendly to allow-pregnant workers* and workers* with childrento continue work during-pregnancy and child care is established and implemented.</u> (e.g. introducing flexible working hours and home-working, and allocation of physically less intensive work)</p> <p>7) <u>Men and women are encouraged and given equal opportunity to participate in Mmeetings, management committees and decision-making forums-are organized to include women and men, and to facilitate the active participation of both.</u></p> <p>8) Confidential and effective mechanisms exist for handling and resolving fairly cases of sexual harassment, maternity harassment, and discrimination based on gender, marital status, parenthood or sexual orientation in cooperation with relevant organizations.</p>
--	--	---	--

			Guideline: For small and middle scale organizations, workers are informed of the consultation services of the local authority.
2.2.2 雇用の機会は男女同じ条件で開かれており、女性はすべてのレベルの雇用に積極的に参画できるように奨励されている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 1)として適応。	
2.2.3 女性が行うことが多い作業(苗畑、 育造 林、非木材林産物*の収穫、計量、梱包など)は、男性が行うことが多い作業と同様の水準で教育訓練及び安全衛生プログラムの対象となっている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 2)として適応。	
2.2.4 同じ仕事をしている男女には同一の賃金が支払われている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 3)として適応。	
2.2.5 女性が安全に賃金を受領できるように、互いに合意された方法(銀行直接振込み、学費の直接支払いなど)で賃金の支払いが行なわれている。	棄却	<棄却理由> この指標は女性の社会的地位が低い国等で女性の稼いだお金を男性が不当にとりあげ、管理することを防ぐ目的で書かれている。日本ではこのようなことはあまりなく、元々銀行振込での支払いが一般的なので不要と考える。	
2.2.6 産後休業は出産から少なくとも 6 週間は与えられている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 4)として適応。産後休業だけではなく、産前産後休業や育児休業も含めた。また、期間を特定せず、労働基準法を参照した。	
2.2.7 父親に育児休暇が与えられ、それに伴う不利益はこうむらない。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 5)として適応。	

2.2.8 会議、管理委員会、及び意思決定の場合は男女が含まれるように組織され、男女共に積極的に参加するよう働きかけられている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 7)として適応。	
2.2.9 セクハラや、性別、配偶者の有無、子供の有無、性的指向に基づく差別の事例を内密かつ効果的に報告し、問題を撤廃させる方法が存在している。	棄却 (適応)	<棄却理由> 指標 2.2.1 の 8)として適応。	

2.3 組織*は、労働安全衛生上の危険から労働者*を守るために安全衛生活動を実施しなければならない。この活動は森林管理の規模*、強度*と、リスクに応じるとともに、「林業労働における安全衛生に関する ILO 行動規範」の推奨事項の水準以上でなければならない。(V4 基準*4.2)		2.3 The Organization* shall* implement health and safety practices to protect workers* from occupational safety and health hazards. These practices shall*, proportionate to scale*, intensity* and risk* of management activities, meet or exceed the recommendations of the ILO Code of Practice on Safety and Health in Forestry Work. (C4.2 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
2.3.1 林業労働における安全衛生に関する ILO 行動規範を満たすか、それを超えるような安全衛生活動が企画され、実施されている。	適応	2.3.1a 安全衛生の責任者が明確に定められている。 2.3.1b 安全衛生に関する法規制を把握しており、規制機関と連携し、労働者*へのそうした情報が周知されている。 2.3.1c 作業内容の危険度（リスク*）に応じ	2.3.1a Responsible person for health and safety is assigned. 2.3.1b The responsible person understands laws and regulations on health and safety, and provides workers* with such information in cooperation with relevant regulatory organizations.

		<p>て、安全衛生に関する法令を満たすか、それを超えるような方針及び規定またはマニュアルをもっており、実施されている。</p> <p>注：これには、ハチの抗体検査、聴力を含む健康診断、救急用具の現場への携帯、緊急用通信手段の確保、熱中症の予防対策、リスクアセスメントや安全講習・研修の実施などが含まれる。</p>	<p>2.3.1c The organization has a policy, provision or manual that meets or exceeds requirements of laws and regulations on health and safety, depending on the risk* of the work.</p> <p>Note: This includes Bee antibody test, medical checkup including hearing, carrying portable emergency kit to the field, ensuring emergency communication means, prevention of heat stroke, and implementation of risk* assessment and safety courses and training.</p>
2.3.2 労働者*が作業種に適した安全装備を持っている。	適応	<p>2.3.2a 請負業者、ボランティア*、研修生を含めた森林管理作業に携わる全ての者は作業種に適し、定期的に整備された安全装備を使っている。</p> <p>装備が組織*により支給されていない場合、必要な安全装備を購入するための手当がある。</p> <p>注：伐採に関しては保護帽、安全靴（先芯の入っているもの）、防振手袋、保護眼鏡、防護ズボン、防音保護具（イヤーマフなど）が推奨される。</p> <p>放射能汚染の危険性が高い地域では、マスク等の着用により、ほこりの吸い込みなどによる労働者の内部被ばくが適切に防護されている。</p> <p>2.3.2b 大規模組織*は、メーカーと協力して風土に適した安全装備の開発を行うことが望ましい。</p>	<p>2.3.2a Every person engaged in forest management operation including subcontractors, volunteers* and trainees uses protective equipment that is regularly maintained and appropriate to their tasks. When the equipment is not provided by The Organization*, allowance is provided for purchasing the necessary personal protective equipment.</p> <p>Note: For harvesting work, protective hat, safety shoes (or Tabi shoes), (anti-vibration) globes, goggles, protective clothes, sound-proof equipment such as earmuff are recommended. In areas with high risk* of radioactive contamination, workers* are properly protected from internal exposure from dust suction etc. by wearing masks etc.</p>

			2.3.2b Large scale organizations* should develop safety equipment suitable to the locality in cooperation with manufacturers.
2.3.3 安全装備の装着が義務付けられている。	適応	<p>2.3.3 組織*は、請負業者、ボランティア*、研修生を含めた<u>労働者同様の</u>森林管理作業に携わる<u>全ての者に対しを対象に</u>、ILO の定める基準またはそれと同等の安全<u>性をもつ</u>装備<u>のを装着を義務付けている</u>もっている。</p> <p><u>注： ILO の基準に沿った入手可能な安全装備が現場の状況に合わない場合、より適切で安全と考えられる安全装備を使うことができる。</u></p>	<p>2.3.3 <u>The Organization*</u> ensures that <u>E</u>very person engaged in forest management operation <u>equivalent to workers</u> including subcontractors, volunteers* and trainees uses personal protective equipment that meets or exceeds the standard specified by the ILO Code of Practice on Safty and Health in Forestry.</p> <p><u>Note: When the protective equipment in line with the ILO Code does not suit the local conditions, the Organization* can use more suitable equipment that is considered safer.</u></p>
	追加	2.3.4 行われる施業について、該当する保険（労働災害保険、ボランティア保険など）を完全に適用している。	2.3.4 All forest operations conducted are covered by applicable insurances (e.g. Industrial Accident Compensation Insurance, volunteer insurance).
2.3.4 事故の頻度、事故により失われた労働時間を含む安全衛生活動が記録されている。	適応	2.3.5 <u>事故林業労働災害</u> の記録は保持され、更新されている。これには、 <u>労働災害事故</u> の起きた状況、事故の原因、休業日数、労働災害保険制度の利用記録を含む。	2.3.5 <u>Forestry work-related A</u> ccident records are kept and updated, including the situation of the accident occurred, cause, number of work days of missed work, and the use of occupational accident insurance system.

	追加	2.3.6 労働災害*に伴う休業の際の手当では支給されている。	2.3.6 Allowance for leave due to occupational accidents* is paid.
2.3.5 国内林業の平均水準と比較して事故の頻度と重篤性は常に低い。	適応	2.3.7 国内林業の平均水準と比較して労働災害事故の頻度と重篤性は常に低い。 注：国内林業の平均水準との比較には、厚生労働省の労働災害*統計の度数率及び強度率を用いること。	2.3.7 The frequency and severity of occupational accidents are consistently lower than the compared-to national forest* industry averages. Note: For the comparison with the national forest industry average, the data of the accident severity rate and frequency rate in the occupational accident* statistics provided by the Ministry of Health, Labour and Welfare shall be used.
	追加	2.3.8 組織の安全衛生レベルは継続的に向上しており、労働災害事故はないか、あるいは減少傾向にある。 注：これは、必ずしも常に前年よりも労働災害数が少なくなければならないということではない。減少の傾向は、労働災害の数のみならず重篤性も考慮し、5年の期間で安全性の向上を確認すること。	2.3.8 The level of health and safety is continually improving and the number of occupational accident is shows decreasing trend from the past, if there has been an accident at all. Note: This does not mean that the number of accidents always need to be smaller than the previous year. The decreasing-improving trend of safety level shall be verified for the period of five years not only based on number of accidents but also taking their severity/seriousness into consideration.
2.3.6 重大事故が発生した場合は、必要に応じて安全衛生活動が見直されている。	採用	2.3.9 重大事故が発生した場合は、必要に応じて安全衛生活動が見直されている。	2.3.9 The health and safety practices are reviewed and revised as necessary after major accidents*.

		<p><u>注：ここでは重大事故とは、死亡事故および休業 4 日以上</u><u>の事故について言うものとする。</u></p>	<p><u>Note: Here, major accident refers to fatal accident and an accident resulting in leave of 4 days or more.</u></p>
	追加	<p>2.3.10 現場の作業者と確認しながら安全衛生を改善していく仕組みがある。</p>	<p>2.3.10 A system is in place to improve health and safety by checking with the people working in the field.</p>
	追加	<p>2.3.11 <u>労働者*</u>同様の林業作業に従事するボランティア*や研修生にもは労働者*同様の安全衛生環境を整え、安全衛生面での徹底した監督を行っている。</p>	<p>2.3.11 Volunteers* and trainees <u>engaged in forestry work equivalent to workers*</u> are provided with the health and safety environment of the same level as workers*, and they are thoroughly supervised on health and safety.</p>
	追加	<p><u>2.3.12 組織*は、放射能汚染リスクが高いと疑われる地域においては、入手可能な最も有効な最新情報*に基づき、利害関係者*と協議し、森林*の放射能汚染に関連する労働者*の安全衛生を保障している。</u></p> <p><u>注：放射能汚染のリスクの高い地域とは、国際放射線防護委員会（ICRP）による 1990 年勧告による公衆の被ばくの線量限度である、実効線量で年間 1 ミリシーベルトを超える地域とする。</u></p>	<p><u>2.1.2 Based on the best available latest information*, the Organization* engages with stakeholders to ensure the safety and health of workers* with regards to radiation contamination in the area suspective of high risk of radioactive contamination.</u></p> <p><u>Note: The area suspective of high risk of radioactive contamination means the areas with more than the effective dose of 1 mSv per year, which is the dose limit for the public according to 1990 Recommendation by the International Commission on Radiological Protection (ICRP).</u></p>

福島第一原子力発電所の事故による放射能漏れの影響を鑑み、FSC ジャパンでは上記基準*2.3 に放射能汚染に関連する労働者*の安全衛生についての指標を追加するべく議論を行ってきた。しかしこの点に関しては利害関係者*や専門家の間でも意見が分かれ、結論に達することが難しかったため、提案された指標やそれらに対する見解・根拠を整理して以下に記載している。利害関係者*の方々にはこれらの経緯と結果も踏まえて、ご意見をいただきたい。なお、放射能に関連する指標としては、ここで提案されている 2.3.12 の他、指標 2.3.2 では安全装備、指標 8.5.1 でも販売する木材の放射性について言及している。

なお、指標案として示されている A, B, C の案は、対立するものではなく、むしろ異なる観点から提案されたものである。よって、そのどれか 1 つを選ぶようにはなっていない。各案について、あるいは興味のある案に絞って意見をいただきたい。

FSC ジャパンはまた、放射能関連の利害関係者*や専門家を集め、本パブリックコンサルテーション中のみならず、その後の規格策定プロセス期間中、および及び規格策定後も結論に達するまで継続してこの議論を行っていくこととする。このプロセスへの参加を希望する方は、FSC ジャパン指針・規格コーディネーター三柴(冨村)ちさと (ctomimura@forsta.or.jp)までご連絡いただきたい。

In light of the accident of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant and the following radiation leakage, FSC Japan has been engaged in discussion to add an indicator* for workers*' health and safety related to the radioactive contamination to the Criterion* 2.3. However, opinions on this issue vary widely among stakeholders* and experts, and it was difficult to reach a conclusion. As such, proposed indicators* are provided below, together with opinions and rationale for them. We would like to invite stakeholders* to provide comments considering the discussion provided. Besides 2.3.12 proposed below, radioactivity is also mentioned in the Indicator* 2.3.2 in relation to safety equipment, and the indicator* 8.5.1 with regards to radioactivity of wood to be sold.

The indicator* A, B, C proposed below are not necessarily in conflict with one another; they have been rather proposed from different perspective. Thus it is not designed to choose one of them. Please provide opinions on each indicator* or indicators* that interest you.

FSC Japan plans to continue this discussion with stakeholders* and experts on radioactivity issue, not only during this public consultation period, but also throughout the subsequent standards development process as well as after the standard development until the conclusion is reached.

If you would like to participate in this process, please contact the FSC Japan Policy and Standards Coordinator Chisato Mishiba Tomimura (ctomimura@forsta.or.jp).

国内指標案 (2.3.12) Proposed national indicator (2.3.12)	指標案の根拠 Rationale	指標案に対する見解・意見 Pros and cons
<p>A. 森林*の放射能汚染に関連する労働者*の安全衛生については、国際放射線防護委員会 (ICRP) による1990年勧告(*1)に従い、労働者*の被ばくが公衆の被ばく(*2)における線量限度、実効線量で年間1ミリシーベルトを超えないよう保証されている。</p> <p>A. For the health and safety of workers* in relation to the radioactive contamination of forests, it is ensured that radiation exposure of workers* do not exceed 1 mSv per year in the effective dose, which is the annual dose limit for the general public (*2), in accordance with 1990 Recommendations of the International Commission on Radiological Protection (ICRP) (*1).</p>	<p>*1 厚生労働省の「除染業務に従事する労働者*の放射線障害防止のためのガイドライン」の中でも、除染等事業者以外の事業者に対し、作業による実効線量が1 mSv/年を超えることのないよう規定されている。しかしICRPの公衆被ばくにおける線量限度は作業による被ばくに限定せず、個人が被ばくする総線量で規定している点でより高い安全衛生基準と言える。</p> <p>*1 "Guidelines for preventing radiation hazards for workers* engaged in decontamination works" issued by the Ministry of Health, Labour and Welfare also provides that effective dose from the work shall not exceed 1 mSv/y for operators other than those engaged in decontamination business. ICRP's dose limit for the general public sets a higher standard of health and safety than the regulation, in that it does not limit its scope to the exposure from the work,</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●—この指標*は国の法令ではなく国際的な基準を直接参照している点で、国際的信用度も高く、国際認証のFSCらしい。 ●—The indicator* is suitable to FSC as an international certification scheme in that it refers to the international standard, which has higher global credibility, rather than the national legislation. ●—管理してきた森が放射能に汚染されてしまったが放置はできず、森林を適切に管理するため施業を行ってほしいという要望もある。あまり基準を厳しくし過ぎるとそうした声を無視してしまうことになり、認証の普及を妨げる。 ●—There are people who cannot just abandon their forests that have been radioactively contaminated, but want to continue forestry operations to properly manage them. Setting too high a standard will neglect such voices and disturbs promotion of the certification.

	<p>but sets the standard in the total dose of exposure of an individual.</p> <p>*2 林業労働者*は被ばくを余儀なくされている一般人であり、ある程度の被ばくを前提とする作業を行って報酬を得ている除染作業員ではない。従って、公衆被ばくにおける線量限度を適用するのが適当である。</p> <p>*2 A forestry worker is a general public that are put in a situation that they cannot avoid radiation exposure, not a decontamination worker who receives reward for a work that assumes a certain degree of exposure. Thus it is suitable to apply the dose limit for the general public to them.</p>	<p>●——林業を継続していくというのを前提すると、そのために被ばく量を許容するという方向になる。放射性物質は自然に拡散していくが、人間の手で拡散させるのはできるだけ防ぐべき。森林は放射性セシウムの蓄積地になっているが、こうした土地では、無理に林業に固執するのではなく、むしろ別の利用を考えるべきではないか。</p> <p>●——Assumption of continuing forestry leads to the discussion of accepting radiation exposure. The radioactive materials spread naturally, but spreading them by human activities should be prevented as much as possible. Forests have become the storage of radioactive cesium. Such land should be used for different purpose instead of persisting in forestry as before.</p>
<p>B. 労働者*は、平均空間線量率が0.11μSv/h(*3)を超えない地域で作業している。</p> <p>B. Workers* work in the area where the average air dose rate does not exceed 0.11μSv/h (*3):</p>	<p>*3 A 案の実効線量で年間1ミリシーベルトというのは順守の確認が難しい。年間1ミリシーベルトは単純計算で0.11μSv/hなので、平均空間線量率が0.11μSv/hを超えない地域で作業されていることを求めるほうが実用的。</p> <p>*3 Checking compliance will be challenging. 1 mSv/y is equivalent to 0.11μSv/h. It is more practical to require that forestry operations are only conducted in areas where the</p>	<p>●——A 案の実効線量で年間1ミリシーベルトというのは順守の確認が難しい。年間1ミリシーベルトは単純計算で0.11μSv/hなので、平均空間線量率が0.11μSv/hを超えない地域で作業されていることを求めるほうが実用的。</p> <p>●——Checking compliance to the proposed indicator A will be challenging. 1 mSv/y is equivalent to 0.11μSv/h. It is more practical to require that forestry operations are only conducted in areas where the average air dose rate does not exceed 0.11μSv/h.</p>

	average air dose rate does not exceed 0.11μSv/h.	
<p>C. 労働者*は、土壌や樹木表面の放射性セシウム汚染密度が0.4 Bq/cm²(*4)を超えないところで作業されている。</p> <p>C. Workers* work in areas where the radioactive Cesium contamination density on the soil and tree surface do not exceed 0.4 Bq/cm²(*4).</p>	<p>*4 実効線量には内部被ばくも含まれるが、これを測定することは難しいので空气中濃度や土壌・樹皮の測定によっても内部被ばくを避けることを要求すべき。しかし、表面汚染についてはクリアランスレベルが定められていないため、自主基準を定める必要がある。電離放射線障害防止規則には、表面汚染密度限度(40Bq/cm²)と放射線管理区域の指定限度(4Bq/cm²)や持ちだし時の限度(同)、退出時の汚染限度(同)などが定められている。しかし、これを一般の生活環境にあてはめるのは問題があり、実際は百分の一で管理されているので、表面汚染密度限度(40Bq/cm²)の百分の一を自主基準として提案する。電離則は労働安全衛生法で管理区域を決めていることから、これは、木材の自主基準を定めているというよりも、労働環境基準に合わせたものである。</p> <p>*4 The effective radiation dose includes internal radiation exposure, which is difficult to measure. Thus it is desirable to require preventing internal exposure by monitoring concentration of radioactive materials in the air as well as in soil and bark. However, as the clearance level in surface contamination</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●—自主基準の設定の仕方が曖昧であり、科学的な根拠に乏しい。 ●—The way to define the voluntary standard is rather obscure and lacks scientific basis ●—森林の中の放射能性物質の分布はかなり不均質で、谷や水が集まる場所では密度が高く、尾根などでは低いなどのばらつきがある。空間線量率でもそうだが、どこまで細かく測定するかが問題となるが、細かすぎると実施は難しくなる。 ●—The distribution of radioactive materials within a forest is variable. For example, the concentration is high in valley and where water gathers, while it is low in ridges. It is a matter of how detailed the measurement should be conducted, but if it is too detailed, implementation will be difficult.

	<p>has not been established, a voluntary standard needs to be set. Ordinance on Prevention of Ionizing Radiation Hazards provides the surface contamination density limit (40Bq/cm²), the limit for designation of radiation-controlled area (4Bq/cm²), the contamination density limit to take things out of the controlled area (the same), as well as the limit for radiation workers* to go out of the area (the same). Yet this cannot be applied to the living conditions of the general public. In practice, the radioactivity in lives of the general public is managed in 1/100, thus 1/100 of the surface contamination density limit (40Bq/cm²) is proposed as the voluntary standard here.—</p>	
--	--	--

<p>2.4 組織*は、林業界での最低水準の賃金あるいは合意された賃金や生活賃金*があり、それらが<u>法律上の法的*な</u>最低賃金を超える場合は、それ以上を支払わなければならない。このような賃金の指標が存在しない場合は、労働者*との協議*を通じ*、生活賃金*を決める体系を作らなければならない。(新規)</p>	<p>2.4 The Organization* shall* pay wages that meet or exceed minimum forest* industry standards or other recognized forest* industry wage agreements or living wages*, where these are higher than the legal* minimum wages. When none of these exist, The Organization* shall* through engagement*</p>
--	--

			with workers* develop mechanisms for determining living wages*. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
2.4.1 法的*な最低賃金が存在する場合、組織*により支払われる賃金はいかなる状況でもこれ以上である。	棄却 (適応)	<p><棄却理由></p> <p>日本では都道府県が最低賃金を定めており、これを IGI 2.4.2 の要素に加え、下記日本国内指標 2.4.1 の 1)とした。</p>	
<p>2.4.2 支払われる賃金は次のもの以上である：</p> <p>1) 林業界における最低水準の賃金</p> <p>2) その他認められる林業界の賃金協定</p> <p>3) 法的*な最低賃金を超える生活賃金*</p>	適応	<p>2.4.1 支払われる賃金は次のもの以上である。</p> <p>1) 都道府県の定める最低賃金</p> <p>2) 該当する地方公共団体の公契約条例</p> <p>3) 法的*な最低賃金を超える生活賃金*</p> <p>注：作業に必要な経費を労働者*が負担する場合は、賃金からその必要経費を差し引いた実質賃金が考慮される。</p>	<p>2.4.1 Wages paid meet or exceed:</p> <p>1) Minimum wage established by the relevant prefecture; or</p> <p>2) Public contract regulations established by the relevant local authority; or</p> <p>3) Living wages* that are higher than legal* minimum wages.</p> <p>Note: In case where workers* bear expense necessary to carry out the work, the net income after deducting the expense from <u>the</u> paid wage shall be considered.</p>

2.4.3 最低賃金の指標が存在しない場合は、労働者*及び/または公式及び非公式な労働組合*の慣習に合った*協議*を通じ、賃金を決定している。	棄却	<棄却理由> 日本では都道府県が最低賃金を定めているため、本指標が該当しない。	
2.4.4 賃金、給与、契約報酬は遅延なく支払われている。	採用	2.4.2 賃金、給与、契約報酬は遅延なく支払われている。	2.4.2 Wages, salaries and contracts are paid on time.

2.5 組織*は、管理計画*に従ったすべての管理活動を安全で効果的に実施するために、労働者*が仕事に応じた教育訓練と管理者の監督を受けていることを示さなければならない。(V4 基準*7.3)		2.5 The Organization* shall* demonstrate that workers* have job- specific training and supervision to safely and effectively implement the Management Plan* and all management activities. (C7.3 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
2.5.1 労働者*が管理計画*と管理活動の遂行に安全で効果的に貢献するために、附則 B に則した仕事内容に応じた教育訓練と監督を受けている。	適応	<p>2.5.1 以下の該当する項目が適切に行われるよう、関連する作業の責任者は教育訓練を受けなければならない。</p> <p>1) 森林施業についての法律法令の順守(基準*1.35)</p> <p>2) 国際労働機関（ILO）中核的労働基準を構成する8つの条約の内容、意味の理解と適用(基準*2.1)</p> <p>3) セクハラや男女差別の発見、報告(基準*2.2)</p>	<p>2.5.1 Workers* with specific job responsibilities receive relevant training so that the applicable following management activities are appropriately implemented.</p> <p>1) To comply with applicable legal* requirements related to forestry operations (Criterion* 1.35);</p> <p>2) Understand and apply the content and meaning of the eight ILO Core Labour Conventions (Criterion* 2.1);</p>

	<p>4) 健康被害を回避するための有害物質の安全な使用と廃棄 (基準*2.3)</p> <p>5) 安全衛生についての新人研修。<u>(基準*2.3)</u></p> <p>6) 定期的な安全衛生研修、スキルアップ研修。<u>(基準*2.3)</u></p> <p>7) 特に危険な作業や特別な責任が伴う作業の遂行(基準*2.5)</p> <p>8) <u>管理活動に関連する先住民族が管理活動に関連する法的*及び慣習的な*権利*をもつ場所先住民族がいるかどうか</u>の特定(基準*3.2)</p> <p>9) 「先住民族の権利に関する国際連合宣言(UNDRIP)及び「原住民及び種族民条約(ILO 169 号条約)」の関係する要素の特定及び実施(基準*3.4)</p> <p>10) 先住民族*にとり、文化、生態、経済、宗教あるいは精神の観点から特別な意味を持つ場所を特定、及び森林*<u>管理活動施業</u>の開始前に、これらの場所への悪影響を防ぎ、保護するための対策の実施(基準*3.5 及び4.7)。</p>	<p>3) Recognize and report on instances of sexual harassment and gender discrimination (Criterion* 2.2);</p> <p>4) Safely handle and dispose of hazardous substances to ensure that use does not pose health risks* (Criterion* 2.3);</p> <p>5) Train new workers* on Health and Safety <u>(Criterion* 2.3);</u></p> <p>6) Implement regular Health and Safety training and upskilling training <u>(Criterion* 2.3);</u></p> <p>7) Carry out their responsibilities for particularly dangerous jobs or jobs entailing a special responsibility (Criterion* 2.5);</p> <p>8) Identify where Indigenous Peoples* have legal* and customary rights* related to management activities (Criterion* 3.2);</p> <p>9) Identify and implement applicable elements of UNDRIP and ILO Convention 169 (Criterion* 3.4);</p> <p>10) Identify sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance to Indigenous Peoples* and implement the necessary measures to protect them before the start of forest* management activities to avoid</p>
--	--	--

		<p>11) 管理活動を行う上で地域社会*が持つ法的*及び慣習的な権利*の特定 (基準*4.2)。</p> <p>12) 社会、経済及び環境の影響評価*と、悪影響の低減措置の実施 (基準*4.5)。</p> <p>13) <u>指標 5.1.3 により組織が生態系サービスに関して FSC の広告宣伝を行う場合は、効果</u> <u>を謳っている生態系サービス*の維持、向上</u> <u>に関する活動の実施 (基準*5.1)。</u></p> <p>14) 農薬*を使用、保管する (基準*10.7)。</p> <p>15) 廃棄物*の流出を除去する手順を実施する (基準*10.12)。</p>	<p>negative impacts (Criterion* 3.5 and Criterion* 4.7);</p> <p>11) Identify where local communities* have legal* and customary rights* related to management activities (Criterion* 4.2);</p> <p>12) Carry out social, economic and environmental impact assessments* and develop appropriate mitigation measures (Criterion* 4.5);</p> <p>13) <u>When the Organization* makes FSC promotional claims regarding ecosystem services according to the Indicator 5.1.3,</u> <u>I</u>implement activities related to the maintenance and/or enhancement of <u>the</u> declared ecosystem services* (Criterion* 5.1);</p> <p>14) Handle, apply and store pesticides* (Criterion* 10.7); and</p> <p>15) Implement procedures for cleaning up spills of waste materials* (Criterion* 10.12).</p>
—	追加	<p>2.5.2 危険を伴う作業に従事する労働者*は、初めて作業を行う前に必ず安全衛生についての新人研修を受けている。また、その後も定期的に安全衛生研修、スキルアップ研修に参加している。</p>	<p>2.5.2 Workers* engaged in hazardous work receives induction training on health and safety. The workers* continue to participate in regular health and safety training and upskilling training thereafter.</p>

2.5.2 すべての労働者*について教育訓練の記録が最新の状態で保管されている。	採用	2.5.3 すべての労働者*について教育訓練の記録が最新の状態で保管されている。	2.5.3 Up to date training records are kept for all relevant workers*.
--	----	--	---

2.6 組織*は、労働者*との協議*を通じ、労働者*の苦情、業務上疾患*や労働災害*、個人的資産への損害や損失に対しての公正な補償*に対する制度を備えなければならない。(新規)		2.6 The Organization* through engagement* with workers* shall* have mechanisms for resolving grievances and for providing fair compensation* to workers* for loss or damage to property, occupational diseases*, or occupational injuries* sustained while working for The Organization*. (new)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
2.6.1 慣習に合った*方法で労働者*との協議*の下*に作成された紛争*解決手続がある。	採用適応	2.6.1 労働者*の意見を十分に尊重した方法で作成された紛争*解決手続がある。慣習に合った*方法で労働者*との協議*の下*に作成された紛争*解決手続がある。	2.6.1 A dispute* resolution process is in place, developed through <u>culturally appropriate*</u> engagement* with workers* that fully respects their opinions.
2.6.2 労働者*の苦情は特定され、すでに解決しているか紛争*解決手続の最中である。	採用	2.6.2 労働者*の苦情は特定され、すでに解決しているか紛争*解決手続の最中である。	2.6.2 Workers* grievances are identified and responded to and are either resolved or are in the dispute* resolution process.

2.6.3 業務上疾患*や労働災害*、損失、損害を受けた資産に関する労働者*の苦情の最新の記録がある。これには以下が含まれる： 1) 苦情解決のためにとられた一連の措置。 2) 公正な補償*を含む、紛争*解決手続の結果。 3) 未解決の紛争*と未解決の理由及び解決のための方法。	採用	2.6.3 業務上疾患*や労働災害*、損失、損害を受けた資産に関する労働者*の苦情の最新の記録がある。これには以下が含まれる： 1) 苦情解決のためにとられた一連の措置。 2) 公正な補償*を含む、紛争*解決手続の結果。 3) 未解決の紛争*と未解決の理由及び解決のための方法。	2.6.3 Up-to-date records of workers* grievances related to workers* loss or damage of property, occupational diseases* or injuries* are maintained including: 1) Steps taken to resolve grievances; 2) Outcomes of all dispute* resolution processes including fair compensation*; and 3) Unresolved disputes*, the reasons they are not resolved, and how they will be resolved.
2.6.4 労働者*の業務上 ^④ 疾患*や労働災害*、資産の損失や損害については公正な補償*がされている。	採用	2.6.4 労働者*の業務上 ^④ 疾患*や労働災害*、資産の損失や損害については公正な補償*がされている。	2.6.4 Fair compensation* is provided to workers* for work-related loss or damage of property and occupational disease* or injuries*.

原則 2 附則 B の労働者*のための教育訓練要求事項は指標 2.5.1 の内容に組み込んだ。

<p>原則 3:先住民族*の権利</p> <p>組織*は、管理活動により影響を受ける土地、領域*、資源について、その所有、使用、管理に関する先住民族*の法的*及び慣習的な権利*を特定し、尊重*しなければならない。(V4 原則 3)</p> <p><u>注：本原則は、日本では北海道のアイヌ民族について必ず適用しなければならないが、その他の場所でも必要に応じて適用するものとする。琉球民族その他については諸論あり、今後必要に応じて検討するものとする。</u></p>	<p>PRINCIPLE 3: INDIGENOUS PEOPLES’* RIGHTS</p> <p>The Organization* shall* identify and uphold* Indigenous Peoples’* legal* and customary rights* of ownership, use and management of land, territories* and resources affected by management activities. (P3 P&C V4)</p>
---	---

<p>3.1 組織*は、管理区画*内に存在する、または管理活動により影響を受ける先住民族*を特定しなければならない。その上で組織*は、先住民族*との協議*により、管理区画*内における、先住民族*の保有権*、森林*資源と生態系サービス*へのアクセスと利用に関する慣習的な権利*、法的*権利、及び義務を特定しなければならない。また、これらの権利について争われている場所についても特定しなければならない。(新規)</p>			<p>3.1 The Organization* shall* identify the Indigenous Peoples* that exist within the Management Unit* or those that are affected by management activities. The Organization* shall* then, through engagement* with these Indigenous Peoples*, identify their rights of tenure*, their rights of access to and use of forest* resources and ecosystem services*, their customary rights* and legal* rights and obligations, that apply within the Management Unit*. The Organization* shall* also identify areas where these rights are contested. (new)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>3.1.1 管理活動により影響を受け得る先住民族*が特定されている。</p>	適応	<p>3.1.1 管理活動によって影響を受け得る先住民族*が特定されている。</p> <p><u>注</u>：北海道においては、北海道アイヌ協会、地区アイヌ協会あるいは地域のアイヌ民族への照会を経て、管理活動によって影響を受け得るアイヌ民族が特定されている。影響を受け得る先住民族*の特定が難しい場合は、北海道アイヌ協会へ照会すること。</p>	<p>3.1.1 Indigenous Peoples* that may be affected by management activities are identified.</p> <p><u>Note</u>：In Hokkaido, the Ainu Peoples that may be affected by the management activities is identified through consultation with the Ainu Association of Hokkaido, Ainu Associations in the district, or Ainu people in the area. When it is difficult to identify affected indigenous peoples*, The Organization* shall make an inquiry to the Ainu Association of</p>

			Hokkaido.
<p>3.1.2 3.1.1 で特定された先住民族*の慣習に合った*方法での協議*により、以下の事項が特定され、文書化及び/または地図上に記されている：</p> <p>1) <u>先住民族*の法的*、慣習的*な保有権*保有権*に関する法的*及び慣習的な権利*</u></p> <p>2) <u>先住民族*の森林*資源と生態系サービス*</u>へのアクセス及び使用*に関する法的*または慣習的な権利*</p> <p>3) 先住民族*の持つ法的*または慣習的な権利*及び関連する義務</p> <p>4) <u>先住民族*のそうしたこれらの権利と義務を裏付ける証拠</u></p> <p>5) 先住民族*と行政他との間で権利が争われている地域</p> <p>6) <u>組織により、どのようにこれらの法的*及び慣習的な権利*(紛争対象の権利を含めて)が守られているのかについての概要組織*による、それらの法的*、慣習的な権利*そして争いのある権利についての対処方法の概要</u></p> <p>7) 管理活動に関する先住民族*の要望と目標</p>	適応	<p>3.1.2 3.1.1 で特定された先住民族*との慣習に合った*協働*を通して、以下の項目について特定され、文書化及び/または地図上に記されている。ただし、先住民族*が文書化または地図化による特定を危惧する場合には、その他の手段によること。</p> <p>1) 先住民族*の法的*、慣習的*な保有権*</p> <p>2) 先住民族*の森林*資源と生態系サービス*への<u>アクセス及び使用*に関する法的*または慣習的な権利*にアクセスし、利用する法的*、慣習的な権利</u></p> <p>3) 先住民族*の法的*または慣習的な権利*や関連する義務</p> <p>4) 先住民族*のそうした権利や義務を裏付ける証拠</p> <p>5) 先住民族*と<u>政府国</u>、地方公共団体、企業、その他との間で権利について争いのある地域</p> <p>6) 組織*によ<u>うて</u>、それらの法的*、慣習的な権利*そして争いのある<u>権利を尊重するが処理されるについての対処</u>方法の概要</p> <p>7) 管理活動に関する<u>先住民族*の要望と目標を設定すること</u></p> <p>注：北海道においては、影響を受け<u>うる得る</u>地域のアイヌ民族の特定が難しい場合は、北海道アイヌ協会や地区アイヌ協会と協働*すること。</p>	<p>3.1.2 Through culturally appropriate* engagement* with the Indigenous Peoples* identified in 3.1.1, the following issues are documented and/or mapped. When Indigenous Peoples* determine that physical identification in documentation or on maps would pose a threat* to them, then other means are used:</p> <p>1) Their legal* and customary rights* of tenure*;</p> <p>2) Their legal* and customary* access to, and use rights*, of the forest* resources and ecosystem services*;</p> <p>3) Their legal* and customary rights* and obligations that apply;</p> <p>4) The evidence supporting these rights and obligations of Indigenous Peoples*;</p> <p>5) Areas where rights are contested between Indigenous Peoples*, national government, local government, enterprises and/or others;</p> <p>6) Summary of the means by which the legal* and customary rights* and contested rights, are addressed by The Organization*;</p> <p>7) The aspirations and goals of Indigenous Peoples* related to management activities.</p>

			Note: In Hokkaido, when it is difficult to identify Ainu peoples in the area that may be affected by the management activities, The Organization* shall be engaged with the Ainu Association of Hokkaido and Ainu Associations in the district.
--	--	--	---

<p>3.2 組織*は、先住民族*の権利、資源、土地、及び領域*を守るために必要な限りにおいて、管理区画*内のまたはその区画に関連する管理活動を規制する権限を維持するための、その先住民族*が有する法的*及び慣習的な権利*を認識し、尊重*しなければならない。先住民族*がその管理活動の監督業務を第三者に委託する際には自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*が必要である。(V4 基準*3.1、3.2)</p>			<p>3.2 The Organization* shall* recognize and uphold* the legal* and customary rights* of Indigenous Peoples* to maintain control over management activities within or related to the Management Unit* to the extent necessary to protect their rights, resources and lands and territories*. Delegation by Indigenous Peoples* of control over management activities to third parties requires Free, Prior and Informed Consent*. (C3.1 and 3.2 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

3.2.1 先住民族*は、自身の権利、資源、土地、領域*を保護するために必要な範囲内で、管理活動への変更の要望や意見をいつ、どこで、どのように述べることができるのか、慣習に合った*協議*を通して伝えられている。	適応	<p>3.2.1 先住民族*は、自身の権利、資源、土地や領域*を保護するために必要な範囲内で、管理活動への変更の要望や意見をいつ、どこで、どのように述べることができるのか、慣習に合った*協議*を通して伝えられている。</p> <p>注：組織*は、当該地区の先住民族*、先住民族*団体からの要求や意見に対処するための対応窓口を設置し、先住民族*の必要な要求や意見が管理責任者に伝わる体制を整えている。</p>	<p>3.2.1 Through culturally appropriate* engagement* Indigenous Peoples* are informed when, where and how they can comment on and request modification to management activities to the extent necessary to protect their rights, resources, lands and territories*.</p> <p>Note: The Organization* sets up a point of contact to correspond to Indigenous Peoples'* and their groups' requests and inquiries in the area, and establish a system to convey the necessary requests and inquiries from them to the responsible manager.</p>
3.2.2 先住民族*の法的*及び慣習的な権利*は組織*により侵害されていない。	適応	<p>3.2.2 先住民族*の法的*及び慣習的な権利*は組織*により侵害されていない。</p> <p>注：侵害の有無は 3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との協議*により彼らの法的*、慣習的な権利*の侵害状況に関する確認を行う。</p>	<p>3.2.2 The legal* and customary rights* of Indigenous Peoples* are not violated by The Organization*.</p> <p>Note: Whether there is Presence or absence of violation or not shall be verified through The situation of violation of Indigenous Peoples'* legal* and customary rights* is identified by engagement* with the Indigenous Peoples* and/or their groups identified in 3.1.1</p>

<p>3.2.3 管理活動に関する先住民族*の法的*及び慣習的な権利*が侵害された証拠がある場合、必要に応じて、慣習に合った*協議*及び/または基準*1.6 または 4.6 で要求されている紛争*解決手順を通じ、状況は是正されている。</p>	<p>適応</p>	<p>3.2.3 管理活動に関する先住民族*の法的*及び慣習的な権利*が侵害されていることが明らかになった場合は、慣習に合った*協議*及び/または基準*1.6 または 4.6 で規定されている紛争*解決手順を通じ、状況は是正されている。</p> <p>注：3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との慣習に合った*協議*を経て、事前に紛争*解決手順を取り決めている。侵害状況の確認は、3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との協議*により行い、またこの紛争*解決に関する記録は当事者間で保管されている。</p>	<p>3.2.3 Where evidence exists that legal* and customary rights* of Indigenous Peoples* related to management activities have been violated the situation is corrected through culturally appropriate* engagement* and/or through the dispute* resolution process as required in Criteria* 1.6 or 4.6.</p> <p>Note: Dispute* resolution process has been developed prior to management activities through culturally appropriate* engagement* with Indigenous Peoples* and/or their groups identified in 3.1.1. The situation of infringement is verified with engagement with the indigenous peoples* and their groups identified in 3.1.1, and the record of the dispute resolution is shared and kept by the parties involved.</p>
<p>3.2.4 特定された先住民族*が持つ権利へ影響を与える管理活動の実施前に、以下を含むプロセスにより先住民族*から自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を得ている。</p> <p>1) 資源について先住民族*が自身の権利と義務を認識していることを確認している。</p>	<p>採用</p>	<p>3.2.4 先住民族*が持つ特定された権利へ影響を与える管理活動の実施前に、以下を含むプロセスにより、先住民族*から自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を得ている。</p> <p>1) 先住民族*が資源に関する彼らの権利と義務を認識していることを確認している。</p>	<p>3.2.4 Free, prior and informed consent* is granted by Indigenous Peoples* prior to management activities that affect their identified rights through a process that includes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Ensuring Indigenous Peoples* know their rights and obligations regarding the resource; 2) Informing the Indigenous Peoples* of the value,

<p>2) 先住民族*が管理の委託を検討している資源の経済的、社会的、環境的価値を先住民族*に伝えている。</p> <p>3) 先住民族*が自身の権利、資源、土地、領域*を守るために必要な範囲内で、提案されている管理活動について同意を保留または修正する権利があることを伝えている。</p> <p>4) 計画されている現在及び将来の森林*管理活動について先住民族*に伝えている。</p>		<p>2)先住民族*が管理活動の監督業務の委託を検討している資源の経済的、社会的、環境的価値を先住民族*に伝えている。</p> <p>3)先住民族*が彼らの権利、資源、土地や領域*を守るために必要な範囲内で、提案されている管理活動について同意を保留または修正する権利があることを伝えている。</p> <p>4)計画されている現在及び将来の森林*管理活動について先住民族*に伝えている。</p>	<p>in economic, social and environmental terms, of the resource over which they are considering delegation of control;</p> <p>3) Informing the Indigenous Peoples* of their right to withhold or modify consent to the proposed management activities to the extent necessary to protect their rights, resources, lands and territories*; and</p> <p>4) Informing the Indigenous Peoples* of the current and future planned forest* management activities.</p>
--	--	--	--

<p>3.3 管理活動を規制する監督業務が委託される場合は、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*により、組織*と先住民族*との間で拘束力のある契約*が締結されなければならない。契約には期間、見直し、更新、解約、経済的条件に関する規定及びその他の諸条件が明記されなければならない。また、契約には、組織*が諸条件を順守しているかどうかを先住民族*が監視するための規定が含まれていなければならない。(新規)</p>			<p>3.3 In the event of delegation of control over management activities, a binding agreement* between The Organization* and the Indigenous Peoples* shall* be concluded through Free, Prior and Informed Consent*. The agreement shall* define its duration, provisions for renegotiation, renewal, termination, economic conditions and other terms and conditions. The agreement shall* make provision for monitoring by Indigenous Peoples* of The Organization*'s compliance with its terms and conditions. (new)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI へ	日本国内指標	日本国内指標英語訳

	の対応		
3.3.1 慣習に合った*協議*方法で、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を通じて管理活動を規制する権限の付与が生じた場合は、拘束力のある契約*が締結されること。この契約には期間、見直し、更新、解約、経済的条件に関する規定及びその他の諸条件が含まれる。	採用	3.3.1 慣習に合った*協議*に基づいた、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を通じて管理活動に関する監督業務の委託が生じた場合は、拘束力のある契約*が締結されること。この契約には期間、見直し、更新、解約、経済的條件に関する規定及びその他の諸条件が含まれる。	3.3.1 Where control over management activities has been granted through Free, Prior and Informed Consent* based on culturally appropriate* engagement*, the binding agreement* contains the duration, provisions for renegotiation, renewal, termination, economic conditions and other terms and conditions.
3.3.2 拘束力のある契約*の記録は保持されている。	適応	3.3.2 拘束力のある契約*の記録は保持され、契約内容は守られている。	3.3.2 Records of binding agreements* are maintained and the agreement is respected.
3.3.3 拘束力のある契約*には、組織*が同意した諸条件に従っているか、先住民族*が監視するための規定が含まれている。	適応	<p>3.3.3 拘束力のある契約*には、組織*が同意した諸条件に従っているか、先住民族*が監視するための規定が含まれている。</p> <p><u>注</u>：この契約には契約の順守状況を確認するための先住民族*による監査の実施を認める規定が盛り込まれており、当事者は<u>間で</u>合意した頻度で、<u>かつ</u> <u>協働して</u>契約*の評価と見直しが行われること。</p>	<p>3.3.3 The binding agreement* contains the provision for monitoring by Indigenous Peoples* of The Organization*'s compliance with its terms and conditions.</p> <p><u>Note</u>: The binding agreement* has a provision for Indigenous Peoples* to conduct audits to examine the extent of Organizations compliance to the binding agreement*. The agreement is evaluated and reviewed at the frequency agreed by the parties.</p>

3.4 組織*は、先住民族*の権利に関する国際連合宣言(UNDRIP) (2007)及び原住民及び種族民条約 169(ILO 条約 169 号) (1989)で定義されている、先住民族*の権利、慣習、文化を認め、尊重*しなければならない。(V4 基準*3.2)			3.4 The Organization* shall* recognize and uphold* the rights, customs and culture of Indigenous Peoples* as defined in the United Nations Declaration on the Rights of Indigenous Peoples (2007) and ILO Convention 169 (1989). (C3.2P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
3.4.1 先住民族*の権利に関する国連宣言 (UNDRIP) (2007)及び原住民及び種族民条約 169(ILO 条約 169 号) (1989)に規定されている先住民族*の権利、慣習、文化は、組織*により侵害されていない。	適応	<p>3.4.1 「先住民族*の権利に関する国際連合宣言 (2007)(UNDRIP)」及び「1989 年の原住民及び種族民条約 169(ILO 169 号条約)」に規定されている先住民族*の権利、慣習、文化は、組織*により侵害されていない。</p> <p>注：3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との協議*を経て確認すること。先住民族*には<u>土地と資源に対する権利、その回復と補償を受ける権利、及び</u>文化的伝統と慣習を実践・再活性化する権利があり、これには経済、自立及び発展を支える森林資源や生態系サービス*の利用、<u>および</u>伝統的な狩猟・採集・漁労や儀礼のための土地<u>と</u>領域*の利用が含まれる。</p>	<p>3.4.1 The rights, customs and culture of Indigenous Peoples* as defined in UNDRIP and ILO Convention 169 are not violated by The Organization*.</p> <p>Note: This shall be examined through engagement* with the Indigenous Peoples* and their groups identified in 3.1.1. Indigenous peoples* have the <u>rights to the land and resources, rights to restore them and receive compensation, and</u> rights to practice and revitalize their cultural traditions and customs, including the use of forest resources and ecosystem services* that supports economic independence and development, as well as use of <u>lands</u> and territories* for traditional hunting and gathering, fishing and rituals.</p>

<p>3.4.2 先住民族*の権利に関する国連宣言 (UNDRIP) (2007)及び原住民及び種族民条約 169(ILO 条約 169 号) (1989)に規定されている先住民族*の権利、慣習、文化が組織*により侵害されている証拠がある場合、状況は記録されている。この記録には権利、慣習、文化を権利者が満足する水準まで復元*させるための手順が含まれる。</p>	<p>適応</p>	<p>3.4.2 先住民族*の権利に関する国連宣言 (UNDRIP) (2007)及び原住民及び種族民条約 169(ILO 条約 169 号) (1989)に規定されている先住民族*の権利、慣習、文化が組織*によりこれまで侵害されている証拠がある場合、それらの状況が明記され、権利、慣習、文化を権利者が満足する水準まで復元*させるための手順が示されている。</p> <p><u>侵害状況の記録、復元の水準、手段や手順の作成は、3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との協議*を経て行われること。</u></p> <p>注：3.1.1 で特定された先住民族*、先住民族*団体との協議*を経て、侵害の状況の記録、そして復元の水準、手段や手順について定めること。これらには先住民族*の狩猟・採集などの場としてきた自然や伝統文化及び慣習の実践に必要な生態系*や文化的な<u>景観*</u>の復元*、宗教的及び文化的な場所（<u>聖地、遺構、遺物、埋葬地、及び副葬品</u>など）の維持、保護*なども含まれる。</p>	<p>3.4.2 Where evidence that rights, customs and culture of Indigenous Peoples*, as defined in UNDRIP and ILO Convention 169, have been violated by The Organization*, the situation is documented including steps to restore* these rights, customs and culture of Indigenous Peoples*, to the satisfaction of the rights holders.</p> <p><u>Documenting the violation and developing the procedures is made</u> Note: Records of the status of violation, level of restoration* to be achieved, and the means and procedure for it shall be agreed through engagement* with Indigenous Peoples* and their groups identified in 3.1.1.</p> <p><u>Note:</u> This includes restoration* of natural ecosystem* and <u>cultural</u> landscape* that the Indigenous peoples* have used for hunting and gathering as well as for practicing cultural tradition and customs, and maintenance and protection* of religious and cultural <u>sites</u> relies (<u>sacred sites</u>, ruins, relics, <u>burial grounds, and</u> burial goods, etc).</p>
	<p>追加</p>	<p>3.4.3 先住民族*の権利に関する国連宣言 (UNDRIP) (2007)及び原住民及び種族民条約 169 (ILO 条約 169 号) (1989)に規定されている</p>	<p>3.4.3 Indigenous peoples* do not face discrimination in respect of employment and occupation as assured by UNDRIP (2007) and ILO</p>

		先住民族*の雇用及び職業における差別がなく、慣習及び必要性を尊重した労働形態が認められている。また当該地域に暮らす先住民族*に対して雇用、教育訓練機会が平等に提供され、奨励されている。	Convention 169, and flexible working forms are adopted to respect their customs and needs. Indigenous peoples* in the area are provided with equal opportunities for employment and training and encouraged to take the opportunities.
--	--	--	--

3.5 組織*は、先住民族*との協議*により、先住民族*にとって文化、生態、経済、宗教、精神の観点から特別な意味を持ち、先住民族*が法的*または慣習的な権利*を持つ場所を特定しなければならない。これらの場所は組織とその経営層により認識され、先住民族*との協働*により保護*されなければならない。(V4 基準*3.3)		3.5 The Organization*, through engagement* with Indigenous Peoples*, shall* identify sites which are of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance and for which these Indigenous peoples* hold legal* or customary rights*. These sites shall* be recognized by The Organization* and their management, and/or protection* shall* be agreed through engagement* with these Indigenous peoples*. (C3.3P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
3.5.1 先住民族*が <u>法律上法的*</u> または慣習的な権利を持つ、文化、生態、経済、宗教、精神的に特別な意味を持つ場所が、先住民族*との慣習に合った*方法での協議*により特定されている。	適応	3.5.1 先住民族*が <u>法律上法的*</u> または慣習的な権利*を持つ、文化、生態、経済、宗教、精神的に特別な意味を持つ場所が、先住民族*との慣習に合った*方法での協議*により特定されている。 注： 北海道の場合、3.1.1 で特定された先住民族	3.5.1 Sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance for which Indigenous Peoples* hold legal* or customary rights* are identified through culturally appropriate* engagement*.

		<p>*・団体との協議*を経て特定されること。チャシ跡、チノミシリなどの有形・無形の文化的所産、アイヌ文化に関連する国、各地方公共団体指定の文化財、文化的景観、史跡、名勝、遺跡、埋蔵文化財、アイヌ語地名等が含まれる。また、参照すべき情報源としては、以下のものなどが挙げられる（HCV*枠組み文書も参照のこと）：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国の指定・選定文化財一覧、道、市町村指定文化財一覧（北海道教育委員会、文化財・博物館課） • 重要文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」 • アイヌ文化に関連する名勝指定候補地一覧（北海道教育委員会） • アイヌ民族の遺跡リスト（2015 年北海道教育委員会、文化財・博物館課） • アイヌ語地名リスト（北海道庁アイヌ政策推進室） • 「知床世界自然遺産」 • 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」（世界遺産暫定一覧表記載） 	<p>Note: In Hokkaido, such sites shall be identified through engagement* with Indigenous Peoples* and their groups identified in 3.1.1. Such sites include tangible and intangible cultural heritage such as ruins of casi and cinomisir, cultural properties designated by the national or local governments, cultural landscape, historic sites, place of scenic beauty, ruins, buried cultural property, and the Ainu place names, etc. Informance sources to be used includes (Also see the HCV* national framework document):</p> <ul style="list-style-type: none"> • List of cultural property designated or selected by the national government, List of cultural property designated by the prefectural and municipal governments (Division of Cultural Property and Museum, Hokkaido Prefectural Board of Education) • Important Cultural Landscape “Cultural Landscape of the Saru River Basin by the Ainu traditions and modern development” • List of Candidate Places related to Ainu Culture for designation of scenic beauty (Hokkaido Prefectural Board of Education) • List of Ainu Peoples Relics (Division of Cultural
--	--	---	--

			<p>Property and Museum, Hokkaido Prefectural Board of Education, 2015)</p> <ul style="list-style-type: none"> • List of Ainu place names (Hokkaido Prefecture Office of Ainu Measures Promotion) • “Shiretoko World Natural Heritage” • “Jomon Ruins with a focus on Hokkaido and Northern Tohoku” (Included in the temporary list of World Heritage)
<p>3.5.2 先住民族*との慣習に合った*方法での協議*により、このような場所を保護*する方法が合意され、文書化された上で実施されている。このような場所を物理的に特定し、文書化または地図上に記すことにより、これらの価値が脅かされる恐れがあると先住民族*が判断した場合は、その他の方法を用いること。</p>	適応	<p>3.5.2 <u>このような場所の管理には先住民族*の主体的な関与が保障され、先住民族*との慣習に合った*方法での協議*により、このような場所をその保護*する方法が先住民族*との慣習に合った*方法での協議*により合意され、文書化された上で実施されている。</u>このような場所を特定し、文書化または地図上に記すことにより、これらの価値が脅かされる恐れがあると先住民族*が判断した場合は、その他の手段を用いること。</p> <p><u>注：このような場所の管理には先住民族*の主体的な関与が保障される。</u></p>	<p>3.5.2 <u>Proactive involvement of Indigenous peoples* is ensured for management of such sites, and</u> measures to protect such sites are agreed, documented and implemented through culturally appropriate* engagement* with Indigenous Peoples*. When Indigenous Peoples* determine that physical identification of sites in documentation or on maps would threaten the value or protection* of the sites, then other means will be used.</p> <p><u>Note: Proactive involvement of Indigenous peoples* is ensured for management of such sites.</u></p>

<p>3.5.3 文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持つ場所が新たに発見された場合は、国の法令*や地域の法律*に従い、保護方法が先住民族*との間で合意されるまでは、近隣での管理活動は中断されている。</p>	<p>適応</p>	<p>3.5.3 文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持つ場所が新たに発見された場合は、速やかに3.1.1で特定された先住民族*・先住民族*団体に通知され、国の法令*や地域の法律*に従い、保護方法が先住民族*との間で合意されるまでは、近隣での管理活動は中断されている。</p> <p>注：そのような場所の発見の際には速やかに3.1.1で特定された先住民族*・先住民族*団体に通知され、保護される。</p>	<p>3.5.3 Wherever sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance are newly observed or discovered, <u>the Indigenous Peoples* and their groups identified 3.1.1 are immediately informed, and</u> management activities cease immediately in the vicinity until protective measures have been agreed to with the Indigenous Peoples*, and as directed by local* and national laws*.</p> <p>Note: In case of discovery of such sites, the Indigenous Peoples* and their groups identified 3.1.1 are immediately informed and such sites are protected.</p>
--	-----------	---	--

<p>3.6 組織*は先住民族*が伝統的知識*を守り、使用する権利を尊重*し、伝統的な知識や知的財産*を使用する際は先住民族*に補償をしなければならない。また使用する際には、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意*を通じて組織*と先住民の間で基準*3.3 のような拘束力のある契約*を締結しなければならない。またこれは知的財産*権の保護*制度と調和していなければならない。(新規)</p>	<p>3.6 The Organization* shall* uphold* the right of Indigenous Peoples* to protect* and utilize their traditional knowledge* and shall* compensate local communities* for the utilization of such knowledge and their intellectual property*. A binding agreement* as per Criterion* 3.3 shall* be concluded between The Organization* and the Indigenous peoples* for such utilization through</p>
--	--

			Free, Prior and Informed Consent* before utilization takes place, and shall* be consistent with the protection* of intellectual property* rights. (C3.4 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
3.6.1 伝統的知識*や知的財産*は保護され、それらの保有者との間で拘束力のある契約*により自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*が示された場合にのみ使用されている。	採用	3.6.1 伝統的知識*や知的財産*は保護され、それらの保有者との間で拘束力のある契約*により自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*が示された場合にのみ使用されている。	3.6.1 Traditional knowledge* and intellectual property* are protected and are only used when the acknowledged owners of that traditional knowledge* and intellectual property* have provided their Free, Prior and Informed Consent* formalized through a binding agreement*.
3.6.2 先住民族*は、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を経て締結された拘束力のある契約*に従い、伝統的知識*や知的財産*の使用に関して補償を受けている。	適応	3.6.2 先住民族*は、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を経て締結された拘束力のある契約*に従い、伝統的知識* <u>(森林の管理システムに関する知識を含む)</u> や知的財産* <u>(非木材林産物の商業利用につながる知識の使用を含む)</u> の使用に関して補償を受けている。 <u>注:</u> 補償については、3.1.1 で特定された影響を受ける <u>受け得る</u> 先住民族*・先住民族*団体との協議*を経て決めること。	3.6.2 Indigenous Peoples* are compensated according to the binding agreement* reached through Free, Prior and Informed Consent* for the use of traditional knowledge* and intellectual property*. <u>Note:</u> —The compensation shall be determined through engagement* with the potentially affected Indigenous Peoples* and their groups identified in 3.1.1.

<p>原則 4:地域社会との関係</p> <p>組織*は、地域社会*の社会的、経済的福利の維持または向上に貢献しなければならない。(V4 原則 4)</p>			<p>PRINCIPLE 4: COMMUNITY RELATIONS</p> <p>The Organization* shall* contribute to maintaining or enhancing the social and economic wellbeing of local communities*. (P4 P&C V4)</p>
<p>4.1 組織*は、管理区画*内に存在する地域社会*及び管理活動により影響を受ける地域社会*を特定しなければならない。その上で組織*は、地域社会*との協議*の下、地域社会*が管理区画*内で持つ保有権*、森林資源と生態系サービス*にアクセスし使用する権利に関する慣習的な権利*、法的*な権利及び義務を特定しなければならない。(新規)</p>			<p>4.1 The Organization* shall* identify the local communities* that exist within the Management Unit* and those that are affected by management activities. The Organization* shall* then, through engagement* with these local communities*, identify their rights of tenure*, their rights of access to and use of forest* resources and ecosystem services*, their customary rights* and legal* rights and obligations, that apply within the Management Unit*. (new)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>4.1.1 管理区画*内に存在する地域社会*及び管理活動により影響を受け得る地域社会*を特定している。</p>	<p>適応</p>	<p>4.1.1 管理区画*内に存在する地域社会*その活動が認められている団体と個人及び管理活動により直接影響を受け得る地域社会*同一市町村内や下流域の団体と個人をが特定されている。</p> <p>注：これには例えば、地域の住民またはその代表、NGO、地元の関係する研究施設、行政機</p>	<p>4.1.1 <u>Local communities*that exist in the Management Unit* and those that</u>may be are<u>directly affected by management activities are identified.</u>The Organization* identifies individuals and groups that have the rights to conduct activities within the Management Unit*, and those within the same municipalities or located in the</p>

		<p>関、狩猟・漁業関係者、先住民族*団体等が考 えられる。</p> <p><u>以後、この指標で特定された個人や団体を地域</u> <u>社会と考える。</u></p>	<p>downstream directly affected by the management activities.</p> <p>Note: This includes, for example, local residents or their representatives, NGOs, relevant local research institutions, administrative agencies, stakeholders* in hunting and fishing, and indigenous peoples* groups.</p>
<p>4.1.2 4.1.1 で特定された地域社会*の慣習に 合った*方法での協議*により、以下の事項が文書 及び/または地図上に記されている：</p> <p>1) 保有権*に関する法的*及び慣習的な権利 *。</p> <p>2) 森林資源と生態系サービス*へアクセスし使用 *する法的*及び慣習的な権利*。</p> <p>3) 地域社会*の持つ法的*及び慣習的な権利* と関連する義務。</p> <p>4) これらの権利と義務を裏付ける証拠。</p> <p>5) 地域社会*と行政及びその他との間で権利が 争われている地域。</p> <p>6) 組織*によりどのようにこれらの法的*及び慣習 的な権利*(紛争対象の権利を含めて)が守られて いるのかについての概要。</p> <p>7) 管理活動に関する地域社会*の要望と目的。</p>	採用	<p>4.1.2 4.1.1 で特定された地域社会*の慣習に 合った*方法での協議*により、以下の事項が文書 及び/または地図上に記されている：</p> <p>1) 保有権*に関する法的*及び慣習的な権利 *。</p> <p>2) 森林資源と生態系サービス*へアクセスし使用 *する法的*及び慣習的な権利*。</p> <p>3) 地域社会*の持つ法的*及び慣習的な権利* と関連する義務。</p> <p>4) これらの権利と義務を裏付ける証拠。</p> <p>5) 地域社会*と行政及びその他との間で権利が 争われている地域。</p> <p>6) 組織*によりどのようにこれらの法的*及び慣習 的な権利*(紛争対象の権利を含めて)が守られて いるのかについての概要。</p> <p>7) 管理活動に関する地域社会*の要望と目的。</p>	<p>4.1.2 Through culturally appropriate* engagement* with the local communities*, identified in 4.1.1 the following are documented and/or mapped:</p> <p>1) Their legal* and customary rights* of tenure*; 2) Their legal* and customary* access to, and use rights*, of the forest* resources and ecosystem services*; 3) Their legal* and customary* rights* and obligations that apply; 4) The evidence supporting these rights and obligations; 5) Areas where rights are contested between local communities*, governments and/or others. 6) Summary of the means by which the legal* and customary rights*, and contested rights are addressed by The Organization*; and</p>

			7) The aspirations and goals of local communities* related to management activities.
--	--	--	--

<p>4.2 組織*は、地域社会*の権利、資源、土地や領域*を守るために必要な限りにおいて、管理区画*内のまたはその区画に関連する管理活動を規制する権限を維持するための、その地域社会*が有する法的*及び慣習的な権利*を認識し、尊重*しなければならない。地域社会*がその管理活動を監督規制する権限を第三者に移譲委託する際には自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*が必要である。</p>				4.2 The Organization* shall* recognize and uphold* the legal* and customary rights* of local communities* to maintain control over management activities within or related to the Management Unit* to the extent necessary to protect their rights, resources, lands and territories*. Delegation by local communities* of control over management activities to third parties requires Free, Prior and Informed Consent*. (C2.2 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	
4.2.1 地域社会*は、自身の権利、資源、土地、領域*を保護するために必要な範囲内で、管理活動への変更の要望や意見をいつ、どこで、どのように述べることができるのか、慣習に合った*協議*を通して伝えられている。	採用	4.2.1 地域社会*は、自身の権利、資源、土地、領域*を保護するために必要な範囲内で、管理活動への変更の要望や意見をいつ、どこで、どのように述べることができるのか、慣習に合った*協議*を通して伝えられている。	4.2.1 Through culturally appropriate* engagement* of local communities* are informed of when, where and how they can comment on and request modification to management activities to the extent necessary to protect their rights.	
4.2.2 地域社会*が持つ管理活動を規制する権限を維持するための法的*及び慣習的な権利*は組織*により侵害されていない。	採用	4.2.2 地域社会*が持つ、管理活動を規制する権限を維持するための法的*及び慣習的な権利*は組織*により侵害されていない。	4.2.2 The legal* and customary rights* of local communities* to maintain control over management activities are not violated by The Organization*.	

4.2.3 管理活動に関する地域社会*の法的*及び慣習的な権利*が侵害された証拠がある場合、必要に応じて、慣習に合った*協議*及び/または基準*1.6 または 4.6 で要求されている紛争*解決手順を通じ、状況は是正されている。	採用	4.2.3 管理活動に関する地域社会*の法的*及び慣習的な権利*が侵害された証拠がある場合、必要に応じて、慣習に合った*協議*及び/または基準*1.6 または 4.6 で要求されている紛争*解決手順を通じ、状況は是正されている。	4.2.3 Where evidence exists that legal* and customary rights* of local communities* related to management activities have been violated the situation is corrected, if necessary, through culturally appropriate* engagement* and/or through the dispute* resolution process in Criteria* 1.6 or 4.6.
4.2.4 地域社会*が持つ権利へ影響を与える森林管理活動の実施前に、次の過程を経て地域社会*から自由意志に基づく、事前に十分な情報に基づく同意(FPIC)*を得ている。 1) 資源について地域社会*が自身の権利と義務を認識していることを確認している。 2) 地域社会*が規制権限の委譲委託を検討している資源の経済的、社会的、環境的価値を地域社会*に伝えている。 3) 地域社会*が自身の権利、資源、土地、領域*を守るために必要な範囲内で、提案されている管理活動について同意を保留または修正する権利があることを伝えている。 4) 計画されている現在及び将来の森林管理活動について地域社会*に伝えている。	採用	4.2.4 地域社会*が持つ権利へ影響を与える森林管理活動の実施前に、次の過程を経て地域社会*から自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を得ている。 1) 資源について地域社会*が自身の権利と義務を認識していることを確認している。 2) 地域社会*が <u>管理権限の委託規制権限の委譲</u> を検討している資源の経済的、社会的、環境的価値を地域社会*に伝えている。 3) 地域社会*が自身の権利、資源、土地、領域*を守るために必要な範囲内で、提案されている管理活動について同意を保留または修正する権利があることを伝えている。 4) 計画されている現在及び将来の森林管理活動について地域社会*に伝えている。	4.2.4 Free, prior and informed consent* is granted by local communities* prior to management activities that affect their identified rights through a process that includes: 1) Ensuring local communities* know their rights and obligations regarding the resource; 2) Informing the local communities* of the value, in economic, social and environmental terms, of the resource over which they are considering delegation of control; 3) Informing the local communities* of their right to withhold or modify consent to the proposed management activities to the extent necessary to protect their rights and resources; and 4) Informing the local communities* of the current and future planned forest* management activities.

4.3 組織*は、地域社会*、請負業者、供給業者に対し、管理活動の規模*、強度*に応じて適当な*雇用の機会、教育訓練その他のサービスを提供しなければならない。(V4 基準*4.1)			4.3 The Organization* shall* provide reasonable* opportunities for employment, training and other services to local communities*, contractors and suppliers proportionate to scale* and intensity* of its management activities. (C4.1 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>4.3.1 地域社会*、地元請負業者、地元供給業者に対して適当な*程度で*以下の機会が伝えられ、提供されている：</p> <p>1) 雇用</p> <p>2) 教育訓練</p> <p>3) その他のサービス</p>	適応	<p>4.3.1 地域社会*、<u>地元</u>請負業者、<u>地元</u>供給業者に対して組織の規模*に見合う程度で<u>以下</u>の機会が与えられている。</p> <p>1) 雇用</p> <p>2) 教育訓練(<u>講習や研修の開催、情報提供など。教育啓発的なもの、技術的なものを含む</u>)</p> <p>3) その他のサービス(<u>取引における優遇措置や環境教育、レクリエーションの場の提供や自給の範囲内での資源の採取など</u>)</p> <p><u>グループ認証の場合、グループメンバーへ優先的に機会が与えられている。</u></p> <p>注：</p> <p>1) <u>グループ認証の場合、グループメンバーへ優先的に機会が与えられている。</u></p> <p>2) <u>大規模組織*の場合、地域社会*への業務紹介や就業体験などの教育訓練の機会の提供な</u></p>	<p>4.3.1 Opportunities appropriate to the scale* of The Organization* are <u>communicated and</u> provided to local communities*, local contractors and local suppliers for:</p> <p>1) Employment,</p> <p>2) Training (<u>e.g. organizing seminars and training courses, providing information, including those that are educational and technical</u>)</p> <p>3) Other services (<u>e.g. preferential treatment in transaction, environmental education, provision of places for recreation, collection of resources for subsistence</u>)</p> <p><u>For group certification, opportunities are given to group members preferentially.</u></p> <p>Note:</p> <p>1) <u>For group certification, opportunities are given to</u></p>

		<p>どにより、地元からの就業を促進するプログラムがある。</p> <p><u>注：教育訓練には教育啓発的なものから技術的なものまで、講習や研修の開催、情報提供などが含まれる。その他のサービスには例として取引における優遇措置や環境教育、レクリエーションの場の提供や自給の範囲内での資源の採取の許可が挙げられる。</u></p>	<p>group members preferentially.</p> <p>2) Large organizations have a program to promote local employment by providing opportunities for training such as internship and introduction of its business to the local communities*.</p> <p><u>Note: Training can be educational or technical, including hosting seminars and workshops, or providing information. Other services can include preferential treatment in business transaction, provision of environmental education and places for recreation, and allowing collection of resources for subsistence.</u></p>
--	--	---	---

<p>4.4 組織*は、地域社会*との協議*により、地域社会*の社会経済的な発展に貢献するため、管理活動の規模*、強度*及び社会経済的な影響力に応じて追加的な活動を行わなければならない。(V4 基準*4.4)</p>				4.4 The Organization* shall* implement additional activities, through engagement* with local communities*, that contribute to their social and economic development, proportionate to the scale*, intensity* and socioeconomic impact of its management activities. (C4.4 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	
4.4.1 地域社会*やその他の関係機関との慣習に合った*方法での協議*を通じて、地域の社会経済的な発展の機会が特定されている。	<u>採用適応</u>	4.4.1 組織は地域社会*や関係機関と地元の社会経済に貢献する方法について協議*し、その計画を立てている。 <u>組織*は、地域社会*や関係</u>	4.4.1 The Organization* engages* with Local communities* and other relevant organizations in discussion and makes a plan to contribute to the	

		<p><u>機関との慣習に合った*方法での協議*を通じて、地域の社会経済的な発展に寄与している。地域の社会経済的な発展の機会が特定されている。</u></p>	<p><u>social and economic development of the local community. The Organization* contributes to the Opportunities for local social and economic development are identified through culturally appropriate* engagement* with local communities* and other relevant organizations.</u></p>
<p>4.4.2 地域の社会経済に貢献するプロジェクトや追加的な活動が実施及び/または支援されており、それは管理活動の社会経済的な影響力に見合っている。</p>	<p><u>採用適応</u></p>	<p>4.4.2 <u>地域の社会経済に貢献するプロジェクトや追加的な活動が実施及び/または支援されており、それは管理活動の社会経済的な影響力に見合っている。組織は地域社会*や行政による地域活性化の取り組みに積極的に参加、協力している。</u></p> <p><u>注：中規模以上の組織は地域社会*や地元団体との協議*の下、地域の社会経済に貢献する活動を積極的に支援または企画、実践している。</u></p>	<p>4.4.2 <u>The Organization* actively participates in initiatives by the Local communities* or authority to invigorate the area. Projects and additional activities are implemented and/or supported that contribute to local social and economic benefit and are proportionate to the socio-economic impact of management activities.</u></p> <p><u>Note: The medium and large scale organization* actively supports, plans or conducts activities to contribute to the local social and economic benefit through engagement with the local communities* and local organizations.</u></p>

4.5 組織*は、地域社会*との協議*により、管理活動が地域に与える社会、環境、経済上重大な悪影響を特定し、回避、低減する措置を実施しなければならない。実施される措置は、活動の規模*、強度*と悪影響のリスク*に応じたものでなければならない。(V4 基準*4.4)		4.5 The Organization*, through engagement* with local communities*, shall* take action to identify, avoid and mitigate significant negative social, environmental and economic impacts of its management activities on affected communities. The action taken shall* be proportionate to the scale*, intensity* and risk* of those activities and negative impacts. (C4.4 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
4.5.1 地域社会*との慣習に合った*方法での協議*により、管理活動が地域に与える社会、環境、経済上重大な悪影響を特定し、回避、低減するための措置が実施されている。	適応	<p>4.5.1a 組織*は森林管理活動が地域に与える社会、環境、経済的な悪影響を特定し、そのリスク*を評価している。特に大規模組織*はこれを、影響を受ける人々や地元の専門家との協議*の下で行っている。</p> <p>4.5.1b 悪影響が特定された場合、リスク*に応じ、組織*は悪影響を低減するための措置方法を利害関係者*や地元の専門家との協議*の下で特定し、実施している。</p>	<p>4.5.1a The Organization* identifies the potential negative social, environmental and economic impacts of management activities and assesses the risk*. Large-scale organizations* implement it through engagement with affected communities and local experts.</p> <p>4.5.1b When negative impacts are identified, The Organization* identifies and implements measures to mitigate them through engagement* with affected stakeholders* and local experts according to the risk*.</p>

4.6 組織*は、地域社会*との慣習に合った方法での協議*により、管理活動が与えた影響に関しての地域社会*や個人の苦情を解決し、公正な補償*を行う仕組みを持たなければならない。(V4 基準*4.5)			4.6 Through culturally appropriate* engagement* with local communities*, measures are implemented to identify, avoid and mitigate significant negative social, environmental and economic impacts of management activities.
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
4.6.1 地域社会*との慣習に合った*方法での協議*により作成された、入手可能*な紛争*解決手順を持っている。	適応	4.6.1 入手可能*な紛争*解決手順があり、利害関係者*に告知してある。慣習に則った紛争解決手段があり、利害関係者が認知している。地域社会*との慣習に合った*方法での協議*により作成された、入手可能*な紛争*解決手順（苦情処理手順）を持っている。	4.6.1 A publicly available* dispute* resolution process is in place, and affected stakeholders* have been informed of it. A publicly available* dispute* resolution process (grievance procedure) is in place, developed through culturally appropriate* engagement* with local communities*.
4.6.2 管理活動が与えた影響に関する苦情は迅速に*対応され、すでに解決済みかまたは紛争*解決手順により処理されているところである。	採用	4.6.2 管理活動が与えた影響に関する苦情は迅速に*対応され、すでに解決済みかまたは紛争*解決手順により処理されているところである。	4.6.2 Grievances related to the impacts of management activities are responded to in a timely manner*, and are either resolved or are in the dispute* resolution process.
4.6.3 管理活動が与えた影響に関する現在に至るまでの全ての苦情の記録が保管されている。これには以下が含まれる： 1) 苦情解決のためにとられた一連の措置。 2) 地域社会*と個人への公正な補償*を含む、すべての紛争*解決処理の結果。	適応	4.6.3 森林管理活動が与えた影響に関する <u>現在に至るまでの全ての</u> 苦情の <u>最新の</u> 記録が保管されている。これには以下が含まれる： 1) 苦情解決のためにとられた一連の措置 2) 地域社会*と個人への公正な補償*を含む、紛争*解決の結果	4.6.3 An up to date record of grievances related to the impacts of management activities is held including: 1) Steps taken to resolve grievances 2) Outcomes of all dispute* resolution processes including fair compensation* to local communities and individuals; and

3) 未解決の紛争*と未解決の理由及び解決のための方法。		3) 紛争*が未解決の場合は未解決の理由、解決のためのに向けた方法と進捗状況	3) For unresolved disputes*, <u>the reasons why they are not resolved, how they will be resolved and its a plan for the resolution and the progress</u>
4.6.4 以下の条件に該当する紛争*がある場合は、 <u>当該地域において</u> 施業が中止されている： 1) <u>規模*が大きい大規模な紛争*</u> 。 2) 長期に及ぶ <u>紛争*</u> 。 3) 非常に多くの利害が関係している <u>紛争*</u> 。	採用	4.6.4 以下の条件に該当する紛争*がある場合は、 <u>当該地域において</u> 施業が中止されている： 1) <u>規模*が大きい大規模な紛争*</u> 。 2) 長期に及ぶ <u>紛争*</u> 。 3) 非常に多くの利害が関係している <u>紛争*</u> 。	4.6.4 Operations cease in areas while disputes* exist of: 1) Substantial magnitude*; 2) Substantial duration*; or 3) Involving a significant number of interests.

4.7 組織*は、地域社会*との協議*により、地域社会*にとって文化、生態、経済、宗教、精神の観点から特別な意味を持ち、地域社会*が法的*または慣習的な権利*を持つ場所を特定しなければならない。これらの場所は組織*とその経営層により認識され、地域社会*との協働*により保護*されなければならない(新規)。			4.7 The Organization*, through engagement* with local communities*, shall* identify sites which are of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance, and for which these local communities* hold legal* or customary rights*. These sites shall* be recognized by The Organization*, and their management and/or protection* shall* be agreed through engagement* with these local communities*. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

4.7.1 地域社会*にとって文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持ち、地域社会*が法的*または慣習的な権利*を持つ場所が地域社会*の慣習に合った*方法での協議*により特定されている。また組織*はこれらの場所を認識している。	採用	4.7.1 地域社会*にとって文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持ち、地域社会*が法的*または慣習的な権利*を持つ場所が地域社会*の慣習に合った*方法での協議*により特定されている。また組織*はこれらの場所を認識している。	4.7.1 Sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance for which local communities* hold legal* or customary rights* are identified through culturally appropriate* engagement* and are recognized by The Organization*.
4.7.2 地域社会*の慣習に合った*方法での協議*により、このような場所を保護*する方法が合意され、文書化された上で実施されている。このような場所を物理的に特定し、文書化または地図上に記すことにより、これらの価値が脅かされる恐れがあると地域社会*が判断した場合は、その他の方法を用いること。	採用	4.7.2 地域社会*の慣習に合った*方法での協議*により、このような場所を保護*する方法が合意され、文書化された上で実施されている。このような場所を物理的に特定し、文書化または地図上に記すことにより、これらの価値が脅かされる恐れがあると地域社会*が判断した場合は、その他の方法を用いること。	4.7.2 Measures to protect such sites are agreed, documented and implemented through culturally appropriate* engagement* with local communities*. When local communities* determine that physical identification of sites in documentation or on maps would threaten the value or protection* of the sites, then other means will be used.
4.7.3 文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持つ場所が新たに発見された場合は国の法令*や地域の法律*に従い、保護方法が地域社会*との間で合意されるまでは、近隣での管理活動は中断されている。	採用	4.7.3 文化的、生態的、経済的、宗教的、精神的に特別な意味を持つ場所が新たに発見された場合は国の法令*や地域の法律*に従い、保護方法が地域社会*との間で合意されるまでは、近隣での管理活動は中断されている。	4.7.3 Whenever sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance are newly observed or discovered, management activities cease immediately in the vicinity until protective measures have been agreed to with the local communities*, and as directed by local and national laws*.
4.8 組織組織*は、地域社会*が伝統的知識*を守り、使用する権利を尊重*し、組織組織*がそれらの伝統的知識や知的財産*を使用する際は地域社会*に補償をしなければならない。また使用する際には、自由意思による、			4.8 The Organization* shall* uphold* the right of local communities* to protect* and utilize their traditional knowledge* and shall* compensate local

<p>事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を通じて組織組織*と地域社会*の間で基準*3.3のような拘束力のあ る契約*を締結しなければならない。またこれは知的財産*権の保護*に沿うものでなければならない。(新規)</p>		<p>communities* for the utilization of such knowledge and their intellectual property*. A binding agreement* as per Criterion* 3.3 shall* be concluded between The Organization* and the local communities* for such utilization through Free, Prior and Informed Consent* before utilization takes place, and shall* be consistent with the protection* of intellectual property* rights. (new)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
4.8.1 伝統的知識*や知的財産*は保護され、 それらの保有者との間で拘束力のある契約*により 自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同 意(FPIC)*が示された場合にのみ使用されてい る。	採用	4.8.1 伝統的知識*や知的財産*は保護され、 それらの保有者との間で拘束力のある契約*により 自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同 意(FPIC)*が示された場合にのみ使用されてい る。	4.8.1 Traditional knowledge* and intellectual property* are protected and are only used when the owners of that traditional knowledge* and intellectual property* have provided their Free, Prior and Informed Consent* formalized through a binding agreement*.
4.8.2 自由意思による、事前の、十分な情報に 基づく同意(FPIC)*を通じて得られた拘束力のあ る契約*に従い、伝統的知識*や知的財産*の使 用に関して地域社会*は補償を受けている。	適応	4.8.2 地域社会*の伝統的知識*や知的財産* が使用されている場合、自由意思による、事前 の、十分な情報に基づく同意(FPIC)*を通じて得 られた拘束力のある契約*に従い、伝統的知識* や知的財産*の使用に関して地域社会*は補償を 受けている。	4.8.2 Where traditional knowledge* and intellectual property* is used, local communities* are compensated according to the binding agreement* reached through Free, Prior and Informed Consent*.

<p>原則 5: 森林のもたらす便益</p> <p>組織*は、長期*的な経済的継続性*や様々な環境、社会便益を維持、向上するよう、管理区画*から得られる多様な林産物やサービスを効果的に管理しなければならない。(V4 原則 5)</p>		<p>PRINCIPLE 5: BENEFITS FROM THE FOREST*</p> <p>The Organization* shall* efficiently manage the range of multiple products and services of the Management Unit* to maintain or enhance long-term* economic viability* and the range of social and environmental benefits. (P5 P&C V4)</p>	
<p>5.1 組織*は、地域経済を多様化、活性化するため、管理区画*の多様な資源や生態系サービス*に基づいた様々な林産物を管理活動の規模*と強度*に応じて特定して生産し、より多くの便益をもたらすよう、管理しなければならない。(V4 基準*5.2、5.4)</p>		<p>5.1 The Organization* shall* identify, produce, or enable the production of, diversified benefits and/or products, based on the range of resources and ecosystem services* existing in the Management Unit* in order to strengthen and diversify the local economy proportionate to the scale* and intensity* of management activities. (C5.2 and 5.4 P&C V4).</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
5.1.1 地域経済を活性化、多様化できる多様な資源と生態系サービス*が特定されている。	適応	<p>5.1.1 地域経済の活性化、多様化につながる可能性のある多様な資源と生態系サービス*が特定されている。</p> <p>注：これには、<u>例として</u>非木材林産物*や利用価値のある樹種の発掘、漁場・レクリエーションの場の提供などが含まれる。</p>	<p>5.1.1 The range of resources and ecosystem services* that could strengthen and diversify the local economy are identified.</p> <p>Note: This includes NTFP*, valuable but not well utilized tree species, places for fishing and recreation, <u>for example</u>.</p>

5.1.2 地域経済を活性化、多様化するために、管理目的*に従い、特定された多様な林産物と便益が組織*により生産、利用されているか、他者が生産、利用できるようにしている。	適応	5.1.2 地域経済を活性化、多様化するために、管理目的*に従い、特定された多様な林産物や便益の利用が図られている。 小規模組織*は、ひとつの林産物に依存しないように努力している。大規模組織*は、多様な資源とサービスの利用に向けて積極的に普及啓発や販路拡大に努めている。	5.1.2 Consistent with management objectives*, The Organization* promotes utilization of the identified benefits and products to strengthen and diversify the local economy. Small-scale organizations* make an effort not to depend on one forest product. Large-scale organizations* actively works to raise awareness and expand sales channels for utilization of wide range of resources and services.
5.1.3 組織*が生態系サービス*の維持及び/または向上に関して FSC の広告宣伝を行う場合は附則 C の追加要求事項に従っている。	採用	5.1.3 組織*が生態系サービス*の維持及び/または向上に関して <u>支払を得る目的で</u> FSC の広告宣伝を行う場合は附則 C の追加要求事項に従っている。	5.1.3 When The Organization* makes FSC promotional claims regarding the maintenance and/or enhancement of ecosystem services* <u>to receive payment</u> , Annex C is followed regarding additional requirements.

5.2 組織*は、管理区画*からの林産物の収穫とサービスの利用を、それらが持続できる水準以下に抑えなければならない。(V4 基準*5.6)		5.2 The Organization* shall* normally harvest products and services from the Management Unit* at or below a level which can be permanently sustained. (C5.6 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
5.2.1 木材伐採量*は成長量、収穫量、森林調査、枯死割合、生態系機能*維持に関する最新	適応	5.2.1 予定された 木材伐採量*は信頼のおける成長量及び蓄積量のデータに基づいている。 中規模*、大規模組織*は、行政からの標準デー	5.2.1 The planned timber harvesting level* is based on credible <u>data of growth and growing-stock data</u> . Medium and large scale organizations* not only use

<p>の利用可能な最も有効な情報*の分析結果に基づいている。</p>	<p>タを利用するだけでなく、実際の成長量と比較し、データの正確さを把握している。正確でない場合は、管理計画*作成の際その差を考慮している。また、中規模*、大規模組織*は、根拠となる地方公共団体の成長量データの精度向上に貢献しており、枯死割合や自然かく乱による材積や面積の減少を考慮し、生態系機能*維持に関する最新の利用可能な最も有効な情報*の分析に基づいて伐採量を決めている。</p> <p>注：これは必ずしも常に伐採量が成長量を上回ってはいけないということではない。将来の収穫のための蓄積を確保し、長期*にわたる木材収穫の持続可能性が示せることが重要。</p>	<p>the standardized data provided by the local government but also understand the accuracy of the data by comparing it with the actual growth. If the data is not accurate, deviation is taken into consideration when developing the management plan*. Medium and large scale organizations* contribute to the accuracy of the growth data managed by the local government and determine the harvesting level based on the analysis of the current best available information* on maintenance of ecosystem functions*, considering mortality rates and loss of standing volume or forest area by natural disturbances.</p> <p>Note: This does not necessarily mean that yield cannot exceed the growth. What is important is to demonstrate the direction and plan for the long-term* forest management and its sustainability.</p>
<p>5.2.2 木材伐採量*分析に基づき、木材の最大年間可能伐採量が決定されている。これは成長量を上回らず、丸太の収穫が持続できる水準以下である。</p>	<p>適応</p> <p>5.2.2 <u>5.2.1 で特定されたデータ</u>収穫予定量分析に基づき、木材の年間許容伐採量が決定されている。これは林分単位や経営単位で設定され長期的に木材の収穫が持続できる水準以下である。</p> <p>注：林分単位、経営単位の設定とは、例えば、</p>	<p>5.2.2 Based on the <u>data specified in 5.2.1</u>planned timber harvesting level* analysis, an allowable annual cut (AAC) for timber is determined. The AAC is determined for each stand or <u>operational management</u>unit, and does not exceed</p>

		<p>輪伐期を考慮し同一流域内での伐採量を決定するなど。</p> <p><u>注：一</u></p>	<p>the harvest level that can be permanently sustained.</p> <p>Note: Setting AAC for each stand or <u>management operational</u> unit means for example, determining the harvesting level for the whole catchment taking rotation period into account.</p>
<p>5.2.3 実際の年間木材伐採量は記録されており、定められた期間の伐採量は 5.2.2 で定めたその期間分の可能伐採量を超過していない。</p>	適応	<p>5.2.3 実際の木材の年間伐採量が記録されており、5 年間の伐採実績が 5.2.2 で定めた可能伐採量のその期間の合計分を超過していない。</p> <p>注：除伐、切り捨て間伐は育林施業として、この伐採量には含まない。</p>	<p>5.2.3 Actual annual harvest levels for timber are recorded and the actual harvest over five years does not exceed the allowable cut determined in 5.2.2 for the same defined period.</p> <p>Note: Non-commercial thinning for the purpose of improving the quality and growth of remaining stand is considered as a silvicultural treatment and the cut volume is not counted for the harvested amount.</p>
<p>5.2.4 組織*の管理下での<u>商業的なサービス</u>の<u>商業的な</u>利用と非木材林産物*の収穫について、持続可能な利用量、収穫量が計算されており守られている。持続可能な利用量、収穫量は利用可能な最も有効な情報*に基づいている。</p>	適応	<p>5.2.4 組織*の管理下での<u>商業的な生態系サービス</u>の<u>商業的な</u>利用と非木材林産物*の収穫については、利用可能な最も有効な情報*に基づき持続可能な利用量、収穫量が計算されており守られている。信頼度の高い成長量のデータがない場合は、予防原則に基づき、持続可能な資源利用方法を用いている。これには、経験に裏付けされた方法も含む。</p>	<p>5.2.4 For extraction of commercially harvested <u>ecosystem</u> services and non-timber forest products* under The Organization's* control, a sustainable harvest level is calculated based on Best Available Information* and adhered to. When a reliable growth data is not available, The Organization* employs means to use the resources sustainably by taking precautional approach, including those that are empirically supported.</p>

5.3 組織*は、管理計画*において外部に及ぼす便益及び費用を把握し、考慮していることを示さなければならない。 (V4 基準*5.1)		5.3 The Organization* shall* demonstrate that the positive and negative externalities* of operations are included in the management plan*.	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
5.3.1 管理活動に付随して発生する社会、環境的な悪影響を防止、回避または補償するための費用は定量化されており、管理計画*に記載されている。	適応	<p>5.3.1 管理活動に付随して発生する社会、環境上の悪影響を防止、回避または補償するための費用が予算に計上されている。</p> <p>注：これには例として以下のものが含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農薬*の代替方法を模索するための取り組みの費用 生分解チェーンオイルの使用に伴う追加費用 少花粉の苗の購入費用 侵略的外来種生物*駆除のための費用 管理区画*内の危険箇所について事故や災害を防止するための対策の費用 安全装備の整備費用 新植に伴う獣害対策の費用 損害を与えた際の補償費用 内水系へ影響についての漁業利権者への補償費用 	<p>5.3.1 Costs related to preventing, mitigating or compensating for negative social and environment impacts of management activities are included in the budget.</p> <p>Note: This includes the following costs for example.</p> <ul style="list-style-type: none"> Cost for exploring an alternative to pesticides* Additional costs associated with the use of biodegradable chain oil Cost of purchasing conifer seedlings of less pollen varieties Cost for controlling invasive alien species* Cost to take measures to prevent accidents and disasters in dangerous places within the Management Unit* Cost of personal protective equipment (PPE) Cost to control damages from animal pests associated with planting Compensation in case of incurring damages

			<ul style="list-style-type: none"> Compensation for stakeholders* in fishery for the impact on the hydrology
5.3.2 管理活動による社会、環境的な好影響に伴う便益は特定され、管理計画*に含まれている。	適応	<p>5.3.2 管理活動による社会、環境上の好影響に伴う便益は特定され、管理計画*に含まれている。</p> <p>注：これには例として、雇用創出、地域経済への貢献、水源涵養機能などの生態系サービス*の維持などが含まれる。</p> <p>また、便益は必ずしも定量化しなくてもよい。</p>	<p>5.3.2 Benefits related to positive social and environment impacts of management activities are identified and included in the management plan*.</p> <p>Note: This includes job creation, contribution to the local economy, and maintenance of ecosystem services* such as watershed protection function for example. The benefits do not necessarily need to be quantified.</p>

5.4 組織*は、地元の 加工施設やサービスの提供の場が存在する場合、規模*、強度*、リスク*に応じて可能な限りこれらを利用しなければならない。このような施設やサービスが存在しない場合、地元でのこれらの創出に努力しなければならない。(V4 基準*5.2)				5.4 The Organization* shall* use local processing, local services, and local value adding to meet the requirements of The Organization* where these are available, proportionate to scale*, intensity* and risk*. If these are not locally available, The Organization* shall* make reasonable* attempts to help establish these services. (C5.2 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	
5.4.1 他の地域と比較して費用、品質、生産能力が劣らない場合、地元の製品、サービス、加工施設、付加価値づけ施設が利用されている。	適応	5.4.1 他の地域と比較して費用、品質、生産能力が劣らない場合、地元の製品、サービス、加工施設、付加価値づけ施設が利用されている。なお、	5.4.1 Where cost, quality and capacity of non-local and local options are at least equivalent, local goods, services, processing and value-added facilities are used. When The Organization* does	

		地元の加工施設があってもそれを利用していない場合は正当な理由がある。	not use the existing local processing facility, it is justified by a valid reason.
5.4.2 地元の製品、サービス、加工施設、付加価値づけ施設がない場合、組織*はこれらが地元で開設され、生産能力が高まるよう <u>妥当適当*</u> な程度で努力をしている。	適応	5.4.2 地元の製品、サービス、加工施設、付加価値づけ施設がない、あるいは利用できない場合、組織*は妨げる要因がない限りこれらが地元で開設される、あるいは既存の施設が利用できるような改善がされるよう努力している。 小規模組織*の場合、地域社会*と連携し、そうしたサービスを地元で作り出す話し合いを行っている。大規模組織*は地元でそうした施設がない場合、積極的に地元でそうした施設を開設するための具体的な取り組みを行っている。	5.4.2 Where local goods, services, processing and value-added facilities are not available, <u>reasonable*</u> attempts are made to establish them or to improve the existing facility to make it available for use <u>in absence of impeding factors</u> . Small-scale organizations* are engaged in discussion with the local communities* to establish such services locally. Large-scale organizations* take tangible actions to establish the facility when such facilities are not available locally.

5.5 組織*は、長期*の経済的継続性*への取り組みを規模*、強度*、リスク*に応じて管理計画*や支出根拠を通じて示さなければならない。(V4 基準*5.1)			5.5 The Organization* shall* demonstrate through its planning and expenditures proportionate to scale*, intensity* and risk*, its commitment to long-term* economic viability*. (C5.1 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
5.5.1 本規格への適合と長期*的な経済性*を保つため、管理計画*の実施に十分な資金が計上されている。	適応	5.5.1 管理計画*を実施するために <u>必要十分</u> な資金が計上されている。収入の予測は、推定される森林産物の収穫と矛盾せず、木材価格の変動も視野に入れた妥当な*価格予測に基づいている。	5.5.1 Sufficient funds are allocated to implement the management plan*. Revenue estimate is consistent with the planned harvest volume of the forest products, and is based on a reasonable*

			price estimate which takes the fluctuation in wood prices into consideration.
5.5.2 <u>同上、本規格への適合と長期*的な経済性*</u> を保つため、管理計画*の実施に必要な支出と投資がされている。	適応	5.5.2 管理計画*を適切に実施し、よりよい管理活動を行っていくために必要な支出と投資がされている。 <u>注：大規模組織*では、戦略的な研究開発に必要な費用も計上されており、費用対効果分析など、積極的なコスト管理をしている。</u>	5.5.2 Expenditures and investments are made to implement the management plan* appropriately and to explore better management options. <u>Note: Large organizations include budget for strategic research and development and proactively manage the cost, by conducting a cost-benefit analysis, for example.</u>
	追加	5.5.3 収入と支出 <u>は</u> のバランスは管理目的や方針に沿っており一貫してバランスが取れており、長期*的に継続して採算を保つための計画がある。 <u>注：商業目的の林業経営を主として行っている組織では、林業収入と支出のバランスがとれていることが望ましい。社会貢献や研究等、非商業的な目的で森林管理をしている場合は、森林管理に充当できる資金と支出のバランスが取れている。</u>	5.5.3 <u>The balance of income and expenditure is in line with the management objectives and strategy, consistently balanced</u> and a plan is in place to maintain the long term* economic viability. <u>Note: Income and expenditures from forestry should be balanced for the Organization that manages forests mainly for commercial purpose. For forests managed for non-commercial purpose such as CSR or research, expenditures should be balanced with the fund allocated for forest management.</u>
—	追加	5.5.4 林齢構成の平準化など、長期*にわたり収穫を安定させ、経済性を保つよう、具体的な取り組みを行っている。	5.5.4 Specific measures are in place to stabilize the harvest level and maintain economic stability over a long term*, such as leveling the stand age structure.

DRAFT

原則 5 附則 C : 生態系サービス*に関する追加要求事項

この附則は、FSC 認証に関連して生態系サービス*について宣伝をし、支払いを受ける際に、その支払いを得るための宣伝の根拠として満たさなければいけないものである。生態系サービス*について売り出すかどうかは任意であり、そうしない組織組織*にはこの附則は適用されない。

なお、現在、FSC 本部で生態系サービス認証についてのガイドライン「生態系サービス*の維持と向上についての FSC ガイダンス」や「森林管理の生態系サービス*へ与える影響評価のための FSC 手順」が作成されているが、その内容の詳細はまだ公表されていない。また、FSC の商標に関する規則も生態系サービス*を考慮に入れたものへと改定される見込みである。本附則は、こうした文書が承認された時にはそれに沿ったものに見直される予定である。

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>I. 一般指標</p> <p>1) 以下の項目を含む生態系サービス*認証文書が作成され、入手可能*な状態になっている：</p>		<p>I. 一般指標</p> <p>1) 以下の項目を含む生態系サービス*認証文書が作成され、入手可能*な状態になっている：</p>	<p>I. General Indicators</p> <p>1) A publicly available* Ecosystem Services* Certification Document is developed and includes:</p>
<p>i. 広報で効果が謳われている、もしくはその予定である生態系サービス*の特定。</p>	採用	<p>i. 広報で効果が謳われている、もしくはその予定である生態系サービス*の特定。</p>	<p>i. A declaration of the ecosystem services* for which a promotional claim is being or will be made;</p>
<p>ii. 当該生態系サービス*の現在の状況の記述。</p>	採用	<p>ii. 当該生態系サービス*の現在の状況の記述。</p>	<p>ii. A description of the current condition of the declared ecosystem services*;</p>
<p>iii. 管理、利用する及び/または支払を受け取るための法的*保有権*。</p>	採用	<p>iii. 管理、利用する及び/または支払を受け取るための法的*保有権*。</p>	<p>iii. Legal* tenure* to manage, use and/or receive payments for declared ecosystem services*;</p>

iv. 維持及び/または向上に関する管理目的*。	採用	iv. 維持及び/または向上に関する管理目的*。	iv. Management objectives* related to maintenance and/or enhancement of declared ecosystem services*;
v. 当該生態系サービス*の維持及び/または向上についての検証可能な達成目標*。	採用	v. 当該生態系サービス*の維持及び/または向上についての検証可能な達成目標*。	v. Verifiable targets* related to maintenance and/or enhancement of declared ecosystem services*;
vi. 当該生態系サービス*に関する管理活動と方策。	採用	vi. 当該生態系サービス*に関する管理活動と方策。	vi. Management activities and strategies related to declared ecosystem services*;
vii. 当該生態系サービス*に貢献する管理区画*内外の区域。	採用	vii. 当該生態系サービス*に貢献する管理区画*内外の区域。	vii. Areas within and outside of the Management Unit* that contribute to the declared ecosystem services*;
viii. 管理区画*内外に存在する、生態系サービス*への脅威*。	採用	viii. 管理区画*内外に存在する、生態系サービス*への脅威*。	viii. Threats* to the declared ecosystem services* within and outside of the Management Unit*;
ix. 管理区画*内外に存在する、効果を謳われた生態系サービス*への脅威*を低減するための管理活動の記述。	採用	ix. 管理区画*内外に存在する、効果を謳われた生態系サービス*への脅威*を低減するための管理活動の記述。	ix. A description of management activities to reduce the threats* to declared ecosystem services* within and outside of the Management Unit*;
x. 効果を謳っている管理区画*内外の生態系サービス*に対する、管理活動の影響を評価するための方法の記述。これは森林管理の生態系サービス	採用	x. 効果を謳っている管理区画*内外の生態系サービス*に対する、管理活動の影響を評価するための方法の記述。これは森林管理の生態系サービス	x. A description of the methodology used to evaluate the impacts of management activities on the declared ecosystem services* within and outside of the Management Unit*, based on the FSC

*へ与える影響の評価のための FSC 手順に基づく。		ス*へ与える影響の評価のための FSC 手順に基づく。	Procedure for Demonstrating the Impact of Forest Stewardship on Ecosystem Services;
xi. 当該生態系サービス*を維持、向上させるために行われている管理活動と方策に関するモニタリング結果の記述。	採用	xi. 当該生態系サービス*を維持、向上させるために行われている管理活動と方策に関するモニタリング結果の記述。	xi. A description of monitoring results related to the implementation of management activities and strategies related to the maintenance and/or enhancement of declared ecosystem services*;
xii. 当該生態系サービス*への脅威*及び管理活動の影響評価結果の記述。	採用	xii. 当該生態系サービス*への脅威*及び管理活動の影響評価結果の記述。	xii. A description of results of the evaluation of impacts of activities and threats* on the declared ecosystem services*;
xiii. 当該活動に関わる地域社会*とその他組織の一覧。	採用	xiii. 当該活動に関わる地域社会*とその他組織の一覧。	xiii. A list of communities and other organizations involved in activities related to the declared ecosystem services*; and
xiv. 先住民族*及び地域社会*との慣習に合った*方法での協議*の概要。これには原則 3 と原則 4 に則り、生態系サービス*へのアクセス、利用、及び便益共有が含まれる。	採用	xiv. 先住民族*及び地域社会*との慣習に合った*方法での協議*の概要。これには原則 3 と原則 4 に則り、生態系サービス*へのアクセス、利用、及び便益共有が含まれる。	xiv. A summary of culturally appropriate* engagement* with Indigenous Peoples* and local communities*, related to the declared ecosystem services* including ecosystem services* access and use, and benefit sharing, consistent with Principle* 3 and Principle* 4.
2) 影響評価の結果は、効果が謳われている生態系サービス*の維持及び/または向上のための検証可能な達成目標*が満たされて	採用	2) 影響評価の結果は、効果が謳われている生態系サービス*の維持及び/または向上のための検証可能な達成目標*が満たされている	1) The results of the evaluation of impacts demonstrate that verifiable targets* for the maintenance and/or enhancement of the

いるか、それ以上の効果をあげていることを示している。		か、それ以上の効果をあげていることを示している。	declared ecosystem services* are met or exceeded; and
3) 影響評価結果は、管理活動が管理区画*内外の、効果が謳われている生態系サービス*に対して悪影響を与えていないことを示している。	採用	3) 影響評価結果は、管理活動が管理区画*内外の、効果が謳われている生態系サービス*に対して悪影響を与えていないことを示している。	2) The results of the evaluation of impacts demonstrate no negative impacts from management activities on the declared ecosystem services* within or outside of the Management Unit*.
II. 管理指標 A. すべてのサービス 1) 生態系サービス*のすべてについて管理指標は以下を含む：		II. 管理指標 A. すべてのサービス 1) すべての生態系サービス*について、以下が保障されている：	I. Management Indicators A. All Services 1) For all Ecosystem Services* it is ensured that:
i. 泥炭地*は排水されない。	適応	i. 泥炭地*や湿地*は排水または増水されず、踏み荒らされるなどの人為的かく乱を受けていない。	i. Peatlands* and wetlands* are not drained, flooded or disturbed by other human activities such as trampling;
ii. 湿地*、泥炭地*、サバンナ、自然草原*は人工林*やその他のいかなる土地利用へも転換されない。	採用	ii. 湿地*、泥炭地*、自然草原*、自然林*は人工林*やその他のいかなる土地利用へも転換されない。	ii. Wetlands*, peatlands*, savannahs or natural grasslands* are not converted to plantations* or any other land use;
iii. 以下の場合を除き 1994 年 11 月以降に湿地*、泥炭地*、サバンナ、自然草原*から人工林*へ転換された場所は認証されない：	採用	iii. 以下の場合を除き1994年11月以降に湿地*、泥炭地*、自然草原*から人工林*へ転換された場所は認証されない：	iii. Areas converted from wetlands*, peatlands*, savannahs or natural grasslands* to plantation* since November 1994 are not certified, except where: a) The Organization* provides clear and

<p>a) <u>組織組織*</u>には直接的にも間接的にも転換の責任がなかったという明確にかつ十分な証拠を示すことができる。</p> <p>または</p> <p>b) 転換により管理区画*に明確に多大で追加的、かつ安全で長期*にわたる保全*面でのメリットがもたらされた。</p> <p>及び</p> <p>c) 1994 年 11 月以降に人工林*に転換された面積が管理区画*の 5%未満である。</p>		<p>a) <u>組織組織*</u>には直接的にも間接的にも転換の責任がなかったという明確にかつ十分な証拠を示すことができる。または</p> <p>b) 転換により管理区画*に明確に多大で追加的、かつ安全で長期*にわたる保全*面でのメリットがもたらされた。及び</p> <p>c) 1994 年 11 月以降に人工林*に転換された面積が管理区画*の 5%未満である。</p>	<p>sufficient evidence that it was not directly or indirectly responsible for the conversion; or</p> <p>b) The conversion is producing clear, substantial, additional, secure, long-term* conservation* benefits in the Management Unit*; and</p> <p>c) The total area of plantation* on sites converted since November 1994 is less than 5% of the total area of the Management Unit*.</p>
<p>iv. 特定された高い保護価値(HCV)*が認められる地域*を維持及び/または向上させるための管理方策と活動の効果について、<u>組織組織*</u>とは独立した有識者が確認している。</p>	採用	<p>iv. 特定された高い保護価値(HCV) <u>*をもつが認められる</u>地域*を維持及び/または向上させるための管理方策と活動の効果について、<u>組織組織*</u>とは独立した有識者が確認している。</p>	<p>iv. Knowledgeable experts independent of The Organization* confirm the effectiveness of management strategies and actions to maintain and/or enhance the identified High Conservation Value* areas.</p>
<p>B. 炭素隔離吸収と炭素・貯蔵</p> <p>1) 炭素隔離吸収と炭素・貯蔵について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 9 の多面的機能*の維持のための要求事項に加えて、以下が示されなければならない：</p>	採用	<p>B. 炭素隔離吸収と炭素・貯蔵</p> <p>1) 炭素隔離吸収と炭素貯蔵について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 9 の多面的機能*の維持のための要求事項に加えて、以下が示されなければならない：</p>	<p>B. Carbon Sequestration and Storage</p> <p>1) In addition to requirements to maintain environmental values* in Principle* 6, and Principle 9* when promotional claims are made regarding carbon sequestration and storage, the following are demonstrated:</p>

xv. 生態系サービス*の維持と向上についての FSC ガイダンスに従い、森林が炭素貯蔵のために保護されていることが確認されている。	採用	i. 生態系サービス*の維持と向上についての FSC ガイダンスに従い、森林が炭素貯蔵のために保護されていることが確認されている。	i. Forests* are identified to be protected due to their carbon stocks, according to the FSC Guidance for Maintaining and Enhancing Ecosystem services*.
i. 生態系サービス*の維持と向上についての FSC ガイダンスに示されているような森林保護*及び低影響伐採を含めた活動を通じて、管理活動は森林の炭素貯蔵量を維持、向上または復元*させている。	採用	ii. 生態系サービス*の維持と向上についての FSC ガイダンスに示されているような森林保護*及び低影響伐採を含めた活動を通じて、管理活動は森林の炭素貯蔵量を維持、向上または復元*させている。	ii. Management activities maintain, enhance or restore* carbon storage in the forest*; including through forest* protection* and reduced impact logging practices for carbon, as described in the FSC Guidance for Maintaining and Enhancing Ecosystem services*.
C. 生物多様性*の保全* 1) 生物多様性*の保全*について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 9 における生物多様性*保全*の条項に加えて、以下が示されなければならない：	採用	C. 生物多様性*の保全* 1) 生物多様性*の保全*について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 9 における生物多様性*保全*の条項に加えて、以下が示されなければならない：	C. Biological Diversity* Conservation* 1) In addition to provisions to protect biological diversity* in Principle* 6 and Principle* 9, when promotional claims are made regarding biological diversity* conservation*, the following are demonstrated:
i. 管理活動は以下を維持、向上または復元*させている。 a) 希少種*や <u>危急種絶滅危惧種</u> *及びそれらの生息・生育域*。これには、これらの存続のための保全地帯*や保護区*の設置や、生息・生育域*間の接続	適応	i. 管理活動は以下を維持、向上または復元*させている。 a) 希少種*や <u>危急種絶滅危惧種</u> *及びそれらの生息・生育域*。これには、これらの存続のための保全地帯*や保護区*の設置や、生息・生育域*間の接	i. Management activities maintain, enhance or restore*: a) Rare* and threatened species* and their habitats*, including through the provision of conservation zones*, protection areas*, connectivity*, and other direct means for their survival and viability; and

<p>性*の確保、その他の直接的な方法を含む。</p> <p>b) 自然景観の特徴。森林の多様性、構成や構造を含む。</p>		<p>続性*の確保、その他の直接的な方法を含む。</p> <p>b) 自然景観の特徴。森林の多様性、構成や構造、多様な生息・生育域*の環境のモザイクを含む。</p>	<p>b) Natural landscape-level characteristics, including forest* diversity, composition and structure, and mosaic of diverse habitat* environment.</p>
<p>ii. 保全地域網*及び管理区画*の外にある保全地域が以下をすべて満たす：</p> <p>a) 管理区画*に存在するすべての多面的機能*を代表する。</p> <p>b) 自然のプロセスを守るのに十分なサイズと機能上の接続性*を持つ。</p> <p>c) 焦点生物種*、希少種*、<u>危急種絶滅危惧種</u>*の生息・生育域*のすべてが含まれる。</p> <p>d) 地域の希少種*、<u>危急種絶滅危惧種</u>*を含む注目すべき生物種*の維持に必要な個体数を支えられるだけの面積または他の適当な生息・生育域との機能上の接続性*がある。</p>	採用	<p>ii. 保全地域網*及び管理区画*の外にある保全地域が以下をすべて満たす：</p> <p>a) 管理区画*に存在するすべての多面的機能*を代表する。</p> <p>b) 自然のプロセスを守るのに十分なサイズと機能上の接続性*を持つ。</p> <p>c) 焦点生物種*、希少種*、<u>危急種絶滅危惧種</u>*の生息・生育域*のすべてが含まれる。</p> <p>d) 地域の希少種*、<u>危急種絶滅危惧種</u>*を含む注目すべき生物種*の維持に必要な個体数を支えられるだけの面積または他の適当な生息・生育域との機能上の接続性*がある。</p>	<p>ii. The conservation area network*, and conservation areas outside the Management Unit*:</p> <p>a) Represents the full range of environmental values* in the Management Unit*;</p> <p>b) Has sufficient size or functional connectivity*, to support natural processes;</p> <p>c) Contains the full range of habitats present for focal species* and rare* and threatened species*; and</p> <p>d) Has sufficient size or functional connectivity* with other suitable habitat* to support viable populations of focal species* including rare* and threatened species* in the region.</p>

iii. 保全地域網*が十分であるかどうかは <u>組織組織*</u> と独立した有識者が確認する。	採用	iii. 保全地域網*が十分であるかどうかは <u>組織組織*</u> と独立した有識者が確認する。	iii. Knowledgeable experts independent of The Organization* confirm the sufficiency of the conservation area network*.
D.水源涵養機能 1) 水源涵養機能について広告宣伝を行う場合は、原則 6 の水を保護するための措置や原則 10 の自然災害*の影響を軽減するための措置に加えて以下が示されなければならない： i. 評価(アセスメント)により以下が特定される： a) 恒常的及び季節的な湖沼*、河川*、及び帯水層*を含む水文学的特徴と接続性。 b) 管理活動によって影響を受ける可能性がある管理区画*内外の地域社会*や先住民族*の水需要。 c) 水資源が <u>不足逼迫*</u> ・欠乏*している地域。 d) <u>組織組織*</u> と、他の使用者による水の消費状況。	適応	D.水源涵養機能 1) 水源涵養機能について広告宣伝を行う場合は、原則 6 の水を保護するための措置や原則 10 の自然災害*の影響を軽減するための措置に加えて以下が示されなければならない： i. 評価(アセスメント)により以下が特定される： a) 恒常的及び季節的な湖沼*、河川*、及び帯水層*を含む水文学的特徴と接続性。 b) 管理活動によって影響を受ける可能性がある管理区画*内外の地域社会*や先住民族*の水需要。 c) 水資源が <u>不足逼迫*</u> ・欠乏*している地域。 d) <u>組織組織*</u> と、他の使用者による水の使用状況。ただし、これは特定された水源についての一般的な使用状況	D. Watershed Services 1) In addition to measures to protect water in Principle* 6 and measures to reduce the impact from natural hazards* in Principle* 10, where promotional claims are made regarding watershed services: i. An assessment identifies: a) Hydrological features and connections, including permanent and temporary water bodies*, watercourses*, and aquifers*; b) Domestic water needs for Indigenous Peoples* and local communities* within and outside of the Management Unit* that may be impacted by management activities; c) Areas of water stress* and water scarcity*; and d) Consumption of water by The Organization* and other users. The Organization* need to grasp the general usage of identified water

		(生活用水としての定期的な使用など)で、正確な消費量を把握する必要はない。	sources only (e.g. regular use for domestic purpose); it is not necessary to get the exact volume of water consumption.
2) 恒常的及び季節的な湖沼*、河川*や帯水層*を維持、向上、または復元*するための措置がとられている。	採用	2) 恒常的及び季節的な湖沼*、河川*や帯水層*を維持、向上、または復元*するための措置がとられている。	2) Measures are implemented to maintain, enhance or restore* permanent and temporary water bodies*, watercourses*, and aquifers*;
3) 化学物質、廃棄物*や土壌流出物が、湖沼*、河川*や帯水層*に排出されていない。	採用	3) 化学物質、廃棄物*や土壌流出物が、湖沼*、河川*や帯水層*に排出されていない。	3) Chemicals, waste and sediment are not discharged into water bodies*, watercourses* or aquifers*; and
4) 水と衛生についての人権に関する国連総会決議の定義に従い、管理活動と方策は水資源への普遍的アクセスを尊重している。	採用	4) 水と衛生についての人権に関する国連総会決議の定義に従い、管理活動と方策は水資源への普遍的アクセスを尊重している。	4) Management activities and strategies respect universal access to water, as defined in the UN resolution on the human right to water and sanitation.
E. 土壌保全 1) 土壌保全について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 10 の土壌に関する措置に加えて以下が示されなければならない：		E. 土壌保全 1) 土壌保全について広告宣伝を行う場合は、原則 6 と原則 10 の土壌に関する措置に加えて以下が示されなければならない：	E. Soil Conservation 1) In addition to measures related to soil in Principle* 6 and Principle* 10, where promotional claims are made regarding soil conservation, the following are demonstrated:
i. 薄い土壌、水はけが悪く浸水しやすい土壌、凝固しやすい土壌、不安定で浸食されやすく流出しやすい土壌など、脆弱ま	採用	i. 薄い土壌、水はけが悪く浸水しやすい土壌、凝固しやすい土壌、不安定で浸食されやすく	i. Vulnerable or high risk* soils are identified, including thin soils, soils with poor drainage and subject to water logging, and soils prone to compaction, erosion, instability and run-off;

たはリスク*の高い土壌が特定されている。		流出しやすい土壌など、脆弱またはリスク*の高い土壌が特定されている。	
ii. 土壌の凝固、浸食、土砂災害を少なくする措置が実施されている。	採用	ii. 土壌の凝固、浸食、土砂災害を少なくする措置が実施されている。	ii. Measures are implemented to reduce compaction, erosion and landslides;
iii. 土壌の肥沃度と安定性を維持、向上、または復元*するための管理活動。	採用	iii. 土壌の肥沃度と安定性を維持、向上、または復元*するための管理活動。	iii. Management activities maintain, enhance or restore soil fertility and stability; and
iv. 化学物質と廃棄物*は土壌に排出されていない。	採用	iv. 化学物質と廃棄物*は土壌に排出されていない。	iv. Chemicals and waste are not discharged into soil.
F. レクリエーション機能 1) レクリエーション機能について広告宣伝をする場合、原則 2、原則 5、原則 9 で特定されている、管理活動が社会的価値に与える悪影響を評価、予防、軽減する措置に加えて、以下が示されなければならない：	採用	F. レクリエーション機能 1) レクリエーション機能について広告宣伝をする場合、原則 2、原則 5、原則 9 で特定されている、管理活動が社会的価値に与える悪影響を評価、予防、軽減する措置に加えて、以下が示されなければならない：	F. Recreational Services 1) In addition to measures to assess, prevent, and mitigate negative impacts of management activities on social values identified in Principle* 2 to Principle* 5 and Principle* 9, where promotional claims are made regarding recreational services, the following are demonstrated:
i. 以下を維持、向上、または復元*するための措置がとられている： a) 名所、遺跡、歩道、景観価値の高い地区及び文化的または歴史的な地区	採用	i. 以下を維持、向上、または復元*するための措置がとられている： a) 名所、遺跡、歩道、景観価値の高い地区及び文化的または歴史的な地区を	i. Measures are implemented to maintain, enhance or restore*: a) Areas of importance for recreation and tourism including site attractions, archaeological sites, trails, areas of high

を含む、レクリエーションと観光に重要な地域 b) 観光資源となる種の個体数		含む、レクリエーションと観光に重要な地域 b) 観光資源となる種の個体数	visual quality and areas of cultural or historical interest; and b) Populations of species that are a tourist attraction.
ii. 先住民族*と地域社会*の権利、慣習及び文化が観光活動によって侵害されていない。	採用	ii. 先住民族*と地域社会*の権利、慣習及び文化が観光活動によって侵害されていない。	ii. The rights, customs and culture of Indigenous Peoples* and local communities* are not violated by tourism activities;
iii. 基準*2.3 に規定されている安全衛生の措置に加え、観光客の安全衛生を守るための措置がとられている。	採用	iii. 基準*2.3 に規定されている安全衛生の措置に加え、観光客の安全衛生を守るための措置がとられている。	iii. In addition to health and safety practices in Criterion* 2.3, practices are implemented to protect the health and safety of tourism customers;
iv. 安全衛生計画と事故発生率がレクリエーション活動に利用される地域及び観光業界の注目する地域で入手可能*であること。	採用	iv. 安全衛生計画と事故発生率がレクリエーション活動に利用される地域及び観光業界の注目する地域で入手可能*であること。	iv. Health and safety plans and accident rates are publicly available* in recreational areas and areas of interest to the tourism sector; and
v. 性別、年齢、人種、宗教、性的指向や障害による差別の防止を実証する活動の要約が示されていること。	採用	v. 性別、年齢、人種、宗教、性的指向や障害による差別の防止を実証する活動の要約が示されていること。	v. A summary is provided of activities that demonstrate prevention of discrimination based on gender, age, ethnicity, religion, sexual orientation or disability.

<p>原則 6: 多面的機能と環境への影響</p> <p>組織*は、管理区画*の生態系サービス*に資する多面的機能*を維持、保全*及び/または復元*し、また環境への悪影響を回避、改善または低減しなければならない。(V4 原則 6)</p>			<p>PRINCIPLE 6: ENVIRONMENTAL VALUES* AND IMPACTS</p> <p>The Organization* shall* maintain, conserve* and/or restore* ecosystem services* and environmental values* of the Management Unit*, and shall* avoid, repair or mitigate negative environmental impacts. (P6 P&C V4)</p>
<p>6.1 組織*は、事業活動により影響を受け得る管理区画*内外の多面的機能*を特定、評価しなければならない。この評価は、<u>事業特性規模*</u>、<u>強度*</u>、<u>リスク*</u>に見合った精度で行われ、少なくとも活動が及ぼす潜在的な悪影響を認知しモニタリングを行う上で十分で、かつ必要な保全手段を決定するのに十分でなくてはならない。(新規)</p>			<p>6.1 The Organization* shall* assess environmental values* in the Management Unit* and those values outside the Management Unit* potentially affected by management activities. This assessment shall* be undertaken with a level of detail, scale* and frequency that is proportionate to the scale*, intensity* and risk* of management activities, and is sufficient for the purpose of deciding the necessary conservation* measures, and for detecting and monitoring possible negative impacts of those activities. (new)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
6.1.1 管理区画*内の多面的機能*及び、管理活動により影響を受け得る管理区画*外の多面的機能*を評価するために利用可能な最も有効な情報*が利用されている。	適応	6.1.1 <u>管理区画*内の多面的機能*及び、管理活動により影響を受け得る管理区画*外の多面的機能*</u> を評価するために利用可能な最も有効な情報*が利用されている。 <u>組織組織*は、適切</u>	6.1.1 The Organization* uses appropriate information to evaluate environmental values* within, and, where potentially affected by management activities, outside of the Management Unit*. <u>Best available information* is used to identify</u>

な情報を用いて、管理区画*内の多面的機能*及び、管理活動により影響を受け得る管理区画*外の多面的機能*を評価している。

注：評価対象となる多面的機能には、例として以下のものが挙げられる。評価は定量的でなくともよい：

- 生態系機能（炭素の隔離吸収・貯蔵を含む）機能
- 生物多様性*（動植物相、絶滅危惧種または希少*動植物の生息・生育状況または可能性）
- 水資源
- 土壌保全機能
- 大気
- ~~水源涵養機能（水質保全機能を含む）~~
- ~~レクリエーション機能~~
- 景観的価値（文化的及び精神的な価値も含む）

評価には、以下の情報源を参照できる。種の保護の位置付けは、国よりも都道府県、都道府県よりも市町村の情報を優先すること。

- 環境省生物多様性情報システム（レッドデータブック、自然環境保全基礎調査、生物

environmental values* within, and, where potentially affected by management activities, outside of the Management Unit*.

Note: The evaluation does not need to be quantitative. Environmental values* to be evaluated includes for example:

- Ecosystem functions (including carbon sequestration and storage);
- Biological diversity* (fauna and flora, status or possibility of existence of rare*, threatened, and endangered speices);
- Water resources;
- Soils conservation;
- Atmosphere;
- ~~Watershed function~~;
- ~~Recreational value~~; and
- Landscape values* (including cultural and spiritual values).

The following information sources can be used for the evaluation. For the conservation status of a species, preference is given to information from municipalities over prefectures, and prefectures over the national level.

- Japan Integrated Biodiversity Information System (including Red Data Book, National Survey on Natural Environment, Biodiversity

	<p>多様性情報クリアリングハウスメカニズムを含む) http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地方公共団体のレッドデータ (日本のレッドデータ検索システム参照。 http://www.jpnrdb.com/) • 水情報国土データ管理センター http://www5.river.go.jp/ • 土壌情報閲覧システム http://agrimesh.dc.affrc.go.jp/soil_db/ • 入手可能*な地方公共団体の水質調査結果 • 国指定文化財等データベース http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html • 地方公共団体の担当部署 • 大学や研究所 • 環境保護団体、自然愛護団体 • 論文などの文献 • 地域社会*や先住民族*を含む利害関係者*への聞き取り 	<p>information Clearing-House Mechanism); http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html</p> <ul style="list-style-type: none"> • Red Data of local governments; (Available at Search System of Japanese Red Data http://www.jpnrdb.com/) • National Land with Water Information Data Management Center; http://www5.river.go.jp/ • Soil Information Browsing System; http://agrimesh.dc.affrc.go.jp/soil_db/ • Publicly available* water quality survey result from local governments; • National cultural heritage database; http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html • Relevant departments of local governments; • Universities and research institutions; • Environmental NGOs, nature conservation groups; • Literature including academic paper; • Consultation with affected stakeholders* including local communities* and indigenous peoples*.
--	---	--

<p>6.1.2 多面的機能*の評価は以下が可能となるような詳細度と頻度で行われている：</p> <p>1) 基準*6.2 に従って、特定された多面的機能*に対して管理活動が与える影響を評価できる。</p> <p>2) 基準*6.2 に従って、多面的機能*へのリスク*が特定できる。</p> <p>3) 基準*6.3 に従って、多面的機能*を保護するために必要な保全*手段が特定できる。</p> <p>4) 原則 8 に従って、環境への影響または環境の変化がモニタリングできる。</p>	棄却	<p><棄却理由></p> <p>ここに記載されている要求事項は指標内に参照されている基準*6.2, 6.3 を満たせば自然に満たされる。また、多面的機能は無限にあり、多面的機能へのリスク*評価というのは、実際にどのような攪乱行為が行われるかが特定されて初めて具体化し、意味のあるものとなる。それは 6.2 で行われるので、この指標は不要と考える。</p>	
---	----	--	--

<p>6.2 林地をかく乱する作業開始前に、組織*は、特定された多面的機能*に対して管理活動が与え得る影響の規模*、強度*、リスク*を特定及び評価しなければならない。(V4 基準*6.1)</p>		<p>6.2 Prior to the start of site-disturbing activities, The Organization* shall* identify and assess the scale*, intensity* and risk* of potential impacts of management activities on the identified environmental values*. (C6.1 P&C V4)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>6.2.1 環境影響評価*は林分から景観*までのレベルの多面的機能*に対して、管理活動が現在そして将来的に与え得る影響を特定している。</p>	適応	<p>6.2.1 環境影響評価*は林分から景観*までのレベルの多面的機能*に対して、管理活動が現在そして将来的に与え得る影響を特定している。</p> <p>注：影響を評価対象となるべき管理活動には <u>例えば</u>以下のものを含む：</p>	<p>6.2.1 An environmental impact assessment* identifies potential present and future impacts of management activities on environmental values*, from the stand level to the landscape* level.</p> <p>Note: The management activities to bethat can be</p>

- 道路の開設、維持
- 地拵え
- 植栽
- 下刈り
- 伐採
- 搬出
- 農薬*や肥料*の使用
- 狩猟や釣り、採集

影響には例えば以下のものを含むが、これに限らない。

- 動植物相の変化
- 森林構造の変化
- 野生動植物の生息・生育域*の劣化
- 土壌侵食
- 水質劣化
- 炭素貯蔵量の変化
- レクリエーション機能への影響
- 文化的価値への影響

evaluated for its impact includes for example:

- Road construction and maintenance;
- Site preparation;
- Planting;
- Weeding;
- Felling;
- Log extraction;
- Use of pesticides* and fertilizers*;
- Hunting, fishing, and collecting of forest products.

Possible impact includes for example but not limited to:

- Change in fauna and flora;
- Change in forest structure;
- Degradation of animal and plant habitat*;
- Soil erosion;
- Water quality degradation;
- Change in carbon storage;
- Impact on recreational value;
- Impact on cultural value.

<p>6.2.2 環境影響評価*による管理活動の影響の予測（事前評価）及び特定は、林地をかく乱する活動の開始前に実施されている。</p>	<p>適応</p>	<p>6.2.2 環境影響評価*による管理活動の影響の予測（事前評価）は、施業の実施前に施業予定の林地を対象に行われている。</p> <p>注：この事前評価で特定すべき影響を受けやすい脆弱な場所には、<u>例えば</u>以下のものが<u>挙げられる。を含むが、これに限らない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 絶滅危惧種を含む、野生動植物の重要な生息・生育場所 • 脆弱な土壌や川岸地帯*などの影響を受けやすい場所 • 劣化した場所 • 侵略的外来種*が侵入している場所 <p>また、考えられる悪影響には<u>例えば、</u>以下のものが考えられる<u>が、これに限られない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 野生動植物の生息・生育域の劣化 • 絶滅危惧種の減少 • 土壌侵食 • 水質劣化 	<p>6.2.2 The impact of management activities is predicted through the environmental impact assessment* (pre-assessment) for the forest land where management activities are planned prior to the start of the operation.</p> <p>Note: The vulnerable places to be identified in this pre-assessment <u>can</u> includes <u>for example but not limited to:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Important habitat for animals and plants including endangered speices; • Places that are easily affected, such as vulnerable soil and riparian zones*; • Degraded area; • Areas affected by invasive alien species*. <p>Potential negative impacts <u>can</u> includes <u>for example but not limited to:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Habitat degradation of wild animals and plants; • Population decline of endangered species; • Soil erosion; • Water quality degradation.
--	-----------	---	---

6.3 組織組織*は多面的機能*に対する悪影響を、その影響の事業特性規模*、強度*、リスク*に応じた範囲で回避し、また悪影響がみられた際には、それを低減、改善するための効果的な手法を特定し、実施しなければならない。 (V4 基準*6.1)			6.3 The Organization* shall* identify and implement effective actions to prevent negative impacts of management activities on the environmental values*, and to mitigate and repair those that occur, proportionate to the scale*, intensity* and risk* of these impacts. (C6.1 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
6.3.1 管理活動は多面的機能*を保護し、悪影響を回避するよう計画、実施されている。	採用	6.3.1 管理活動は多面的機能*を保護し、悪影響を回避するよう計画、実施されている。	6.3.1 Management activities are planned and implemented to prevent negative impacts and to protect environmental values*.
6.3.2 管理活動による多面的機能*への悪影響は回避されている。	採用	6.3.2 管理活動による多面的機能*への悪影響は回避されている。	6.3.2 Management activities prevent negative impacts to environmental values*.
6.3.3 多面的機能*への悪影響が発生した場合は、更なるダメージを与えないよう措置が取られ、悪影響は低減及び/または補修されている。	採用	6.3.3 多面的機能*への悪影響が発生した場合は、更なるダメージを与えないよう措置が取られ、悪影響は低減及び/または補修されている。	6.3.3 Where negative impacts to environmental values* occur, measures are adopted to prevent further damage, and negative impacts are mitigated* and/or repaired*.

<p>6.4 組織*は、管理区画*内に存在する希少種*、危急種絶滅危惧種*とそれらの生息・生育域*が健全に存続できるよう、保護しなければならない。そのため、当該地域の中に保全地帯*、保護区*を設け、接続性*を確保し、希少種*や危急種絶滅危惧種*の生存条件を整えなくてはならない。こうした対策を立てる際、希少種*と危急種絶滅危惧種*の管理区画*を超えた地理的分布と生態的必要条件を考慮しなければならない。(V4 基準*6.2)</p>				<p>6.4 The Organization* shall* protect rare species* and threatened species* and their habitats* in the Management Unit* through conservation zones*, protection areas*, connectivity* and/or (where necessary) other direct measures for their survival and viability. These measures shall* be proportionate to the scale*, intensity* and risk* of management activities and to the conservation* status and ecological requirements of the rare* and threatened species*. The Organization* shall* take into account the geographic range and ecological requirements of rare* and threatened species* beyond the boundary of the Management Unit*, when determining the measures to be taken inside the Management Unit*. (C6.2 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	
<p>6.4.1 国や地域の希少種*と危急種絶滅危惧種*リストに記載されている、管理区画*内や隣接地に存在する、または存在する可能性が高い希少種*と危急種絶滅危惧種*、及びワシントン条約対象種(該当する場合)とそれらの生息・生育域*は、利用可能な最も有効な情報*に基づき特定されている。</p>	<p>適応</p>	<p>6.4.1 管理区画*内や隣接地に存在する、またはその可能性のある国や地域のレッドリストに記載されている希少種*、危急種、絶滅危惧種、ワシントン条約対象種、及びそれらの種の生息・生育域*は特定されている。</p> <p>注：評価には、以下の情報源を参照できる。種の</p>	<p>6.4.1 Rare* and threatened species*, including CITES listed species and those listed on national, regional and local lists of rare* and threatened species* and their habitats* that are present or likely to be present within and adjacent to the Management Unit* are identified.</p>	

		<p>保護の位置付けについては、国よりも都道府県、都道府県よりも市町村のものを優先すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本のレッドデータ検索システム（地方公共団体のレッドリスト情報が統合されているサイト） http://www.jpnrdb.com/ 環境省生物多様性情報システム（レッドデータブック、自然環境保全基礎調査、生物多様性情報クリアリングハウスメカニズムを含む） http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html 大学や研究所、専門家有識者 環境保護団体、自然愛護団体 論文などの文献 地域社会*、先住民族*を含む利害関係者*への聞き取り 	<p>Note: For the assessment, the following information source can be used. For the conservation status of a species, preference is given to that of municipality level over prefectural level, and prefectural over the national level.</p> <ul style="list-style-type: none"> Search System of Japanese Red Data (A site where Red Data of local governments are integrated); http://www.jpnrdb.com/ Japan Integrated Biodiversity Information System (including Red Data Book, National Survey on Natural Environment, Biodiversity information Clearing-House Mechanism); http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html Universities and research institutions, eExperts; Environmental NGOs, nature conservation groups; Literature including academic papers; Consultation with affected stakeholders* including local communities* and indigenous peoples*.
6.4.2 希少種*と 危急種絶滅危惧種 *及びそれらの保全*状態や生息・生育域*に対して、管理活動が与え得る影響が特定されており、それらへの	適応	6.4.2 特定された希少種*や絶滅危惧種*及びそれらの重要な生息・生育域に対して、管理活動	6.4.2 Potential impacts of management activities on rare* and threatened species* and their important

悪影響を回避するように管理活動が工夫されている。		与え得る影響が特定されており、それらの悪影響を回避するように管理活動が工夫されている。	habitats* are identified and management activities are modified to avoid negative impacts.
6.4.3 保全地帯*や保護区*の設置、接続性*の確保、及び種の回復プログラムのようなより直接的な方法などの取り組みを通じて希少種*、 <u>危急種絶滅危惧種</u> *とそれらの生息・生育域*が保護されている。	適応	6.4.3 特定された希少種*や絶滅危惧種*について、生息・生育域の保全地帯*や保護区*の設置、個体数回復プログラムなどの <u>積極的な</u> 取り組みが行われている。	6.4.3 <u>MActive</u> measures are in place to protect the identified rare* and threatened species*, through provision of conservation zones*, protection areas*, species' recovery programs for example.
6.4.4 希少種*と <u>危急種絶滅危惧種</u> *の狩猟、釣り、罨、採取は阻止されている。	採用	6.4.4 希少種*と <u>危急種絶滅危惧種</u> *の狩猟、釣り、罨、採取は阻止されている。	6.4.4 Hunting, fishing, trapping and collection of rare* or threatened species* is prevented.

6.5 組織*は、当該地域を代表する自然生態系*を有する地域*を特定し、保護しなければならない。自然生態系地域が未発達の場合は一定の割合を定めた候補地をより自然に近い状態*へと復元*しなければならない。保護*・復元に必要な面積や措置は、人工林*内も含め、 <u>事業特性規模*</u> 、 <u>強度*</u> 、 <u>リスク*</u> に応じ、全体の景観*レベルでの生態系*の価値と保全*状態に見合っていないなければならない。(V4 基準*6.4、10.5 及び 2014 年総会動議 7 番)	6.5 The Organization* shall* identify and protect representative sample areas* of native ecosystems* and/or restore* them to more natural conditions*. Where representative sample areas* do not exist or are insufficient, The Organization* shall* restore* a proportion of the Management Unit* to more natural conditions*. The size of the areas and the measures taken for their protection* or restoration*, including within plantations*, shall* be proportionate to the conservation* status and value of the ecosystems* at the landscape* level, and the scale*, intensity*
---	---

			and risk* of management activities. (C6.4 and 10.5 P&C V4 and Motion 2014#7)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
6.5.1 利用可能な最も有効な情報*に基づき、管理区画*内に存在する自然生態系*または自然状況*下で安定して存続する自然生態系が特定されている。	適応	<p>6.5.1 利用可能な最も有効な情報*に基づき、管理区画*内に存在する自然生態系*または自然状況*下で安定して存続する自然生態系が特定されている。</p> <p>注：特定作業には、実地調査の他、以下の情報源を使用できる。環境省の植生自然度区分基準で植生自然度9, 10をもつ地域はこの指標*に該当する、自然状況*下で安定して存在する自然生態系をもつと見なすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然環境保全基礎調査³ (環境省) http://www.vegetation.biodic.go.jp/index.html • 有識者とのコンサルテーション大学、研究所や専門家 • 論文などの文献 	<p>6.5.1 Best Available Information* is used to identify native ecosystems* that exist, or would exist under natural conditions*, within the Management Unit *.</p> <p>Note: For the identification, following information sources can be used beside the on-site survey.</p> <p>Area with vegetation naturalness of 9 or 10 based on the vegetation naturalness classification criteria by the Ministry of the Environment are regarded as having the natural ecosystem sustained under natural conditions* specified by this indicator*.</p> <ul style="list-style-type: none"> • National Survey on Natural Environment_ (Ministry of the Environment); http://www.vegetation.biodic.go.jp/index.html • University, research institutions and expertsConsultation with experts; • Literature including academic papers.

³ http://www.biodic.go.jp/kiso/fnd_list_h.html

6.5.2 存在する場合は、代表的な自然生態系地域*として保護されている。	採用	6.5.2 存在する場合は、代表的な自然生態系地域*として保護されている。	6.5.2 Representative Sample Areas* of native ecosystems* are protected, where they exist.
6.5.3 代表的な自然生態系地域*が存在しない場合や十分に存在しない場合、または代表的な生態系が本来の自然生態系として不適切な場合、管理区画*の一定割合がより自然に近い状態*へ復元*されている。	採用 適 応	6.5.3 代表的な自然生態系地域*が存在しない場合や十分に存在しない場合、または代表的な生態系が本来の自然生態系として不適切な場合、管理区画*の一定割合がより自然に近い状態*へ復元*されている。 注：これには造林不適地に造林された人工林*で、時間の経過とともにその土地本来の種構成、林分構造を形成しつつあるものや、未発達だが時間の経過とともに自然林*になることが確実視される植物群落は、そのまま自然の遷移に任せて、自然状態へと戻すことも含まれている。	6.5.3 Where Representative Sample Areas* do not exist, or where existing sample areas inadequately represent native ecosystems*, or are otherwise insufficient, a proportion of the Management Unit* is restored* to more natural conditions*. Note: This includes leaving Pplantations* that have been established in area unsuitable for forestry and are developing species composition and forest structure original-native to the area as well as immature plant communities that will-be very likely to develop into natural forest* are-left to the natural process-of succession to restore the natural condition.
6.5.4 代表的な自然生態系地域*及び/または復元*地の面積は、景観*レベルでの生態系*の価値と保全*状態、管理区画*の面積及び森林管理の強度*に見合っている。	採用	6.5.4 代表的な自然生態系地域*及び/または復元*地の面積は、景観*レベルでの生態系*の価値と保全*状態、管理区画*の面積及び森林管理の強度*に見合っている。	6.5.4 The size of the Representative Sample Areas* and/or restoration* areas is proportionate to the conservation* status and value of the ecosystems* at the landscape* level, the size of the Management Unit* and the intensity* of forest* management.
6.5.5 代表的な地域*とその他の保全地域網*は合計で少なくとも管理区画*の10%の面積を占めている。	適応	6.5.5 指標 6.5.2と6.5.3で特定された管理区画*内の保全地域の合計は管理区画*全体の10%以上を占	6.5.5 The conservation areas within the Management Unit* identified in 6.5.2 and 6.5.3 in total comprise a minimum 10% area of the

		<p>めている。ただし、<u>小規模組織 SLIMF*</u>の場合は対象外とする。</p> <p><u>注：「保全」の定義にある通り、「保全」とは、必ずしも禁伐を意味しない。また、グループ認証の場合、保全地域の合計面積が認証林の総面積の 10%以上を占めていれば、管理区画ごとに保全地域を設ける必要はない。保全地域の合計面積が認証林の総面積の 10%以上をしめておく必要がある。</u></p>	<p>Management Unit*. This requirement does not apply to <u>SLIMFsmall scale*</u> organizations.</p> <p><u>Note: As provided in the definition of “conservation”, “conservation” does not mean that logging is forbidden. For group certificates, the conservation areas need to be a minimum of 10% of the total certified area. Each FMU does not have to have 10% conservation areas.</u></p>
--	--	--	---

<p>6.6 組織*は、特に<u>生物</u>生息・生育域*の管理を通し、管理区画*内で生存する在来種*と遺伝子型*の存続を効果的に維持しなくてはならない。また、狩猟、釣り、罠猟、採集等を効果的に管理・制御し、生物多様性*の消失を防がなければならない。(V4 基準*6.2、6.3)</p>			<p>6.6 The Organization* shall* effectively maintain the continued existence of naturally occurring native species* and genotypes*, and prevent losses of biological diversity*, especially through habitat* management in the Management Unit*. The Organization* shall* demonstrate that effective measures are in place to manage and control hunting, fishing, trapping and collecting. (C6.2 and C6.3 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

6.6.1 管理活動は、管理区画*に関わる自然生態系*に見られる植物群落と生育域の特徴*を維持している。	適応	6.6.1 <u>管理活動は、</u> 管理区画*に関わる自然生態系*に見られる植物群落等の生息・生育域の特徴*を維持している。 注：これには人工林*内に自生している下層植生を含み、施業による下層植生への影響は最小限に抑えられている。	6.6.1 Management activities maintain the plant communities and habitat features* found within native ecosystems* in which the Management Unit* is located. Note: This includes understory vegetation in plantation*. Impact of management activities on understory vegetation is minimized.
6.6.2 過去の施業により植物群落または生育域の特徴*が失われてしまっている場合は、それらを復元*することを目的とした管理活動が実施されている。	適応	6.6.2 過去の施業やシカ等による食害などにより下層植生を含む植物群落等の生息・生育域の特徴*が失われてしまっている場合は、それらを復元*することを目的とした管理活動が実施されている。 <u>注：これは、そこにあるべき植生を100%回復しなくてはならないということではない。人工林にあるべき下層植生や水系周辺の自然植生などが失われてしまっている場合、回復に向けた取り組みが行われていなくてはならないということである。</u>	6.6.2 Where plant communities or habitat features* including understory vegetation have been lost by past management and/or deer browsing etc., management activities aimed at restoring* such habitats* are implemented.
6.6.3 <u>その土地本来の種の多様性や遺伝的多様性が保たれるよう、</u> 管理活動により自然生態系*で見られる生息・生育域の特徴*はが維持、 <u>向上強化</u> または復元*しており、 <u>自然発生種の多様性とそれらの遺伝的多様性が維持</u> されている。	適応採用	6.6.3 <u>その土地本来の種の多様性や遺伝的多様性が保たれるよう、</u> 管理活動により自然生態系*で見られる生息・生育域の特徴*はが維持、 <u>向上強化</u> または復元*しており、 <u>種の多様性や地域個体群は維持</u> されている。 <u>注：この指標は必ずしも生物多様性*の定量的モニタリングを求めるものではない。</u>	6.6.3 Management maintains, enhances, or restores* habitat features* associated with native ecosystems*, to support the <u>diversity of naturally occurring species and their genetic diversity</u> diversity and local genotype . <u>Note: This indicator does not necessarily require quantitative monitoring of biological diversity*.</u>

6.6.4 在来種*とその種内での多様性、及びその自然分布が維持されるよう、狩猟、釣り、罟猟、採取を管理・制御する効果的な措置がとられている。	適応	<p>6.6.4 在来種*とその地域個体群、及びその自然分布が維持されるよう、狩猟、釣り、罟猟、採取は行政や地域社会*との協力の下、管理されている。</p> <p>注：これには野生動物保護を目的とした狩猟の規制のほか、増えすぎた害獣の狩猟促進も含む。</p>	<p>6.6.4 Hunting, fishing, trapping and collecting activities are managed in cooperation with the authority <u>and the local communities*</u> to ensure that naturally occurring native species*, their diversity within species and their natural distribution are maintained.</p> <p>Note: Measures include control of hunting for wildlife conservation as well as promotion of hunting to control the overpopulated pest animals.</p>
---	----	---	---

<p>6.7 組織*は、自然な河川や溪流*、湖沼*と、川岸地帯*との接続性*を保護*または復元*しなければならない。また、事業活動による水質と水量への悪影響を回避し、悪影響があった場合は、これを低減及び改善しなければならない。(V4 基準*6.5)</p>			<p>6.7 The Organization* shall* protect* or restore* natural watercourses, water bodies*, riparian zones* and their connectivity*. The Organization* shall* avoid negative impacts on water quality and quantity and mitigate and remedy those that occur. (C6.5 and 10.2 P&C V4)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>6.7.1 自然の水域と水辺空間との接続性*の保護*措置が実施されている。保護対象には水質と水量が含まれる。</p>	<p>適応</p>	<p>6.7.1 自然の水域*と水辺空間*がもつ多面的機能*を特定し、それを保護する措置が実施されている。</p> <p>注：保護*措置には、<u>例として</u>以下のものを<u>含むことができるが、これに限らない</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2万5千分の1の地図上で示された恒常的な河川・溪流両側及び湖沼*周囲のバッファゾーンの設置。これは地図で示されている<u>ことが望ましいべきである</u>。 • 施業後の残材が谷や沢に流れ込まないように配慮する。 • 適切な道路の設置なしに車や大型作業機械が沢や溪流を横断しない。 • 道路の設置などにより自然な水の流れを妨げない。 • 作業機械を沢の水で洗わない。 • 農薬*や肥料*を水辺周辺で使用しない。 • バッファゾーンでの燃料やオイルの扱いの規制。 • 燃料やオイルの漏れにくい容器での輸送や保管時の漏れ対策。 	<p>6.7.1 Environmental values* associated with natural watercourses*, water bodies*, riparian zones* are identified and measures are implemented to protect them.</p> <p>Note: Protection* measures <u>can</u> include <u>the following measures for example</u>but not limited to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Establishing buffer zones along the both sides of permanent water courses depicted in the map of 1:25,000 and around waterbodies*. The buffer zones should be identified in maps; • Preventing slash from entering into vallies and streams after forestry operation; • Cars and heavy machinery do not cross streams without establishing a proper crossing; • Not disturbing the natural water flow by road construction; • Not washing machinery with water from streams; • Not applying pesticides* or fertilizers* around streams and waterbodies*; • Restricting handing of fuel and oil in the buffer zones; • Transporting fuel or oil with secure containers and measures to prepare for the leakage in storing.
---	-----------	--	---

6.7.2 実施されている保護*措置により水域と水辺空間との接続性*、水質や水量に対する管理活動の影響が防げていない場合は、復元*するための活動が実施されている。	適応	6.7.2 以前の管理者や第三者に責任があるものも含め、管理区画*内の河川*、湖沼*や川岸地帯*、水域と水辺空間との接続性*、水質及び水量に劣化が認められる場合、健全な状態に復元*するための措置が取られている活動が実施されている。	6.7.2 Where water-courses*, water bodies*, riparian zones* <u>and their connectivity*</u> , water quantity or water quality are degraded, whether it is attributable to The Organization*, previous managers and/or third parties, <u>restoration activities are implemented</u> measures are implemenetd to restore* them to the sound state.
6.7.3 陸上・水域における組織*の過去の活動により水域と水辺空間との接続性*、水質及び水量に被害が生じている場合は、復元*するための活動が実施されている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 6.7.2 に組み込み、簡素化した。	
6.7.4 以前の管理者や第三者による水域の水質と水量の劣化が継続している場合は、この劣化を、回避または低減する措置が <u>取ら実施</u> されている。	<u>採用棄却</u> -(適応)-	<u>6.7.3 以前の管理者や第三者による水域の水質と水量の劣化が継続している場合は、この劣化を回避または低減する措置が実施されている。←</u> <u>棄却理由></u> 6.7.2 に組み込み、簡素化した。	<u>6.7.3 Where continued degradation exists to watercourses*, water bodies*, water quantity and water quality caused by previous managers and te activities of third parties, measures are implemented that prevent or mitigate this degradation.</u>
6.8 組織*は、管理区画*全体の景観*を管理し、多様な樹種、面積、樹齢、空間規模*、伐期等様々な林分の配置がモザイク状に維持及び/または復元*されるようにしなければならない。これは、地域の景観的な価値*や、かつ環境、経済上の <u>復元回復力</u> *を向上させるための方策である。(V4 基準*10.2)			6.8 The Organization* shall* manage the landscape* in the Management Unit* to maintain and/or restore* a varying mosaic of species, sizes, ages, spatial scales* and regeneration cycles appropriate for the landscape values* in that

			region, and for enhancing environmental and economic resilience*. (C10.2 and 10.3 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
6.8.1 異なる樹種、面積、樹齢、空間規模*、伐期のモザイクが景観*に適切に維持されている。	適応採用	<p>6.8.1 異なる樹種、面積、樹齢、空間規模*、伐期のモザイクが景観*に適切に維持されている。皆伐面積は、景観や環境、社会的な影響を考え、配慮されている。</p> <p><u>注：皆伐面積は、保安林機能が損なわれないと一般的に判断されている、保安林の皆伐上限面積を目安としてもよい。</u></p>	<p>6.8.1 A varying mosaic of species, sizes, ages, spatial scales*, and regeneration cycles is maintained appropriate to the landscape*. The size of clearcutting is appropriate considering the impact on the landscape, the environment and the society.</p> <p><u>Note: The upper limit of clearcutting forest reserve, which in general is considered as the limit not to damage the function of forest reserve, can serve as a guideline to determine appropriate size of clearcutting.</u></p>
6.8.2 異なる樹種、面積、樹齢、空間規模*、伐期のモザイクが景観*に適切に維持されていない場合、これは復元*されている。	採用適応	<p>6.8.2 異なる樹種、面積、樹齢、空間規模*、伐期のモザイクが景観*に適切に維持されていない場合、<u>復元に向けた取り組みが、個別の妥当性に応じて実施されているこれは復元*されている。</u></p>	<p>6.8.2 Where the the mosaic of species, sizes, ages, spatial scales*, and regeneration cycles is restored* where it has not been maintained appropriate to the landscape*, <u>measures for restoration are implemented appropriate to individual cases.</u></p>

<p>6.9 組織*は自然林*を人工林*や森林以外の土地利用へ転換させてはならない。また自然林*を直接転換して造られた人工林*を森林以外の土地利用へ転換させてはならない。ただし以下をすべて満たす場合を除く：</p> <p>a) 管理区画*の面積に対してごく限られた割合*のみに影響する場合</p> <p>b) 転換によって、管理区画*において明確かつ大きく、安定した、長期*的な自然環境保全*の公益がもたらされる場合</p> <p>c) 高い保護価値(HCV) *を維持または向上するために必要な資源や場所を損なったり、脅かしたりしない場合 (V4 基準*6.10 及び 2014 年総会動議 7 番)</p>			<p>6.9 The Organization* shall* not convert natural forest* to plantations*, nor natural forests* or plantations* on sites directly converted from natural forest* to non-forest* land use, except when the conversion:</p> <p>a) Affects a very limited portion* of the area of the Management Unit*, and</p> <p>b) Will produce clear, substantial, additional, secure long-term* conservation* benefits in the Management Unit*, and</p> <p>c) Does not damage or threaten High Conservation Values*, nor any sites or resources necessary to maintain or enhance those High Conservation Values*. (C6.10 P&C V4 and Motion 2014#7)</p>
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>6.9.1 自然林*から人工林*への転換、自然林*から森林以外の土地利用への転換、自然林*を直接転換して造られた人工林*から森林以外の土地利用への転換は行なわれていない。ただし以下をすべて満たす場合は除く：</p> <p>1) 管理区画*のごく限られた割合*のみに影響する場合。</p> <p>2) 転換によって、管理区画*において明確かつ大きく、安定した、長期的な自然環境保全*の公益がもたらされる場合。</p> <p>3) HCV*や、HCV*を維持または向上するために必要な資源や場所を損なったり、脅かしたりしない場合。</p>	採用	<p>6.9.1 自然林*から人工林*への転換、自然林*から森林以外の土地利用への転換、自然林*を直接転換して造られた人工林*から森林以外の土地利用への転換は行なわれていない。ただし以下をすべて満たす場合は除く：</p> <p>1) 管理区画*のごく限られた割合*のみに影響する場合。</p> <p>2) 転換によって、管理区画*において明確かつ大きく、安定した、長期的な自然環境保全*の公益がもたらされる場合。</p> <p>3) HCV*や、HCV*を維持または向上するために必要な資源や場所を損なったり、脅かしたりしない場合。</p>	<p>6.9.1 There is no conversion of natural forest* to plantations*, nor conversion of natural forests* to non-forest* land use, nor conversion of plantations* on sites directly converted from natural forest* to non-forest* land use, except when the conversion:</p> <p>1) Affects a very limited portion* of the Management Unit*, and</p> <p>2) The conversion will produce clear, substantial, additional, secure, long-term conservation* benefits in the Management Unit*; and</p> <p>3) Does not damage or threaten High Conservation Values*, nor any sites or resources necessary to maintain or enhance those High Conservation Values*.</p>
<p>6.10 1994 年 11 月以降に自然林*を転換して造られた人工林*を含む管理区画*は、通常、認証の対象とはならない。ただし以下のいずれかを満たす場合を除く：</p> <p>a) 組織*はその転換に責任がないという明確かつ十分な証拠がある場合。</p> <p>b) 管理区画*の面積に対してごく限られた割合*のみに影響し、転換によって、管理区画*において明確かつ大きく、安定した長期的な自然環境保全*の公益がもたらされている場合。</p> <p>(V4 基準*10.9)</p>			<p>6.10 Management Units* containing plantations* that were established on areas converted from natural forest* after November 1994 shall* not qualify for certification, except where:</p> <p>a) Clear and sufficient evidence is provided that The Organization* was not directly or indirectly responsible for the conversion, or</p> <p>b) The conversion affected a very limited portion*</p>

			of the area of the Management Unit* and is producing clear, substantial, additional, secure long-term conservation* benefits in the Management Unit*. (C10.9 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
6.10.1 利用可能な最も有効な情報*に基づき、1994 年以降の土地利用の転換についての正確な情報が収集されている。	採用	6.10.1 利用可能な最も有効な情報*に基づき、1994 年以降の土地利用の転換についての正確な情報が収集されている。	6.10.1 Based on Best Available Information*, accurate data is compiled on all conversions since 1994.
<p>6.10.2 以下の 1)を満たす場合、または 2)及び 3)を満たす場合を除き、1994 年 11 月以降に自然林*から人工林*に転換された土地は認証されていない：</p> <p>1) 組織*が、自身は直接的または間接的にその転換に責任がないという明確かつ十分な証拠を示した場合。</p> <p>2) 転換によって、管理区画*における明確かつ大きな長期的保全*の公益がもたらされている場合。</p> <p>3) 1994 年 11 月以降に自然林*を転換して造られた人工林*の面積の合計が現在の管理区画*面積の 5%を超えない場合。</p>	採用	<p>6.10.2 以下の 1)を満たす場合、または 2)及び 3)を満たす場合を除き、1994 年 11 月以降に自然林*から人工林*に転換された土地は認証されていない：</p> <p>1) 組織*が、自身は直接的または間接的にその転換に責任がないという明確かつ十分な証拠を示した場合。</p> <p>2) 転換によって、管理区画*における明確かつ大きな長期的保全*の公益がもたらされている場合。</p> <p>3) 1994 年 11 月以降に自然林*を転換して造られた人工林*の面積の合計が現在の管理区画*面積の 5%を超えない場合。</p>	<p>6.10.2 Areas converted from natural forest* to plantation* since November 1994 are not certified, except where:</p> <p>1) The Organization* provides clear and sufficient evidence that it was not directly or indirectly responsible for the conversion; or</p> <p>2) The conversion is producing clear, substantial, additional, secure, long-term conservation* benefits in the Management Unit*; and</p> <p>3) The total area of plantation* on sites converted from natural forest* since November 1994 is less than 5% of the total area of the Management Unit*.</p>

<p>原則 7:管理計画</p> <p>組織は、管理活動の規模*、強度*とリスク*に応じ、管理の方針と目的*に沿った管理計画*を持たなければならない。管理計画*は、モニタリング情報を基に最新情報に更新され、永続的な順応的管理*として実施されなければならない。関連する計画文書や手順書は、従業員への指針として、また利害関係者*<u>及び関心の高い者*</u>への情報として、そして管理の意思決定の根拠として十分なものでなければならない。(V4 原則 7)</p>	<p>PRINCIPLE 7: MANAGEMENT PLANNING</p> <p>The Organization* shall* have a management plan* consistent with its policies and objectives* and proportionate to scale*, intensity* and risks* of its management activities. The management plan* shall* be implemented and kept up to date based on monitoring information in order to promote adaptive management*. The associated planning and procedural documentation shall* be sufficient to guide staff, inform affected stakeholders* and interested stakeholders* and to justify management decisions. (P7 P&CV4)</p>
<p>7.1 組織*は、管理活動の規模*、強度*とリスク*に応じ、環境的に適切で、社会的な利益にかない、経済的にも継続可能な管理の方針(ビジョンと理念)と目的*を設定しなければならない。管理の方針と目的の概要は管理計画*書に組み込まれ、公開されなければならない。(V4 基準*7.1)</p>	<p>7.1 The Organization* shall*, proportionate to scale*, intensity* and risk* of its management activities, set policies (visions and values) and objectives* for management, which are environmentally sound, socially beneficial and economically viable. Summaries of these policies and objectives* shall* be incorporated into the management plan*, and publicized. (C7.1a P&C V4)</p>

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
7.1.1 本規格の要求事項への適合に寄与する方針(ビジョンと理念)が定められている。	適応	7.1.1 FSC の原則*と基準*に沿う方針（ビジョンと理念）が定められている。	7.1.1 Policies (vision and values) in line with FSC principles* and criteria* are defined.
7.1.2 本規格の要求事項へ対応する、具体的な施業管理目的*が定められている。	適応	7.1.2 定められた方針に沿う具体的な管理目的*が定められている。	7.1.2 Specific, operational management objectives* that are in line with the established policies are defined.
7.1.3 定められた方針と管理目的*の概要が管理計画*に含まれており、公開されている。	採用	7.1.3 定められた方針と管理目的*の概要が管理計画*に含まれており、公開*されている。	7.1.3 Summaries of the defined policies and management objectives* are included in the management plan* and publicized*.

<p>7.2 組織*は、基準*7.1 に則り制定した管理*の目的*と方針に基づいた管理計画*を有し、これを実行しなければならない。管理計画*には管理区画*内に存在する自然の状況が記載されており、どのように計画が FSC 認証要求事項を満たすか説明されていなければならない。管理計画*には活動の規模*、強度*とリスク*に応じ、森林管理面と社会管理面が含まれていなければならない。(V4 基準*7.1)</p>	<p>7.2 The Organization* shall* have and implement a management plan* for the Management Unit* which is fully consistent with the policies and management objectives* as established according to Criterion* 7.1. The management plan* shall* describe the natural resources that exist in the Management Unit* and explain how the plan will meet the FSC certification requirements. The management plan* shall* cover forest* management planning and social management planning proportionate to scale*, intensity* and risk* of the planned activities. (C7.1 P&C V4)</p>
---	--

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
7.2.1 管理計画*には管理目的*を達成するための方策、管理活動、対策及び手順が含まれている。	採用	7.2.1 管理計画*には管理目的*を達成するための方策、管理活動、対策及び手順が含まれている。	7.2.1 The management plan* includes management actions, procedures, strategies and measures to achieve the management objectives*.
	追加	7.2.2 FSC 認証の管理責任者が任命されており、責任担当者の変更の際は確実な引き継ぎが行なわれている。	7.2.2 The responsible person for managing FSC certification is assigned. When the responsible person is changed, smooth and reliable transfer of duties to the successor is ensured.
7.2.2 管理計画*は附則 E に記載されている要素を含んでおり、実施されている。	採用	7.2.3 管理計画*は附則 E に記載されている要素を含んでおり、実施されている。	7.2.3 The management plan* addresses the elements listed in Annex E, and is implemented.

7.3 管理計画*には、各管理目的*の進捗を評価するための検証可能な達成目標*が含まれていなければならない。(新規)			7.3 The management plan* shall* include verifiable targets* by which progress towards each of the prescribed management objectives* can be assessed. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>7.3.1 管理目的*のそれぞれの要素の進捗をモニタリングするために検証可能な達成目標*と評価の頻度が設定されている。</p>	<p>適応</p>	<p>7.3.1 管理目的*の達成と管理計画*の進捗状況をモニタリングするために、検証可能な達成目標*が立てられており、評価の頻度が定められている。 <u>注：検証可能な達成目標*これには、例として以下の項目を含むことができる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 木材及び非木材林産物*の収穫量 • 林分調査（更新状況、成長量等） • 環境保全活動（生物多様性*、土壌、水への影響評価、劣化した場所の復元*等） • 施業の実施 • <u>施業の効率性・生産性</u> • 利害関係者*との協議* • 社会貢献プログラム（環境教育や地域との活動等） • 労働環境や安全衛生 • 財務状況と予算 	<p>7.3.1 Verifiable targets*, and the frequency that they are assessed, are established for monitoring the implementation of the management plan* and progress towards the management objectives*.</p> <p><u>Note: It-Verifiable targets*</u> can include <u>for example:</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • Volume of harvested wood and NTFP*; • Forest inventory (regeneration, growth etc.); • Environmental conservation activities (Impact assessment on biological diversity*, soil, and water, restoration* of degraded sites etc.); • <u>Implementation of forestry operations;</u> • <u>Efficiency and productivity of the operations;</u> • Engagement* with affected stakeholders*; • CSR programs (environmental education, activities involving the local communities*); • Work environment and occupational health and safety; • Financial conditions and budget.
<p>7.4 組織*は、モニタリングや評価の結果、利害関係者*との協議*内容、新たな科学的知見や技術革新の情報に基づき、また環境の変化や社会経済状況の変化に応じて、管理計画*文書と手順書を定期的に見直し、更新しなければならない。(V4 基準*7.2)</p>	<p>7.4 The Organization* shall* update and revise periodically the management planning and procedural documentation to incorporate the results of monitoring and evaluation, stakeholder</p>		

			engagement* or new scientific and technical information, as well as to respond to changing environmental, social and economic circumstances. (C7.2 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>7.4.1 管理計画*は以下を反映させるために附則 F のように見直され、定期的に更新されている：</p> <p>1) モニタリング結果。これには、認証機関による監査の結果を含む。</p> <p>2) 分析評価。</p> <p>3) 利害関係者*との協議*の結果。</p> <p>4) 新たな科学的知見や技術革新の情報。</p> <p>5) 環境や社会経済状況の変化。</p>	適応	<p>7.4.1 管理計画*は以下を反映させるために附則 FG のように見直され、定期的に更新されている：</p> <p>1) モニタリング結果。これには、認証機関による監査の結果を含む。</p> <p>2) 分析評価。</p> <p>3) 利害関係者*との協議*の結果。</p> <p>4) 新たな科学的知見や技術革新の情報。</p> <p>5) 環境や社会経済状況の変化。</p> <p>注：モニタリング内容については原則 8 参照のこと。</p>	<p>7.4.1 The management plan* is revised and updated periodically consistent with Annex F-G to incorporate:</p> <p>1) Monitoring results, including results of certification audits;</p> <p>2) Evaluation results;</p> <p>3) Stakeholder engagement* results;</p> <p>4) New scientific and technical information, and</p> <p>5) Changing environmental, social, or economic circumstances.</p> <p>Note: See Principle 8 for the content of the monitoring.</p>
<p>7.5 組織*は、管理計画*の概要を作成し、誰もが無償で入手可能*なようにしておかなければならない。計画及び関連する部分についても、機密情報*を除いて、利害関係者*からの要望に応じ提供しなければならない。この場合は、複製作成費用及び処理費用については実費を請求することができる。(V4 基準*7.4)</p>			<p>7.5 The Organization* shall* make publicly available* a summary of the management plan* free of charge. Excluding confidential information*, other relevant components of the management</p>

			plan* shall* be made available to affected stakeholders* on request, and at cost of reproduction and handling. (C7.4 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
7.5.1 利害関係者*にとって分かりやすい形式で、地図を含み、機密情報*を除いた管理計画*の概要が無償で入手可能*である。	採用	7.5.1 利害関係者*にとって分かりやすい形式で、地図を含み、機密情報*を除いた管理計画*の概要が無償で入手可能*である。	7.5.1 A summary of the management plan* in a format comprehensible to stakeholders* including maps and excluding confidential information* is made publicly available* at no cost.
7.5.2 利害関係者*からの要望に応じて機密情報*を除く管理計画*の関連箇所が複製作成及び対応にかかる費用の実費にて提供可能である。	採用	7.5.2 利害関係者*からの要望に応じて機密情報*を除く管理計画*の関連箇所が複製作成及び対応にかかる費用の実費にて提供可能である。	7.5.2 Relevant components of the management plan*, excluding confidential information*, are available to affected stakeholders* on request at the actual costs of reproduction and handling.

7.6 組織*は、 管理活動の特性規模* 、 強度* 、 リスク* に応じ、積極的にかつ透明性の高いやり方で、管理計画*の策定及びモニタリング過程について利害関係者*と協議*し、また他の関心の高い者*についても要求に応じて関与*させなければならない。(V4 基準*4.4)			7.6 The Organization* shall*, proportionate to scale*, intensity* and risk* of management activities, proactively and transparently engage affected stakeholders* in its management planning and monitoring processes, and shall* engage interested stakeholders* on request. (C4.4 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>7.6.1 慣習に合った方法での*協議により、利害関係者*が<u>積極的及び透明性をもって</u>以下の過程に関与*している：</p> <p>1) 紛争*解決プロセス(基準*1.6、2.6、4.6)。</p> <p>2) 生活賃金*の定義(基準*2.4)。</p> <p>3) 権利(基準*3.1、4.1)、場所 (基準*3.5、4.7)、影響(基準*4.5)の特定。</p> <p>4) 地域社会*の社会経済的な発展に貢献する活動(基準*4.4)。</p> <p>5) 高い保護価値(HCV)*の評価、管理及びモニタリング(基準*9.1、9.2、9.4)。</p>	<p>適応</p>	<p>7.6.1a 大規模組織*では、以下の過程に利害関係者*が参加している。慣習に合った方法での*協議により、利害関係者*が積極的及び透明性をもって以下の過程に関与*している：</p> <p>1) 紛争*解決方法(基準*1.6、2.6、4.6)</p> <p>2) 労働者*の<u>福利厚生労働条件の決定</u>(原則2)</p> <p>3) 先住民族*や地域社会*がもつ権利(基準*3.1、4.1)、重要な*場所(基準*3.5、4.7)、及び先住民族*や地域社会*に管理活動が与える影響(基準*4.5)の特定</p> <p><u>注：地域社会*がもつ権利には水利権も含む。</u></p> <p>4) 地域社会*の社会経済的な発展に貢献する活動(基準*4.4)</p> <p>5) 高い保護価値の評価、管理及びモニタリング(基準*9.1、9.2、9.4)</p> <p>7.6.1b 小・中規模組織*では、利害関係者*に対して、彼らの関心を引くであろう森林管理活動の計画策定及びモニタリングに際して、慣習に合った*方法で参画する機会が与えられている。</p>	<p>7.6.1a Large-scale organizations* Stakeholders* are involved engage with stakeholders* Culturally appropriate* engagement* is used to ensure that affected stakeholders* are proactively and transparently involved in the following processes:</p> <p>1) Dispute* resolution processes (Criterion* 1.6, Criterion* 2.6, Criterion* 4.6);</p> <p>2) Welfare-Determining working condition of workers* (Principle 2);</p> <p>3) Identification of indigenous peoples*' and local communities*' rights (Criterion* 3.1, Criterion* 4.1), significant* sites for them (Criterion* 3.5, Criterion* 4.7) and impacts of management activities on them (Criterion* 4.5);</p> <p><u>Note: The rights of local communities include the right to water.</u></p> <p>4) Local communities'* socio-economic development activities (Criterion* 4.4); and</p> <p>5) High Conservation Value* assessment, management and monitoring (Criterion* 9.1, Criterion* 9.2, Criterion* 9.4).</p> <p>7.6.1b Small and medium-scale organizations* provide opportunities for stakeholders* in culturally appropriate* way to participate in the process of</p>
--	-----------	---	---

			forest management planning and monitoring that would interest them.
<p>7.6.2 文化的かつ適切な*方法で協議*が以下のように行われている：</p> <p>1) 適切な代表者と連絡窓口が決定されている (適切な場合、地域の機関、組織、行政を含む)。</p> <p>2) 双方向への情報の伝達を可能とする、互いに合意された連絡方法が確立されている。</p> <p>3) すべての関係者(女性、若者、高齢者、少数派層)が公平に協議*に参加することが保障されている。</p> <p>4) すべての会議、協議内容、合意された事項が記録されることが保障されている。</p> <p>5) 会議議事録の内容が承認されることが保障されている。</p> <p>6) 慣習に合った*方法での協議*の結果が関係者と共有されることが保障されている。</p>	適応	<p>7.6.2 協議*は慣習に合った*方法での協議*は以下のように行われている：</p> <p>1) 適切な代表者と連絡窓口が決定されている (地域の公的機関、労働組合、または労働者*の代表、企業、専門家を含む) (<u>適切な場合、地域の機関、組織、行政を含む</u>)。</p> <p>2) 双方向に情報が伝達できるような、互いに合意された連絡方法が確立されている。</p> <p>3) すべての関係者(女性、若者、高齢者、少数派層)が公平に<u>協議*に参加参加</u>することが保障されている。</p> <p>4) すべての会議、協議内容、合意された事項が記録され、承認されることが保障されている。</p> <p><u>5) 会議議事録の内容が承認されることが保障されている。</u></p> <p><u>65) 慣習に合った*方法での協議*の結果が関係者と共有されることが保障されている。</u></p>	<p>7.6.2 Stakeholders* are involved through culturally appropriate* engagement* toCulturally appropriate* engagement* are is used to:</p> <p>1) Determine appropriate representatives and contact points (including local public institutions, labor unions or representatives of workers*, corporationsenterprises and experts)(<u>including where appropriate, local institutions, organizations, and authorities</u>);</p> <p>2) Determine mutually agreed communication channels allowing for information to flow in both directions;</p> <p>3) Ensure all actors (women, youth, elderly, minorities) are represented and engaged equitably;</p> <p>4) Ensure all meetings, all points discussed and all agreements reached are recorded and approved; and</p> <p>5) Ensure the results of all culturally appropriate* engagement* activities are shared with those involved.</p>

7.6.3 利害関係者*の利害に関わる管理活動の計画策定及びモニタリングについて、慣習に合った*方法で協議*の機会が設けられている。	棄却 (適応)	<p><棄却理由></p> <p>7.6.1bとして適応した。なお、7.6.1b は小・中規模組織*対象だが、大規模組織*には 7.6.1a でさらに高い要求がされている。</p>	
7.6.4 その他関心の高い者*の要望に応じて、彼らの関心を引くであろう管理活動の計画策定及びモニタリングについて、協議*の機会が与えられている。	適応	<p>7.6.3 関心の高い者*には要望要求に応じて、利害関係や機密情報を考慮の上で差し支えない範囲で、彼らの関心を引くであろう森林管理活動の計画策定及びモニタリングについて意見を述べる機会が与えられている。</p>	<p>7.6.3 Upon request, interested stakeholders* are provided with opportunities for engagement* <u>expressing opinions on</u> monitoring and planning processes of management activities that affect their interests, if there is no conflict of interest and considering confidentiality of the information.</p>

原則 7 附則 E : 管理計画の要素

規模*等に応じて、以下の該当する本規格内で要求されている項目を管理計画*に含めること。

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
1) 以下を含む評価結果：		1) 以下を含む評価結果：	1) The results of assessments, including:
i. 自然資源及び原則 6、原則 9 で特定された多面的機能*。	採用	i. 自然資源及び原則 6、原則 9 で特定された多面的機能*。	i. Natural resources and environmental values*, as identified in Principle* 6 and Principle* 9;
ii. 原則 6、原則 2 から原則 5、原則 9 で特定された社会的、経済的、文化的資源とその状態。	採用	ii. 原則 6 、原則 2 から原則 5 6、原則 9 で特定された社会的、経済的、文化的資源とその状態。	ii. Social, economic and cultural resources and condition, as identified in Principle* 6, Principle* 2 to Principle* 5 and Principle* 9;
iii. 原則 6、原則 2 から原則 5、原則 9 で特定された地域の主な社会、環境リスク*。	適応	iii. (SLIMF*は省略可) 原則 6 、原則 2 から原則 5 6、原則 9 で特定された地域の主な社会、環境リスク*。	iii. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Major social and environmental risks* in the area, as identified in Principle 6, Principle* 2 to Principle* 5 and Principle* 9; and
iv. 基準*5.1 及び附則 C で特定された生態系サービス*の維持及び/または向上。	適応	iv. (SLIMF*は省略可)基準*5.1 及び附則 C で特定された生態系サービス*の維持及び/または向上。	iv. (SLIMF* can be exempted from this requirement) The maintenance and/or enhancement of ecosystem services* for which promotional claims are made as identified in Criterion* 5.1 and Annex C.
2) 以下に関わるプログラムと活動：		2) 以下に関わるプログラムと活動：	2) Programs and activities regarding:
i. 原則 2 で特定された労働者*の権利、労働安全衛生、男女平等*。	採用	i. 原則 2 で特定された労働者*の権利、労働安全衛生、男女平等*。	i. Workers*' rights, occupational health and safety, gender equality*, as identified in Principle* 2;

ii. 原則 3、原則 4、原則 5 で特定された先住民族*及び地域社会*との関係、地元経済と社会の発展。	採用	ii. 原則 3、原則 4、原則 5 で特定された先住民族*及び地域社会*との関係、地元経済と社会の発展。	ii. Indigenous Peoples*, community relations, local economic and social development, as identified in Principle* 3, Principle* 4 and Principle* 5;
iii. 原則 1、原則 2、原則 7 で特定された利害関係者*との協議*及び苦情や紛争*の解決。	採用	iii. 原則 1、原則 2、原則 7 で特定された利害関係者*との協議*及び苦情や紛争*の解決。	iii. Stakeholder engagement* and the resolution of disputes* and grievances, as identified in Principle* 1, Principle* 2 and Principle* 7;
iv. 原則 10 で特定された計画されている管理活動、時期、育林システム、典型的な伐採方法と使用機器。	採用	iv. 原則 10 で特定された計画されている管理活動、時期、育林システム、典型的な伐採方法と使用機器。	iv. Planned management activities and timelines, silvicultural systems used, typical harvesting methods and equipment, as identified in Principle* 10;
v. 原則 5 で特定された木材やその他の収穫量の根拠。	採用	v. 原則 5 で特定された木材やその他の収穫量の根拠。	v. The rationale for harvesting rates of timber and other natural resources, as identified in Principle* 5.
3) 以下を保護*、復元*するための対策：		3) 以下を保護*、復元*するための対策：	3) Measures to conserve* and/or restore*:
i. 希少種*と <u>危急種絶滅危惧種</u> *及びそれらの生息域*。	採用	i. 希少種*と <u>危急種絶滅危惧種</u> *及びそれらの生息・生育域*。	i. Rare* and threatened species* and habitats*;
ii. 湖沼*、川岸地帯*。	適応	ii. (SLIMF*(は省略可)湖沼*、川岸地帯*。	ii. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Water bodies* and riparian zones*;
iii. 緑の回廊を含む景観*の接続性*。	採用	iii. 緑の回廊を含む景観*の接続性*。	iii. Landscape* connectivity*, including wildlife corridors;
iv. 基準*5.1 及び附則 C で特定され、効果を謳っている生態系サービス*。	採用	iv. 基準*5.1 及び附則 C で特定され、効果を謳っている生態系サービス*。	iv. Declared ecosystem services* as identified in Criterion* 5.1, and Annex C;

v. 原則 6 で特定された代表的な自然生態系地域*。	適応	v. (SLIMF*は省略可)原則 6 で特定された代表的な自然生態系地域*。	v. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Representative Sample Areas*, as identified in Principle* 6; and
vi. 原則 9 で特定された高い保護価値 (HCV)*。	採用	vi. 原則 9 で特定された高い保護価値(HCV)*。	vi. High Conservation Values*, as identified in Principle* 9.
4) 管理活動が以下に与える悪影響を評価、回避、低減するための対策：		4) 管理活動が以下に与える悪影響を評価、回避、低減するための対策：	4) Measures to assess, prevent, and mitigate negative impacts of management activities on:
i. 原則 6、原則 9 で特定された多面的機能*。	適応	i. 原則 6、原則 9 で特定された多面的機能*。	i. Environmental values*, as identified in Principle* 6 and Principle* 9;
ii. 基準*5.1 及び附則 C で特定された、効果を謳っている生態系サービス*。	適応	ii. 基準*5.1 及び附則 C で特定された、効果を謳っている生態系サービス*。	ii. Declared Ecosystem services* as identified in Criterion* 5.1 and Annex C;
iii. 原則 2、原則 5、原則 9 で特定された社会的な価値。	適応	iii. (SLIMF*は省略可)原則 2、原則 5、原則 9 で特定された社会的な価値。	iii. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Social Values, as identified in Principle* 2 to Principle* 5 and Principle* 9.
5) 原則 8 で特定されたモニタリングプログラム。これには以下を含む：		5) 原則 8 で特定されたモニタリングプログラム。これには以下を含む：	5) A description of the monitoring program, as identified in Principle* 8, including:
i. 原則 5 で特定された成長量と伐採量。	採用	i. 原則 5 で特定された成長量と伐採量。	i. Growth and yield, as identified in Principle* 5;
ii. 基準*5.1 及び附則 C で特定された、効果を謳っている生態系サービス*。	採用	ii. 基準*5.1 及び附則 C で特定された、効果を謳っている生態系サービス*。	ii. Declared Ecosystem services* as identified in Criterion* 5.1 and Annex C;
iii. 原則 6 で特定された多面的機能*。	適応	iii. (SLIMF*は省略可)原則 6 で特定された多面的機能*。	iii. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Environmental values*, as identified in Principle* 6;

iv. 原則 10 で特定された施業の与える影響。	適応	iv. (SLIMF*は省略可)原則 10 で特定された施業の与える影響。	iv. (SLIMF* can be exempted from this requirement) Operational impacts, as identified in Principle* 10;
v. 原則 9 で特定された高い保護価値(HCV)*。	採用	v. 原則 9 で特定された高い保護価値(HCV)*。	v. High Conservation Values*, as identified in Principle* 9;
vi. 原則 2、原則 5、原則 7 で特定され、計画されているもしくは既に実施されている利害関係者*との協議*に基づくモニタリングの仕組み。	適応	vi. 原則 2、原則 5、原則 7 で特定され、計画されているもしくは既に実施されている利害関係者*との協議*に基づくモニタリングの仕組み。	vi. (This is only required for large scale organizations*) Monitoring systems based on stakeholder engagement* planned or in place, as identified in Principle* 2 to Principle* 5 and Principle* 7;
vii. 管理区画*の自然の状況と土地利用区分(ゾーニング含む)を表した地図。	採用	vii. 管理区画*の自然の状況と土地利用区分(ゾーニング含む)を表した地図。	vii. Maps describing the natural resources and land use zoning on the Management Unit*.

原則 7 附則 F：計画/モニタリングの枠組みの概念は、内容の重複が多かったため、原則 8 附則 G の中に組み込んだ。原則 8 附則 G 参照。

<p>原則 8:モニタリングと評価</p> <p>組織*は、管理区画*の状態、活動の影響及び、管理目的*の達成に向けた進捗状況について、管理活動の規模*、強度*、リスク*に見合ったモニタリングと評価を行わなければならない。そして、モニタリングの結果を見ながら進める現場順応型管理*を実施しなければならない。(V4 原則 8)</p>	<p>PRINCIPLE 8: MONITORING AND ASSESSMENT</p> <p>The Organization* shall* demonstrate that, progress towards achieving the management objectives*, the impacts of management activities and the condition of the Management Unit*, are monitored* and evaluated</p>
---	--

			proportionate to the scale*, intensity* and risk* of management activities, in order to implement adaptive management*. (P8 P&C V4)
8.1 組織*は、管理計画*の方針と管理目的*、検証可能な達成目標*の達成度を含め、活動の進捗状況を基に計画が実施されていることを、モニタリングしなければならない。(新規)			8.1 The Organization* shall* monitor the implementation of its Management Plan*, including its policies and management objectives*, its progress with the activities planned, and the achievement of its verifiable targets*. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
8.1.1 管理計画*の方針と管理目的*、活動の進捗状況そして検証可能な目標*の達成度を含め、計画が実施されていることをモニタリングするための手順が文書化され、実行されている。	適応	8.1.1 管理計画*の実施をモニタリングするための手順が文書化され、実行されている。これには、管理計画*に記載されている活動の進捗状況そして指標*7.3.1 で特定された、管理目的*ごとに立てられた検証可能な達成目標*の達成度を含む。	8.1.1 Procedures are documented and executed for monitoring the implementation of the management plan* including progress of activities written in the management plan* and achievement of verifiable targets* established in the indicator* 7.3.1 for each management objective*.
	追加	8.1.2 モニタリングの手順・ツールは現場で十分に実行できるものであり、反復可能かつ経年変化を調べるのに適切である。	8.1.2 Monitoring procedures and tools are sufficiently practical for implementation in the field, replicable, and appropriate to monitor changes over time.

8.2 組織*は、環境状態の変化、及び管理区画*内で実施されている活動が環境や社会に与える影響を、モニタリングし、評価しなければならない。(V4 基準*8.2)			8.2 The Organization* shall* monitor and evaluate the environmental and social impacts of the activities carried out in the Management Unit*, and changes in its environmental condition. (C8.2 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
8.2.1 附則 G に従って管理活動が環境と社会に与える影響がモニタリングされている。	採用	8.2.1 附則 G に従って管理活動が環境と社会に与える影響がモニタリングされている。	8.2.1 The social and environmental impacts of management activities are monitored* consistent with Annex G.
8.2.2 附則 G に従って環境状態の変化がモニタリングされている。	採用	8.2.2 附則 G に従って環境状態の変化がモニタリングされている。	8.2.2 Changes in environmental conditions are monitored* consistent with Annex G.

8.3 組織*は、モニタリングと評価の結果を分析し、この分析結果を順次計画過程に反映させなければならない。(V4 基準*8.4)			8.3 The Organization* shall* analyze the results of monitoring and evaluation and feed the outcomes of this analysis back into the planning process. (C8.4 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
8.3.1 順応的管理*手順が実施されており、定期的な管理計画*過程やその結果となる管理計画*書にモニタリング結果が反映されている。	適応	8.3.1 順応的管理*手順の実施によりモニタリング結果は定期的に分析され、管理計画*作成の際に考慮、反映されている。	8.3.1 Through implementation of adaptive management* procedures, monitoring results are analyzed regularly, considered and reflected in the the management planning*.

		注：分析に十分な結果がまだ集まっていない場合は、いつ頃から分析を始めるか計画されている。	Note: When data are not sufficient yet, a plan is in place when to start the analysis.
8.3.2 モニタリング結果が本規格の要求事項に対する不適合を示した場合、管理目的*、検証可能な達成目標*及び/または管理活動が修正されている。	適応	8.3.2 モニタリングにより特定された問題や FSC の要求事項に対する不適合は適切に対処されており、モニタリング結果を反映させて、検証可能な達成目標*を含む管理計画*を修正している。	8.3.2 Issues and non-conformities with the FSC Standard identified through monitoring are properly addressed; the management plan*, including the verifiable targets*, is revised to reflect the monitoring results.

8.4 組織*は、機密情報*を除くモニタリング結果の概要を作成し、無償で入手可能*なようにしておかなければならない。(V4 基準*8.5)			8.4 The Organization* shall* make publicly available* a summary of the results of monitoring free of charge, excluding confidential information*. (C8.5 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
8.4.1 利害関係者*にとって分かりやすい形式で、附則 G に従い、地図を含み、機密情報*を除いたモニタリング結果の概要が無償で入手可能*である。	適応	8.4.1 機密情報*を除き、利害関係者*にとってわかりやすいようにまとめたモニタリング結果の概要が無償で入手可能*になっている。 注：機密情報*には、公開されると支障があると考えられる希少種*、貴重種の情報も含まれる。	8.4.1 A summary of the monitoring results in a format comprehensible to stakeholders* excluding confidential information* is made publicly available* at no cost. Note: Confidential information* includes information of rare*, threatened and endangered or valuable species that may be threatened by the publication of the information.

8.5 組織*は、管理区画*から生産された全ての林産物のうち、管理活動の規模*、強度*、リスク*に応じて FSC 認証製品として市販されるものについては、生産場所と生産量を追跡しなければならない。(V4 基準*8.3)		8.5 The Organization* shall* have and implement a tracking and tracing system proportionate to scale*, intensity* and risk* of its management activities, for demonstrating the source and volume in proportion to projected output for each year, of all products from the Management Unit* that are marketed as FSC certified. (C8.3 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
8.5.1 FSC 認証製品として販売するすべての林産物を追跡する仕組みが実施されている。	適応	8.5.1 FSC 認証製品として販売・譲渡するすべての林産物について、収穫された FSC 認証林から所有権が移るまでのトレーサビリティが確保されている。	8.5.1 All forest products that are sold or given as FSC certified can be tracked and traced from certified forest until the ownership of the product is transferred.
8.5.2 販売されたすべての林産物について、以下の情報を含む書類が残されている： 1) 樹種の一般名及び学名 2) 製品名または製品の記述 3) 製品の材積(または数量) 4) 伐採区画まで材を追跡するための情報。 5) 伐採日 6) 林内で簡単な加工が行なわれる場合は、加	適応	8.5.2 販売・譲渡されたすべての林産物について、以下の情報を含む書類が残されている： 1) 樹種の正式和名（例：マツではなく、アカマツ、クロマツなど） 2) 製品名または製品の記述 3) 製品の材積(または数量) 4) 伐採区画まで材を追跡するための情報 5) 伐採期間日/ 期間時期 6) 林内で簡単な加工が行なわれる場合は、加	8.5.2 Information about all products sold or given is compiled and documented, including: 1) Formal Japanese species name; 2) Product name or description; 3) Volume (or quantity) of product; 4) Information to trace the material to the source of origin logging block; 5) Logging date/ or period;

<p>工日と加工量</p> <p>7) FSC 認証製品として販売されたか</p>		<p>工期間日/時期期間と加工量</p> <p>7) FSC 認証製品として販売されたか <u>否か</u></p> <p><u>注：広葉樹雑木として多くの樹種が収穫され、一本毎の樹種の判定や材積の記載が難しい場合、主要樹種とその割合を記載すればよい。</u></p>	<p>6) If basic processing activities take place in the forest, the date/period and volume produced; and</p> <p>7) Whether or not the material was sold as FSC certified.</p> <p><u>Note: When varies species of hardwood trees are harvested as miscellaneous hardwood and it is difficult to document species and volume of each log, The Organization* may document the main species and their percentage.</u></p>
<p>8.5.3 FSC 表示を伴って販売されたすべての製品について、少なくとも以下の情報を含む請求書または類似書類が 5 年以上保管されている：</p> <p>1) 購入者の名前及び所在地</p> <p>2) 販売日</p> <p>3) 樹種の一般名及び学名</p> <p>4) 製品の記述</p> <p>5) 販売された製品の体積(または数量)</p> <p>6) 認証番号</p> <p>7) FSC 製品として販売されたことを示す「FSC 100%」という FSC 表示</p>	適応	<p>8.5.3 FSC 表示を伴って販売されたすべての製品について、少なくとも以下の情報を含む請求書または類似書類が 5 年以上保管されている：</p> <p>1) 購入者の名前</p> <p>2) 販売日</p> <p>3) 樹種の正式和名</p> <p>4) 製品の記述</p> <p>5) 販売された製品の体積(または数量)</p> <p>6) 認証番号</p> <p>7) FSC 製品として販売されたことを示す「FSC 100%」という FSC 表示</p>	<p>8.5.3 Sales invoices or similar documentation are kept for a minimum of five years for all products sold with an FSC claim, which identify at a minimum, the following information:</p> <p>1) Name of purchaser;</p> <p>2) The date of sale;</p> <p>3) Formal Japanese species name;</p> <p>4) Product description;</p> <p>5) The volume (or quantity) sold;</p> <p>6) Certificate code; and</p> <p>7) The FSC Claim “FSC 100%” identifying products sold as FSC certified.</p>
	追加	<p>8.5.4 FSC 商標の使用は商標使用に関する FSC 規格(FSC-STD-50-001)に従っている。</p>	<p>8.5.4 FSC trademark use follows the trademark standard FSC-STD-50-001.</p>

	追加	<p><u>8.5.5 販売・譲渡された林産物については、入手可能な最も有効な最新情報*に基づき、放射能汚染リスクが低いことが確保されている。</u></p> <p><u>注：現在のところ、予防的措置として、木材における放射性セシウムの濃度が乾重量で 40Bq/kg を下回っている場合を放射能汚染リスクが低いとする。これは、林野庁の薪炭材の基準に基づき、燃焼されても放射線物質が濃縮された場合にも灰が一般廃棄物として処理できる 8,000 Bq/kg を超えないと考えられる値となっている。</u></p>	<p><u>8.5.5 Based on the best available latest information*, the Organization* ensures that the forest products it sells or supplies have low risk of radioactive contamination.</u></p> <p><u>Note: At present, as a precautionary measure, the risk of radioactive contamination is considered low when the concentration of radioactive cesium in wood is below 40 Bq/kg in dry weight. This value is based on the Forestry Agency's standard for firewood, which was determined assuming that even when wood is burned and radioactive substances are concentrated, it will not to yield ash exceeding 8,000 Bq/kg, which is the maximum concentration to be treated as the general waste.</u></p>
--	----	--	--

上記基準*8.5については、林産物についての放射能に関する指標も付け加えるべきだとして議論が行われている。しかし、指標 2.5.12と同じく、この議論はまとまっていない。FSC-Japan は今後も議論を続けていくが、ここではこれまで出された議論を示し、利害関係者*に更なる意見を募りたい。以下は林産物の放射能に関して提案された要求事項とその根拠及びそれに対する意見やコメントである。

なお、指標案として示されている A～D の案は、対立するものではなく、むしろ異なる観点から提案されたものである。よって、そのどれかを選ぶようにはなっていない。最終的に、林産物の放射能に関する指標として、これらの指標案を統合することもあり得る。現時点では、各案について（あるいは興味のある案に絞って）ご意見をいただきたい。しかし、B 案については、2つの対立する案が出されており、どちらがよいか、ご意見を募りたい。

For the Criterion* 8.5 above, discussion has been ongoing to add an indicator* that refers to the radioactivity of forest products. However, just like the indicator 2.5.12, this discussion has not reached any conclusion. While FSC Japan will continue this discussion, we would like to present the opinions and suggestions of the discussion so far and would like to invite stakeholders* to submit any comments on this issue. Below are the requirements newly proposed for radioactivity of forest products, the rationale behind them, and comments and opinions on them:

The proposed indicators below are not necessarily in conflict with one another; they are proposed from different perspectives. Thus they are not designed to be multiple choices to be selected. We would like to invite comments and opinions for each proposed indicator* (or the indicator that you are interested in). However, for the requirement B, there are two opposing indicators* proposed. Please let us know your preferences:

国内指標案 (8.5.5) Proposed Indicator 8.5.5	根拠 Rationale	関連コメント・意見 Comments and opinions
<p>A1. 林産物は、平均空間線量率 0.11μSv/h(*1)以下の地域から収穫されている。</p> <p>A1. Forest products have been harvested from areas with the average air dose rate not exceeding 0.11μSv/h(*1).</p>	<p>*1: 労働者*への安全基準として2.3.12で提案されている被ばく線量限度の1mSv/年を単純計算すると0.11μSv/hとなる。0.11μSv/h以下の地域から収穫されていることが規定されれば、労働者*の被ばく限度である1mSv/年とも整合性がとれる。</p> <p>*1: The exposure dose limit of 1mSv/y proposed in the indicator* 2.3.12 as the standard for workers*' safety is equivalent to 0.11μSv/h in simple conversion. Thus requiring harvest of products from areas not exceeding 0.11μ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●——空間線量だけで木材の放射線量を推測するのは危ない。0.11μSv/hの地域からの木材の放射線量が必ずしも100-Bq/kg以下だという保証はない。木材の放射能汚染限度はBq/m2、あるいはcpmという表面汚染の単位を使って別に規定すべき。 ●——It is risky to estimate the radioactivity of wood only by the air dose rate. There is no assurance that radioactivity of wood harvested from area of 0.11μSv/h do not exceed 100-Bq/kg. Radioactive contamination limit of wood should be separately provided in the unit of surface contamination such as Bq/m2 or cpm.

	Sv/h is consistent with the workers* ⁴ exposure dose limit of 1mSv/y.	
<p>A2. 林産物の放射能濃度は 100-Bq/kg(*2)以下である。</p> <p>A2. The radioactivity concentration of forest products do not exceed 100-Bq/kg (*2).</p>	<p>*2: 国際勧告や指針に基づき、原子炉等規制法(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制等に関する法律)では、100-Bq/kg がクリアランス基準(これ以下は放射性廃棄物として扱わなくてもいいとする基準)となっている。</p> <p>*2: Act on the Regulation of Nuclear Source Material, Nuclear Fuel Material and Reactors sets 100-Bq/kg as the clearance level for radioactive wastes (threshold under which the materials are not treated as radioactive), based on international recommendations and guidelines.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空間線量率とその地点で伐採された林木の各部位別の放射性セシウム濃度との関係を分析したデータ(森林総研)によると、空間線量率 0.5µSv/h 以下の地域では樹木の木部は 100Bq/kg 以下となっている。実際に作業ができるのは 0.5µSv/h 以下の地域なので、この要求事項を満たすことは難しくない。 ● According to the data (Forestry and Forest Products Research Institute) that analyze the relationship between the concentration of radioactive Cesium in various wood parts of trees and air dose rate of the site where the trees have been harvested from, the radioactivity of heartwood of trees do not exceed 100-Bq/kg in areas where the air dose rate does not exceed 0.5µSv/h. Forestry operations are not allowed in areas where the air dose rate exceeds 0.5µSv/h. Thus this requirement is not hard to satisfy.
<p>A3. 林産物は放射性セシウムの濃度限度 40Bq/kg(*3)および及び表面汚染密度 0.4-Bq/cm²(*4)を下回っている。</p> <p>A3. The radioactive Cesium concentration of forest products is-</p>	<p>*3: 薪炭材についての林野庁の指標値。燃焼されて放射性物質が濃縮された場合にも燃焼灰が一般廃棄物として処理できる 8,000Bq/kg を超えないように設定されている。他の用途の木材であっても最終的に燃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 放射能関連の議論に関しては、今後日本が世界を牽引していくべきものであり、自主的な認証制度として、FSC では政府側よりも安全側に立った指標を策定すべき。 ● Japan should lead the discussion on radiation globally into the future. As a voluntary certification system, FSC

<p>less than 40Bq/kg (*3) and their surface concentration of radioactive contamination is less than 0.4 Bq/cm2 (*4).</p>	<p>焼されることを考え、40 Bq/kg を指標値とすることを提案する。</p> <p>*3: Reference level established by the Forestry Agency for fuelwood. It has been set so that even when the wood is burnt and radioactive materials get concentrated, the resulting ash does not exceed 8,000 Bq/kg.</p> <p>*4: 表面汚染でのクリアランスレベルが定められていないため、自主基準を定める必要がある。電離放射線障害防止規則には、表面汚染密度限度(40Bq/cm2)と放射線管理区域の指定限度(4Bq/cm2)や持ちだし時の限度(同)、退去時の汚染限度(同)などが定められている。しかし、これを一般の生活環境にあてはめるのは問題があり、実際は百分の一で管理されているので、表面汚染密度限度(40Bq/cm2)の百分の一を自主基準として提案する。</p> <p>*4: As the clearance level in surface contamination has not been established, a voluntary standard needs to be set. Ordinance on Prevention of Ionizing Radiation Hazards provides the surface contamination density limit (40Bq/cm2),</p>	<p>should establish a conservative indicator*, instead of taking the government's side.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FSC は責任ある森林管理の認証であり、製品の品質や安全性を保障するものではない。製品に法令よりも厳しい放射能レベルを要求する規定を作った場合、FSC 認証は製品の放射能についての安全性を保証するものだと考え、FSC について誤った印象を与えかねない。これによりFSCの主旨から逸れてしまう恐れがある。 ● FSC is a certification of responsible forest management, not a certification that assures quality or safety of products. If FSC establishes a provision requiring products to have the level of radioactivity lower than what is required by laws and regulations, people may consider that FSC certification guarantees safety of products in radioactivity, and may get a wrong idea of FSC. This may deviate from the vision and mission of FSC. ● 建築用木材の放射能汚染と安全性については、様々な考え方があり、知見も十分ではない。現状の知見で木材の汚染レベルを規格化するのは難しい。例えば、林野庁が行った、6面を約414 Bq/kgの木材で囲まれた4畳半の部屋における被ばく量の試算では、1年あたりの追加被ばく量は0.012 mSv/yとなっており、これは一人当たりの天然の放射線による被ばく量 1.5 mSv/yと比較するとわずかである。
--	--	--

	<p>the limit for designation of radiation-controlled area (4Bq/cm²), the contamination density limit to take things out of the controlled area (the same), as well as the limit for radiation workers* to go out of the area (the same). However, this cannot be applied to the living conditions of the general public. In practice, the radioactivity in lives of the general public is managed in 1/100, thus 1/100 of the surface contamination density limit (40Bq/cm²) is proposed as the voluntary standard here.—</p>	<p>http://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/sinsai/pdf/120821-1.pdf</p> <p>There are various views on radioactive contamination and safety of construction timber, but there has not been sufficient knowledge accumulated. It is difficult to set a standard for the level of radiation contamination of timber with the existing knowledge. For example, according to the estimate made by the Forestry Agency, the additional annual radiation exposure in a room of 4.5 tatami mats (8.2 m²) surrounded in six sides by timber of about 414 Bq/kg is 0.012 mSv/y, which is very small compared to the radiation dose of 1.5 mSv/y that an individual receives from natural radiation sources.</p> <p>http://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/sinsai/pdf/120821-1.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ●—自主的に厳しい安全レベルを設け、それが適当でないと後でわかった場合には責任がとれるのか。また、厳しい安全レベルにより経済的損害が発生した場合にも、補償はできない。安全基準の策定は放射能関連の専門機関に任せるべき。 ●—If it turns out that the strict standard for safety that had been established voluntarily is not appropriate later, can we bear the responsibility? Furthermore, we cannot compensate for any economic damage caused—
--	---	--

		<p>by the stringent safety level, either. Establishing safety-level should be left to the institutions with specialty in radiation.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指標案 A3 の根拠となっている電離則は労働安全衛生法の下位法であることから、これは、木材の安全性の自主基準というよりも、労働環境基準に合わせたものである。放射線業務従事者ではない森林労働者に対する基準が放射線業務従事者への 10 分の 1 なのは、ICRP で作業者の 20(50)分の 1 の年間 1mSv が公衆の線量限度になっていることからすると、厳し過ぎるものではない。 ● As Ordinance on Prevention of Ionizing Radiation Hazards that the proposed indicator* A3 is based on is under the Industrial Safety and Health Act, this is more a standard for workers* environment, rather than a voluntary standard for wood safety. Applying 1/10 of the limit for radiation workers* to forest workers* who are not radiation workers*, is not too stringent considering that ICRP sets 1 mSv/y as the dose limit for the general public, which is 1/20 (1/50) of radiation workers*.
<p>A4. 林産物の放射能の測定方法や結果などの情報が一般に開示されている。</p> <p>A4. The information including methods and results of measurement of radioactivity of forest products is publicly available.</p>		

<p>B1. きのこ、山菜などの食用の非木材林産物 *の放射能は 100 Bq/kg(*5)以下である。</p> <p>B1. The radioactivity concentration of edible forest products such as mushroom and wild plants do not exceed 100 Bq/kg (*5).</p>	<p>*5: 100 Bq/kg は厚生労働省の定める一般食品（飲料水、牛乳、幼児食を除く）の放射能安全基準値でもあり、厚生労働省によれば、この基準値は全ての年齢層において実効線量が年間線量上限 1 mSv を上回らないように設定されている。この基準値を上回るものは、原子力災害対策特別措置法に基づく食品に関する出荷制限の対象となっている。</p> <p>*5: 100 Bq/kg is the safety standard limit for radionuclides in general foods (excluding drinking water, milk and infant foods), established by the Ministry of Health, Labour and Welfare so that the effective dose of radionuclides does not exceed the annual maximum permissible dose of 1 mSv/year for all age classes, according to the Ministry. Those that exceed this standard limit is subject to shipping restriction based on the Act on Special Measures Concerning Nuclear Emergency Preparedness.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●——低線量被ばくに関しては、様々な説がある。放射能は低ければ低いほど安全で、これ以下ならば絶対安全というレベルはない。100 Bq/kg という国の基準は高すぎ、危険と考える専門家もいる。 ●——For the low-dose exposure, there are a variety of theories. The lower the radioactivity, the safer it is, and there is no such threshold under which safety is absolutely assured. Some experts think the national standard of 100 Bq/kg is too high and risky.
<p>B2. きのこ、山菜などの食用の非木材林産物 *の放射能は 10Bq/kg(*6)を下回っている。</p>	<p>*6: グリーンコープ(生活協同組合連合会・グリーンコープ連合)の自主基準。</p> <p>http://www.greencoop.or.jp/genpatsu/hoshano.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●——指標案 B2 は、根拠となっているのが民間の一組織の自主基準であり、科学的根拠が乏しい。国（厚生労働省）の一般食品の基準は 100Bq/kg であり、食用の非木材林産物*の基準として提案されている 10Bq/kg はその十分の一であり、かなり厳しい基準である。「実

~~B2. The radioactivity of edible non-timber forest products such as mushroom and wild plants is less than 10 Bq/kg (*6).—~~

~~厚生労働省の一般食品基準は 100 Bq/kg となっているが、これは経口摂取による内部被ばくのみで年間 1 ミリシーベルト相当としており、内部被ばくと外部被ばくを合算した実効線量による個人総線量の限度ではない。ICRP はまた、「合理的に達成できるかぎり低く保たれるべき」という放射線防護の最適化を強調しており、実際に達成している例があることから厳しい基準とは言えない。~~

~~*6: The voluntary standard set by Green-Co-op (Consumers' Co-operative Federation: Green Co-op Union)
<http://www.greencoop.or.jp/genpatsu/hoshano.html>~~

~~While the standard for general food set by the Ministry of Health, Labour and Welfare is 100 Bq/kg, based on the assumption that it is equivalent to 1 mSv/y of internal exposure from oral ingestion only. Thus it is not the total radiation dose limit for individuals that takes account both internal and external exposure. ICRP also emphasizes the optimization of radiological protection, which holds that exposure should be kept as low as reasonably~~

~~際に達成している例があるから厳しくはない」という議論はおかしく、限られた組織でしか達成できないものを認証の要求項目とするのは妥当ではない。~~

- ~~●—The rationale provided for the proposed indicator* B2 is the voluntary standard set by a private organization, and lacks strong scientific base. The reference level set by the government (Ministry of Health, Labour and Welfare) for general food is 100Bq/kg, and 10Bq/kg proposed as the standard for edible NTFP* is very stringent; only 1/10 of it. The argument that the level is not considered too stringent because some have achieved it is misguided. It is not reasonable to set a certification requirement that can be achieved only by limited number of organizations.—~~

	achievable. This limit is not considered too strict as it has been achieved by some.	
--	--	--

原則 8 附則 G : モニタリング要求事項

この一覧の中には、原則 7 附則 F : 計画/モニタリングの枠組みの概念で示されていたモニタリング頻度も組み込んだ。

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	モニタリング 頻度
1) 8.2.1 のモニタリングは管理活動が環境に与える影響を特定し説明するために十分であり、以下の該当するものを含む：		1) 組織*は、以下の該当する管理活動について記録を取り、特定された多面的機能*への影響を評価している。	1) The Organization* takes records of applicable management activities listed below and evaluate their impacts on the identified Environmental values*.	
i. 森林更新活動の結果（基準*10.1）	採用適応	i. 森林更新の状況（基準*10.1）	i. The <u>results-state</u> of forest regeneration (Criterion* 10.1)	1 回/年
ii. 更新の際の生態的に適合した樹種の使用	採用適応	ii. 更新の際使用した樹種、品種（基準*10.2）	ii. Species and varieties used for	1 回/年

(基準*10.2)			regeneration (Criterion* 10.2)	
iii. 管理区画*内外における外来種の侵略性や悪影響 (基準*10.3)	適応	iii. 管理区画*内外における外来種*の侵略性や生息・生育状況、発現病虫獣害対策の実施状況 (基準*10.3)	iii. Invasiveness or other adverse impacts associated with any alien species*, extent of their presence, and actions to control pest and disease within and outside the Management Unit*(Criterion* 10.3)	1 回/年
iv. 遺伝子組換え生物の不使用 (基準*10.4)	採用	iv. 遺伝子組換え生物*の不使用 (基準*10.4)	iv. The use of genetically modified organisms* to confirm that they are not being used (Criterion* 10.4)	1 回/年
v. 育林活動の結果 (基準*10.5)	適応	v. 枝打ち、間伐を含む育林作業結果(仕上がり具合等) (基準*10.5)	v. The results of silvicultural activities including pruning and thinning (conditions after the operation etc.) (Criterion* 10.5)	1 回/年
vi. 肥料*による多面的機能*への悪影響 (基準*10.6)	適応	vi. 肥料*の使用 (基準*10.6)	vi. The use of fertilizers* (Criterion* 10.6)	1 回/年
vii. 農薬*の使用による悪影響 (基準*10.7)	適応	vii. 農薬*の使用 (基準*10.7)	vii. The use of pesticides* (Criterion* 10.7)	1 回/年
viii. 生物的防除*の使用による悪影響 (基準*10.8)	適応	viii. 生物的防除*の使用 (基準*10.8)	viii. The use of biological control agents* (Criterion* 10.8)	1 回/年
ix. 自然災害*の影響 (基準*10.9)	適応	ix. 自然災害*の被害と影響 (基準*10.9)	ix. Damages and impacts from natural hazards* (Criterion* 10.9)	1 回/年

x. インフラ*整備、輸送活動、育林活動が希少種*や <u>危急種絶滅危惧種</u> *とそれらの生息・生育域*、生態系*、景観的な価値*、水、土壌に与える影響（基準*10.10）	適応	x. インフラ整備、輸送活動、育林施業状況（例：林道・作業道の敷設状況。林道勾配・密度、地形の改変の程度や沢を横断する場所の状況）（基準*10.10）	x. Infrastructural development, transport activities, and silvicultural operation (e.g. Status of road development, steepness and density of logging roads, extent to modify the terrain and status of creek crossings) (Criterion* 10.10)	1 回/年
xi. 木材の伐採と搬出が非木材林産物*、多面的機能*、販売可能な未利用残材、その他の林産物やサービスに与える影響（基準*10.11）	適応	xi. 木材の伐採と搬出（基準*10.11）	xi. Felling and extraction of logs (Criterion* 10.11)	1 回/年
xii. 環境に配慮した適切な方法での廃棄物*の処理（基準*10.12）	適応	xii. 廃棄物*の処理（基準*10.12）	xii. Disposal of waste materials* (Criterion* 10.12)	1 回/年

国際標準指標(IGI)日本語訳		日本国内指標	日本国内指標英語訳	モニタリング 頻度
2) 8.2.1 のモニタリングは管理活動が社会に与える影響を特定し説明するために十分であり、以下の該当するものを含む：		2) 組織*は、以下の該当する管理活動について社会経済的な影響が評価できるよう、記録をとっている。	2) The Organization* takes records of applicable management activities listed below and evaluate their socioeconomic impacts.	
i. 違法または未許可の行為の証拠。（基準*1.4）	採用	i. 違法または未許可の行為（基準*1.4）	i. Illegal or unauthorized activities (Criterion* 1.4)	1 回/年
ii. 適用可能な <u>法律法令</u> *、 <u>地域の法律</u> *、国が批准*している国際条約、義務的行動	採用	ii. 適用可能な <u>法律法令</u> *、 <u>地域の法律</u> *、批准*済み国際条約や義務的行動規範への適合（基	ii. Compliance with applicable laws*, local laws*, ratified* international	1 回/年

規範への適合。(基準*1.5)		準*1.5)	conventions and obligatory codes of practice (Criterion*1.5)	
iii. 紛争*や苦情の解決。(基準*1.6, 2.6, 4.6)	適応	iii. 紛争*や苦情と、それに対する対応、 労働者*の離職率(定着率、労働条件・環境に対する満足度) (基準*1.6, 2.6, 4.6)	iii. Disputes* and grievances, <u>and</u> correspondence to them, turnover of workers* (rate of retention, satisfaction with the working conditions and the environment) (Criterion*1.6, 2.6, 4.6)	随時
iv. 労働者*の権利に関するプログラムや活動。(基準*2.1)	<u>適応採用</u>	iv. 労働者*の権利に関するプログラムや活動 (基準*2.1) 注：労働者*の離職率(定着率)や労働条件、満足度を指標としてもよい。	iv. Programs on workers* rights and related activities (Criterion*2.1) Note: turnover of workers* (retention rate), working condition, and satisfaction rate can be used as indicators.	1 回/年
v. 男女平等*、セクシャルハラスメント、性別による差別。(基準*2.2)	適応	v. <u>男女平等*、セクシャルハラスメント、性別による差別セクシャルハラスメントなどを含む、女性の労働環境についての状況</u> (基準*2.2)	v. Situations of women's work-environment, including occurrence of sexual harassment <u>Gender equality*, sexual harassment and gender discrimination</u> (Criterion*2.2)	1 回/年
vi. 労働安全衛生に関するプログラムや活動。(基準*2.3)	適応	vi. 労働安全衛生に関するプログラムや活動。労働災害*の記録を含む。(基準*2.3)	vi. Programs and activities regarding occupational health and safety, including records of occupational accidents* (Criterion*2.3)	1 回/年
vii. 賃金の支払。(基準*2.4)	採用	vii. 賃金の支払 (基準*2.4)	vii. Payment of wages (Criterion*2.4)	1 回/年
viii. 労働者*の教育訓練。(基準*2.5)	適応	viii. 作業に従事する者(労働者*の他、ボランティア*、研修生を含む)への教育訓練 (基準	viii. Training given to workers* (including volunteers* and trainees)	1 回/年

		*2.5)	(Criterion*2.5)	
ix. 農薬*が使用されている場合は、農薬*に晒される労働者*の健康被害。(基準*2.5, 10.7)	適応	ix. 農薬*に晒される労働者*の健康 (基準*2.5, 10.7)	ix. The health of workers* exposed to pesticides* (Criterion*2.5, 10.7)	1 回/年
x. 先住民族*、地域社会*とそれらの法的*及び慣習的な権利*の特定。(基準*3.1, 4.1)	適応	x. 先住民族*、地域社会*とそれらの法的*及び慣習的な権利* (基準*3.1, 4.1)	x. Legal* and Customary rights* of Indigenous Peoples* and local communities* (Criterion*3.1, 4.1)	1 回/年
xi. 拘束力のある契約*条件の完全なる履行。(基準*3.1, 4.2)	適応	xi. 先住民族*、地域社会*との拘束力のある契約*の履行状況 (基準*3.1, 4.2)	xi. Implementation of the terms in binding agreements* with Indigenous Peoples* and local communities* (Criterion*3.1, 4.2)	1 回/年
xii. 先住民族*及び地域社会*との関係。(基準*3.2, 3.3, 4.2)	適応	xii. 先住民族*及び地域社会*とのやりとりや協議* (基準*3.2, 3.3, 4.2)	xii. Communication and engagement* with Indigenous Peoples* and local communities* (Criterion*3.2, 3.3, 4.2)	1 回/年
xiii. 先住民族*と地域社会*にとって文化的、生態的、経済的、宗教的、または精神的に特別な意味を持つ場所の保護*。(基準*3.5, 4.7)	採用	xiii. 先住民族*と地域社会*にとって文化的、生態的、経済的、宗教的、または精神的に特別な意味を持つ場所の保護*状況 (基準*3.5, 4.7)	xiii. Protection* of sites of special cultural, ecological, economic, religious or spiritual significance to Indigenous Peoples* and local communities* (Criterion*3.5, 4.7)	1 回/年
xiv. 伝統的知識*や知的財産*の使用。(基準*3.6, 4.8)	採用	xiv. 伝統的知識*や知的財産*の使用 (基準*3.6, 4.8)	xiv. The use of traditional knowledge* and intellectual property* (Criterion*3.6, 4.8)	1 回/年

xv. 地域の経済的、社会的発展。(基準*4.2, 4.3, 4.4, 4.5)	適応	xv. 地域の経済的、社会的状況 (基準*4.2, 4.3, 4.4, 4.5)	xv. Local economic and social condition (Criterion*4.2, 4.3, 4.4, 4.5)	1 回/年
xvi. 多様な林産物や便益の生産。(基準* 5.1)	採用	xvi. 多様な林産物や便益の生産 (基準* 5.1)	xvi. The production of diversified benefits and/or products (Criterion*5.1)	1 回/年
xvii. 生態系サービス*の維持、向上。(基準* 5.1)	適応	xvii. 生態系サービス*や森林の多面的機能の維持 (林分・景観レベルの、枯損木も含めた生物多様性や生息・生育域の状況を含む) (基準* 5.1)	xvii. Maintenance and/or enhancement of ecosystem services* and Environmental values* (including the status of stand and landscape level biodiversity including occurrence of snags) (Criterion*5.1)	1 回/年
xviii. 生態系サービス*の維持、向上とその他の活動。(基準* 5.1)	採用	xviii. 生態系サービス*の保全活動 (基準* 5.1)	xviii. Activities to maintain or enhance ecosystem services* (Criterion*5.1)	1 回/年
xix. 計画されていた年間木材伐採量や非木材林産物*の年間収穫量と実際の伐採量、収穫量の比較。(基準* 5.2)	適応	xix. 計画されていた木材や非木材林産物*の年間収穫量と実際の収穫量、年間成長量の比較 (基準* 5.2)	xix. Actual compared to projected annual harvests of timber and non-timber forest products*, as well as annual growth (Criterion*5.2)	1 回/年
xx. 地元の加工施設、サービス、付加価値づけ施設・サービスの利用。(基準* 5.4)	採用	xx. 地元の加工施設、サービス、付加価値づけ施設・サービスの利用 (基準* 5.4)	xx. The use of local processing, local services and local value added manufacturing (Criterion*5.4)	1 回/年
xxi. 長期的な経済的な継続性*。(基準* 5.5)	適応	xxi. 財務状況、年間予算編成、 <u>中</u> 長期的な財務計画* (基準* 5.5)	xxi. Financial conditions, annual budget, and <u>middle to</u> long term financial plan (Criterion*5.5)	1 回/年
xxii. 基準* 9.1 で特定された高い保護価値 (HCV)*5 と 6。	採用	xxii. 基準* 9.1 で特定された高い保護価値 (HCV)*5 と 6	xxii. High Conservation Values* 5 and 6 identified in Criterion* 9.1	1 回/年

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	モニタリング頻度
3) 8.2.2 のモニタリング手順は環境状態の変化を特定し表現するために十分であり、以下の関係するものを含む：		3) 8.2.2 の環境状態のモニタリングには以下の該当するものを含み、その手順は環境状態の変化を検知するのに十分である。	3) Monitoring procedures in 8.2.2 are sufficient to identify and describe changes in environmental conditions including where applicable:	
i. 生態系サービス*の維持及び/または向上 (基準* 5.2) (組織*が生態系サービス*の提供について FSC 商標を用いた広告宣伝用の主張をするか、生態系サービス*の提供に関して料金を徴収している場合)	適応	i. 効果を謳っている生態系サービス*の状況(基準* 5.2)	i. The condition of the declared ecosystem services* (Criterion* 5.2)	1 回/年
	追加	ii. 非木材林産物*に利用される資源の状況 (基準* 5.2, 6.1)	ii. Condition of resources for NTFP* production (Criterion*5.2, 6.1)	1 回/年
	追加	iii. 林齢構成・径級構成(基準* 5.5)	iii. Age structure and size distribution of standing trees (Criterion*5.5)	1 回/5 年
ii. 炭素隔離吸収と炭素固定を含む多面的機能*と生態系機能* (基準* 6.1)。多面的機能に対する悪影響を回避、低減、補修するための取り組みの効果も含む (基準* 6.3)	適応	iv. 基準* 6.1 で特定された多面的機能*と生態系機能*(基準* 6.1, 6.3)	iv. Environmental values* and ecosystem functions* identified in Criterion* 6.1 (Criterion*6.1, 6.3)	1 回/年
	追加	v. 下層植生	v. Understory vegetation	1 回/年

iii. 希少種*と 危急種絶滅危惧種 *, またそれらとそれらの生息・生育域*を保護する活動の効果 (基準* 6.4)	適応	vi. 特定された希少種*、 危急種絶滅危惧種 *や絶滅危惧種とそれらの生息・生育域*の状況(基準* 6.4)	vi. The status of identified rare* and threatened species* and their habitats* (Criterion*6.4)	1 回/年
iv. 代表的な自然生態系地域*とそれを保全、復元*するための取り組みの効果 (基準* 6.5)	適応	vii. 代表的な自然生態系地域の保全、復元*状況(基準* 6.5)	vii. The status of conservation and restoration* of representative sample areas* (Criterion*6.5)	1 回/年
v. 在来種*及び生物多様性*とそれらを保全、復元*するための取り組みの効果 (基準* 6.6)。	適応	viii. 在来種*及び生物多様性*の保全、復元*状況(基準* 6.6)。	viii. The status of conservation and restoration* of native species* and biological diversity* (Criterion*6.6)	1 回/年
vi. 河川・溪流、湖沼*、水質と水量とそれらを保全、回復*するための取り組みの効果 (基準* 6.7)	適応	ix. 河川・溪流、湖沼*の状況。作業上のオイル等の適切な処理や溪流へのごみや端材の投げ捨て等も含む。(基準* 6.7) 注：水質・水量などは地方公共団体のデータから入手可能なデータを参照することができる。	ix. The condition of water courses and water bodies*, including proper treatment of oil etc. and dumping of waste and scrap into water courses*. (Criterion*6.7) Note: For the water quality and water quantity etc., the data available from local governments can be used.	1 回/年
vii. 景観的な価値*とそれを維持、復元*するための取り組みの効果(基準* 6.8)	適応	x. 周辺の景観の変化* (基準* 6.8)	x. Changes to surrounding landscape (Criterion*6.8)	1 回/年
viii. 自然林*から人工林*または森林以外の土地利用への転換 (基準* 6.9)	適応	xi. 土地利用の変化(基準* 6.9)	xi. Land use changes (Criterion*6.9)	1 回/年
ix. 1994 年以降に作られた人工林*の状態 (基準* 6.10)	棄却	<棄却理由> 日本では 1994 年以降に新たに拡大造林された人工林*はわずかであり、また、造林時期に限らず人工林*の状態はモニタリングの対象		1 回/年

		となっている。		
x. 基準* 9.1 で特定された高い保護価値 (HCV)*1 から 4 とそれを維持及び/または向上するための活動の効果	適応	xii. 基準* 9.1 で特定された高い保護価値 (HCV)*の保全*状況	xii. Status of protection* of high conservation values* identified in Criterion* 9.1	1 回/年
	追加	xiii. 施業後の林分における残存木や土壌の状態 (基準* 6.1, 10.10)	xiii. Conditions of residual trees and soil after forestry operation (Criterion*6.1, 10.10)	1 回/年
	追加	xiv. 林内における廃棄物*の残存状況 (基準* 10.12)	xiv. Residual waste materials* (Criterion* 10.12)	1 回/年

原則 9: 高い保護価値 組織*は、予防手段*を用いて、管理区画*内の高い保護価値(HCV)*を特定し、それらを維持及び/または向上しなければならない。(V4 原則 9)	PRINCIPLE 9: HIGH CONSERVATION VALUES* The Organization* shall* maintain and/or enhance the High Conservation Values* in the Management Unit* through applying the precautionary approach*. (P9 P&C V4)
<p>9.1 組織*は、管理区画*内における以下に挙げる高い保護価値(HCV)*の存在及び状態を評価、特定し、記録しなければならない。この場合、利害関係者*や関心の高い者*との協議*や、他の方法や情報源を通し、管理活動の規模*、強度*、リスク*、及び高い保護価値が存在する可能性に応じて行うこととする。:</p> <p>HCV 1 – 種の多様性: 全世界、地域あるいは国家的に重要*とされる固有種、希少種*、危急種*または絶滅危惧種*を含む生物多様性*が集中して認められる地域。</p>	<p>9.1 The Organization*, through engagement* with affected stakeholders*, interested stakeholders* and other means and sources, shall* assess and record the presence and status of the following High Conservation Values* in the Management</p>

<p>HCV 2 – 景観*レベルでの生態系*とモザイク:自然発生種のほとんどが豊富にあり、本来の分布域存在している。世界的、地域あるいは国家的に重要*とされる原生林景観*、大規模な景観レベルの生態系*と生態系のモザイク。</p> <p>HCV 3 – 生態系*及び生息・生育域*: 希少*または危急*、絶滅の危機に瀕している生態系*、生息・生育域*もしくはレフュジア(退避地)*が認められる地域。</p> <p>HCV 4 – 不可欠な*生態系サービス*: 脆弱な土壌や斜面の浸食の防止集水域の保護など危機的状況において重要な基礎的な生態系サービス*。</p> <p>HCV 5 – 地域社会*の基本ニーズ:地域社会*あるいは先住民族*の基本的需要(生活、健康、食料、水など)に欠かせない場所と資源。</p> <p>HCV 6 – 文化的価値: 文化的、精神的、生態学的、経済的に地域社会*あるいは先住民族*にとり非常に重要として認められ、利害関係者*との協議*により特定された、世界的もしくは国家的に重要な場所、資源、生息・生育域*や景観*。</p> <p>(V4 基準*9.1 及び 2014 年総会動議 7 番)</p>	<p>Unit*, proportionate to the scale*, intensity* and risk* of impacts of management activities, and likelihood of the occurrence of the High Conservation Values*:</p> <p>HCV 1 – Species diversity. Concentrations of biological diversity* including endemic species, and rare*, threatened* or endangered species, that are significant* at global, regional or national levels.</p> <p>HCV 2 – Landscape*-level ecosystems* and mosaics. Intact forest landscapes* and large landscape*-level ecosystems* and ecosystem* mosaics that are significant* at global, regional or national levels, and that contain viable populations of the great majority of the naturally occurring species in natural patterns of distribution and abundance.</p> <p>HCV 3 – Ecosystems* and habitats*. Rare*, threatened*, or endangered ecosystems*, habitats* or refugia*.</p> <p>HCV 4 – Critical* ecosystem services*. Basic ecosystem services* in critical* situations, including protection* of water catchments and control of erosion of vulnerable soils and slopes.</p>
--	---

		<p>HCV 5 – Community needs. Sites and resources fundamental for satisfying the basic necessities of local communities* or Indigenous Peoples* (for livelihoods, health, nutrition, water, etc.), identified through engagement* with these communities or Indigenous peoples*.</p> <p>HCV 6 – Cultural values. Sites, resources, habitats* and landscapes* of global or national cultural, archaeological or historical significance, and/or of critical* cultural, ecological, economic or religious/sacred importance for the traditional cultures of local communities* or Indigenous peoples*, identified through engagement* with these local communities* or Indigenous peoples*.</p> <p>(C9.1 P&C V4 and Motion 2014#7)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
9.1.1 利用可能な最も有効な情報*を用い、基準*9.1 で定義されている HCV1～HCV6 の高い保護価値(HCV)*の場所と状態、またその価値が依存する高い保護価値(HCV) *の維持地域*とその状態を記録した <u>利用可能な最も有効な情報*を用い、</u> ための 評価が完了している。	適応採用	9.1.1 <u>利用可能な最も有効な情報*を用いた、HCV1～6 の高い保護価値(HCV) *をもつ場所と地域、及びその価値と状態の評価が完了しており、記録されている。基準*9.1 で定義されている HCV1～HCV6 の高い保護価値(HCV)*の場所と状態、またその価値が依存する高い保護価値(HCV) *の維持地域*とその状態を記録した利</u>	9.1.1 An assessment of High Conservation Value* Categories 1-6 using Best Available Information* is completed, with the location, area, the value, and the its status of the HCV are recorded. <u>An assessment is completed using Best Available Information* that records the location and status of high Conservation Value* Categories 1-6, as</u>

		<u>用可能な最も有効な情報*を用い、評価が完了している。</u>	<u>defined in Criterion* 9.1; the High Conservation Value Areas* they rely upon, and their condition.</u>
9.1.2 HCV*の特定に際しては、利害関係者*及び HCV*の保全*に高い関心をもつ者*との慣習に合った*方法での協議*から得られた結果が用いられている。	採用	9.1.2 HCV*の特定に際しては、利害関係者*及び HCV*の保全*に <u>高い関心の高いをもつ者*</u> との慣習に合った*方法での協議*から得られた結果が用いられている。	9.1.2 The assessment uses results from culturally appropriate* engagement* with affected* and interested stakeholders* with an interest in the conservation* of the High Conservation Values*.
	追加	9.1.3 特定された HCV*の場所や地域は地図に明記されている。	9.1.3 The locations and/or areas of the identified HCV* are mapped.
	追加	9.1.4 9.1.1 及び 9.1.2 に従い評価した結果 HCV*が特定されなかった場合 <u>でもも含め、HCV* 特定のためのアセスメントの評価は必要に応じて、少なくとも 5 年に 1 度は見直されている。</u>	9.1.4 The HCV* assessment <u>for HCV identification</u> is reviewed <u>as necessary, at least</u> once in five years even when no HCV* is identified as a result of the assessment specified in 9.1.1 and 9.1.2.

9.2 組織*は、利害関係者*や関心の高い者*、専門家との協議*により特定された高い保護価値(HCV)*の維持及び/または向上させる効果的な方策を策定しなければならない。(V4 基準*9.2)		9.2 The Organization* shall* develop effective strategies that maintain and/or enhance the identified High Conservation Values*, through engagement* with affected stakeholders*, interested stakeholders* and experts. (C9.2 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

9.2.1 利用可能な最も有効な情報*を用い、HCV*への脅威*が特定されている。	採用	9.2.1 利用可能な最も有効な情報*を用い、HCV*への脅威*が特定されている。	9.2.1 Threats* to High Conservation Values* are identified using Best Available Information*.
9.2.2 特定された HCV*を維持及び/または向上させ、 <u>高い保護価値(HCV)をもつ HCV*が認められる地域*</u> を支えるため、価値を損なう可能性のある管理活動が行われる前に、管理方策と活動計画が策定されている。	適応	9.2.2 特定された HCV*を維持及び/または向上させ、 <u>HCV*が認められる高い保護価値(HCV)をもつ</u> 地域*を支えるため、利害関係者*や関心の高い者*、 <u>及び専門家有識者、及びその他関係者との協議*</u> により、価値を損なう可能性のある管理活動が行われる前に、効果的な管理方策と活動計画が策定されている。	9.2.2 Effective management strategies and actions are developed through engagement* with affected and interested stakeholders*, <u>and</u> experts, <u>and</u> other relevant parties to maintain and/or enhance the identified High Conservation Values* and to maintain associated High Conservation Value Areas* prior to implementing potentially harmful management activities.
9.2.3 特定された HCV*を維持及び/または向上させるための管理方策と活動計画の策定は、利害関係者*、関心の高い者*及び専門家との協議*により行われている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 9.2.2 に組み込んだ。	
9.2.4 策定された管理方策は HCV*の維持及び/または向上に効果的である。	棄却 (適応)	<棄却理由> 9.2.2 に要素を組み込んだ。また、方策が効果的かどうかは 9.3 に要求されている方策の実施後、9.4 のモニタリングを通じわかるものなので、この時点で要求することは適当ではない。	

<p>9.3 組織*は、特定された高い保護価値(HCV)*を維持及び/または向上させるための方策と活動計画を実施しなければならない。これらの方策と取り組みは予防手段*も含め、活動の規模*・強度*・リスク*に応じて実施しなければならない。(V4 基準* 9.3)</p>		<p>9.3 The Organization* shall* implement strategies and actions that maintain and/or enhance the identified High Conservation Values*. These strategies and actions shall* implement the precautionary approach* and be proportionate to the scale*, intensity* and risk* of management activities. (C9.3 P&C V4)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
9.3.1 策定された方策の実施により、HCV* とそれらが依存する HCV をもつ地域*は維持されている及び/または向上している。	採用	9.3.1 策定された方策の実施により、HCV* とそれらが依存する HCV をもつ地域*は維持されている及び/または向上している。	9.3.1 The High Conservation Values* and the High Conservation Value Areas* on which they depend are maintained and/or enhanced, including by implementing the strategies developed.
9.3.2 科学的な情報が不十分もしくは確実でない場合や、HCV*の脆弱性や繊細さが不明な場合においても、策定された方策と活動が HCV*が損なわれることを防ぎ、リスク*を回避している。	採用	9.3.2 科学的な情報が不十分もしくは確実でない場合や、HCV*の脆弱性や繊細さが不明な場合においても、策定された方策と活動が HCV*が損なわれることを防ぎ、リスク*を回避している。	9.3.2 The strategies and actions prevent damage and avoid risks* to High Conservation Values*, even when the scientific information is incomplete or inconclusive, and when the vulnerability and sensitivity of High Conservation Values* are uncertain.
9.3.3 HCV*を損なう活動は即時中止され、HCV*を復元*、保護する措置が取られている。	採用	9.3.3 HCV*を損なう活動は即時中止され、HCV*を復元*、保護する措置が取られている。	9.3.3 Activities that harm High Conservation Values* cease immediately and actions are taken to restore* and protect the High Conservation Values*.

<p>9.4 組織*は、高い保護価値(HCV)*が効果的に保護*されるよう、その状態の変化を評価するための定期的なモニタリングを行い、管理方策に反映していかなければならない。また、モニタリングは、管理活動の特性規模*、強度*、リスクに見合い、利害関係者*、関心の高い者*、及び専門家との協議*により推進しなければならない。(V4 基準*9.4)</p>		<p>9.4 The Organization* shall* demonstrate that periodic monitoring is carried out to assess changes in the status of High Conservation Values*, and shall* adapt its management strategies to ensure their effective protection*. The monitoring shall* be proportionate to the scale*, intensity* and risk* of management activities, and shall* include engagement* with affected stakeholders*, interested stakeholders* and experts. (C9.4 P&C V4)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>9.4.1 定期的なモニタリングプログラムには以下の評価が含まれている：</p> <p>1) 方策の実施。</p> <p>2) HCV*とそれらが依存する HCV*を支える地域*の状態。</p> <p>3) HCV*を完全に維持及び/または向上させるための管理方策と保護*の取り組みの効果。</p>	適応	<p>9.4.1 モニタリングプログラムは以下の内容が含まれる：</p> <p>1) 利害関係者*、関心の高い者*及び専門家との協議*</p> <p>2) モニタリングの具体的方法と頻度</p> <p>注：+この方法と頻度は HCV*の変化を発見するのに十分なものではなくてはならない。</p> <p>3)管理方策の実施記録</p> <p>4) HCV*とそれを支える高い保護価値(HCV)をもつ地域*の現況評価</p> <p>5) HCV*の維持・向上に対する管理方策や取り組みの効果の評価</p>	<p>9.4.1 A monitoring program includes:</p> <p>1) Engagement* with affected stakeholders*, interested stakeholders* and experts;</p> <p>2) Specific methods and frequency of monitoring;</p> <p>Note: The method and frequency shall be sufficient to detect changes in High Conservation Values*</p> <p>3) Record of implementation of management strategies;</p> <p>4) Evaluation of the current condition of High Conservation Values*, including High Conservation Value Areas* on which they depend; and</p>

			5) Evaluation of the effectiveness of the management strategies and actions to maintain and enhance High Conservation Values*.
9.4.2 モニタリングプログラムは、利害関係者*、関心の高い者*及び専門家との協議*を含む。	棄却 (適応)	<棄却理由> 9.4.1 1)に組み込んだ。	
9.4.3 モニタリングプログラムは、初回の評価とそれぞれの HCV*の特定された状態と比較し、HCV*の変化を発見するのに十分な範囲、詳細さ、頻度で行われている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 9.4.1 2)に組み込み、注をつけた。	
9.4.4 モニタリングまたはその他の新たな情報により、HCV*の維持及び/または向上のために、管理方策と活動は十分でないと示された場合、これらの方策と活動計画は修正されている。	採用	9.4.2 モニタリングまたはその他の新たな情報により、HCV*の維持及び/または向上のために、管理方策と活動は十分でないと示された場合、これらの方策と活動計画は修正されている。	9.4.2 Management strategies and actions are adapted when monitoring or other new information show that these strategies and actions are insufficient to ensure the maintenance and/or enhancement of High Conservation Values*.
	追加	9.4.3 モニタリング記録は保管されている。	9.4.3 Monitoring records are kept.

原則 10： 管理活動の実施 組織*もしくは組織*のために実施される管理区画*内での活動は、組織*の経済、環境、社会的方針と目的*に一致したものが選択及び実施され、全体として FSC の原則*と基準*に合致するものであること。(新規)	PRINCIPLE 10: IMPLEMENTATION OF MANAGEMENT ACTIVITIES Management activities conducted by or for The Organization* for the Management Unit* shall* be selected and implemented consistent with The Organization*'s economic, environmental and social policies and objectives* and in
--	---

			compliance with the Principles* and Criteria* collectively. (new)
10.1 組織*は、管理計画*に従い、最終伐採した後は天然更新または人工更新により、迅速に伐採前*の状態またはより自然に近い状態*に再生させなければならない。(新規)			10.1 After harvest or in accordance with the management plan*, The Organization* shall*, by natural or artificial regeneration methods, regenerate vegetation cover in a timely fashion to pre-harvesting* or more natural conditions*. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.1.1 すべての伐採地は以下の要件を満たすよう、迅速に*更新されている: 1) 伐採作業の影響を受けた多面的機能*を保全している。 2) 収穫前もしくは自然林*の森林組成、構造を回復させるために適切である。	適応	10.1.1 すべての伐採地は以下の要件を満たすよう、迅速に*更新されている: 1) 伐採作業の影響を勘案し多面的機能*を保全している。 2) 更新後の植生を伐採前*と比較して少なくとも同程度の自然状態に回復させるために適切である。 注: 迅速な更新を図ったにもかかわらず、意図した更新が見られない場合は原因が分析され、再度迅速な更新がされるように対処されている。	10.1.1 Harvested sites are regenerated in a timely manner* that: 1) Preserves environmental values* taking into account the impacts from harvesting operations; and 2) Is suitable to recover vegetation to at least the same degree of naturalness as the pre-harvest* condition. Note: When timely regeneration is not realized as planned, the cause is analyzed and another attempt is made to realize regeneration.
10.1.2 以下を満たすように森林更新活動が実施されている: 1) 人工林*の伐採の場合、伐採前*の植生もしくは生態的によく適合した樹種を用いてより自然に	適応	10.1.2 以下を満たすように森林更新活動が実施されている。 1) 人工林*の伐採の場合、伐採前*と比較して少なくとも同程度の自然状態を保つように更新さ	10.1.2 Regeneration activities* are implemented in a manner that:

<p>近い状態*へと更新している</p> <p>2) 自然林*の伐採の場合、伐採前*もしくはより自然に近い状態*へと更新している。</p> <p>3) 劣化した自然林*の伐採の場合、より自然に近い状態*へと更新している。</p>		<p>れている。</p> <p>2) 自然林*の伐採の場合、伐採前*と同じ、もしくはより自然に近い状態*へと更新している。人工植林を通じて更新をする場合は、伐採前*と比較して生物多様性*や森林構造が劣化しないように行われている。</p>	<p>1) For harvest of existing plantations*, regenerate to the vegetation cover at least the same level of naturalness as the pre-harvest conditions*; or</p> <p>2) For harvest of natural forests*, regenerate to pre-harvest* or to more natural conditions*.</p> <p>Regeneration by replanting does not degrade biological diversity* and forest structure as compared to the pre-harvest conditions*.</p>
--	--	--	--

<p>10.2 組織*は、管理目的*に沿って、生態的に適合した種、在来種*及びその地域固有の遺伝子型*を用いて更新を行うこと。(V4 基準*10.4)</p>		<p>10.2 The Organization* shall* use species for regeneration that are ecologically well adapted to the site and to the management objectives*. The Organization* shall* use native species* and local genotypes* for regeneration, unless there is clear and convincing justification for using others. (C10.4 and C10.8 P&C V4)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>10.2.1 更新に選ばれた種は生態的に地域に適合しており、地域固有でない遺伝子型*の品種または非在来種を用いる明確かつ正当な理由がない限り、在来種*で、その地域産のものである。</p>	適応	<p>10.2.1 更新のために用いられる種は、生態的に地域に適合し、これまでその地域で使われてきた実績のある種である。</p> <p>注：在来種*が望ましいが、外来種であってもそれを使う正当な理由があり、その地方で使われてきた</p>	<p>10.2.1 Species* chosen for regeneration are ecologically well adapted to the site, and have been used in the area.</p> <p>Note: While using native species* is preferable, alien species* can be used when there is a valid</p>

		実績により侵略性がないことが証明されていればよい。外来種については 10.3.1 参照。	reason and its non-invasiveness is demonstrated with the history of its use in the area. For the use of alien species*, see 10.3.1.
10.2.2 更新のために用いられる種は更新の目的*及び管理目的*に沿っている。	採用	10.2.2 更新のために用いられる種は更新の目的*及び管理目的*に沿っている。	10.2.2 Species chosen for regeneration are consistent with the regeneration objectives* and with the management objectives*.

10.3 組織*は、外来種*を使用する際は、侵略的影響が制御できることや、効果的な影響低減措置がとられているという条件を満たさなければならない。(V4 基準*6.9、10.8)		10.3 The Organization* shall* only use alien species* when knowledge and/or experience have shown that any invasive impacts can be controlled and effective mitigation measures are in place. (C6.9 and C10.8 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.3.1 直接的な経験及び/または科学的な調査結果により、侵略的な影響が制御できると示された場合にのみ外来種*が使用されている。	適応	10.3.1 直接的な経験や科学的な調査結果により、侵略的な影響が制御できると示され、かつ拡大を制御するための効果的な措置が取られている場合にのみ外来種*が使用されている。	10.3.1 Alien species* are used only when direct experience and/or the results of scientific research demonstrate that invasive impacts can be controlled and effective mitigation measures are in place to control their spread.
10.3.2 導入された場所から外への拡大を制御するための効果的な措置がとられている場合にのみ外来種*が使用されている。	棄却 (適応)	<棄却理由> 10.3.1 に組み込んだ。	

10.3.3 組織*により導入された侵略的な種*の拡大は制御されている。	適応	<p>10.3.2 組織*により導入された外来種*の拡大はモニタリングされ、制御されている。</p> <p>注：林業樹種に限らず、<u>管理区画内に植えられた園芸種</u>も含む。</p>	<p>10.3.2 The spread of alien species* introduced by The Organization* is controlled.</p> <p>Note: This is not only limited to tree species for forestry but also include horticultural <u>speciesplants planted within the Management Unit.</u></p>
10.3.4 組織*により導入されたものでない外来種*の侵略的影響を制御するための管理活動が実施されている。これは独立した管轄機関が存在する場合は、その機関の協力の下で行うことが望ましい。	適応	<p>10.3.3 組織*により導入されたものでない侵略的な外来種については、外来生物法に基づき、地方公共団体や認定団体との協力の下、影響を制御するための管理活動が実施されている。</p> <p>注：<u>これには第三者が管理する</u>林道法面への吹付けにおいて<u>用いられる外来種植物も含む。が用いられており、その植栽される種や品種についての</u>選択の権限が<u>組織組織*</u>にない場合<u>でも、管轄機関に用いられている種は侵略性がないことを確認された種、品種である。そうでない場合、侵略性のないものを使うよう働きかけることはできる。への変更の要望が出されており、その要望についてフォローアップしている。</u></p>	<p>10.3.3 Management activities are implemented, in cooperation with the local government and accredited organizations according to the Invasive Alien Species Act, with an aim to control the invasive impacts of alien species* that were not introduced by The Organization*.</p> <p>Note: <u>This includes alien plants</u> Where alien species* are used as covercrops on logging road slopes <u>managed by a third party. Even when and</u> The Organization* has no control over the selection of the species <u>and variety, , the species and the variety used have been demonstrated to be non-invasive. If not,</u> The Organization* <u>can submit a request the responsible organization to use change the species and/or variety to non-invasive plants. ones and the request is followed up.</u></p>

10.4 組織*は管理区画*内で遺伝子組換え生物*を使用してはいけない。(V4 基準*6.8)			10.4 The Organization* shall* not use genetically modified organisms* in the Management Unit*. (C6.8 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.4.1 遺伝子組換え生物*は使用されていない。	適応	10.4.1 遺伝子組換え生物*は使用されていない。 注：これは林業樹種に限らず、林内で使われる可能性のある農作物、園芸用植物、生物的防除*も含む。	10.4.1 Genetically modified organisms* are not used. Note: This is not only limited to forestry tree species, but also agricultural crops, horticultural plants, and biological control agents*.

10.5 組織*は、植生、種、場所に生態的に適合するとともに管理目的*に合致した育林施業を行っている。(新規)			10.5 The Organization* shall* use silvicultural practices that are ecologically appropriate for the vegetation, species, sites and management objectives*. (new)
10.5.1 生態的にその植生、種、場所に適合するとともに管理目的*に合致した育林施業が行われている。	採用	10.5.1 生態的にその植生、種、場所に適合するとともに管理目的*に合致した育林施業が行われている。	10.5.1 Silvicultural practices are implemented that are ecologically appropriate for the vegetation, species, sites and management objectives*.

10.6 組織*は、肥料*の使用の有益性が生態的かつ経済的に同等以上と認められる場合にのみ限定し、それ以外は使用を避けるものとする。肥料*の使用がある時には、土壌を含む多面的機能*の劣化を防ぎ、環境への影響を軽減する及び/または価値を回復*しなければならない。(V4 基準*10.7 及び 2014 年総会動議 7 番)			10.6 The Organization* shall* minimize or avoid the use of fertilizers*. When fertilizers* are used, The Organization* shall* demonstrate that use is
--	--	--	---

			equally or more ecologically and economically beneficial than use of silvicultural systems that do not require fertilizers*, and prevent, mitigate, and/or repair damage to environmental values*, including soils. (C10.7 P&C V4 and Motion 2014#7)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.6.1 肥料*の使用は避けられているもしくは最小限に抑えられている。	適応	10.6.1 化学肥料*の使用は避けられている、もしくは最小限に抑えられている。これには、管理区画*内の苗畑も含む。	10.6.1 The use of chemical fertilizers* is minimized or avoided. This includes nurseries within Management Units*.
10.6.2 肥料*が使用されている場合、肥料の使用は、肥料を必要としない育林方法と比較して生態的かつ経済的に同等か有益である。	適応	10.6.2 肥料*が使用されている場合、肥料の使用は、肥料を必要としない育林方法と比較して生態的かつ経済的に同等か有益である。 注：これは既存のデータなどによって裏付けられる必要がある。ただし、試験的に使用している場合は、モニタリングプログラムがあり、実施されていること。	10.6.2 When fertilizers* are used, their ecological and economic benefits are equal to or higher than those of silvicultural systems that do not require fertilizers*. Note: This needs to be supported by existing data etc. In case fertilizer* is used experimentally, a monitoring program is in place and is implemented.
10.6.3 肥料*が使用される際には、その種類、使用量、使用頻度と使用場所が記録されている。	採用	10.6.3 肥料*が使用される際には、その種類、使用量、使用頻度と使用場所が記録されている。	10.6.3 When fertilizers* are used, their types, rates, frequencies and site of application are documented.
10.6.4 肥料*が使用される際には、多面的機能*の劣化を防ぐ対策が取られ、価値が守られている。	採用	10.6.4 肥料*が使用される際には、多面的機能*の劣化を防ぐ対策が取られ、価値が守られている。	10.6.4 When fertilizers* are used, environmental values* are protected, including through implementation of measures to prevent damage.

10.6.5 肥料*の使用によってもたらされた多面的機能*の劣化は、軽減されるか、機能が回復されている。	採用	10.6.5 肥料*の使用によってもたらされた多面的機能*の劣化は、軽減されるか、機能が回復されている。	10.6.5 Damage to environmental values* resulting from fertilizer* use is mitigated or repaired.
--	----	--	---

<p>10.7 組織*は、化学農薬*の使用を避ける、あるいは完全に排除するため、育林*体系に基づく総合的な病虫獣害対策を構築しなければならない。また FSC の方針により禁止されている化学農薬*は使用してはならない。農薬*を使用する際には、多面的機能*の劣化と人体への健康被害を防ぎ、影響があった際には、影響を軽減するもしくは多面的機能と健康を回復しなければならない。(V4 基準*6.6、10.7)</p> <p><u>注：日本では、在来マツ類に感染し枯死させるマツノザイセンチュウの防除や、北海道において野ネズミによる食害を軽減するために行政の指導の下、農薬が使われている。野ネズミの防除に使われているリン化亜鉛は FSC の禁止農薬に入っているが、行政は環境に対する負荷が少ない安全な薬剤として、使用を奨励している。最低限の使用量とするため、北海道各地で行政による予察調査が行われ、個体数の動態に基づき適当とされる量のリン化亜鉛が散布されている。</u></p>				10.7 The Organization* shall* use integrated pest management and silviculture* systems which avoid, or aim at eliminating, the use of chemical pesticides*. The Organization* shall* not use any chemical pesticides* prohibited by FSC policy. When pesticides* are used, The Organization* shall* prevent, mitigate, and/or repair damage to environmental values* and human health. (C6.6 and C10.7 P&C V4)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳	
10.7.1 育林*体系の選択を含む総合的な病虫獣害対策が実施されており、化学農薬*の使用が避けられている、もしくは将来的な使用停止を目指している。使用頻度、使用範囲、使用量は減少しており、その結果、不使用や全体的な使用量の減少につながっている。	適応	10.7.1 造林から伐採までのすべての育林*方法の決定を含む、総合的な病虫獣害対策が実施されており、化学農薬*の使用が避けられている。農薬*が使われている場合は、使用頻度、使用範囲、使用量が全体的に減らされている。	10.7.1 Integrated pest management, including selection of silviculture* systems from planting to harvest, is implemented to avoid chemical pesticide* use. If pesticide* is used, the frequency, extent and amount of the use is reduced overall.	

10.7.2 FSC 農薬方針により禁止されている化学農薬*は、FSC から特例使用承認がない限り、管理区画*内で使用及び保管されていない。	採用	10.7.2 FSC 農薬方針により禁止されている化学農薬*は、FSC から特例使用承認がない限り、管理区画*内で使用及び保管されていない。	10.7.2 Chemical pesticides* prohibited by FSC's Pesticide Policy are not used or stored in the Management Unit* unless FSC has granted derogation.
	追加	10.7.3 FSC 本部から禁止農薬*の使用について特例使用承認を得ている場合、当該農薬*は特例の条件に従って使用され、使用の削減、停止に向けての試みや取り組みが進められている。	10.7.3 When The Organization* has a derogation for the use of prohibited pesticides* from FSC, the pesticides* use follows the conditions prescribed in the derogation, and efforts are made and measures are in place to reduce and stop the use.
10.7.3 農薬*の使用について、商品名、有効成分、有効成分使用量、使用期間、使用場所、使用面積、及び使用の理由を含めた記録が維持されている。	適応	10.7.4 農薬*を使用する場合、商品名、使用量、使用期間、使用場所、使用面積、使用者、使用の理由・根拠、残存量（保存されている量）が記録されている。	10.7.4 Records of pesticide* usage are maintained, including trade name, quantity used, period of use, location and area of use, user, reason/rationale for the use, quantity remained (to be kept).
10.7.4 農薬*を使用する際の輸送、保管、取扱い、使用方法、漏出の際の緊急対処方法は、ILO 文書「職場での化学物質の使用における安全衛生」に従っている。	適応	10.7.5 農薬*を使用する際の取扱い（輸送、保管、使用方法、漏出の際の緊急時取り扱い方法を含む）は ILO「職場での化学物質の使用における安全衛生」及び農薬取締法に従っている。	10.7.5 The use of pesticides* complies with the ILO document "Safety in the use of chemicals at work" and Agricultural Chemicals Control Act regarding requirements for the transport, storage, handling, application and emergency procedures for cleanup following accidental spillages.
10.7.5 農薬*を使用する際は、効果を得ながら使用量が最小限となるような使用方法が用いられている。また周辺の景観*に対する効果的な保護*施策が取られている。	適応	10.7.6 農薬*を使用する際は、効果を得ながら使用量が最小限とするように使用されている。また、周辺の景観*に対する効果的な保護*施策が取られている。	10.7.6 If pesticides* are used, application methods minimize quantities used, while achieving effective results, and provide effective protection* to surrounding landscapes*.

		<p>注：これには例として以下のような措置を含むが、これに限らない：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農薬*の運搬、保管、使用のための機器類は、全て安全で漏れのない状態に保たれている。 ● 農薬*の保管場所は雨漏りなどのない安全な状態に保たれている。 ● 河川・溪流や湖沼*付近で農薬*は使わない。 ● 植林前に、農薬*で処理された苗木を排水溝や河川・溪流で洗わない。 ● 豪雨が予想される前の使用はしない。 	<p>Note: It includes but not limited to measures such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Equipment for transportation, storage, and application of pesticides* are all kept in safe, leak-free condition; ● Storage of pesticides* is kept in a safe condition without any problems such as leakage; ● Pesticides* are not used around water courses and water bodies*; ● Seedlings treated with pesticides* are not washed in drains or water courses before planting; ● Pesticides* are not applied before the heavy rain is forecasted.
10.7.6 農薬*の使用による、多面的機能*の劣化と人体への健康被害は避けられている。影響があった際には、影響を軽減するもしくは多面的機能と健康は回復されている。	採用	10.7.7 農薬*の使用による、多面的機能*の劣化と人体への健康被害は避けられている。影響があった際には、影響を軽減するもしくは多面的機能と健康は回復されている。	10.7.7 Damage to environmental values* and human health from pesticide* use is prevented and mitigated or repaired where damage occurs.
<p>10.7.7 農薬*を使用する場合は以下をいずれも満たす：</p> <p>1) 農薬*の選択、使用方法、使用時期、使用パターンは人体や標的以外の種に対して与えるリスク*が最小限となるよう配慮されている。</p> <p>2) 病虫獣害を制御するためには当該農薬*が唯</p>	採用	<p>10.7.8 農薬*を使用する場合は以下をいずれも満たす：</p> <p>1) 農薬*の選択、使用方法、使用時期、使用パターンは人体や標的以外の種に対して与えるリスク*が最小限となるよう配慮されている。</p>	<p>10.7.8 When pesticides* are used:</p> <p>1) The selected pesticide*, application method, timing and pattern of use offers the least risk* to humans and non-target species; and</p>

一の効果的かつ現実的で費用効果が高い方法であることを示す客観的な証拠がある。		2) 病虫獣害を制御するためには当該農薬*が唯一の効果的かつ現実的で費用効果が高い方法であることを示す客観的な証拠がある。	2) Objective evidence demonstrates that the pesticide* is the only effective, practical and cost effective way to control the pest.
--	--	---	---

10.8 組織*は、国際的に認められた取り決め*に従い、生物的防除*の使用を最小限に抑えなければならない。利用する際はモニタリングを行い、厳しく制御し、同時に多面的機能*の劣化を防ぎ、影響があった際には、影響を軽減するもしくは価値を回復させなければならない。(V4 基準*6.8)		10.8 The Organization* shall* minimize, monitor and strictly control the use of biological control agents* in accordance with internationally accepted scientific protocols*. When biological control agents* are used, The Organization* shall* prevent, mitigate, and/or repair damage to environmental values*. (C6.8 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.8.1 生物的防除*の使用は最小限に抑えられ、モニタリングされ、制御されている。	採用	10.8.1 生物的防除*の使用は最小限に抑えられ、モニタリングされ、制御されている。	10.8.1 The use of biological control agents* is minimized, monitored* and controlled.
10.8.2 生物的防除*の使用は国際的に認められた科学的取り決め*に従っている。	適応	10.8.2 生物的防除*の使用は国際的に認められた科学的取り決め*に従っている。 注：FAO の「外来の生物的防除の輸入と放飼に関する行動規範」、農薬取締法、及び環境省の「天敵農薬に係る環境影響評価ガイドライン」参照。	10.8.2 Use of biological control agents* complies with internationally accepted scientific protocols*. Note: See “Code of Conduct for the Import and Release of Exotic Biological Control Agents” by FAO, Agricultural Chemicals Control Act, and “Environmental Impact Assessment Guideline

			Relating to Biological Control Agents” by the Ministry of the Environment for reference.
10.8.3 生物的防除*を使用する際には、その種類、使用量、使用期間、使用場所、使用理由を記録している。	適応	10.8.3 生物的防除*を利用する際には、その種類、利用量、利用期間、利用場所、利用の理由、影響・効果を記録している。	10.8.3 The use of biological control agents* is recorded including type, quantity, period, location, reason for use, effect and impact.
10.8.4 生物的防除*の使用による多面的機能*の劣化は防がれており、影響があった際には、影響が軽減されているもしくは価値が回復されている。	適応	10.8.4 生物的防除*の使用による多面的機能*の劣化は防がれており、また、影響があった場合は具体的措置により影響が軽減されているもしくは価値が回復されている。 注：「天敵農薬に係る環境影響評価ガイドライン」に基づき、生物的防除*導入後の監視が継続的に行われている。	10.8.4 Damage to environmental values* caused by the use of biological control agents* is prevented and mitigated or repaired with specific measures where damage occurs. Note: Following the “Environmental Impact Assessment Guideline Relating to Biological Control Agents” by the Ministry of the Environment, monitoring is conducted continuously after introduction of biological control agents*.

10.9 組織*は、 事業その特性* に応じて自然災害*のリスク*を評価し、自然災害による悪影響を低減するような活動を実施しなくてはならない。(新規)			10.9 The Organization* shall* assess risks* and implement activities that reduce potential negative impacts from natural hazards* proportionate to scale*, intensity*, and risk*. (new)
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳

<p>10.9.1 自然災害*が管理区画*内のインフラ*、森林資源、地域社会*に与え得る悪影響は評価されている。</p>	<p>適応</p>	<p>10.9.1 組織*は、火災、台風土砂崩れ、土石流、洪水、風害、雪害、雪崩、病虫獣害などの自然災害*の地域における歴史及びより広域での近年の傾向を分析し、インフラ、森林資源、地域社会*に与え得る悪影響を評価し、リスク*の高い災害を特定している。</p> <p>大規模組織*ではさらに、過去のデータやパターンから自然災害*のリスク*の高い地域を特定している。</p>	<p>10.9.1 The Organization* studies the local history of the damages caused by natural hazards* such as fire, typhoons, landslides, mudslide, flood, windthrow, snow, avalanche, and pest and disease, and analyzes their recent trends in wider area to assess their potential impact on infrastructure*, forest resources and local communities* and identify the high risk* hazard.</p> <p>Large-scale organizations* further identify high-risk* area for natural disaster from the past data and pattern.</p>
<p>10.9.2 管理活動はこれらの影響を低減している。</p>	<p>適応</p>	<p>10.9.2 10.9.1 で特定されたリスク*に応じ、自然災害*の影響を低減するように森林管理活動が設計されている。</p> <p>注：これには、例として以下のものを含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 風の通り道の分析と風害に強い育林方法 • 害虫管理のための管理された被害木焼却処理 • 排水や湿地*の自然なパターンを残すことによる洪水の防止 • 病虫獣害の被害を最小限にするための植林木の遺伝的多様化 • 適時間伐を行うことによる下層植生の繁茂の促進と土壌流出の防止 	<p>10.9.2 Based on the risk* identified in 10.9.1, forest management activities are designed to mitigate the impact of the natural hazards*.</p> <p>Note: The management activities can include the following for example:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Analysis of wind path and employment of silvicultural method to enhance tolerance to windthrow; • Controlled burning of damaged trees for pest management; • Flood prevention by preserving natural patterns of drainage and wetlands;

		<ul style="list-style-type: none"> • 地形や地質を考慮した災害の発生しにくい路網整備 	<ul style="list-style-type: none"> • Genetic diversification of planted trees to minimize the damage from pest and disease; • Timely thinning to facilitate growth of understory vegetation and prevent soil erosion; • Development of infrastructure* (roads) that minimizes the risk* of natural hazards* with consideration to geographical and geological features.
10.9.3 管理活動により影響を受け得る自然災害*に関しては、管理活動が災害の頻度、分布、深刻さを高めるリスク*が特定されている。	適応	<p>10.9.3 管理活動が誘発する可能性のある自然災害*について、管理活動により災害の頻度、分布、深刻さが高まるリスク*が特定されている。</p> <p>例：路網開設または皆伐後、土砂災害や雪崩、周辺林分での風害の危険性が高まるなど。</p>	<p>10.9.3 The risk* for management activities to increase the frequency, distribution or severity of natural hazards* is identified for those hazards* that may be influenced by management.</p> <p>Example: Road construction and clearcut can increase the risk* of landslide, avalanche, and windthrow in surrounding stands.</p>

<p>10.9.4 特定されたリスク*を低減するために、管理活動が修正されている及び/または対策が策定、実施されている。</p>	<p>適応</p>	<p>10.9.4 特定されたリスク*を低減するために、管理活動が修正されるもしくは対策が講じられている。</p> <p>注：これには例えば以下のものが含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 火災の拡大を防ぐための防火帯や貯水池の設置、消防隊の組織及び教育訓練を含む火災管理計画。 • 土砂災害や洪水を防ぐための効果的な排水構造の導入。 • 病虫害の拡大を防ぐための被害木焼却処理。 • 風害に備えるための風の通り道を示す地図の作製。 • 道路の開設、整備の際の路面密度や路面勾配の管理と、排水処理。 	<p>10.9.4 Management activities are modified and/or measures are developed and implemented that reduce the identified risks*.</p> <p>Note: This includes the following for example:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fire management plan including training, establishing firebreaks and reservoirs to prevent spread of fire, organizing a fire brigade; • Employment of effective drainage structure to prevent landslides and floods; • Controlled burning of damaged trees for pest management; • Mapping of wind paths to prepare for windthrow; • Managing road density and gradient and drainage structure at the time of road development and maintenance.
	<p>追加</p>	<p>10.9.5 森林管理活動により引き起こされたと考えられる自然災害*が発生した際には(例：林道敷設に起因する土砂崩れ)、その原因が分析され、今後の施業で改善するための策が講じられている。</p>	<p>10.9.5 When it is considered that forest management activities have caused a natural disaster (e.g. forest road construction caused landslides), the cause is analyzed, and measures is taken to improve the situation by the forest management operation thereafter.</p>

<p>10.10 組織*は、インフラ*の整備、輸送活動、育林*等種々の事業活動に影響を受ける水資源や土壌の劣化を特定し、それに伴う希少種*や<u>危急種絶滅危惧種</u>*とその生息・生育域*や生態系*、景観的な価値*のかく乱と劣化を防ぎ、その影響がある場合は、低減及び/または元の状態へ回復するような措置を講じなくてはならない。(V4 基準*6.5)</p>		<p>10.10 The Organization* shall* manage infrastructural development*, transport activities and silviculture* so that water resources and soils are protected, and disturbance of and damage to rare* and threatened species*, habitats*, ecosystems* and landscape values* are prevented, mitigated and/or repaired. (C6.5 P&C V4)</p>	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
<p>10.10.1 インフラ*の開発、整備、利用及び輸送活動は基準*6.1 で特定された多面的機能*を保護するよう管理されている。</p>	適応	<p>10.10.1 インフラ*の開発、整備、利用及び輸送活動は基準*6.1 で特定された多面的機能*を保護するよう管理されている。</p> <p>注：これには、組織*が管轄する道路（林道、作業道、作業路）の新規開設及び整備が含まれ、具体的措置としては、以下のものが例として挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい道路の開設及び維持管理は、河川・溪流が明記された地形図を使い、前もって計画されている。 環境的に脆弱な地域（例：傾斜の強い狭い谷、滑りやすい不安定な地形、自然の排水路や川岸地帯*など）には道路を開設しない。 盛土や法面は浸食を防ぐよう安定させる。 	<p>10.10.1 Development, maintenance and use of infrastructure*, as well as transport activities, are managed to protect environmental values* identified in Criterion* 6.1.</p> <p>Note: This includes development and maintenance of roads (forest roads, logging roads, work trails) <u>that the Organization* is responsible for. ,for which</u></p> <p>Specific measures can include for example:</p> <ul style="list-style-type: none"> Development and maintenance of roads are planned in advance with topographic maps where water courses are clearly depicted; Roads are not built in environmentally vulnerable area (e.g. narrow valleys with steep slopes, slippery unstable terrain, natural drainage and riparian zones*);

		<ul style="list-style-type: none"> 河川・溪流との交差は作業前に計画され地図に明記される。 河川・溪流との交差は最小限に抑える。 道路は河川・溪流に対して直角に交差する。 谷間の道路は、河川・溪流からできるだけ離れている。 新しい道路は河床に建設されていない。 魚の移動を妨げず、魚に不適当な河床や速い流れを形成しないような水路を設定する。 排水は自然の河川・溪流に直接流れこまない。 	<ul style="list-style-type: none"> Embankments and cuttings are stabilized to prevent erosion; Water crossings are planned and clearly shown on maps before the work; The number of water crossings is minimized; Roads are built to cross water courses at a right angle; Roads in valleys are built as far as possible from water courses; New roads are not developed in streambeds; Build a fishway not to form a river bed or fast flow unfavorable to fish; Water does not drain directly to natural water courses.
10.10.2 森林管理活動は、基準*6.1 で特定された多面的機能*が確実に保護されるよう管理されている。	棄却	<p><棄却理由></p> <p>基準*6.2、6.3 でカバーされていると考え、重複を避け簡素化するためここでは棄却した。</p>	
10.10.3 河川・溪流*、湖沼*、土壌、希少種*、 危急種絶滅危惧種 *、生息・生育域*、生態系*、及び景観的な価値*のかく乱または劣化は防がれており、かく乱または劣化が起こった場合は迅速に*低減、回復されている。またそれ以上の劣化が起こらないように管理活動が修正されている。	採用	10.10.2 河川・溪流*、湖沼*、土壌、希少種*、 危急種絶滅危惧種 *、生息・生育域*、生態系*、及び景観的な価値*のかく乱または劣化は防がれており、かく乱または劣化が起こった場合は迅速に*低減、回復されている。またそれ以上の劣化が起こらないように管理活動が修正されている。	10.10.2 Disturbance or damages to water courses*, water bodies*, soils, rare * and threatened species*, habitats*, ecosystems* and landscape values* are prevented, mitigated and repaired in a timely manner*, and management activities modified to prevent further damage.

10.11 組織*は、残存木、林地残材やその他の多面的機能*を損なわないように、伐採や収穫に関わる適正な活動を推進しなくてはならない。(V4 基準*5.3、6.5)		10.11 The Organization* shall* manage activities associated with harvesting and extraction of timber and non-timber forest products* so that environmental values* are conserved, merchantable waste is reduced, and damage to other products and services is avoided. (C5.3 and C6.5 P&C V4)	
国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.11.1 木材及び非木材森林生産林産物*の収穫は、基準*6.1 で特定された多面的機能*を保全するよう実施されている。	適応	<p>10.11.1 木材及び非木材林産森林生産物*の収穫は、基準*6.1 で特定された多面的機能*を保全するよう実施されている。</p> <p>注：これには、例えば以下のような措置を含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> 伐採前*の調査により保護*が必要な場所を特定する 収穫機械は、決められた渡り場以外で河川・溪流に進入しない。 残材は沢、河川・溪流に入れない。 土壌が流れ出したら搬出は中止する。 間伐前の掃除伐（大刈り）は作業の安全と効率上必要最低限に抑えて、土壌を過度に露出させない。 	<p>10.11.1 Harvesting and extraction practices for timber and non-timber forest products* are implemented in a manner that conserves environmental values* as identified in Criterion* 6.1.</p> <p>Note: This includes the following measures for example:</p> <ul style="list-style-type: none"> Identify places that needs protection* by a pre-harvest* survey; Forestry machineries do not enter watercourses except for at pre-determined crossings; Do not put remaining woody debris in watercourses; Stop transporting logs when soils are eroded away.

10.11.2 収穫では、林産物とその販売可能な部分を最大限利用されている。	適応	10.11.2 組織*は、各樹種の最適利用と利用材積の最大化に努めている。 <u>注：これにはおり、林内での劣化を最小にするため、伐倒後の丸太のすぐに速やかな搬出も含まれるされている。ただし、葉枯らし乾燥も認められる。</u>	10.11.2 The Organization* strives to optimize the use of each tree species and to maximize the volume used. <u>Note: This includes logs are transporting roundwooded soon after felling in order to minize wood quality degradation in the forest.</u>
10.11.3 多面的機能*を保全するために十分な量の枯死、腐朽しているバイオマス及び森林構造が残されている。	適応	10.11.3 多面的機能*を保全するために十分な量の枯死、腐朽しているバイオマス及び森林構造が残されている。安全性や病虫獣害なども考慮し、問題ない場合は、利用できない残材や立枯木は森林内に残されている。	10.11.3 Sufficient amounts of dead and decaying biomass and forest* structure are retained to conserve environmental values*. Unusable woody debris and snags are left in forests, when there is no issue with safety and pest and disease etc.
10.11.4 伐採施業は、残存木、林地残材やその他の多面的機能*を損なわないよう実施されている。	採用	10.11.4 伐採施業は、残存木、林地残材やその他の多面的機能*を損なわないよう実施されている。	10.11.4 Harvesting practices avoid damage to standing residual trees, residual woody debris on the ground and other environmental values*.
—	追加	10.11.5 高く売れる優勢木の選択的伐採(高価値木択伐)を行っている場合は、モニタリングにより長期的に山林の経済価値が低下していないことを確認している。	10.11.5 When high quality trees are harvested selectively (i.e. high grading), The Orgaization* monitors the forest to confirm that its economic value is not reduced in the long term.

10.12 組織*は、環境に配慮した適切な方法で廃棄物*の処理を行わなければならない。(V4 基準*6.7)	10.12 The Organization* shall* dispose of waste materials* in an environmentally appropriate manner. (C6.7 P&C V4)
--	--

国際標準指標(IGI)日本語訳	IGI への 対応	日本国内指標	日本国内指標英語訳
10.12.1 廃棄物*の収集、清掃、輸送、処分は環境に配慮した適切な方法で、基準*6.1 で特定された多面的機能*を保全するように行われている。	適応	10.12.1 各地方公共団体の規定に従い、廃棄物*の収集、清掃、輸送は適切に行われ、森林管理区画*外で適切に処分されている。	10.12.1 All waste materials* are collected, cleaned up, transported in an appropriate way and are disposed of outside the forest Management Unit* in accordance with the provisions of the relevant local authority.
	追加	10.12.2 森林管理区画*内に廃棄物*は放置されていない。	10.12.2 Waste materials* are not left within forest Management Units*.
	追加	10.12.3 ハイカーなどの個人により投棄された廃棄物*が目立つ場合、それを規制、制限するための措置が取られている。	10.12.3 When there are many waste materials dumped by individuals such as hikers, measures are in place to control them.

用語集/Glossary of Terms

本用語集では可能な限り国際的に認められている定義を採用している。情報源として例えば国際連合食糧農業機関(FAO)、生物多様性条約(1992)、ミレニアム生態系評価(2005)、また国際自然保護連合(IUCN)や国際労働機関(ILO)、生物多様性条約の侵略的外来種プログラムのウェブサイトに記載されているオンライン用語集が含まれる。その他の情報源が使用された際にはその都度参照先が記載されている。

「～に基づく」という表現は国際的情報源からの定義を編集していることを意味する。

国際標準指標で使用されている単語は本用語集または他の FSC 規準文書で定義されていない限り、オックスフォード英語辞典縮約版またはコンサイス・オックスフォード辞典の定義に従うものとする。

日本国内規格用の用語集は、国際標準指標(FSC-STD-60-004 V1-0 EN)の巻末にある用語集が基となっているが、一部、日本国内規格において追加した用語や国際的な定義を国内用に編集した用語がある。そのような日本独自の要素をもつ用語は黄色のハイライトで示されている。

用語は、英語の原語のアルファベット順に並べられている。日本語からの検索は、巻末の索引を参照のこと。

<p>順 応 的 管 理 (Adaptive management) : 現在実施されている取り組みの結果から学ぶことにより、継続的に管理方針と管理方法を向上させる体系的なプロセス。(出典：国際自然保護連合(IUCN)に基づく。IUCN のウェブサイト提供されている用語集の定義)</p>	<p>Adaptive management: A systematic process of continually improving management policies and practices by learning from the outcomes of existing measures (Source: Based on World Conservation Union (IUCN). Glossary definitions as provided on IUCN website).</p>
<p>利 害 関 係 者 (Affected stakeholder) : 管理区画*の活動による影響を受ける、または受けそうな個人、グループまたは事業体。例えば、管理区画*の近隣に所在する個人、グループまたは事業体が挙げられるが、これらに限らない(例えば下流の土地所有者など)。</p> <p>以下は利害関係者の例である：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会* ○ 先住民族* ○ 労働者* ○ 森林居住者 ○ 近隣住民 ○ 下流の土地所有者 ○ 地元加工業者 ○ 地元企業 ○ 土地所有者を含む保有権*と使用権*の所有者。 ○ 利害関係者から許可を得て、または代わりに行動している組織。例えば社会や環境 NGO、労働組合など。 <p>(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Affected stakeholder: Any person, group of persons or entity that is or is likely to be subject to the effects of the activities of a Management Unit*. Examples include, but are not restricted to (for example in the case of downstream landowners), persons, groups of persons or entities located in the neighborhood of the Management Unit*. The following are examples of affected stakeholders*:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Local communities* ○ Indigenous peoples* ○ Workers* ○ Forest dwellers ○ Neighbors ○ Downstream landowners ○ Local processors ○ Local businesses ○ Tenure* and use rights* holders, including landowners ○ Organizations authorized or known to act on behalf of affected stakeholders*, for example social and environmental NGOs, labor unions, etc. <p>(Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>

<p>外来種(Alien species) : 過去あるいは現在の自然分布域外に導入された種、亜種、それ以下の分類群であり、生存し、繁殖することができるあらゆる器官、配偶子、種子、卵、無性的繁殖子を含む。(出典：生物多様性条約(CBD) 侵略的な外来種プログラム。CBD のウェブサイトに記載されている用語集)</p> <p>日本では、明治元年(1868 年)より前に持ち込まれた生物は、人為的に導入されたという記録がはっきりしないことが多いため、「外来生物種」には含まない。よって、外来生物種とは明治以降にそれ以前の分布域外に導入された、あるいは移入し定着した種、亜種を指すものとする。</p>	<p>Alien species: A species, subspecies or lower taxon, introduced outside its natural past or present distribution; includes any part, gametes, seeds, eggs, or propagules of such species that might survive and subsequently reproduce (Source: Convention on Biological Diversity (CBD), Invasive Alien Species Programme. Glossary of Terms as provided on CBD website).</p> <p>In Japan, species introduced before 1868 are not included as they commonly lack clear records of introduction by humans. Thus alien speices refers to species and subspecies or lower taxon that have been introduced since 1868 outside its original distribution therebefore and established population.</p>
<p>適用可能な法令 法律(Applicable law) : 管理区画*内で、または管理区画*の便益のために法人や事業体としての組織組織*に適用され、FSC の原則*と基準*の実施に影響がある法令法律。これには成文法*、判例法（法廷における解釈）、従属規制、関連行政手続き、また憲法が含まれる。憲法は他の法律法的文書に常に法的に優先する。(出典：FSC-STD-01-001 第5-0 版)</p>	<p>Applicable law: Means applicable to The Organization* as a legal* person or business enterprise in or for the benefit of the Management Unit* and those laws which affect the implementation of the FSC Principles and Criteria. This includes any combination of statutory law* (Parliamentary-approved) and case law (court interpretations), subsidiary regulations, associated administrative procedures, and the national constitution (if present) which invariably takes legal* precedence over all other legal* instruments (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>帯水層(Aquifer) : 十分に飽和した浸透性の物質を含む層、層群または層の一部で、井戸や湧水に大量の水を供給し、地域において経済的に価値のある水源となるもの。(出典：Gratzfeld, J. 2003 年。乾燥地帯と半乾燥地帯の資源採掘産業産業。国際自然保護連合(IUCN))</p>	<p>Aquifer: A formation, group of formations, or part of a formation that contains sufficient saturated permeable material to yield significant quantities of water to wells and springs for that unit to have economic value as a source of water in that region. (Source: Gratzfeld, J. 2003. Extractive Industries in Arid and Semi-Arid Zones. World Conservation Union (IUCN)).</p>

<p>利用可能な最も有効な情報 (Best Available Information) : 最も信頼性が高く正確かつ完全で、かつ/または適切な、データ、事実、文書、専門家の意見、現地調査や利害関係者とのコンサルテーションの結果であり、予防手段*に則り、管理活動の規模*と強度*に応じて適当な程度の労力と費用で入手できるもの。</p>	<p>Best Available Information: Data, facts, documents, expert opinions, and results of field surveys or consultations with stakeholders* that are most credible, accurate, complete, and/or pertinent and that can be obtained through reasonable* effort and cost, subject to the scale* and intensity* of the management activities and the Precautionary Approach*.</p>
<p>拘束力のある契約 (Binding Agreement) : 署名者には義務となり、法的強制力のある取決めや協定。文書化されていてもされていなくても良い。契約への関与は当事者の自由意思によるものであり、承認は任意である。</p>	<p>Binding Agreement: A deal or pact, written or not, which is compulsory to its signatories and enforceable by law. Parties involved in the agreement do so freely and accept it voluntarily.</p>
<p>生物多様性 (Biological diversity) : すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界生態系、これらが複合した生態系その他生息または生育の場のいかなを問わない。）の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む。(出典：生物多様性条約 1992 年 第 2 条)</p>	<p>Biological diversity: The variability among living organisms from all sources including, inter alia, terrestrial, marine and other aquatic ecosystems and the ecological complexes of which they are a part; this includes diversity within species, between species and of ecosystems (Source: Convention on Biological Diversity 1992, Article 2).</p>
<p>生物的防除 (Biological control agents) : 他の生物を駆除、または個体数を制御するために使用される生物。(出典：FSC-STD-01-001 第 4-0 版及び国際自然保護連合(IUCN)に基づく。IUCN のウェブサイト提供されている用語集)</p>	<p>Biological control agents: Organisms used to eliminate or regulate the population of other organisms (Source: Based on FSC-STD-01-001 V4-0 and World Conservation Union (IUCN). Glossary definitions as provided on IUCN website).</p>
<p>機 密 情 報 (Confidential information) : 一般に公表された場合、組織組織*や事業利益、または利害関係者、顧客、競合他者との関係が危機にさらされる可能性のある社外秘の事実、データや内容。</p>	<p>Confidential information: Private facts, data and content that, if made publicly available*, might put at risk The Organization*, its business interests or its relationships with stakeholders*, clients and competitors.</p>
<p>原則と基準と法律法令の矛盾 (Conflicts between the Principles and Criteria and laws) : 原則*と基準*及び法律法令を同時に満たすことが不可能な</p>	<p>Conflicts between the Principles and Criteria and laws: Situations where it is not possible to comply with the Principles* and Criteria* and a law at the same time (Source:</p>

状況。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	FSC-STD-01-001 V5-0).
接続性(Connectivity)： 回廊、ネットワーク、マトリックスがどの程度接続しているかまたは空間的に連続しているかを示す尺度。隙間が少ないほど接続性が高い。構造的な接続性の概念に関するものであり、機能的または行動的接続性とは、例えば動物が異なる景観*要素を移動するような事象を考える上で、どの程度地域が接続しているかを示すものである。水系の接続性とは、異なる水域生態系の間を、地下水や表面水を通じてどの程度物質や生物が移動できるかというものである。(出典：R.T.T. Forman. 1995. 土地のモザイク.景観と地域の生態学.ケンブリッジ大学プレス: 632 に基づく)	Connectivity: A measure of how connected or spatially continuous a corridor, network, or matrix is. The fewer gaps, the higher the connectivity. Related to the structural connectivity concept; functional or behavioral connectivity refers to how connected an area is for a process, such as an animal moving through different types of landscape* elements. Aquatic connectivity deals with the accessibility and transport of materials and organisms, through groundwater and surface water, between different patches of aquatic ecosystems of all kinds. (Source: Based on R.T.T. Forman. 1995. Land Mosaics. The Ecology of Landscapes and Regions. Cambridge University Press, 632pp).
保 全 / 保 護 (Conservation/Protection)： これらの用語は、特定された現存する多面的機能*や文化的な価値を長期に渡って維持するように計画された管理活動について同様に使われる。管理活動は、全く何もしないことから、最小限の介入、そして特定された価値を維持するため、または維持との両立が可能な程度の介入や活動を行うことまで幅広い。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Conservation/Protection: These words are used interchangeably when referring to management activities designed to maintain the identified environmental or cultural values in existence long-term. Management activities may range from zero or minimal interventions to a specified range of appropriate interventions and activities designed to maintain, or compatible with maintaining, these identified values (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
保全地域網 (Conservation Areas Network)： 保全が主目的*または唯一の目的*である管理区画*の一部の集まり。このような場所には代表的な標本地域、保全地帯*、保護区*、接続*地域、高い保護価値(HCV)*の維持地域が含まれる。	Conservation Areas Network: Those portions of the Management Unit* for which conservation is the primary and, in some circumstances, exclusive objective*; such areas include representative sample areas*, conservation zones*, protection areas*, connectivity* areas and High Conservation Value Areas*.
保全地帯と保護区 (Conservation zones and protection areas)： 種、生息・生育域、生態系、自然の特徴または	Conservation zones and protection areas: Defined areas that are designated and managed primarily to safeguard species,

<p>自然環境や文化的な価値によるサイト特有の価値を保護することを主目的として設計、管理されている地域、またはモニタリング、評価、調査研究を目的として定められた地域。これは、必ずしも他の管理活動を排除するものではない。FSC 原則*と基準*において、これらの用語は同義的に使用され、どちらの保全、保護度合いが高いことを示すものではない。「Protected area」という用語は多くの国において国の規制によりカバーされる法的*または公的な位置づけを指すことが多いため、本項目では「Protection area」という用語を用いる。FSC 原則*と基準*では、これらの地域の管理には、受け身の保護ではなく積極的な保全が含まれることが望ましい。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>habitats, ecosystems, natural features or other site-specific values because of their natural environmental or cultural values, or for purposes of monitoring, evaluation or research, not necessarily excluding other management activities. For the purposes of the Principles* and Criteria*, these terms are used interchangeably, without implying that one always has a higher degree of conservation or protection than the other. The term 'protected area' is not used for these areas, because this term implies legal* or official status, covered by national regulations in many countries. In the context of the Principles and Criteria, management of these areas should involve active conservation, not passive protection' (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>不可欠(な) (Critical) : 原則*9 及び HCV*に関して使用される重要度または根本性という概念は、代替不可であることを意味し、この HCV*の消失や深刻なダメージは利害関係者*に甚大な被害や苦痛を及ぼす事例に関連して使われる。生態系サービス*の崩壊が地域社会*、環境、HCV*、重要なインフラ(道、ダム、建物など)の機能健全性や持続性に対して深刻な負の影響を与えると考えられる、またはそうした脅威*を与える場合、その生態系サービス*は重要である(HCV* 4)と考える。ここでの重要性の概念は天然資源、多面的機能*、社会経済価値の重要性とそれらへのリスク*を意味する。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Critical: The concept of criticality or fundamentality in Principal 9 and HCVs* relates to irreplaceability and to cases where loss or major damage to this HCV* would cause serious prejudice or suffering to affected stakeholders*. An ecosystem service is considered to be critical (HCV* 4) where a disruption of that service is likely to cause, or poses a threat* of, severe negative impacts on the welfare, health or survival of local communities*, on the environment, on HCVs*, or on the functioning of significant infrastructure* (roads, dams, buildings etc.). The notion of criticality here refers to the importance and risk* for natural resources and environmental and socio-economic values (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>基準(Criterion, pl. Criteria) : (森林管理の)原則*が満たされているかどうかを判断するための方法。(出典：FSC-STD-01-001 第 4-0 版)</p>	<p>Criterion (pl. Criteria): A means of judging whether or not a Principle (of forest stewardship) has been fulfilled (Source: FSC-STD-01-001 V4-0).</p>
<p>慣習に合った/文化的に適切な[方法]</p>	<p>Culturally appropriate [mechanisms]:</p>

<p>(Culturally appropriate [mechanisms]) : 対象となる人々に伝達するための、彼らの慣習、価値観、繊細さ、生活様式に調和した方法/アプローチ。</p> <p>日本国内指標*作成に当たっては、「利害関係者が納得する[方法]」「権利を十分に尊重する[方法]」などのように言い換えた箇所もある。</p>	<p>Means/approaches for outreach to target groups that are in harmony with the customs, values, sensitivities, and ways of life of the target audience.</p> <p>In the indicator* adapted to Japan, it has been rephrased as "by means agreed by stakeholders*" or "means that fully respect stakeholders*' right".</p>
<p>慣習法(Customary law) : 互いに関連する一連の慣習的な権利は慣習法とみなされることがある。国や地域によっては定められた権限領域において慣習法は成文法と同等として扱われ、特定の民族やその他の社会グループに対しては成文法の代わりとなり得る。国や地域によっては慣習法は成文法を補完し、特定の状況下で適用される。(出典：N.L. Peluso and P. Vandergeest. 2001.インドネシア、マレーシア、タイにおける政治森林と慣習的な権利の系統学.アジア研究ジャーナル 60(3):761-812 に基づく)</p>	<p>Customary law: Interrelated sets of customary rights may be recognized as customary law. In some jurisdictions, customary law is equivalent to statutory law*, within its defined area of competence and may replace the statutory law* for defined ethnic or other social groups. In some jurisdictions customary law complements statutory law* and is applied in specified circumstances (Source: Based on N.L. Peluso and P. Vandergeest. 2001. Genealogies of the political forest and customary rights in Indonesia, Malaysia and Thailand, Journal of Asian Studies 60(3):761-812).</p>
<p>慣習的な権利(Customary rights) : 長期に渡り絶えず繰り返された一連の習慣や慣習的な行動に由来する権利であり、中断なく黙認され、繰り返されたことにより、地理的または社会学的な領域内で法的な効力を得たもの。(出典：FSC-STD-01-001 第 4-0 版)</p>	<p>Customary rights: Rights which result from a long series of habitual or customary actions, constantly repeated, which have, by such repetition and by uninterrupted acquiescence, acquired the force of a law within a geographical or sociological unit (Source: FSC-STD-01-001 V4-0).</p>
<p>紛争(Dispute) : IGI においては、管理活動や FSC の原則*と基準*への適合に関する組織組織*への苦情として出された、個人や組織組織*による不満を意味する。提出された苦情に対しては回答が期待されている。(出典：FSC-PRO-01-005 第 3-0 版 要請への対処に基づく)</p>	<p>Dispute: for the purpose of the IGI, this is an expression of dissatisfaction by any person or organization presented as a complaint to The Organization*, relating to its management activities or its conformity with the FSC Principles and Criteria, where a response is expected (Source: based on FSC-PRO-01-005 V3-0 Processing Appeals).</p>
<p>長期に及ぶ紛争 (Dispute of substantial duration) : FSC 制度で事前に定義されている期間(FSC-STD-</p>	<p>Dispute of substantial duration: Dispute* that continues for more than twice as long as the predefined timelines in the FSC System</p>

20-001 に基づき、苦情の受理から 6 ヶ月)の倍を超えて継続している紛争。	(this is, for more than 6 months after receiving the complaint, based on FSC-STD-20-001).
<p>大規模な紛争 (Dispute of substantial magnitude) : IGI においては、次のうち 1 つ以上に該当する紛争を意味する :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先住民族*と地域社会*の法的*または慣習的な権利*に影響する ○ 管理活動の悪影響が、回復または軽減できない規模*である ○ 物理的な暴力 ○ 資産の破壊 ○ 軍事力の存在 ○ 林業*労働者*や利害関係者*への脅迫行為 <p>この一覧は規格策定者により編集または拡大されることが望ましい。</p>	<p>Dispute of substantial magnitude: For the purpose of the International Generic Indicators, a dispute* of substantial magnitude is a dispute* that involves one or more of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Affects the legal* or customary rights* of Indigenous Peoples* and local communities*; ○ Where the negative impact of management activities is of such a scale* that it cannot be reversed or mitigated; ○ Physical violence; ○ Destruction of property; ○ Presence of military bodies; ○ Acts of intimidation against forest* workers* and stakeholders*. <p>This list should be adapted or expanded by Standard Developers.</p>
<p>経済的継続性(Economic viability) : 比較的独立した社会、経済または政治的な単位として発展、存続していく能力。経済的な継続性には収益性が必要かもしれないが、収益性と同義ではない。(出典：欧州環境機関のウェブサイトを提供されている定義に基づく)</p>	<p>Economic viability: The capability of developing and surviving as a relatively independent social, economic or political unit. Economic viability may require but is not synonymous with profitability (Source: Based on the definition provided on the website of the European Environment Agency).</p>
<p>生態系(Ecosystem) : 植物、動物及び微生物の群衆とこれらを取り巻く非生物的な環境とが相互に作用してひとつの機能的な単位を成す動的な複合体。(出典：生物多様性条約 1992 年 第 2 条)</p>	<p>Ecosystem: A dynamic complex of plant, animal and micro-organism communities and their non-living environment interacting as a functional unit (Source: Convention on Biological Diversity 1992, Article 2).</p>
<p>生態系機能(Ecosystem function) : 生態系がその完全性を保つための一連の状態やプロセス(一次生産力、食物連鎖、生物地球化学的循環など)に関係する本質的な生態系の特徴。生態系機能には分解、生産、栄養循環、栄養とエネルギーの流出入と</p>	<p>Ecosystem function: An intrinsic ecosystem characteristic related to the set of conditions and processes whereby an ecosystem maintains its integrity (such as primary productivity, food chain, biogeochemical cycles). Ecosystem functions include such processes as decomposition, production,</p>

<p>いったプロセスが含まれる。FSC においては、遺伝子流動とかく乱体系、更新周期と生態的遷移段階のような生態学的プロセスや進化プロセスがこの定義には含まれる。(出典：R. Hassan, R. Scholes and N. Ash. 2005. 生態系と人類の幸福：総論.ミレニアム生態系評価シリーズ.アイランドプレス ワシントン DC、及び R.F. Noss. 1990.生物多様性のモニタリングのための指標：階層的アプローチ.保全生態学 4(4):355-364 に基づく)</p>	<p>nutrient cycling, and fluxes of nutrients and energy. For FSC purposes, this definition includes ecological and evolutionary processes such as gene flow and disturbance regimes, regeneration cycles and ecological seral development (succession) stages. (Source: Based on R. Hassan, R. Scholes and N. Ash. 2005. Ecosystems and Human Well-being: Synthesis. The Millennium Ecosystem Assessment Series. Island Press, Washington DC; and R.F. Noss. 1990. Indicators for monitoring biodiversity: a hierarchical approach. Conservation Biology 4(4):355-364).</p>
<p>生態系サービス (Ecosystem services)：生態系から人々が享受する便益。これには以下が含まれる：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食料、林産物、水といった供給機能。 ○ 洪水、渇水、土地の劣化、大気環境、気候、病気の制御といった制御機能。 ○ 土壌生成や栄養循環などの支持機能。 ○ レクリエーション、精神的、宗教的なものやその他の非物質的便益などの文化機能と文化価値。 <p>(出典：R. Hassan, R. Scholes and N. Ash. 2005.生態系と人類の幸福：総論.ミレニアム生態系評価.アイランドプレス ワシントン DC に基づく)</p>	<p>Ecosystem services: The benefits people obtain from ecosystems. These include:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ provisioning services such as food, forest products and water; ○ regulating services such as regulation of floods, drought, land degradation, air quality, climate and disease; ○ supporting services such as soil formation and nutrient cycling; and ○ cultural services and cultural values such as recreational, spiritual, religious and other non-material benefits. <p>(Source: Based on R. Hassan, R. Scholes and N. Ash. 2005. Ecosystems and Human Well-being: Synthesis. The Millennium Ecosystem Assessment Series. Island Press, Washington DC).</p>
<p>協議、協働 (Engaging / engagement)：管理計画*の作成、実施、更新において、関心の高い及び/または利害関係者*の懸念、要望、期待、需要、権利、及び機会が確実に考慮されるように、組織組織*が行うコミュニケーション、コンサルテーション及び/または参加機会の提供のプロセス。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Engaging / engagement: The process by which The Organization* communicates, consults and/or provides for the participation of interested and/or affected stakeholders* ensuring that their concerns, desires, expectations, needs, rights and opportunities are considered in the establishment, implementation and updating of the management plan* (Source: FSC-STD-01-</p>

	001 V5-0).
環境影響評価 (Environmental Impact Assessment, EIA) : 予定されているプロジェクトの潜在的な環境及び社会的影響を特定し、代替方法を評価し、適切な予防、軽減、管理、モニタリングの手段を設計し、計画に取り入れるために用いられる体系的なプロセス。(出典：環境影響評価 – FAO フィールドプロジェクトのガイドライン.国際連合食糧農業機関(FAO).ローマに基づく)	Environmental Impact Assessment (EIA): Systematic process used to identify potential environmental and social impacts of proposed projects, to evaluate alternative approaches, and to design and incorporate appropriate prevention, mitigation, management and monitoring measures (Source: based on Environmental impact assessment, guidelines for FAO field projects. Food and agriculture organization of the United Nations (FAO). Rome,-STD-01-001 V5-0).
多面的機能、環境価値 (Environmental values) : 以下の生物物理学的及び人間環境の一連の要素： <ul style="list-style-type: none"> ○ 生態系機能* (炭素隔離吸収・と貯蔵を含む) ○ 生物多様性* ○ 水資源 ○ 土壌 ○ 大気 ○ 景観的な価値* (文化的及び精神的な価値を含む) これらの要素につけられる実際の価値は人間と社会の認識による。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Environmental values: The following set of elements of the biophysical and human environment: <ul style="list-style-type: none"> ○ ecosystem functions (including carbon sequestration and storage); ○ biological diversity; ○ water resources; ○ soils; ○ atmosphere; ○ landscape values* (including cultural and spiritual values). The actual worth attributed to these elements depends on human and societal perceptions (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
外部性(Externalities) : 活動に直接関わっていない利害関係者*や天然資源、環境に対する、活動による好影響及び悪影響。通常の会計システムには入力されないため、こうした活動による製品の市場価格はすべての費用や便益を反映していない。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Externalities: The positive and negative impacts of activities on stakeholders* that are not directly involved in those activities, or on a natural resource or the environment, which do not usually enter standard cost accounting systems, such that the market prices of the products of those activities do not reflect the full costs or benefits (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).

<p>公正な補償(Fair compensation) : 他者により提供されたサービスの種類や規模* に比例した報酬または当事者に起因する損害への対価。</p>	<p>Fair compensation: Remuneration that is proportionate to the magnitude and type of services rendered by another party or of the harm that is attributable to the first party.</p>
<p>肥料(Fertilizer) : 最も一般的な N(窒素)、P₂O₅ (五酸化二リン)、K₂O (酸化カリウム)など、植物の成長を促進するために土壌に使用される無機物または有機物。</p>	<p>Fertilizer: Mineral or organic substances, most commonly N, P₂O₅ and K₂O, which are applied to soil for the purpose of enhancing plant growth.</p>
<p>焦点生物種(Focal species) : 景観がその種の生息・生育要件を満たす場合、種が存続するための要件が、その景観に必ず存在する特徴を定義付ける種。(出典 : Lambeck, R., J. 1997.焦点生物種 : 自然保全のための複数種アンブレラ。保全生物学 vol 11 (4): 849-856.)</p>	<p>Focal species: Species whose requirements for persistence define the attributes that must be present if that landscape is to meet the requirements of the species that occur there (Source: Lambeck, R., J. 1997. Focal Species: A multi-species Umbrella for Nature Conservation. Conservation Biology vol 11 (4): 849-856.).</p>
<p>森林(Forest) : 樹木により占められている土地の広がり。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版。1998 年に初版が公開された、認証機関のための FSC ガイドライン、森林認証の範囲、2.1 項に由来。2005 年に FSC-GUI-20-200 として改定され、2010 年に FSC-DIR-20-007 森林管理評価のための FSC ディレクティブとして改定された。ADVICE-20-007-01)</p>	<p>Forest: A tract of land dominated by trees (Source: FSC-STD-01-001 V5-0. Derived from FSC Guidelines for Certification Bodies, Scope of Forest Certification, Section 2.1 first published in 1998, and revised as FSC-GUI-20-200 in 2005, and revised again in 2010 as FSC-DIR-20-007 FSC Directive on Forest Management Evaluations, ADVICE-20-007-01).</p>
<p>公式及び非公式な労働組合 (Formal and informal workers organization) : 労働者*の権利の促進を目指し、特に労働環境と補償に関して組織組織*と折衝をする際の代表となる労働者*の団体や組合。法律法令または組織*により認知されているかどうかは関係ない。</p>	<p>Formal and informal workers organization: association or union of workers*, whether recognized by law or by The Organization* or neither, which have the aim of promoting workers* rights and to represent workers* in dealings with The Organization* particularly regarding working conditions and compensation.</p>
<p>自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意 (Free, Prior, and Informed Consent, FPIC) : ある活動が開始される前に、個人またはコミュニティが同意を与えたと言える法的*な状態。その活動の事実及び意味、将来的な影響への正し</p>	<p>Free, Prior, and Informed Consent (FPIC): A legal* condition whereby a person or community can be said to have given consent to an action prior to its commencement, based upon a clear appreciation and understanding of the facts, implications and future consequences of that action, and the</p>

い認識と理解に基づき、また同意の際に関連する事実を全て把握していることを前提とする。自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意には承認を付与、変更、保留または撤回する権利が含まれる。(出典：国際連合人権委員会の第 22 回のセッションの、先住民族*による自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意の原則*の事前調査結果報告書 (E/CN.4/Sub.2/AC.4/2004/4 2004 年 7 月 8 日)に基づく。人権の保護と推進の小委員会。先住民族に関するワーキンググループ 2014 年 7 月 19 日～23 日)

possession of all relevant facts at the time when consent is given. Free, prior and informed consent includes the right to grant, modify, withhold or withdraw approval (Source: Based on the Preliminary working paper on the principle of Free, Prior and Informed Consent of Indigenous Peoples* (…)(E/CN.4/Sub.2/AC.4/2004/4 8 July 2004) of the 22nd Session of the United Nations Commission on Human Rights, Sub-commission on the Promotion and Protection of Human Rights, Working Group on Indigenous Populations, 19–23 July 2004).

<p>男女平等(Gender equality) : 男女が自身の人権を実感する上で、また経済、社会、文化、政治的な発展へ貢献し、これらから便益を得るのに同じ条件であることを指す。(出典 : FAO、国際農業開発基金(IFAD) と ILO によ農業と地方雇用における性別特徴のギャップ、傾向、現状調査に関するワークショップ : 貧困から脱出するための 異なる道筋。ローマ 2009 年 3 月 31 日~4 月 2 日を編集)</p>	<p>Gender equality: Gender equality or gender equity means that women and men have equal conditions for realizing their full human rights and for contributing to, and benefiting from, economic, social, cultural and political development (Source: Adapted from FAO, IFAD and ILO workshop on ‘Gaps, trends and current research in gender dimensions of agricultural and rural employment: differentiated pathways out of poverty’, Rome, 31 March to 2 April 2009.).</p>
<p>遺伝子組換え生物 (Genetically modified organism) : 交配及び/または自然な形質転換では起こりえない方法で遺伝物質が変化させられた生物(出典 : FSC-POL-30-602 遺伝子組換え生物関する FSC の見解に基づく)</p>	<p>Genetically modified organism: An organism in which the genetic material has been altered in a way that does not occur naturally by mating and/or natural recombination. (Source: Based on FSC-POL-30-602 FSC Interpretation on GMO (Genetically Modified Organisms)).</p>
<p>遺伝子型(Genotype) : 生物の遺伝子構成。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Genotype: The genetic constitution of an organism (Source: FSC-STD-01-001 V5- 0).</p>
<p>草原(Grassland) : 樹木や灌木による被覆度が 10%未満である、草本植物で覆われた土地。(出典 : 国際連合環境計画。FAO. 2002.様々な利害関係者*が使用するのための森林関係定義の統一に関する第 2 回専門家会議に掲載)</p>	<p>Grassland: Land covered with herbaceous plants with less than 10% tree and shrub cover (Source: UNEP, cited in FAO. 2002. Second Expert Meeting on Harmonizing Forest-Related Definitions for use by various stakeholders*).</p>
<p>生息・生育域(Habitat) : 個体若しくは個体群が自然に生息もしくは生育している場所またはその類型(出典 : 生物多様性条約 第 2 条に基づく)</p>	<p>Habitat: The place or type of site where an organism or population occurs (Source: Based on the Convention on Biological Diversity, Article 2).</p>

<p>生息・生育域の特徴 (Habitat features) : 林分の特徴や構造。以下を含むが、これらに限定されるものではない :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 樹齢が主な上層木の平均樹齢よりも著しく高い、商業用樹種及び非商業用樹種の古い木々 ○ 特別な生態学的価値のある木々 ○ 垂直的、水平的な複雑さ ○ 立枯れした木 ○ 枯れた倒木 ○ 自然のかく乱に起因する林冠の開口部 ○ 営巣地 ○ 小さな湿地*、泥沼、沼地 ○ 池 ○ 繁殖地 ○ 季節的な繁殖地を含めた採餌地、退避地 ○ 渡りに使われる地域 ○ 冬眠地 	<p>Habitat features: Forest* stand attributes and structures, including but not limited to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Old commercial and non-commercial trees whose age noticeably exceeds the average age of the main canopy; ○ Trees with special ecological value; ○ Vertical and horizontal complexity; ○ Standing dead trees; ○ Dead fallen wood; ○ Forest openings attributable to natural disturbances; ○ Nesting sites; ○ Small wetlands*, bogs, fens; ○ Ponds; ○ Areas for procreation; ○ Areas for feeding and shelter, including seasonal cycles breeding; ○ Areas for migration; ○ Areas for hibernation.
---	--

<p>高い保護価値 (HCV) (High Conservation Value, HCV) : 以下のいずれかに該当する価値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ HCV1: 種の多様性。世界、地域または国レベルで重要な*固有種と希少種*、危急種または絶滅危惧種*を含む生物多様性*が集中している場所。 ○ HCV 2: 景観レベルでの生態系とモザイク。世界、地域、国レベルで重要*であり、数多くの自然発生種の存続可能な個体群が本来の分布や数で存在している原生林景観*、大規模な生態系*と生態系のモザイク。 ○ HCV 3: 生態系と生息・生育域。希少*、危急または絶滅が危惧される生態系、生息・生育域*またはレフュジア(退避地)*。 ○ HCV 4: 不可欠な生態系サービス*。集水域の保護*や脆弱な土壌と斜面の侵食や崩壊の防止を含む、危機的な状況において重要な根本的な生態系サービス*。 ○ HCV 5: 地域社会*のニーズ。地域社会*または先住民族*との協議*の下で特定された、地域社会*または先住民族*の基本的な生活(例: 生計、健康、栄養、水など)に欠かせない場所と資源。 ○ HCV 6: 文化的価値。世界的または国家的に、文化的、考古学的または歴史的に重要な場所、資源、生息・生育域と景観、及び/または地域社会*または先住民族*との協議*の下で特定された、地域社会*または先住民族*の伝統文化にとって文化、生態、経済または宗教/精神上的の側面から非常に重要な場所、資源、生息・生育域と景観。 <p>(出典: FSC-STD-01-001 V5-0 に基づく)。</p>	<p>High Conservation Value (HCV): Any of the following values:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ HCV1: Species Diversity. Concentrations of biological diversity* including endemic species, and rare*, threatened or endangered* species, that are significant* at global, regional or national levels. ○ HCV 2: Landscape-level ecosystems and mosaics. Intact Forest Landscapes*, large landscape-level ecosystems* and ecosystem mosaics that are significant* at global, regional or national levels, and that contain viable populations of the great majority of the naturally occurring species in natural patterns of distribution and abundance. ○ HCV 3: Ecosystems and habitats. Rare*, threatened, or endangered ecosystems, habitats* or refugia*. ○ HCV 4: Critical ecosystem services*. Basic ecosystem services* in critical situations, including protection* of water catchments and control of erosion of vulnerable soils and slopes. ○ HCV 5: Community needs. Sites and resources fundamental for satisfying the basic necessities of local communities* or Indigenous Peoples* (for example for livelihoods, health, nutrition, water), identified through engagement* with these communities or Indigenous Peoples*. ○ HCV 6: Cultural values. Sites, resources, habitats and landscapes* of global or national cultural, archaeological or historical significance, and/or of critical cultural, ecological, economic or religious/sacred importance for the traditional cultures of local communities* or Indigenous Peoples*, identified
--	--

	through engagement* with these local communities* or Indigenous Peoples*. (Source: based on FSC-STD-01-001 V5-0).
高い保護価値(HCV)をもつ地域(High Conservation Value Areas) : 特定された高い保護価値*(HCV)をもつ、及び/またはこの HCV の存続と維持のために必要な地帯や物理的な空間。	High Conservation Value Areas: Zones and physical spaces which possess and/or are needed for the existence and maintenance of identified High Conservation Values*.

DRAFT

<p>高価値木択伐(High grading) : 最も高品質で、価値の高い木のみを抜き伐りする施業方法。多くの場合、苗木の更新を伴わず、または下層の低品質な劣勢木を残すことにより、森林の生態学的な健全性を劣化させ、商業的な価値を低下させる。高価値木伐採は持続的な資源管理と対極にある。(出典：森林管理用語に基づく。森林資源北カルフォルニア事業部。2009 年 3 月)</p>	<p>High grading: High grading is a tree removal practice in which only the best quality, most valuable timber trees are removed, often without regenerating new tree seedlings or removing the remaining poor quality and suppressed understory trees and, in doing so, degrading the ecological health and commercial value of the forest. High grading stands as a counterpoint to sustainable resource management (Source: based on Glossary of Forest Management Terms. North Carolina Division of Forest Resources. March 2009).</p>
<p>指標(Indicator) : 管理区画*が FSC 基準*の要求事項に適合しているかを判断する方法であり、測定または記述可能な定量的または定性的な可変項目。指標と関連閾値は、管理区画*レベルでの責任ある森林管理のための要求事項を定め、森林評価の基礎となる。(出典：FSC-STD-01-002 V1-0 FSC 用語集(2009 年))</p>	<p>Indicator: A quantitative or qualitative variable which can be measured or described, and which provides a means of judging whether a Management Unit* complies with the requirements of an FSC Criterion*. Indicators and the associated thresholds thereby define the requirements for responsible forest management at the level of the Management Unit* and are the primary basis of forest evaluation (Source: FSC-STD-01-002 V1-0 FSC Glossary of Terms (2009)).</p>

<p>先住民族(Indigenous Peoples) : 以下のように認識、特徴づけられる人々やグループ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な特徴または基準は、個人としての先住民族*としての自己認識と、メンバーとしてのコミュニティからの受容である。 ○ 植民地時代及び/または開拓者入植以前の社会からの歴史的な継続性。 ○ 活動領域と周辺天然資源との強い結びつき。 ○ 独特な社会、経済または政治制度。 ○ 独特な言語、文化及び信仰。 ○ 社会の中で非支配的なグループを形成していること。 ○ 独特な民族やコミュニティとして先祖代々の環境と仕組みを維持、再現する決意があること。 <p>(出典：国連 先住民族常設フォーラム, 事実報告書「先住民族とは誰か」2007 年 10 月及び国連開発グループ、「先住民族の問題に関するガイドライン」国連 2009 年、先住民族の権利に関する国際連合宣言 2007 年 9 月 13 日を編集。)</p>	<p>Indigenous Peoples: People and groups of people that can be identified or characterized as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ The key characteristic or Criterion is self-identification as Indigenous Peoples at the individual level and acceptance by the community as their member; ○ Historical continuity with pre-colonial and/or pre-settler societies; ○ Strong link to territories and surrounding natural resources; ○ Distinct social, economic or political systems; ○ Distinct language, culture and beliefs; ○ Form non-dominant groups of society; ○ Resolve to maintain and reproduce their ancestral environments and systems as distinctive peoples and communities. <p>(Source: Adapted from United Nations Permanent Forum on Indigenous, Factsheet 'Who are Indigenous Peoples' October 2007; United Nations Development Group, 'Guidelines on Indigenous Peoples' Issues' United Nations 2009, United Nations Declaration on the Rights of Indigenous Peoples, 13 September 2007).</p>
<p>インフラ (インフラストラクチャー) (Infrastructure) : 森林管理においては、道路、橋、排水溝、土場、採石場、貯水池、建物、及び管理計画*の実施に必要なその他の構造物。</p>	<p>Infrastructure: In the context of forest management, roads, bridges, culverts, log landings, quarries, impoundments, buildings and other structures required in the course of implementing the management plan*.</p>
<p>原生林景観 (Intact Forest Landscape) : 森林及び非森林生態系を含む現在の世界の森林被覆域内の地域で、人間の経済活動による影響を最小限しか受けておらず、少なくとも 500 km² (50,000 ha) の面積かつ 10 km の幅(領域の境界に完全に内接する円の直径として計測)を持つもの。(出典：原生林 / グロー</p>	<p>Intact Forest Landscape: a territory within today's global extent of forest cover which contains forest and non-forest ecosystems minimally influenced by human economic activity, with an area of at least 500 km² (50,000 ha) and a minimal width of 10 km (measured as the diameter of a circle that is entirely inscribed within the boundaries of the</p>

バルフォレストウォッチ。原生林ウェブサイト提供されている用語集の定義。2006 年～2014 年)	territory) (Source: Intact Forests / Global Forest Watch. Glossary definition as provided on Intact Forest website. 2006-2014).
知的財産(Intellectual property) : 慣行、知識、工夫及びその他の知的創造物。(出典：生物多様性条約第 8 条(j)、及び世界知的所有権機関.知的財産とは何か？ 世界知的所有権機関発行物 No. 450(E) に基づく。)	Intellectual property: Practices as well as knowledge, innovations and other creations of the mind (Source: Based on the Convention on Biological Diversity, Article 8(j); and World Intellectual Property Organization. What is Intellectual Property? WIPO Publication No. 450(E)).
強度(Intensity) : 管理活動または活動の影響の性格を左右するその他の事象の力、重大さ、強度を表す尺度。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Intensity: A measure of the force, severity or strength of a management activity or other occurrence affecting the nature of the activity's impacts (Source: FSC-STD-01- 001 V5-0).

<p>関心の高い者 (Interested stakeholder) : 管理区画*の活動について関心を示しているまたは関心があることが知られている個人、グループまたは事業体。以下は関心の高い者の例である :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保護団体。例 : 環境 NGO。 ○ 労働者(の権利)団体。例 : 労働組合。 ○ 人権団体。例 : 社会 NGO。 ○ 地域の開発プロジェクト。 ○ 地域行政。 ○ 省庁の地域事務所。 ○ FSC ナショナルオフィス(FSC ジャパン)。 ○ 特定の問題に関する専門家。例えば高い保護価値(HCV)。 <p>(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Interested stakeholder: Any person, group of persons, or entity that has shown an interest, or is known to have an interest, in the activities of a Management Unit*. The following are examples of interested stakeholders*.</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Conservation organizations, for example environmental NGOs; ○ Labor (rights) organizations, for example labor unions; ○ Human rights organizations, for example social NGOs; ○ Local development projects; ○ Local governments; ○ National government departments functioning in the region; ○ FSC National Offices; ○ Experts on particular issues, for example High Conservation Values. <p>(Source: FSC-STD-01-001 V5-0)</p>
<p>国際的に認められた科学的取り決め (Internationally accepted scientific protocol) : 国際的な科学ネットワークまたは協会により発行された、または国際的な科学論文で頻繁に使用されている科学的根拠のある所定の手順。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Internationally accepted scientific protocol: A predefined science-based procedure which is either published by an international scientific network or union, or referenced frequently in the international scientific literature (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>侵略的な種(Invasive species) : 自然分布を超えて急速に分布を拡大している種。侵略的な種は在来種*間の生態学的な関係を変え、生態系機能*及び人間の健康に影響を及ぼす可能性がある。(出典 : 国際自然保護連合(IUCN)に基づく。IUCN のウェブサイトで提供されている用語集の定義)</p>	<p>Invasive species: Species that are rapidly expanding outside of their native range. Invasive species can alter ecological relationships among native species* and can affect ecosystem function and human health (Source: Based on World Conservation Union (IUCN). Glossary definitions as provided on IUCN website).</p>

<p>土地と領域 (Lands and territories) : 原則*と基準*においては、先住民族*または地域社会*が伝統的に所有していた、または慣習的に使用または占領していた土地または領域を意味し、そこに存在する天然資源へのアクセスが彼らの文化や生活の維持には不可欠である。(出典：世界銀行セーフガード業務政策(OP) 4.10 先住民族 16 項 (a). 2005 年 7 月に基づく。)</p>	<p>Lands and territories: For the purposes of the Principles* and Criteria* these are lands or territories that Indigenous peoples* or local communities* have traditionally owned, or customarily used or occupied, and where access to natural resources is vital to the sustainability of their cultures and livelihoods (Source: Based on World Bank safeguard OP 4.10 Indigenous Peoples, section 16 (a). July 2005.).</p>
<p>景観(Landscape) : ある地域内の地質、地形、土壌、気候、生物及び人間の相互作用の影響に起因する、相互に影響しあう生態系により構成される地理的なモザイク。(出典：国際自然保護連合(IUCN)に基づく。IUCN のウェブサイト提供されている用語集の定義)</p>	<p>Landscape: A geographical mosaic composed of interacting ecosystems resulting from the influence of geological, topographical, soil, climatic, biotic and human interactions in a given area (Source: Based on World Conservation Union (IUCN). Glossary definitions as provided on IUCN website).</p>
<p>景観的な価値(Landscape values) : 景観的な価値は、物理的な景観に人間の知覚を重ねることで視覚化できる。経済的価値、レクリエーションとしての価値、見栄えといったいくつかの景観的な価値は物理的な景観の特徴と密接に関連している。本質的または精神的な価値といったその他の景観的な価値は象徴的な性質を持ち、物理的な景観の特徴よりも個々人の感じ方や社会的構造に影響される。(出典：景観的な価値研究所のウェブサイトに基づく)</p>	<p>Landscape values: Landscape values can be visualized as layers of human perceptions overlaid on the physical landscape. Some landscape values, like economic, recreation, subsistence value or visual quality are closely related to physical landscape attributes. Other landscape values such as intrinsic or spiritual value are more symbolic in character and are influenced more by individual perception or social construction than physical landscape attributes (Source: Based on website of the Landscape Value Institute).</p>
<p>大規模森林管理区画 (Large scale forest management unit): 日本においては 10,000 ヘクタールを超える面積をもつ森林管理区画*。ただし、これには一続きの土地だけではなく、点在する土地をまとめたものも含む。</p>	<p>Large scale forest management unit: Forest Management Unit* that is over 10,000 hectares in Japan. This includes not only a tract of connected land, but also collection of scattered land areas.</p>
<p>大規模組織 (Large scale organization): 10,000 ヘクタールを超える面積の<u>認証対象林</u>を管理する森林</p>	<p>Large scale organization: Forest management organizations that manage over 10,000 hectares of forests <u>under scope of</u></p>

管理組織組織*。ただし、小規模、中規模管理区画*から成るグループ認証は含まれない。	certification, excluding group certifications comprised of small or medium scale forest Management Units*.
法的、合法的(Legal) : 主要な法令(国の法令または地域の法律*)または二次的な法令(補助規制、布告、命令など)に従っている。「法的」には法的権限のある*機関によって、法令・律や規制から直接かつ論理的にされ行われた、規則に基づく決定も含まれる。決定が法律令や規制から直接かつ論理的に発生したものではなく、かつ規則ではなく行政裁量によったものである場合、法的権限のある*機関による決定は「法的」ではないことがある。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。	Legal: In accordance with primary legislation (national or local laws*) or secondary legislation (subsidiary regulations, decrees, orders, etc.). 'Legal' also includes rule-based decisions made by legally competent* agencies where such decisions flow directly and logically from the laws and regulations. Decisions made by legally competent* agencies may not be legal if they do not flow directly and logically from the laws and regulations and if they are not rule-based but use administrative discretion (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
法的権限のある (Legally competent) : 特定の機能を果たすために法律法令により義務付けられている。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。	Legally competent: Mandated in law to perform a certain function (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
登記 (Legal registration) : 商業的に商品及び/サービスの売買をする権利を伴う事業体として運営することに対する国または地域の法的ライセンスまたは一連の許可。これらのライセンスまたは許可は個人、私有企業、公有法人に適用できる。商業的に商品及び/サービスの売買をする権利には、これらを行う義務は付属しないため、登記は商品またはサービスの販売を行わない管理区画*にも適用される。このような管理区画*には例えば、値段の付かないレクリエーションまたは生物多様性や生息・生育域の保全を目的としたものがある。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。	Legal registration: National or local legal* license or set of permissions to operate as an enterprise, with rights to buy and sell products and/or services commercially. The license or permissions can apply to an individual, a privately-owned enterprise or a publicly-owned corporate entity. The rights to buy and sell products and/or services do not carry the obligation to do so, so legal* registration applies also to Organizations operating a Management Unit* without sales of products or services; for example, for unpriced recreation or for conservation of biodiversity or habitat (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
法的位置付け(Legal status) : 管理区画*の法令法律に従った分類のされ方。保有権*の点では共有地、借地、自由保有地、国有地、公有地などの保有権*の種類を意味する。管理区画*の保有権*の種類が変	Legal status: The way in which the Management Unit* is classified according to law. In terms of tenure*, it means the category of tenure*, such as communal land or leasehold or freehold or State land or

<p>わる場合（例えば国有地から先住民族による共有地への転換）、法律上の区分には移行過程における現在の状態が含まれる。法律上の地位では、国の行政の観点からは土地は国民のものであり、国民を代表して国の省庁が管理をし、コンセッション(伐採権所有地)として民間セクターに貸し出すということもできる。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。</p>	<p>government land, etc. If the Management Unit* is being converted from one category to another (for example, from State land to communal indigenous land) the status includes the current position in the transition process. In terms of administration, legal status could mean that the land is owned by the nation as a whole, is administered on behalf of the nation by a government department, and is leased by a government Ministry to a private sector operator through a concession (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>生活賃金(Living wage)：労働者*が特定の場所で標準的な週間労働時間働いて受け取る報酬で、労働者及びその家族がまともな生活水準を得るために十分な金額。まともな生活水準の要素には食料、水、住居、教育、健康管理、移動、衣服や予期せぬ出来事への対処を含むその他の必需品が含まれる。(出典：生活賃金への共通アプローチ。国際社会環境認定表示連合(ISEAL)生活賃金グループ。2013 年 11 月)</p>	<p>Living wage: The remuneration received for a standard work week by a worker* in a particular place sufficient to afford a decent standard of living for the worker and her or his family. Elements of a decent standard of living include food, water, housing, education, health care, transport, clothing, and other essential needs including provision for unexpected events (Source: A Shared Approach to a Living Wage. ISEAL Living Wage Group. November 2013).</p>
<p>地域社会(Local communities)：管理区画*内または区画に隣接しているあらゆる大きさのコミュニティであり、その近さから管理区画*の経済価値、環境価値へ大きな影響を持つまたは、管理区画*の生物物理学的側面や管理活動により経済、権利または環境が大きな影響を受けるもの。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。</p>	<p>Local communities: Communities of any size that are in or adjacent to the Management Unit*, and also those that are close enough to have a significant impact on the economy or the environmental values of the Management Unit* or to have their economies, rights or environments significantly affected by the management activities or the biophysical aspects of the Management Unit* (Source: FSC-STD-01- 001 V5-0).</p>

<p>地域の法律(Local laws) : 国土の特定の地理的領域に限定して適用される一連の主要な法律と二次的な法律(法令、条例、規則、命令)、及びこれらの法律により直接的かつ明確に権限が生じた二次的な規制と三次行政手続き (規範、要求事項)。ウェストファリアシステムの国民国家の主権の概念に従い、権限は法律により生じる。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。</p>	<p>Local laws: The whole suite of primary and secondary laws (acts, ordinances, statutes, decrees) which is limited in application to a particular geographic district within a national territory, as well as secondary regulations, and tertiary administrative procedures (rules / requirements) that derive their authority directly and explicitly from these primary and secondary laws. Laws derive authority ultimately from the Westphalian concept of sovereignty of the Nation State (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>長期(Long-term) : 管理計画*の目的*、収穫率、森林被覆維持への取り組みに明示されている森林所有者または森林管理者の時間規模。状況や生態系のな状態により長さは異なり、伐採やかく乱のあった後に、ある生態系がその自然構造と構成を回復するまでの時間、または成熟林や原生状態に回復するまでの時間が関係する。(出典 : FSC-STD-01-002 V1-0 FSC 用語集 (2009))</p>	<p>Long-term: The time-scale of the forest owner or manager as manifested by the objectives* of the management plan*, the rate of harvesting, and the commitment to maintain permanent forest cover. The length of time involved will vary according to the context and ecological conditions, and will be a function of how long it takes a given ecosystem to recover its natural structure and composition following harvesting or disturbance, or to produce mature or primary conditions (Source: FSC-STD-01- 002 V1-0 FSC Glossary of Terms (2009)).</p>
<p>低強度森林管理 (Low intensity forest management) : 以下の a) 及び b) または c) の条件を満たす場合、低強度管理区画と分類される。</p> <p>a) 収穫量が当該管理区画*の中の生産林区域における年平均成長量の 20% 未満である。</p> <p>b) すべての生産林からの年間収穫量の総計が 5000 立米未満である。</p> <p>c) 伐採記録や年次監査から確認される、認証の有効期間中のすべての生産林からの年平均収穫実績が 5000 立米未満である。(出典 : FSC-STD-01-003 第 1-0 版 SLIMF 資格条件)</p>	<p>Low intensity forest management: Forest Management Units* may be classified as low intensity forest Management Units when:</p> <p>a) the rate of harvesting is less than 20% of the mean annual increment (MAI) within the total production forest area of the unit, AND</p> <p>b) EITHER the annual harvest from the total production forest area is less than 5000 cubic metres, OR</p> <p>c) OR the average annual harvest from the total production forest is less than 5000 m³ / year during the period of validity of the certificate as verified by harvest reports and surveillance audits. (Source:</p>

	FSC-STD-01-003 v1-0 SLIMF Eligibility criteria)
管 理 目 的 (Management objective) : 本規格の要求事項を達成するために設定された特定の管理目標、慣行、結果とアプローチ。	Management objective: Specific management goals, practices, outcomes, and approaches established to achieve the requirements of this standard.
管理計画(Management plan) : 管理者、従業員または組織組織*により管理区画*内や管理区画*に関連して実施される活動を説明し、論理付け、規制する文書、報告書、記録、地図の集合。これには目的*と方針の文面も含まれる。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。	Management plan: The collection of documents, reports, records and maps that describe, justify and regulate the activities carried out by any manager, staff or organization* within or in relation to the Management Unit*, including statements of objectives* and policies (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
管理計画モニタリング (Management plan monitoring) : 管理目標の達成度を評価するためのフォローアップ(経過観察)及び監視手順。モニタリング活動の結果は順応的管理*の実施に利用される。	Management plan monitoring: Follow up and oversight procedures for the purpose of evaluating the achievement of the management objectives*. The results of the monitoring activities are utilized in the implementation of adaptive management*.

<p>管理区画(Management Unit) : 管理計画*で述べられている一連の明確な長期管理目標により管理されている、明確に定められた境界を持ち、FSC 認証の対象として示された空間的地域。この地域には以下が含まれる :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>組織組織*</u>が法的*所有権または管理権限を持つ、あるいは管理目標への貢献のために<u>組織組織*</u>のために運営されている、当該空間的地域内や隣接地に存在するすべての施設と土地。 ○ 当該空間的地域の外にあり、かつ隣接もしていないが、管理目標への貢献のために<u>組織組織*</u>により、または<u>組織組織*</u>のために運営されている、すべての施設と土地。 <p>(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。</p>	<p>Management Unit: A spatial area or areas submitted for FSC certification with clearly defined boundaries managed to a set of explicit long term management objectives* which are expressed in a management plan*. This area or areas include(s):</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ all facilities and area(s) within or adjacent to this spatial area or areas under legal* title or management control of, or operated by or on behalf of The Organization*, for the purpose of contributing to the management objectives*; and ○ all facilities and area(s) outside, and not adjacent to this spatial area or areas and operated by or on behalf of The Organization*, solely for the purpose of contributing to the management objectives*. <p>(Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>経営管理(Managerial control) : 国内の商法の中で営利企業の経営層のために定義された責務。FSC においては公共セクターの組織にも適用可能である。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。</p>	<p>Managerial control: Responsibility of the kind defined for corporate directors of commercial enterprises in national commercial law, and treated by FSC as applicable also to public sector organizations (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>中規模森林管理区画 (Medium scale forest management unit) : 日本においては、100 ヘクタールより広く、10,000 ヘクタール以下の面積をもつ森林管理区画*。</p>	<p>Medium scale forest management unit: Forest Management Unit* that is larger than 100 hectares and no more than 10,000 hectares in size in Japan.</p>
<p>中規模組織 (Medium scale organization) : 小規模でも大規模でもない<u>組織組織*</u>。「小規模組織」「大規模組織」及び「規模」の定義参照。</p>	<p>Medium scale organization: Organization* that is neither small scale nor large scale. See the definitions for 'small scale organization' and 'large scale organization' as well as 'scale'.</p>
<p>国の内法令(National laws) : 国の領土内で適用可能な一連の主要な法律と二次的な<u>法律法令</u>(<u>法律法令</u>、条例、規則、命令)、及びこれらの<u>法律法令</u>から直接的かつ明確に権限が発生する二次的な規制と三</p>	<p>National laws: The whole suite of primary and secondary laws (acts, ordinances, statutes, decrees), which is applicable to a national territory, as well as secondary regulations, and tertiary administrative</p>

<p>次的行政手続き（規範、要求事項）。（出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版）。</p>	<p>procedures (rules / requirements) that derive their authority directly and explicitly from these primary and secondary laws (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>在来種(Native species)：自然分布内(過去または現在)及び自然拡散可能範囲内(自然に占めている、または直接的、間接的な人為導入がない状態で占めることができる範囲内)に生息する種、亜種または下位の分類群。（出典：生物多様性条約(CBD) 侵略的な外来種プログラム。CBD のウェブサイト提供されている用語集）</p>	<p>Native species: Species, subspecies, or lower taxon, occurring within its natural range (past or present) and dispersal potential (that is, within the range it occupies naturally or could occupy without direct or indirect introduction or care by humans) (Source: Convention on Biological Diversity (CBD). Invasive Alien Species Programme. Glossary of Terms as provided on CBD website).</p>
<p>自然状況(状態)/自然生態系(Natural conditions/native ecosystem)：原則*と基準*及びいかなる再生技術の適用においても、「より自然に近い状態」や「自然生態系」という用語は、管理サイトでその地域における典型的な在来種*とそれに関連するものを優先または復元*すること、またその地域における典型的な生態系が形成されるよう、在来種*に関連するものやその他の多面的機能*を管理することを意味する。より詳細なガイドラインを国内規格において定めてもよい。（出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版）。</p>	<p>Natural conditions/native ecosystem: For the purposes of the Principles* and Criteria* and any applications of restoration* techniques, terms such as ‘more natural conditions’, ‘native ecosystem’ provide for managing sites to favor or restore native species* and associations of native species* that are typical of the locality, and for managing these associations and other environmental values so that they form ecosystems typical of the locality. Further guidelines may be provided in FSC Forest Stewardship Standards (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>

自然林(Natural forest) : 複雑性、構造と生物多様性、土壌特性、動植物などの面で多くの自然生態系の主要な特徴と重要な要素をもち、そこに育つすべてまたはほぼすべての樹木が在来種*である、人工林*として分類されていない森林地域。自然林には、以下の種類を含む :

- 伐採やその他のかく乱により影響を受けた森林で、天然更新と人工更新の組合せにより、そのサイトの自然林に典型的な樹種が再生しており、地上部及び地下部に多くの自然林の特徴を残すもの。自然状態で 1 種もしくは限られた種数のみで構成されている北方林と北部温帯林において、天然更新と人工更新の組合せにより、同じ在来種*が更新されており、そのサイトの自然生態系の主な要素と重要な特徴のほとんどが残されている場合、これは人工林*への転換とはみなさない。
- 天然更新や人為補助を加えた天然更新を含む伝統的な造林方法により維持されている自然林。
- 非森林地域で在来種*が再生して発達した二次林。
- 自然林の定義には 木に覆われた生態系(wooded ecosystem)、樹林地 (woodland)、サバンナを含めても良い。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。

日本においては、特に以下のものを自然林として扱い、人工林*への転換は禁止する。

1. 自然植生のうち多層の構造を有する森林。環境省の自然環境保全基礎調査

Natural forest: A forest area with many of the principal characteristics and key elements of native ecosystems, such as complexity, structure and biological diversity, including soil characteristics, flora and fauna, in which all or almost all the trees are native species*, not classified as plantations*.

‘Natural forest’ includes the following categories:

- Forest affected by harvesting or other disturbances, in which trees are being or have been regenerated by a combination of natural and artificial regeneration with species typical of natural forests in that site, and where many of the above-ground and below-ground characteristics of the natural forest are still present. In boreal and north temperate forests which are naturally composed of only one or few tree species, a combination of natural and artificial regeneration to regenerate forest of the same native species*, with most of the principal characteristics and key elements of native ecosystems of that site, is not by itself considered as conversion to plantations*;
- Natural forests which are maintained by traditional silvicultural practices including natural or assisted natural regeneration;
- Well-developed secondary or colonizing forest of native species* which has regenerated in non-forest areas;
- The definition of ‘natural forest’ may include areas described as wooded ecosystems, woodland and savannah. (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).

In Japan, the following types of vegetation are categorized as natural forest and conversion into plantation* or other land use

<p>による植生図においては、植物自然度 9 に相当する植生。</p> <p>2. 代償植生でも種構成や森林の階層構造が自然植生に近いもの。植生自然度は 8 に該当し、年月が経ち（通常 100 年以上の年月を要する）十分に発達した二次林とも呼ばれる。</p> <p>3. 人工林*のうち造林不適地（不成績林）にあり、時間の経過とともにその土地本来の種構成、林分構造を形成しつつある、自然林候補群落。</p> <p>4. 自然林の様相を形成しつつある未発達な植物群落だが、時間の経過とともに自然林となることが確実視される自然林候補群落。特に常緑樹林帯に見られるシイ・カシ萌芽林等の二次林。</p> <p>5. 洪水や台風、落雷等の自然災害*等で森林が崩壊した後に自然に更新し発達した森林*た植物群落。低木の群落のようなものも含む。</p>	<p>is prohibited:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Forest composed of natural vegetation with multilayered structure. In the national vegetation survey conducted by the Ministry of the Environment, it corresponds with vegetation naturalness of nine (9). 2. Secondary vegetation with similar species composition and forest structure as the natural vegetation. It corresponds to the vegetation naturalness of eight (8). It is also called sufficiently mature secondary forest developed for the passage of years (usually takes more than 100 years to reach this stage). 3. Semi-natural vegetation developing in plantation* established in unfertile land that is unsuitable for plantation*. With the passage of time, it is developing species composition and forest structure original to the area. 4. Young vegetation that is developing elements of natural forest but is almost certain to develop into natural forest with the passage of time. Typical forest of this type is secondary forest of oaks and Castanopsis regenerated from coppicing in the evergreen forest zone. 5. Natural regeneration developed after loss of forest caused by natural disaster such as flood, typhoon, and lightning. It can include communities of shrubs.
<p>自然災害(Natural Hazards) : 管理区画*の社会価値、多面的機能*に危機をもたらす可能性のあるかく乱。同時に重要な生態系機能*を含むことがある。例としては、旱魃、洪水、火事、地滑り、暴風雨、雪崩などが挙げられる。</p>	<p>Natural Hazards: disturbances that can present risks* to social and environmental values* in the Management Unit* but that may also comprise important ecosystem functions; examples include drought, flood, fire, landslide, storm, avalanche, etc.</p>
<p>非木材林産物 (NTFP) (Non-timber forest products, NTFP) : 管理区画*</p>	<p>Non-timber forest products (NTFP): All products other than timber derived from the</p>

から生産された木材以外のすべての製品。 (出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)。	Management Unit* (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
目的(Objective)： 森林事業について組織組織*により定められた基本的な目的であり、方針決定や目的達成のための方法の選択を含む。(出典：F.C. Osmaston. 1968. 森林の管理. Hafner, ニューヨーク. 及び D.R. Johnston, A.J. Grayson, R.T. Bradley. 1967. 森林計画. Faber & Faber, ロンドンに基づく。)	Objective: The basic purpose laid down by The Organization* for the forest enterprise, including the decision of policy and the choice of means for attaining the purpose (Source: Based on F.C. Osmaston. 1968. The Management of Forests. Hafner, New York; and D.R. Johnston, A.J. Grayson and R.T. Bradley. 1967. Forest Planning. Faber & Faber, London).
義務的行動規範(Obligatory code of practice)： 法律法令により、組織組織*が実行しなければならないマニュアル、ハンドブックまたはその他の技術指導の情報源。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Obligatory code of practice: A manual or handbook or other source of technical instruction which The Organization* must implement by law (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
労働災害(Occupational accident)： 労働の最中または労働に起因して発生する、致命的または非致命的な負傷。(出典：国際労働機関(ILO). 図書館及び情報サービス局. ILO ウェブサイトで提供されている ILO 用語事典)	Occupational accident: An occurrence arising out of, or in the course of, work which results in fatal or non-fatal injury (Source: International Labour Organization (ILO). Bureau of Library and Information Services. ILO Thesaurus as provided on ILO website).
業務上疾患 (Occupational disease)： 業務活動に起因するリスク*因子にさらされたことにより罹った疾患。(出典：国際労働機関(ILO). 図書館及び情報サービス局. ILO ウェブサイトで提供されている ILO 用語事典)	Occupational disease: Any disease contracted as a result of an exposure to risk* factors arising from work activity (Source: International Labour Organization (ILO). Bureau of Library and Information Services. ILO Thesaurus as provided on ILO website).
労働災害(Occupational injuries)： 労働災害*に起因する個人的な負傷、疾病または死。(出典：国際労働機関(ILO). 図書館及び情報サービス局. ILO ウェブサイトで提供されている ILO 用語事典)	Occupational injuries: Any personal injury, disease or death resulting from an occupational accident* (Source: International Labour Organization (ILO). Bureau of Library and Information Services. ILO Thesaurus as provided on ILO website).
生物(Organism)： 遺伝物質を複製または伝達することができる生命体。(出典：理事会指令 90/220/EEC)	Organism: Any biological entity capable of replication or of transferring genetic material (Source: Council Directive 90/220/EEC).
組織(The Organization)： 認証取得または申請をしている個人や事業体であり、	The Organization: The person or entity holding or applying for certification and

FSC 認証の基となる要求事項への適合を示す責任をもつ。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	therefore responsible for demonstrating compliance with the requirements upon which FSC certification is based (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
泥炭地(Peatland)： 冠水、浸水した土地から構成されており、有機物が大量に蓄積され、ある程度の酸性土壌に伴う貧弱な植生層により覆われており、特徴的な琥珀色をもつ土地。(出典：Aguilar, L. 2001. 漁師、海洋と潮流について。IUCN。サンノゼ(コスタリカ))	Peatland: Is constituted by flooded and soggy areas, with large accumulations of organic material, covered by a layer of poor vegetation associated with a certain degree of acidity, and which presents a characteristic amber color (Source: Aguilar, L. 2001. About Fishermen, Fisherwomen, Oceans and tides. IUCN. San Jose (Costa Rica)).
農薬(Pesticide)： 病虫 害 を制御または無害化して植物、樹木またはその他の植物製品、人の健康、家畜、または生物多様性を守るために調合、使用される製剤や物質。この定義には殺虫剤、殺鼠剤、ダニ駆除剤、軟体動物駆除剤、殺幼虫剤、殺菌剤、除草剤が含まれる。(出典：FSC-POL-30-001 FSC 農薬方針 (2005))	Pesticide: Any substance or preparation prepared or used in protecting plants or wood or other plant products or human health or livestock or biodiversity from pests; in controlling pests; or in rendering such pests harmless. (This definition includes insecticides, rodenticides, acaricides, molluscicides, larvaecides, fungicides and herbicides) (Source: FSC-POL-30-001 FSC Pesticides Policy (2005)).

人工林(Plantation)： 外来種または在来種*を用いた植栽または播種により成立した森林地帯。多くの場合、使用される樹種は 1 種に限られた種数であり、等間隔かつ同齢で、自然林の主な特徴と重要な要素には欠ける。適切な記述や例を用いて、例えば下記のように国内規格でより詳細に人工林を定義してもよい：

- 元々人工林のこの定義を満たしていた地域が年月を経て自然生態系の重要な特徴と主要要素の多くまたはほとんどをもつようになった場合、自然林に分類することができる。
- 生物多様性、生息・生育域の多様性、構造の複雑さ、生態系機能を復元*し、向上させるために管理されている人工林は、年月を経て自然林に分類することができる。
- 自然状態で 1 種もしくは限られた種数のみで構成されている北方林と北部温帯林において、天然更新と人工更新の組合せにより、同じ在来種*が更新されており、そのサイトの自然生態系の主要要素と重要な特徴のほとんどが残されている場合、これは人工林への転換とはみなさない。
- (出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)

日本においては、以下のタイプの植生を人工林とする。

1) スギ、ヒノキ、カラマツ等の針葉樹人工林。人の手により植栽、播種されて成立した植生であり、環境省の自然環境保全基礎調査においては、植物自然度 6 に当たる。ほとんどが苗植えの植林で、日本において天然下種更新は見られない。

2) 約 20 年、またはそれ以上の期間ごとに

Plantation: A forest area established by planting or sowing with using either alien or native species*, often with one or few species, regular spacing and even ages, and which lacks most of the principal characteristics and key elements of natural forests*. The description of plantations may be further defined in FSC Forest Stewardship Standards, with appropriate descriptions or examples, such as:

- Areas which would initially have complied with this definition of 'plantation' but which, after the passage of years, contain many or most of the principal characteristics and key elements of native ecosystems, may be classified as natural forests*.
- Plantations managed to restore* and enhance biological and habitat diversity, structural complexity and ecosystem functionality may, after the passage of years, be classified as natural forests*.
- Boreal and north temperate forests which are naturally composed of only one or few tree species, in which a combination of natural and artificial regeneration is used to regenerate forest of the same native species*, with most of the principal characteristics and key elements of native ecosystems of that site, may be considered as natural forest*, and this regeneration is not by itself considered as conversion to plantations.

(Source: FSC-STD-01-001 V5-0)

In Japan, the following types of vegetation are treated as plantations:

1) Plantation of conifers such as Sugi (*Cryptomeria japonica*), Hinoki

<p>皆伐され、萌芽や植栽等により更新され人工的に維持されている二次的広葉樹林。主要有用樹種は限られ、<u>チップ用の雑木</u>やシイタケ栽培用原木としてのクヌギ、コナラや薪炭材としてのカシ類、薬用植物、伝統工芸品の材料などが生産される。</p> <p>3) 人工林の皆伐を受けて成立する広葉樹の二次林で遷移途上にあり、種組成や群落（林分）構造が未発達なもの。針葉樹人工林の伐採後は実生で育ち、また広葉樹人工林の伐採後は萌芽及び実生で成立する。二次林の人為的更新（皆伐が中心）も含む。植物自然度では 7 に該当する。</p>	<p>(<i>Chamaecyparis obtusa</i>), and Japanese larch (<i>Larix kaempferi</i>). It is the vegetation established artificially by planting or sowing, corresponding to the vegetation naturalness of six (6) in the national vegetation survey conducted by the Ministry of the Environment. Most of them are regenerated by planting seedlings; natural regeneration from seeds is uncommon in Japan.</p> <p>2) Secondary Hardwood forest that is artificially maintained by periodic clearing once in 20 years or longer, regenerating from coppicing or planting. The number of main commercial species is limited, including <i>Quercus acutissima</i> and <i>Quercus serrata</i> as wood substrate for Shiitake mushroom cultivation, oak species as firewood, medicinal plants, and materials for traditional crafts.</p> <p>3) Immature <u>Immature</u> hardwood forest in the process of succession where species composition and stand structure are not fully developed after clearing of plantation. Regeneration occurs as natural regeneration from seeds after conifer plantation or as either natural regeneration or coppicing after clearing of hardwood plantation described above. It includes artificial regeneration (mostly clearing) of secondary forest. It corresponds to the vegetation naturalness of seven (7).</p>
---	---

<p>予 防 手 段 (Precautionary approach) : 入手可能な情報により管理活動が環境に甚大または不可逆的な損害を与える恐れがある、または人間の福祉を脅かす*と考えられる場合に、たとえ科学的な情報が不完全または決定的でなく、また多面的機能*の脆弱性や繊細さが不明だとしても、組織*はこれらの脅威*を明確かつ効果的に防ぐ措置を取る必要があるとするアプローチ。(出典：環境と開発に関するリオ宣言原則15.1992.及びウイングスプレッド会議における予防措置に関するウイングスプレッド宣言.1998年1月23日～25日に基づく。)</p>	<p>Precautionary approach: An approach requiring that when the available information indicates that management activities pose a threat* of severe or irreversible damage to the environment or a threat to human welfare, The Organization* will take explicit and effective measures to prevent the damage and avoid the risks* to welfare, even when the scientific information is incomplete or inconclusive, and when the vulnerability and sensitivity of environmental values* are uncertain (Source: Based on Principle 15 of Rio Declaration on Environment and Development, 1992, and Wingspread Statement on the Precautionary Principle of the Wingspread Conference, 23–25 January 1998).</p>
<p>伐 採 前 [の 状 態] (Pre-harvest [condition]) : 伐木及びそれに付随する道路の敷設などの活動を実施する前の森林または人工林*の多様性、構成及び構造。</p>	<p>Pre-harvest [condition]: The diversity, composition, and structure of the forest* or plantation* prior to felling timber and appurtenant activities such as road building.</p>
<p>原則(Principle) : 本質的なルールまたは要素。FSCにおいては森林管理に限定。(出典：FSC-STD-01-001 第4-0版)</p>	<p>Principle: An essential rule or element; in FSC's case, of forest stewardship (Source: FSC-STD-01-001 V4-0).</p>
<p>保 護 (Protection) : 保 全 (Conservation)の定義参照。</p>	<p>Protection: See definition of Conservation.</p>
<p>保護区(Protection Area) : 保全地帯 (Conservation Zone)の定義参照。</p>	<p>Protection Area: See definition of Conservation Zone.</p>
<p>公開する(Publicize) : 情報が人々に入手可能*な状態にすること。</p>	<p>Publicize: To make the information publicly available* to people.</p>
<p>入 手 可 能、公表されている (Publicly available) : 一般に人々が入手できるまたは閲覧できる状態。(出典：コリンズ英語辞典 2003 版)</p> <p>インターネットなどで誰もが閲覧できる状態に公開されている状態が望ましいが、来訪者が自由に閲覧、あるいは持ち帰れるようにしてあるなど、要請なしに入手できる状態も含む。</p>	<p>Publicly available: In a manner accessible to or observable by people generally (Source: Collins English Dictionary, 2003 Edition).</p> <p>While the state that the information is published in the internet where anyone can freely browse it is desirable, such as visitors to the office are then free to browse, it also includes the state that the information can be freely reached or taken by visitors without</p>

	putting a request.
--	--------------------

DRAFT

<p>希少種(Rare species) : 珍しいまたはめったに見られないが、絶滅危惧種や危急種には分類はされていない種。これらの種は地理的に限られた地域または特定の生息・生育域に分布するか、もしくは広大な規模*に散在する。これらは国際自然保護連合(IUCN)の準絶滅危惧種と概ね同義であり、危急種、絶滅危惧指定に近い、または近い将来にそう指定される可能性が高い種を含む。これらはまた、imperiled species (日本語では絶滅危惧種となる)とも概ね同義である。(出典：国際自然保護連合 (2001 年). 国際自然保護連合レッドリストカテゴリーと基準：第 3.1 版。国際自然保護連合種の保存委員会。スイス及びイギリスケンブリッジに基づく)</p>	<p>Rare species: Species that are uncommon or scarce, but not classified as threatened. These species are located in geographically restricted areas or specific habitats, or are scantily scattered on a large scale*. They are approximately equivalent to the IUCN (2001) category of Near Threatened (NT), including species that are close to qualifying for, or are likely to qualify for, a threatened category in the near future. They are also approximately equivalent to imperiled species (Source: Based on IUCN. (2001). IUCN Red List Categories and Criteria: Version 3.1. IUCN Species Survival Commission. IUCN. Gland, Switzerland and Cambridge, UK).</p>
<p>批准している(Ratified) : 国際的な法律、条約または協定(多国間の環境合意を含む)が国の議会または同等の仕組みにより法的に承認されるプロセス。これにより国際的な法律、条約または協定が自動的に国内法の一部となるか、同じ法的*に同様の効果のある国内法の策定が始まる。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Ratified: The process by which an international law, convention or agreement (including multilateral environmental agreement) is legally approved by a national legislature or equivalent legal* mechanism, such that the international law, convention or agreement becomes automatically part of national law or sets in motion the development of national law to give the same legal* effect (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>適 当 な 、 適 切 な 妥 当 な (Reasonable) : 一般的な経験に基づき状況または目的に対して公平または適切であると判断される。(出典：オックスフォード英語辞典縮約版)</p>	<p>Reasonable: Judged to be fair or appropriate to the circumstances or purposes, based on general experience (Source: Shorter Oxford English Dictionary).</p>
<p>低 影 響 伐 採 (Reduced impact harvesting) : 残される林分への影響を軽減する技術を用いた伐採。(出典：熱帯木材生産林における生物多様性の保全と持続的な利用のガイドライン, 国際自然保護連合 2006 年に基づく。)</p>	<p>Reduced impact harvesting: Harvesting (or logging) using techniques to reduce the impact on the residual stand (Source: Based on Guidelines for the Conservation and Sustainable Use of Biodiversity in Tropical Timber Production Forests, IUCN 2006).</p>

<p>レフugia(退避地) (Refugia) : 典型的には気候変動や人為かく乱に代表される大規模な変化が起こっておらず、地域の典型動植物が生存できる隔離された地域。(出典 : Glen Canyon Dam 順応的管理プログラム用語集。Glen Canyon Dam のウェブサイトにおいて提供されている)</p>	<p>Refugia: An isolated area where extensive changes, typically due to changing climate or by disturbances such as those caused by humans, have not occurred and where plants and animals typical of a region may survive (Source: Glen Canyon Dam, Adaptive Management Program Glossary as provided on website of Glen Canyon Dam website).</p>
<p>代 表 的 な 自 然 生 態 系 地 域 (Representative Sample Areas) : 地理的地域において自然に分布しているであろう生態系の生きた見本を保全または復元*することを目的として線引きされた管理区画*の一部。</p>	<p>Representative Sample Areas: Portions of the Management Unit* delineated for the purpose of conserving or restoring* viable examples of an ecosystem that would naturally occur in that geographical region.</p>
<p>回復力(Resilience) : ストレスや圧力に晒されながら、変化への抵抗または順応によりシステムが主な機能やプロセスを維持する能力。回復力は生態的なシステムと社会的なシステムの両方に備わっている。(出典 : 国際自然保護連合 世界保護地域委員会 (IUCN-WCPA)。2008 年。海洋保護区網の設立 - 実現しよう。ワシントン D.C。国際自然保護連合 世界保護地域委員会 アメリカ海洋大気庁及び自然保護協会)</p>	<p>Resilience: The ability of a system to maintain key functions and processes in the face of stresses or pressures by either resisting or adapting to change. Resilience can be applied to both ecological systems and social systems (Source: IUCN World Commission on Protected Areas (IUCN-WCPA). 2008. Establishing Marine Protected Area Networks - Making it Happen. Washington D.C.: IUCN-WCPA National Oceanic and Atmospheric Administration and The Nature Conservancy.).</p>

<p>復元(Restore / Restoration) :これらの用語は文脈により、また日常会話で様々な使われ方をする。管理活動やその他の原因による多面的機能*へのダメージを修復するという意味で使われることもある。また、ひどく劣化した土地や、他の土地利用へ転換されたサイトにおいてより自然に近い状態を形作るという意味で使われることもある。原則*と基準*では復元という語は、先史時代や産業革命前、その他の以前存在していた特定の生態系を再構築するという意味で使用されることはない。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p> <p>組織組織*は、組織組織*の制御範囲を超えた要因により影響を受けた多面的機能*を必ずしも復元する義務はない。このような要因には例えば、自然災害*、気候変動や、公共インフラ整備、採鉱、狩猟、居住のような第三者による合法的な活動がある。FSC-POL-20-003 認証範囲からの地域の除外では、適切な場合、これらの地域を認証範囲から除外するための手順が説明されている。</p> <p>組織組織*は、過去のいつかに存在していたかもしれない多面的機能*を必ずしも復元する義務もない。また以前の所有者により悪影響を受けた多面的機能*も必ずしも復元する義務はない。しかし、このような過去の影響により管理区画*の環境が現在も劣化し続けている場合、組織組織*は劣化を軽減、抑制、防止するための適当な措置をとることが期待されている。</p>	<p>Restore / Restoration: These words are used in different senses according to the context and in everyday speech. In some cases 'restore' means to repair the damage done to environmental values* that resulted from management activities or other causes. In other cases 'restore' means the formation of more natural conditions in sites which have been heavily degraded or converted to other land uses. In the Principles* and Criteria*, the word 'restore' is not used to imply the recreation of any particular previous, pre-historic, pre-industrial or other pre-existing ecosystem (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p> <p>The Organization* is not necessarily obliged to restore those environmental values that have been affected by factors beyond the control of The Organization*, for example by natural disasters, by climate change, or by the legally authorized activities of third parties, such as public infrastructure*, mining, hunting or settlement. FSC-POL-20-003 The Excision of Areas from the Scope of Certification describes the processes by which such areas may be excised from the area certified, when appropriate.</p> <p>The Organization* is also not obliged to restore environmental values* that may have existed at some time in the historic or pre-historic past, or that have been negatively affected by previous owners or organizations. However, The Organization* is expected to take reasonable measures to mitigate, control and prevent environmental degradation which is continuing in the Management Unit* as a result of such previous impacts.</p>
<p>川岸地帯、水辺空間 (Riparian zone) : 陸地と湖沼（河川・溪流を含む）の接触面とそれに伴う植生。</p>	<p>Riparian zone: Interface between land and a water body, and the vegetation associated with it.</p>

<p>リスク(Risk) : 管理区画*で行われるあらゆる活動によってもたらされる許容できない悪影響の可能性及びその結果の深刻さ。(出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版).</p>	<p>Risk: The probability of an unacceptable negative impact arising from any activity in the Management Unit* combined with its seriousness in terms of consequences (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
--	--

DRAFT

<p>規模(Scale)：管理活動や関連事象が多面的機能*または管理区画*に対して与える時間的、空間的影響の程度の尺度。空間的に小さな活動は毎年森林のごく一部分のみに影響を与え、時間的に短い活動は発生頻度が低い。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Scale: A measure of the extent to which a management activity or event affects an environmental value* or a management unit*, in time or space. An activity with a small or low spatial scale affects only a small proportion of the forest each year, an activity with a small or low temporal scale occurs only at long intervals (Source: FSC-STD- 01-001 V5-0).</p>
<p>日本においては 100 ヘクタール以下の管理面積を持つ組織組織*を小規模組織組織*、10,000 ヘクタールを超える面積を管理する組織を大規模組織とする。ただし、小規模、中規模管理区画*から成るグループ認証の場合は大規模組織*には含めない。小規模組織にも大規模組織*にも当たらない組織を中規模組織*とする。</p>	<p>In Japan, organizations* that manage no more than 100 hectares of forest are considered small scale*, while those that manage over 10,000 hectares are considered large scale*. However, group certifications comprised of small or medium scale forest management units* are not considered as large scale*. Organizations that neither fit into the definition of small scale nor large scale organizations* are considered medium scale*.</p>
<p>事業特性/規模、強度、リスク(Scale, intensity and risk)：「規模」、「強度」「リスク」のそれぞれの定義参照。</p>	<p>Scale, intensity and risk: See individual definitions of the terms 'scale', 'intensity', and 'risk'.</p>

<p>重要 (Significant) : 原則 *9 及び HCV*1、2、6 に関して主に以下の 3 つの重要度を評価する形態がある :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際自然保護連合やバードライフ・インターナショナルのような国際的機関による、指定、分類、認定された保全の位置づけ。 ○ 生物多様性が集中していることに基づく、国や地域の当局または国の保全責任機関による指定。 ○ 入手可能な情報や生物多様性の集中しているという知見やその疑いに基づく管理者、所有者、<u>組織組織*</u>による自主的な指定。その他の機関により正式に認定されている必要はない。 <p>これら 3 つのいずれも HCV*1、2、6 の指定の理由となる。世界中の多くの地域は、様々な方法で計測され、生物多様性にとって重要であるという指定を受けている。HCV*1、2、6 の潜在的な場所を特定するためには既存の生物多様性保全のための優先地域の地図や分類が非常に重要な役割を担う。 (出典 : FSC-STD-01-001 第 5-0 版)</p>	<p>Significant: For the purposes of Principle 9, HCVs* 1, 2 and 6 there are three main forms of recognizing significance.</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A designation, classification or recognized conservation status, assigned by an international agency such as IUCN or Birdlife International; ○ A designation by national or regional authorities, or by a responsible national conservation organization, on the basis of its concentration of biodiversity; ○ A voluntary recognition by the manager, owner or Organization, on the basis of available information, or of the known or suspected presence of a significant biodiversity concentration, even when not officially designated by other agencies. <p>Any one of these forms will justify designation as HCVs* 1, 2 and 6. Many regions of the world have received recognition for their biodiversity importance, measured in many different ways. Existing maps and classifications of priority areas for biodiversity conservation play an essential role in identifying the potential presence of HCVs* 1, 2 and 6 (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).</p>
<p>育林 <u>森づくり</u> (Silviculture) : 土地所有者と社会の様々なニーズと価値を継続して満たすために森林や樹林地の成立、成長、構成、健全性、質を管理する技と科学。(出典 : Nieuwenhuis, M. 2000 年。森林管理の用語。国際森林研究機関連合ワールドシリーズ Vol. 9。国際森林研究機関連合 4.04.07 SilvaPlan and SilvaVoc)</p>	<p>Silviculture: The art and science of controlling the establishment, growth, composition, health and quality of forests and woodlands to meet the targeted diverse needs and values of landowners and society on a sustainable basis (Source: Nieuwenhuis, M. 2000. Terminology of Forest Management. IUFRO World Series Vol. 9. IUFRO 4.04.07 SilvaPlan and SilvaVoc).</p>
<p>SLIMF (Small or Low Intensity Managed Forest): 小規模・低強度管理森林。定められた、「小規模」または「低強</p>	<p>SLIMF (Small or Low Intensity Managed Forest): A forest Management Unit* which meets specific FSC requirements related to</p>

度管理」の条件を満たす森林管理区画*。 (出典: FSC-STD-20-012 V1-1)	size and/or intensity. (Source: FSC-STD-20-012 V1-1)
小規模組織 (Small scale organization): 日本では、100 ヘクタール未満の森林面積を管理する森林管理組織組織*。	Small scale organization: Forest management organization that manages less than 100 ha of forest in Japan.
小規模森林管理区画 (Small scale forest management unit): 日本では、100 ヘクタール未満の森林管理区画*。	Small scale forest management unit: Forest Management Unit* that is smaller than 100 ha in Japan.
利害関係者(Stakeholder) : 利害関係者(affected stakeholder)及び関心の高い者(interested stakeholder)の定義参照。	Stakeholder: See definitions for ‘affected stakeholder’ and ‘interested stakeholder’.
成文法 (Statutory law or statute law) : 国会制定法に含まれる法律の本文。(出典 : オックスフォード法律用語辞典)	Statutory law or statute law: The body of law contained in Acts of Parliament (national legislature) (Source: Oxford Dictionary of Law).
保有権(Tenure) : 特定の土地区画またはその中の関連資源(例えば木々、植物種、水、鉱物など)の所有、保有、アクセス及び/または利用に関する一連の権利と義務について、個人またはグループが保持する社会的に定められた合意であり、法的規則または慣行により認められているもの。(出典 : 国際自然保護連合(IUCN). IUCN のウェブサイトで提供されている用語集の定義)	Tenure: Socially defined agreements held by individuals or groups, recognized by legal* statutes or customary practice, regarding the ‘bundle of rights and duties’ of ownership, holding, access and/or usage of a particular land unit or the associated resources there within (such as individual trees, plant species, water, minerals, etc.) (Source: World Conservation Union (IUCN). Glossary definitions provided on IUCN website).
脅威(脅かすもの) (Threat) : 差し迫っている、または起こる可能性の高いダメージまたは悪影響の示唆または警告。(出典 : オックスフォード英語辞典に基づく)	Threat: An indication or warning of impending or likely damage or negative impacts (Source: Based on Oxford English Dictionary).

<p>危急種絶滅危惧種 (Threatened species) : IUCN の絶滅危惧Ⅱ類 (VU)、絶滅危惧ⅠB類 (EN) または絶滅危惧ⅠA類 (CR) の基準を満たし、野生における絶滅の可能性が、高い、とても高いまたは極めて高い種。FSCにおいてはこれらの分類を、国の公的な分類(法的な意味をもつもの)、地域の状態、個体数密度(適切な保全措置の決定に影響する)によって再解釈してもよい。(出典：国際自然保護連合 (2001). 国際自然保護連合レッドリストカテゴリーと基準：第3.1版. 国際自然保護連合種の保存委員会. スイス及びイギリスケンブリッジに基づく)</p>	<p>Threatened species: Species that meet the IUCN (2001) criteria for Vulnerable (VU), Endangered (EN) or Critically Endangered (CR), and are facing a high, very high or extremely high risk of extinction in the wild. These categories may be re-interpreted for FSC purposes according to official national classifications (which have legal* significance) and to local conditions and population densities (which should affect decisions about appropriate conservation measures) (Source: Based on IUCN. (2001). IUCN Red List Categories and Criteria: Version 3.1. IUCN Species Survival Commission. IUCN. Gland, Switzerland and Cambridge, UK.).</p>
<p>木材伐採量 (Timber harvesting level) : 管理区画*で実際の伐採された量であり、算出された(最大)許容伐採量と比較するために体積(例：立法メートル、ボードフィート)または面積(例：ヘクタール、エーカー)で測られる。</p>	<p>Timber harvesting level: The actual harvest quantity executed on the Management Unit*, tracked by either volume (e.g. cubic meters or board feet) or area (e.g. hectares or acres) metrics for the purpose of comparison with calculated (maximum) allowable harvest levels.</p>
<p>迅速に (Timely manner) : 状況が許す限り早く、<u>組織組織*</u>により意図的に延期されることなく、適用可能な<u>法律法令</u>、契約、ライセンスまたは請求書を満たす早さ。</p>	<p>Timely manner: As promptly as circumstances reasonably allow; not intentionally postponed by The Organization*; in compliance with applicable laws, contracts, licenses or invoices.</p>
<p>伝統的知識 (Traditional Knowledge) : コミュニティ内で発達、維持され、世代から世代へと受けつがれる情報、ノウハウ、技術及び慣習。多くの場合コミュニティの文化や精神的なアイデンティティの一部を成す。(出典：世界知的所有権機関(WIPO)に基づく。WIPO のウェブサイトの方針/伝統的知識で提供されている用語定義)</p>	<p>Traditional Knowledge: Information, know-how, skills and practices that are developed, sustained and passed on from generation to generation within a community, often forming part of its cultural or spiritual identity (Source: based on the definition by the World Intellectual Property Organization (WIPO). Glossary definition as provided under Policy / Traditional Knowledge on the WIPO website).</p>
<p>伝統的民族 (Traditional peoples) : 伝統的民族は、自身を先住民族*と認識し</p>	<p>Traditional peoples: Traditional peoples are social groups or peoples who do not self-</p>

ていないが、古くから確立している慣習または伝統的な居住や利用に基づき、土地、森林、その他の資源への権利を有する社会集団または民族である。(出典：フォーレスト・ピープルズ・プログラム(Marcus Colchester 2009 年 10 月 7 日))	identify as indigenous and who affirm rights to their lands, forests and other resources based on long established custom or traditional occupation and use (Source: Forest Peoples Programme (Marcus Colchester, 7 October 2009)).
尊重する (Uphold) : 認め、尊重し、支持し、支援する。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Uphold: To acknowledge, respect, sustain and support (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
使用権(Use rights) : 地域の慣習、双方の合意またはアクセス権を持つその他の事業体により規定された管理区画*の資源を使用するための権利。これらの権利により、特定の資源の消費が一定量までに制限されたり、特定の伐採技術の使用が制限されたりすることがある。(出典：FSC-STD-01-001 第 5-0 版)	Use rights: Rights for the use of resources of the Management Unit* that can be defined by local custom, mutual agreements, or prescribed by other entities holding access rights. These rights may restrict the use of particular resources to specific levels of consumption or particular harvesting techniques (Source: FSC-STD-01-001 V5-0).
検証可能な達成目標 (Verifiable targets) : 各管理目的*の達成に向けた進捗を測るために設定された具体的な到達点。例えば将来あるべき森林の状態など。これらの目標は明確な結果として示されることにより、到達の検証ができ、目標が達成されているか判断が可能となる。	Verifiable targets: Specific goals, such as desired future forest conditions, established to measure progress towards the achievement of each of the management objectives*. These goals are expressed as clear outcomes, such that their attainment can be verified and it is possible to determine whether they have been accomplished or not.
ごく限られた割合 (Very Limited portion) : 1 年間に影響を受けた面積が管理区画*の 0.5%未満であり、かつ影響を受けた面積の合計が管理区画*の 5%未満である。(出典：FSC-STD-01-002 V1-0 FSC 用語集に基づく(2009 年))	Very Limited portion: The area affected shall* not exceed 0.5% of the area of the Management Unit* in any one year, nor affect a total of more than 5% of the area of the Management Unit* (Source: based on FSC-STD-01-002 V1-0 FSC Glossary of Terms (2009)).
ボランティア (Volunteer): 報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会*や個人・団体の福祉増進のために行う活動を行う個人、団体。活動のための交通費など実費程度の金額の支払いを受けても報酬とみなさず、その活動はボランティア	Volunteer: Individuals and groups that offer labor, skills, or time to enhance welfare of local communities*, individuals or groups without an intention to receive compensation. Even when some payment is provided, the activity can be considered as volunteer activity if it is only to compensate for the actual

活動に含む。(出典：平成 23 年総務庁
「社会生活基本調査報告」より編集。)

expense such as transportation fee. (Edited
from 'Social life basic survey report', General
Affairs Agency, 2011.)

DRAFT

<p>廃棄物(Waste materials) : 以下のような使用不能、または無用な物質または副産物 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 化学廃棄物や電池を含む有害廃棄物。 ○ 容器。 ○ モーター、燃料、オイル。 ○ 金属、プラスチック、紙を含むゴミ。 ○ 放棄された建物、機械、道具。 	<p>Waste materials: unusable or unwanted substances or by-products, such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Hazardous waste, including chemical waste and batteries; ○ Containers; ○ Motor and other fuels and oils; ○ Rubbish including metals, plastics and paper; and ○ Abandoned buildings, machinery and equipment.
<p>湖沼、水域 (河川・溪流を含む) (Water bodies, including water courses) : 季節的、一時的及び恒常的な沢、小川、溪流、河川、池及び湖。川岸または湿地*系、湖、沼、沼地及び湧水も含まれる。</p>	<p>Water bodies (including water courses): Seasonal, temporary, and permanent brooks, creeks, streams, rivers, ponds, and lakes. Water bodies include riparian or wetland* systems, lakes, swamps, bogs and springs.</p>
<p>水不足の欠乏(Water scarcity) : 食料生産、人の健康、経済発展を制限する水の供給。深刻な欠乏と言える水の量は、1 人あたり 1 年間に 1,000 立方メートルまたは、供給量の 40%超を使用している状態である。(出典 : ミレニアム生態系評価(2005 年). 生態系と人類の幸福 : 政策対応. 政策対応ワーキンググループの所見. ワシントン DC アイランドプレス. 599~605 ページ)</p>	<p>Water scarcity: A water supply that limits food production, human health, and economic development. Severe scarcity is taken to be equivalent to 1,000 cubic meters per year per person or greater than 40% use relative to supply (Source: Millennium Ecosystem Assessment. 2005. Ecosystems and Human Well-Being: Policy Responses. Findings of the Responses Working Group. Washington DC: Island Press, Pages 599-605).</p>
<p>水ストレス、水資源の逼迫不足(Water stress) : ある期間において水の需要が利用可能な量を超える場合、または水質の悪さから利用が制限される場合に起こる。水資源の逼迫は淡水資源の量的(帯水層の過利用、河川の枯渇など)かつ質的(富栄養化、有機物汚染、塩化など)な劣化の原因となる。(出典 : 国連環境計画. 2003 年. ゴールド・スタンダード財団に記載. 2014 年. ウォーター・ベネフィット・スタンダード)</p>	<p>Water stress: Occurs when the demand for water exceeds the available amount during a certain period or when poor quality restricts its use. Water stress causes deterioration of freshwater resources in terms of quantity (aquifer over-exploitation, dry rivers, etc.) and quality (eutrophication, organic matter pollution, saline intrusion, etc.) (Source: UNEP, 2003, cited in Gold Standard Foundation. 2014. Water Benefits Standard).</p>

<p>湿地(Wetlands) : 通常地下水面が地表面または地表面近くにある、または地面が浅い水で覆われている、陸系・水系間の中間形態地域。(出典 : Cowarding, L.M., Carter, V., Golet, F.C., Laroe, E.T. 1979. アメリカにおける湿地と深海生息・生育域の分類. 連邦地理データ委員会.合衆国魚類野生生物局 : ワシントン)</p> <p>ラムサール条約では湿地には干潟、自然池、湿原、甌穴、湿草地、沼地、泥炭地*、淡水湿地、マングローブ、湖、河川及びサンゴ礁の一部まで含まれる。(出典 : 国際自然保護連合. 日付なし.国際自然保護連合の定義 - 英語)</p>	<p>Wetlands: Transitional areas between terrestrial and aquatic systems in which the water table is usually at or near the surface or the land is covered by shallow water (Source: Cowarding, L.M., Carter, V., Golet, F.C., Laroe, E.T. 1979. Classification of Wetlands and Deepwater Habitats of the United States. DC US Department: Washington).</p> <p>Under the Ramsar Convention, wetlands can include tidal mudflats, natural ponds, marshes, potholes, wet meadows, bogs, peatlands*, freshwater swamps, mangroves, lakes, rivers and even some coral reefs (Source: IUCN, No Date, IUCN Definitions – English).</p>
<p>労働者(Workers) : 公務員及び自営業者も含むすべての被雇用者。パートタイム及び季節労働者も含まれ、肉体労働者、管理者、監督者、経営幹部、契約社員、自営請負業者、外部委託先を含む、すべての身分や職種の人が該当する。(出典 : ILO 条約第 155 号 職業上の安全及び健康に関する条約(1981 年))</p>	<p>Workers: All employed persons including public employees as well as ‘self-employed’ persons. This includes part-time and seasonal employees, of all ranks and categories, including laborers, administrators, supervisors, executives, contractor employees as well as self-employed contractors and sub-contractors (Source: ILO Convention C155 Occupational Safety and Health Convention, 1981).</p>

日本語からの索引

太字は、日本国内独自の定義を付けた単語。

日本語訳	英語
SLIMF	SLIMF
育林	silviculture
遺伝子型	genotype
遺伝子組換え生物	genetically modified organism
インフラ(インフラストラクチャー)	infrastructure
回復力	resilience
外部性	externalities
外来種	alien species
川岸地帯	riparian zone
環境影響評価	environmental impact assessment (EIA)
慣習的な権利	customary rights
慣習に合った（文化的に適切な）	culturally appropriate
慣習法	customary law
関心の高い者	interested stakeholder
管理区画	management unit
管理計画	management plan
管理計画モニタリング	management plan monitoring
管理目的	management objective
危急種	threatened-species
基準	criterion (pl. criteria)
希少種	rare species
規模	scale
規模、強度、リスク	scale, intensity and risk
機密情報	confidential information
義務的行動規範	obligatory code of practice
脅威(脅かすもの)	threat
協議、協働	engaging/engagement
強度	intensity
業務上疾患	occupational disease
国の法令	national laws
経営管理	managerial control
景観	landscape
景観的な価値	landscape values

経済的な継続性	economic viability
検証可能な達成目標	verifiable targets
原生林景観	intact forest landscape
原則	principle
原則と基準と 法律法令 の矛盾	conflicts between Principles and Criteria and laws
高価値木択伐	high grading
公式及び非公式な労働組合	formal and informal workers organization
公正な補償	fair compensation
拘束力のある契約	binding agreement
公表されている	publicly available
ごく限られた割合	very limited portion
国際的に認められた科学的取り決め	internationally accepted scientific protocol
国内法令	national laws
湖沼（河川・溪流を含む）	water bodies
在来種	native species
事業特性	scale, intensity and risk
自然災害	natural hazards
自然状況(状態)/自然生態系	natural conditions/native ecosystem
自然林	natural forest
湿地	wetlands
指標	indicator
自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意	free, prior, and informed consent (FPIC)
重要	significant
順応的管理	adaptive management
小規模組織	Small scale organization
使用权	use rights
焦点生物種	focal species
人工林	plantation
迅速に	timely manner
侵略的な種	invasive species
森林	forest
水域	water bodies
生息・生育域	habitat
生息・生育域の特徴	habitat features

生活賃金	living wage
生態系	ecosystem
生態系機能	ecosystem function
生態系サービス	ecosystem services
生物	organism
生物多様性	biological diversity
生物的防除	biological control agents
成文法	statutory law and statute law
接続性	connectivity
絶滅危惧種	threatened species
先住民族	indigenous peoples
草原	grassland
組織	organization
尊重する	uphold
大規模組織	Large scale organization
大規模な紛争	dispute of substantial magnitude
帯水層	aquifer
代表的な自然生態系地域	representative sample areas
高い保護価値 (HCV)	high conservation value (HCV)
高い保護価値(HCV)をもつ地域	high conservation value areas
妥当な	reasonable
多面的機能（環境価値）	environmental values
男女平等	gender equality
地域社会	local communities
地域の法律	local laws
知的財産	intellectual property
中規模組織	Medium scale organization
長期	long-term
長期に及ぶ紛争	dispute of substantial duration
低影響伐採	reduced impact harvesting
泥炭地	peatland
適切な、 適当な	reasonable
適当な	reasonable
適用可能な 法令法律	applicable law
伝統的知識	traditional knowledge
伝統的民族	traditional peoples
登記(登録)	legal registration
特性	scale, intensity and risk

土地と領域	lands and territories
入手可能 ^な	publicly available
農薬	pesticide
廃棄物	waste materials
伐採前	pre-harvest
批准している	ratified
非木材林産物	non-timber forest products (NTFP)
肥料	fertilizer
不可欠(な)	critical
復元	restore / restoration
紛争	dispute
法的、合法的	legal
法的位置付け	legal status
法的権限のある	legally competent
保護	protection
保護区	protection area
保全/保護	conservation/protection
保全地域網	conservation areas network
保全地帯と保護区	conservation zones and protection areas
保有権	tenure
ボランティア	volunteer
水資源の逼迫	water stress
水ストレス	water stress
水不足	water scarcity
水辺空間	riparian zone
木材伐採量	timber harvesting level
目的	objective
予防手段	precautionary approach
利害関係者	stakeholder, affected stakeholder
リスク	risk
利用可能な最も有効な情報	best available information
レフュジア(退避地)	refugia
労働災害	occupational accident
労働災害	occupational injuries
労働者	workers